

# 第 1 章

## 調査結果の概要



## 第1節 住みごちについて

### 1 秋田市の全体的な評価（問1）

#### 問1（秋田市の全体的な評価）

あなたは、秋田市の住みごちをどのように感じていますか。次の中から1つ選んで番号を記入して下さい。

- 1 住みやすい                      2 どちらかといえば住みやすい      3 どちらともいえない  
4 どちらかといえば住みにくい    5 住みにくい

この設問では、「住みごち」という表現で、秋田市の全体的な評価を聞いている。（集計表 P151 参照）

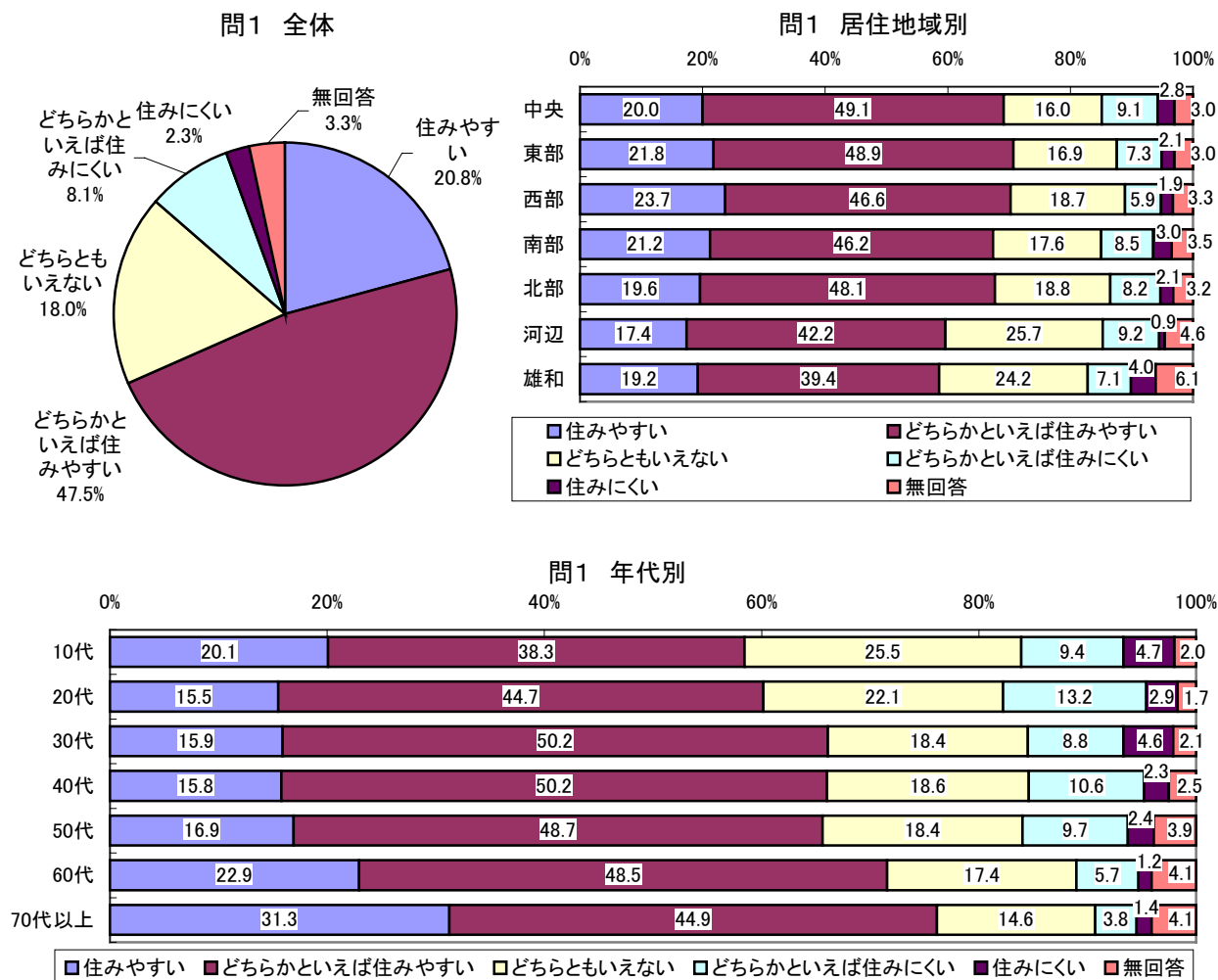
全体集計では、「住みやすい」20.8%、「どちらかといえば住みやすい」47.5%、「どちらともいえない」18.0%、「どちらかといえば住みにくい」8.1%、「住みにくい」2.3%となった。「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の良い評価の合計が68.3%なのに対し、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の悪い評価の合計が10.4%であり、良い評価が悪い評価を大きく上回った。

男女別集計では、「男性」の良い評価の合計が66.8%、「女性」の良い評価の合計が69.5%である。

年代別集計では、全体的に年代が上がるにつれて、良い評価が増える傾向がある。

居住地域別集計では、良い評価が、「河辺」「雄和」で低い。

出身地別集計では、「秋田市内出身者」の良い評価が67.9%であるのに対し、「秋田市以外の秋田県内出身者」が71.8%、「秋田県外」の出身者が60.8%と、県外出身者の良い評価が少なく、秋田市以外の県内出身者の良い評価が多い。



## 2 秋田市の分野別の評価（問2）

### 問2（秋田市の分野別の評価）

あなたは、秋田市に住んでいて次のことについてどのように感じていますか。それぞれについて○をつけてください。

#### 【選択肢】

- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

#### 【項目】

- |                            |                             |                     |
|----------------------------|-----------------------------|---------------------|
| 1 道路の整備状況は                 | 2 まちのにぎわいは                  | 3 公園や緑地、街路樹など緑の豊かさは |
| 4 まちなみなどの景観は               | 5 観光地としての魅力は                | 6 産業や雇用の状況は         |
| 7 経済・学術交流などの国際化の進みぐあいは     | 8 大雨、地震など自然災害への安全性は         |                     |
| 9 防犯への取り組みは                | 10 バス、電車などの利用しやすさは          |                     |
| 11 冬期の除雪については              | 12 買い物のしやすさは                | 13 食の安全・安心は         |
| 14 高齢者・障害者の生活のしやすさは        | 15 子どもの育てやすさは               |                     |
| 16 病院などの医療機関の利用しやすさは       | 17 健康診断や予防接種などの受けやすさは       |                     |
| 18 ごみの収集・処理やリサイクルへの取り組みは   | 19 環境保全への取り組みは              |                     |
| 20 町内会など自治活動の状況は           | 21 NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさは |                     |
| 22 レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさは |                             |                     |
| 23 各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさは   | 24 スポーツ活動のしやすさは             |                     |
| 25 文化・芸術活動のしやすさは           | 26 女性の社会参加のしやすさは            |                     |
| 27 市民の市政参加のしやすさは           | 28 市役所の窓口サービスは              |                     |
| 29 広報あきたなど市政情報の得やすさは       | 30 ホームページを使った市民サービスは        |                     |

この設問では、秋田市の分野別の評価を把握するため30の項目を挙げ、評価を聞いている。（集計表 P 151～166 参照）

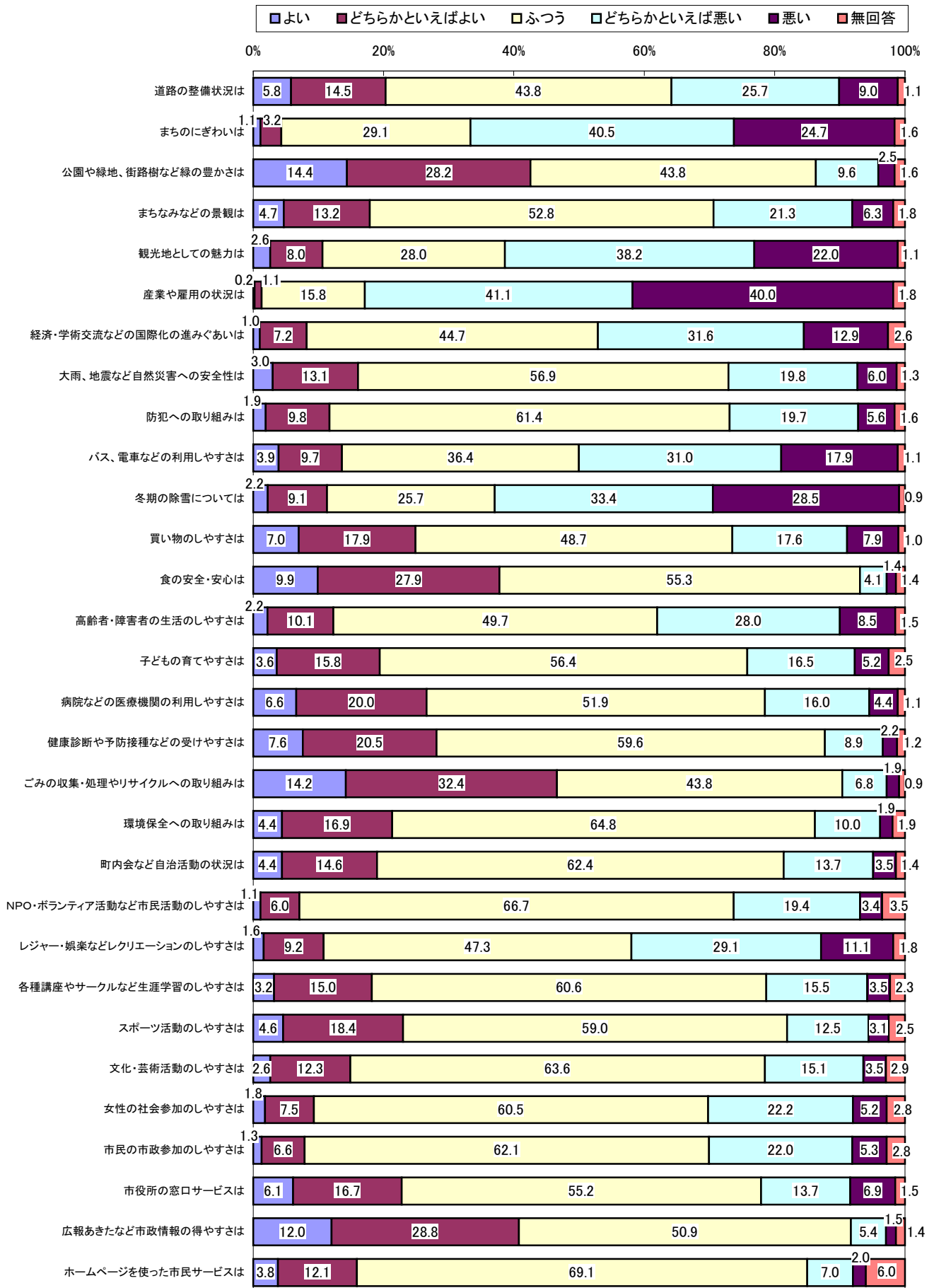
全体集計において、「よい」「どちらかといえばよい」の合計と「ふつう」「悪い」「どちらかといえば悪い」の合計に分けて検討を加えた。

最も評価が高かったのは、「ごみの収集・処理やリサイクルへの取り組みは」の46.6%であり、最も評価が低かったのは「産業や雇用の状況は」の1.3%である。（P12 グラフ参照）

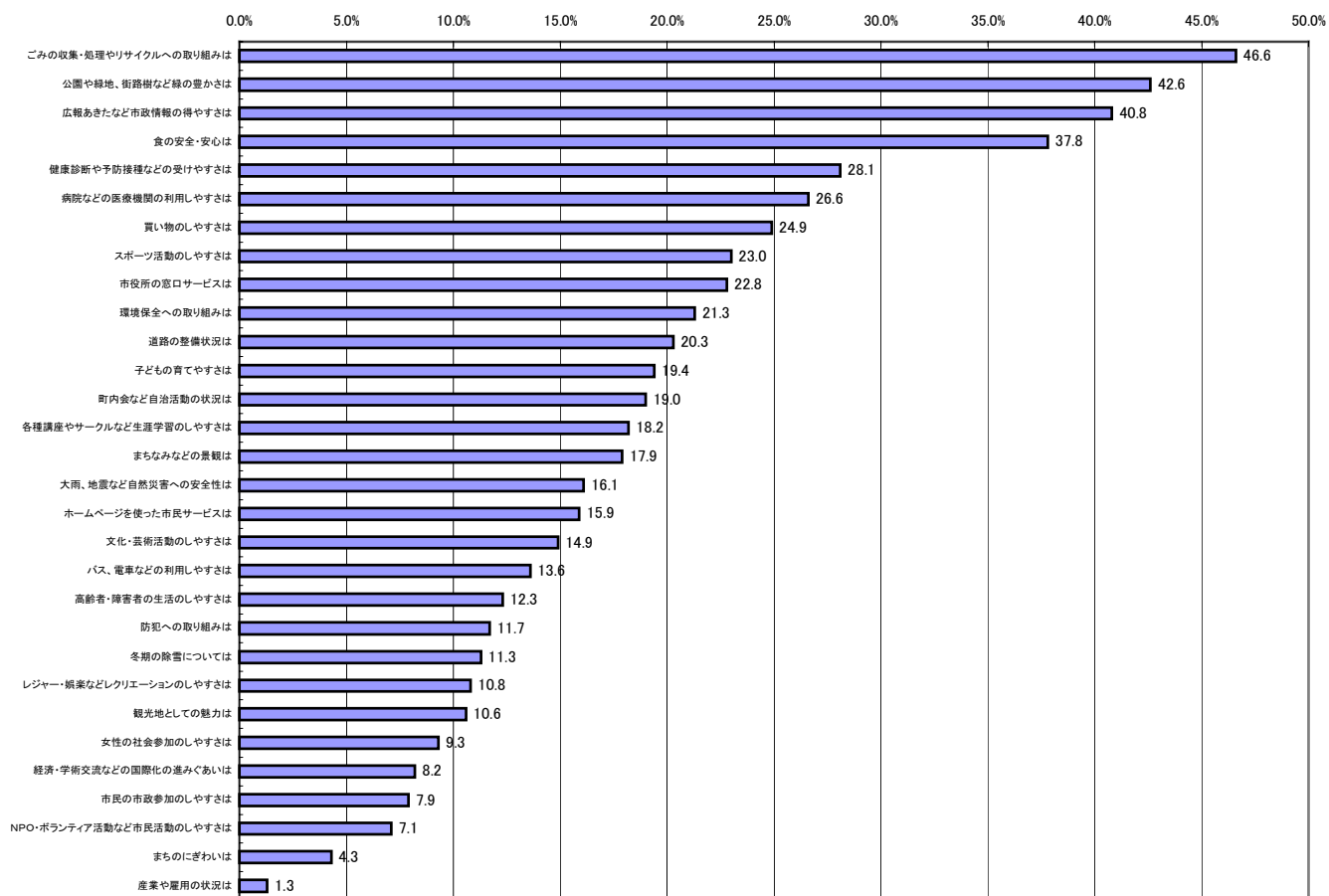
このほか、「まちのにぎわい」「冬期の除雪」「観光地としての魅力」が極めて厳しい評価である反面、「緑の豊かさ」「市政情報の得やすさ」「食の安全・安心」「健康診断」「医療機関」など、日常生活に身近な項目の評価が高かった。

また、「女性の社会参加」「市政参加」「市民活動」など、「ふつう」の回答が60%を超えている項目については、市民の評価として、積極的に評価してはいないが大きな不満もない、もしくは評価が定まっていないという可能性が考えられる。

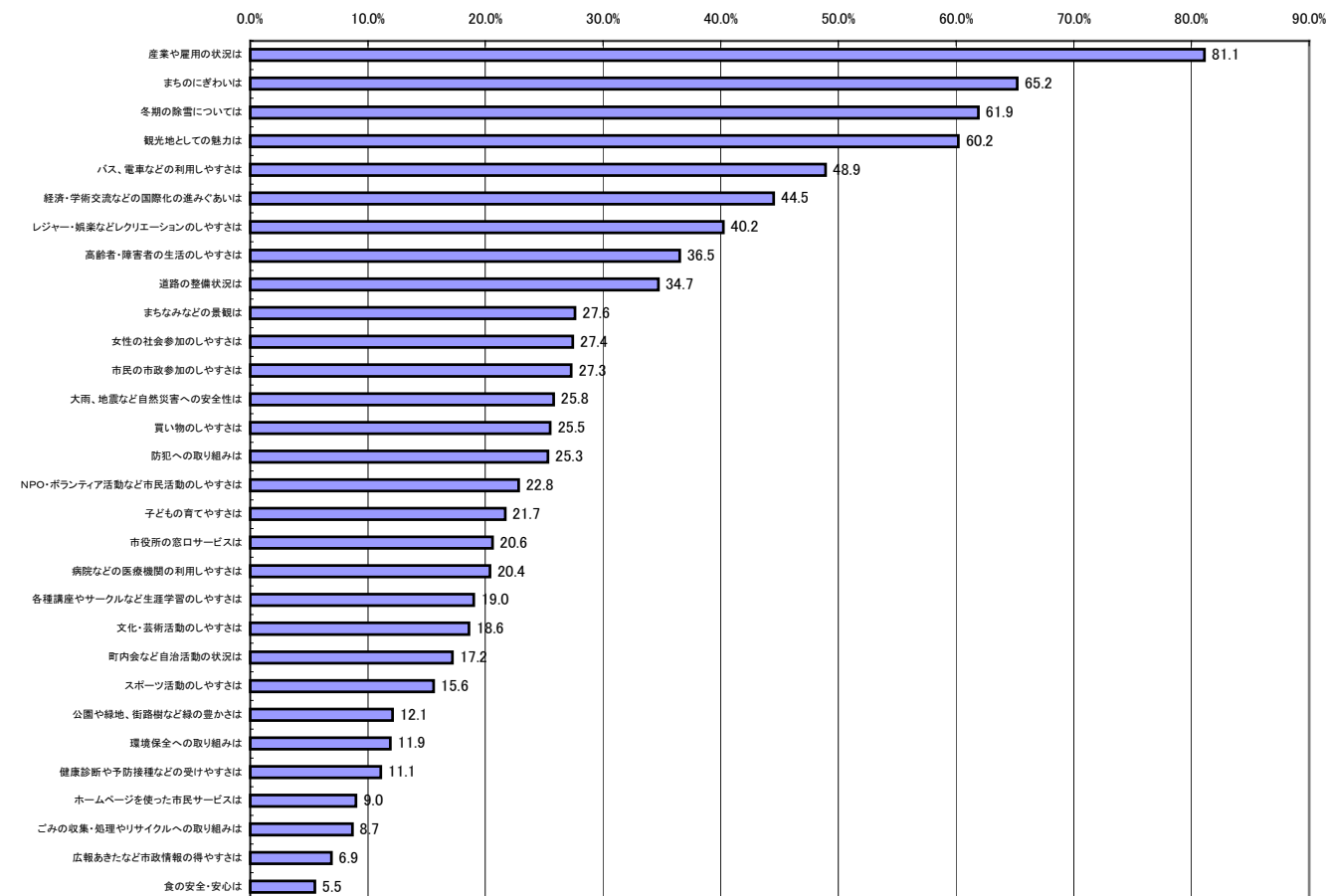
## 問2 秋田市の分野別の評価（項目間比較）全体集計グラフ



## 問2 秋田市の分野別の評価（項目間比較） 「よい」「どちらかといえばよい」の回答合計グラフ



## 問2 秋田市の分野別の評価（項目間比較） 「悪い」「どちらかといえば悪い」の回答合計グラフ



## 問2-1（道路の整備状況は）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（道路の整備状況は）についてどのように感じていますか。

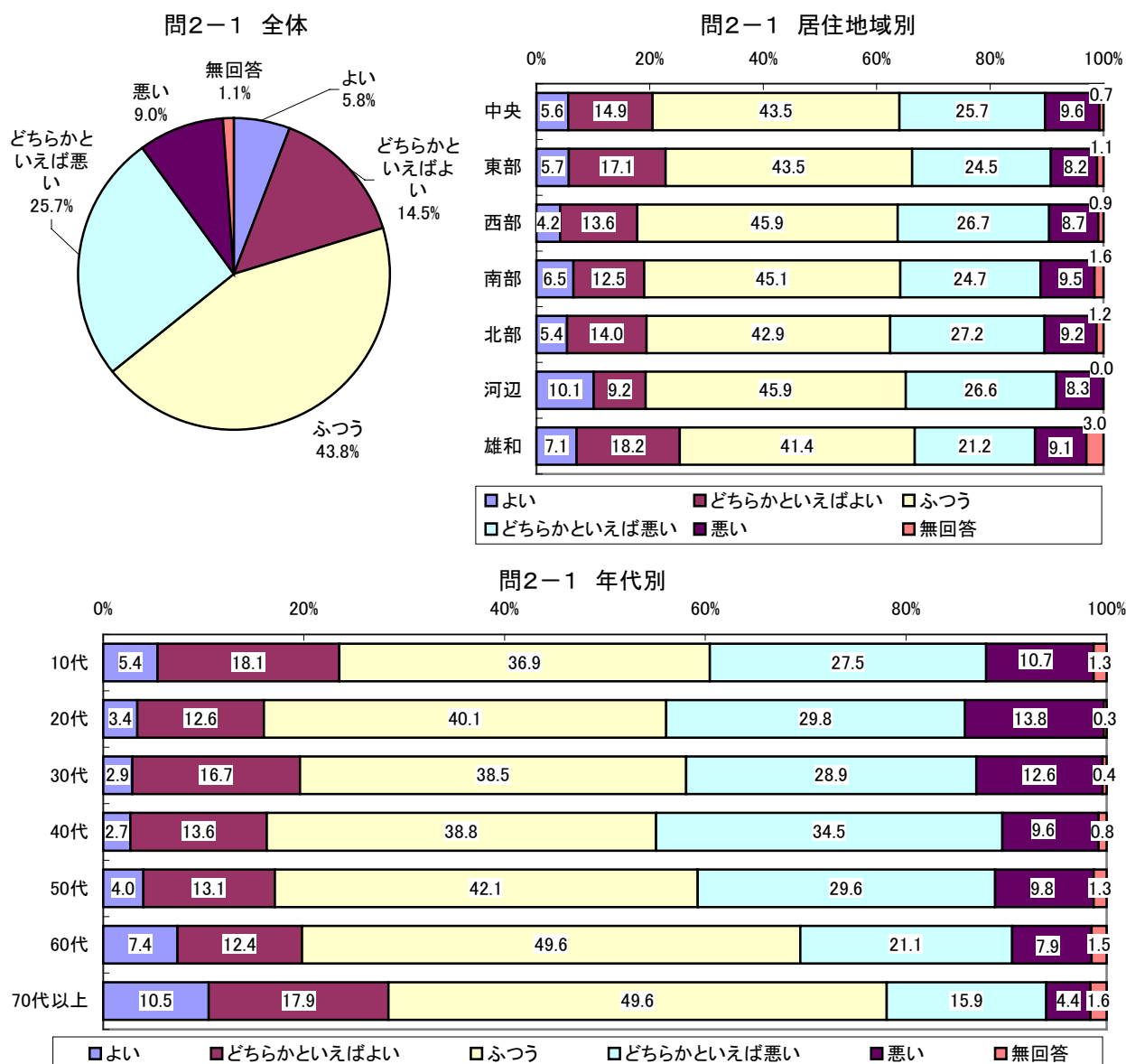
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、道路の整備状況に対する評価を聞いている。（集計表 P151 参照）

全体集計では、「よい」5.8%、「どちらかといえばよい」14.5%、「ふつう」43.8%、「どちらかといえば悪い」25.7%、「悪い」9.0%となった。良いという回答の合計 20.3%に対し、悪いという回答の合計は 34.7%であり、全体の3分の1が道路整備状況に不満を持っている。

年代別集計では、悪いという回答が「20代」43.6%、「30代」41.5%、「40代」44.1%、「50代」39.4%と多い。一方、「60代」29.0%と「70代以上」20.3%の悪いという回答が少ない。

居住地域別集計では、顕著な差異はない。



## 問2-2（まちのにぎわいは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（まちのにぎわいは）についてどのように感じていますか。

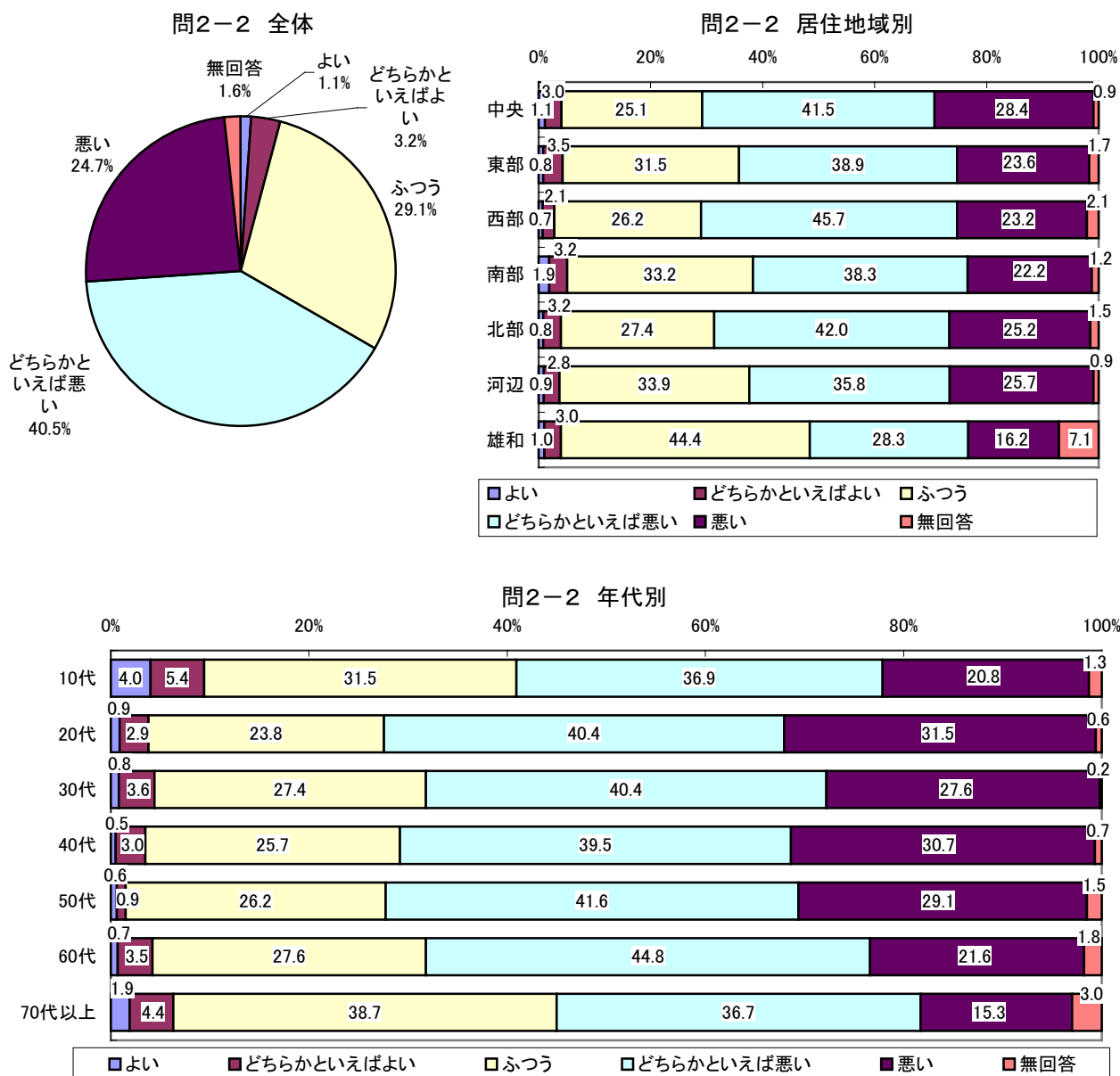
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、まちのにぎわいに対する評価を聞いている。（集計表 P152 参照）

全体集計では、「よい」1.1%、「どちらかといえばよい」3.2%、「ふつう」29.1%、「どちらかといえば悪い」40.5%、「悪い」24.7%となった。良いという回答の合計4.3%に対し、悪いという回答の合計は65.2%であり、全体の3分の2がまちのにぎわいについて不満を持っている。

年代別集計では、悪いという回答がすべての年代で50%を超えており、特に「20代」71.9%、「30代」68.0%、「40代」70.2%、「50代」70.7%と多くなっている。一方、すべての年代で良いという回答が10%に達しておらず、年代を問わずまちづくりのにぎわいに不満を感じている。

居住地域別集計では、悪いという回答が「中央」69.9%、「西部」68.9%、「北部」67.2%と多い。



### 問2-3（公園や緑地、街路樹など緑の豊かさは）

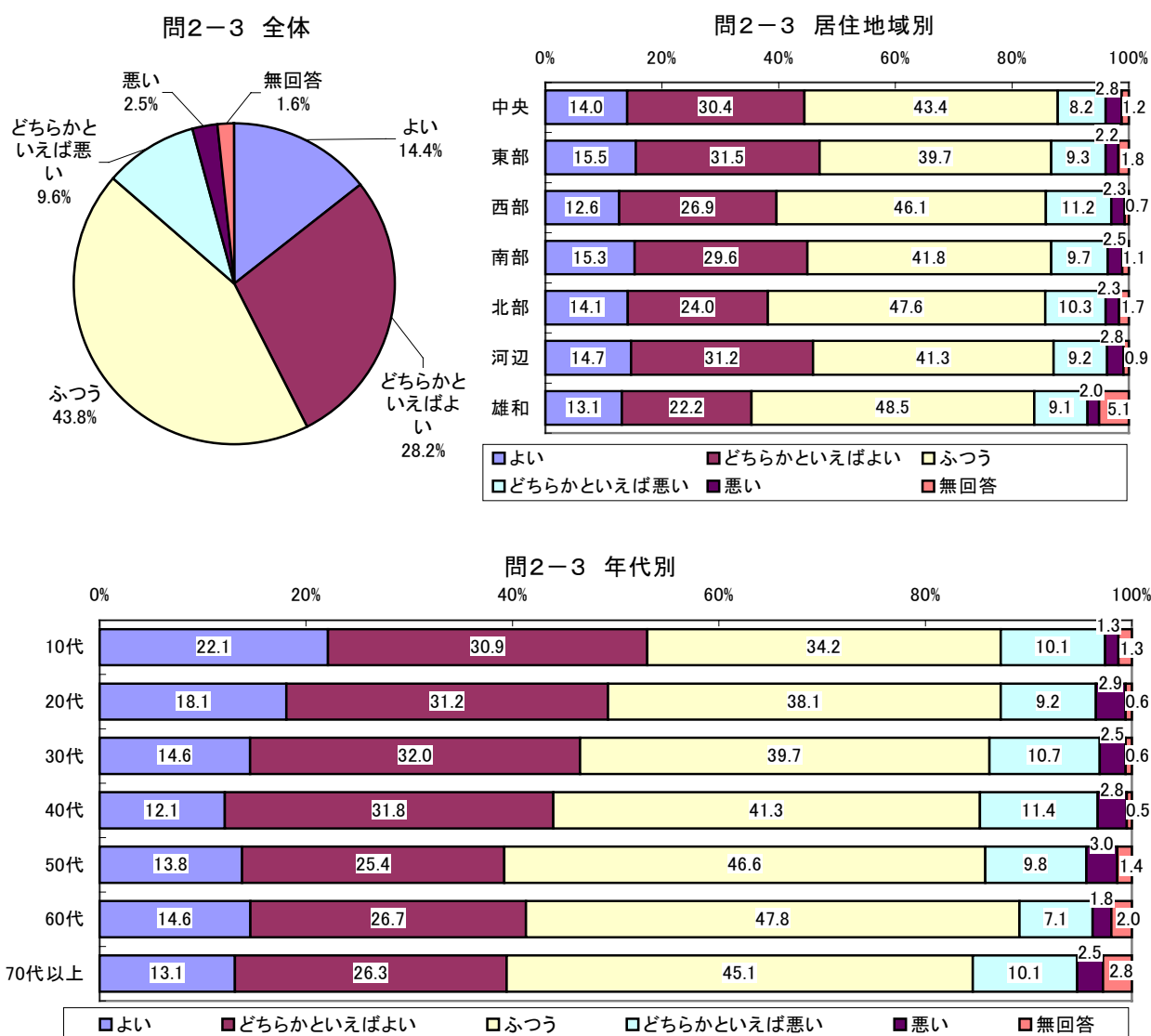
あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（公園や緑地、街路樹など緑の豊かさは）についてどのように感じていますか。

- 1 よい                                      2 どちらかといえばよい                                      3 ふつう  
4 どちらかといえば悪い                                      5 悪い

この設問では、公園や緑地、街路樹など緑の豊かさに対する評価を聞いている。（集計表 P152 参照）  
全体集計では、「よい」14.4%、「どちらかといえばよい」28.2%、「ふつう」43.8%、「どちらかといえば悪い」9.6%、「悪い」2.5%となった。良いという回答の合計 42.6%に対し、悪いという回答の合計は12.1%であり、緑の豊かさについては評価が高い。

年代別集計では、良いという回答が「10代」53.0%、「20代」49.3%と多いのに対し、「70代以上」39.4%、「60代」41.3%、「50代」39.2%と少ない。

居住地域別集計では、良いという回答が「西部」39.5%、「北部」38.1%、「雄和」35.3%と少ない。



### 問2-4（まちなみなどの景観は）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（まちなみなどの景観）についてどのように感じていますか。

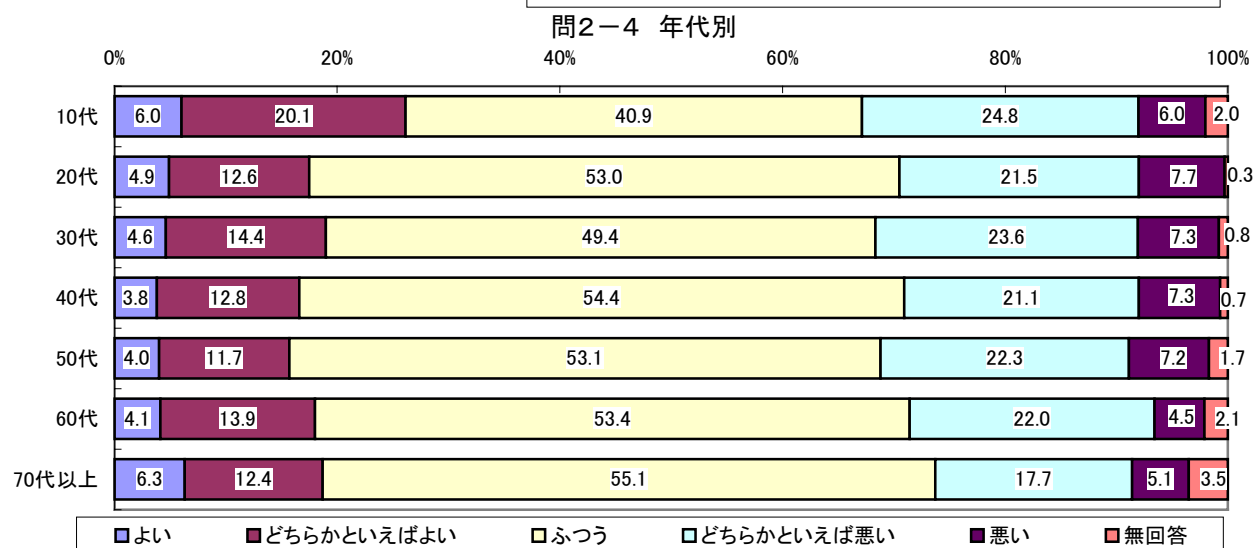
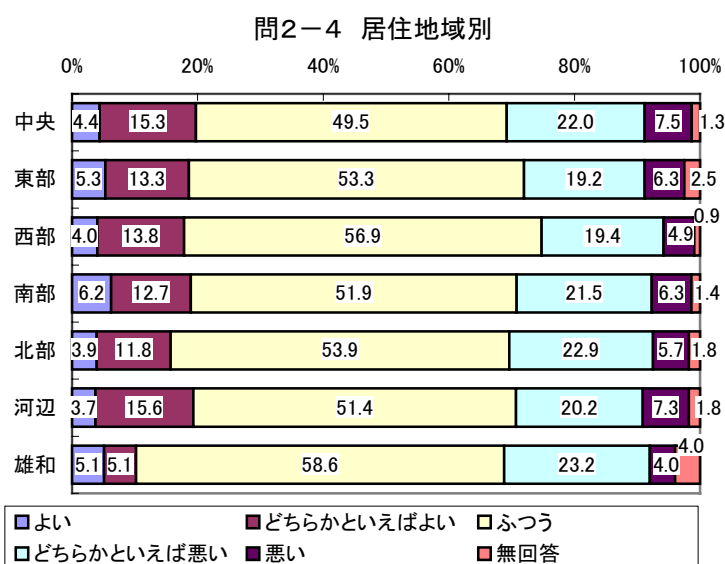
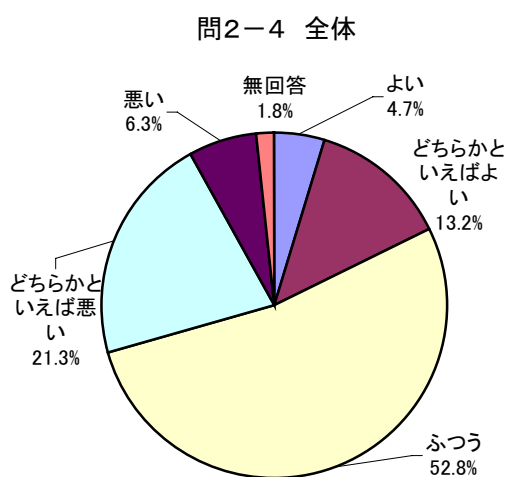
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、まちなみなどの景観に対する評価を聞いている。（集計表 P153 参照）

全体集計では、「よい」4.7%、「どちらかといえばよい」13.2%、「ふつう」52.8%、「どちらかといえば悪い」21.3%、「悪い」6.3%となった。良いという回答の合計17.9%に対し、悪いという回答の合計は27.6%であり、まちなみなどの景観については評価が若干低い。

年代別集計では、良いという回答が「10代」26.1%と多く、また、悪いという回答は「70代以上」22.8%と少ない。

居住地域別集計では、良いという回答が「北部」15.7%、「雄和」10.2%と良いという回答が少ない。



### 問2-5（観光地としての魅力は）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（観光地としての魅力は）についてどのように感じていますか。

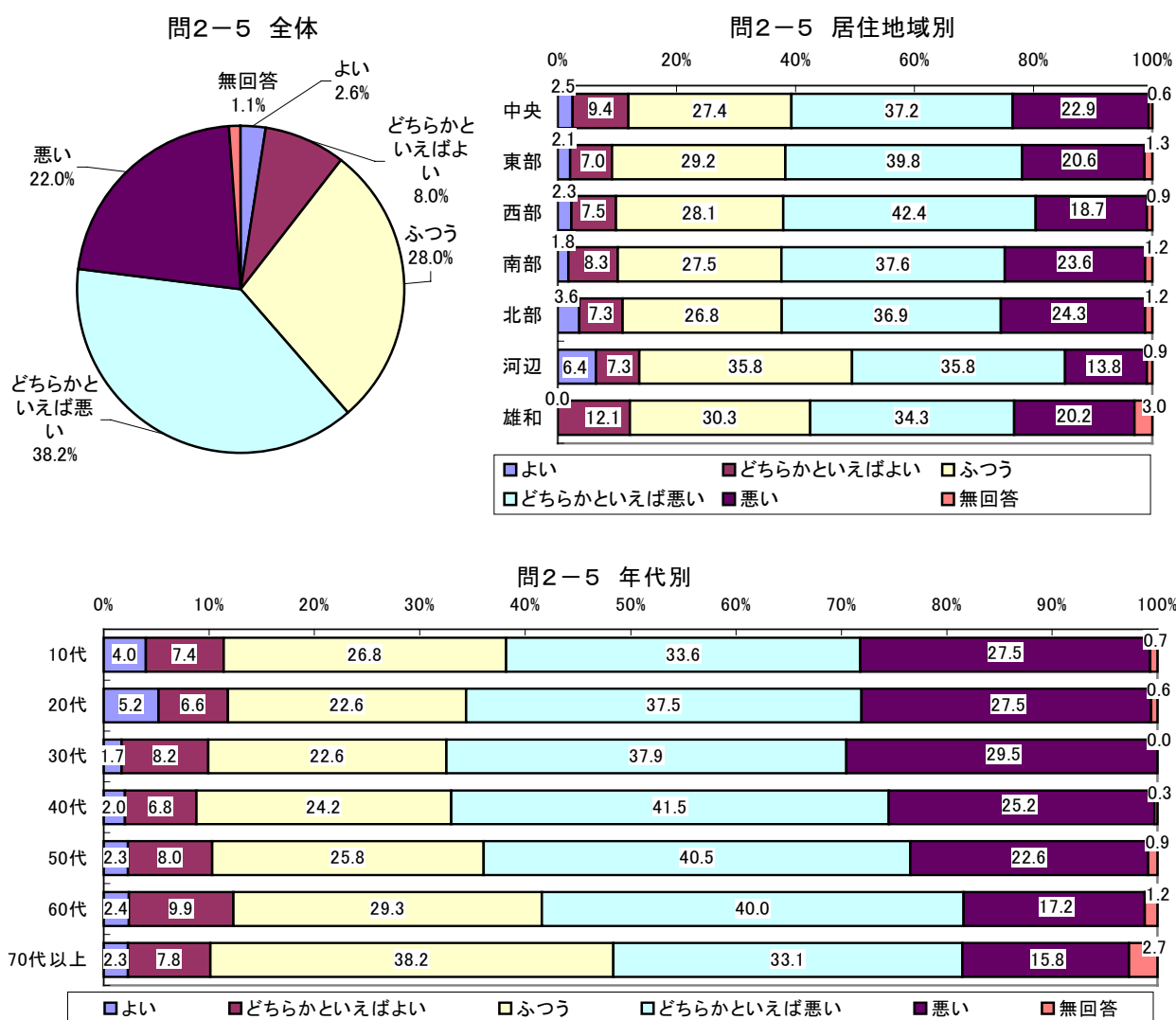
- 1 よい                                      2 どちらかといえばよい                      3 ふつう  
4 どちらかといえば悪い                      5 悪い

この設問では、観光地としての魅力に対する評価を聞いている。（集計表 P153 参照）

全体集計では、「よい」2.6%、「どちらかといえばよい」8.0%、「ふつう」28.0%、「どちらかといえば悪い」38.2%、「悪い」22.0%となった。良いという回答の合計 10.6%に対し、悪いという回答の合計は 60.2%であり、観光地としての魅力については評価が低い。

年代別集計では、良いという回答は概ね 10%前後であるのに対し、悪いという回答は「10代」61.1%、「20代」65.0%、「30代」67.4%、「40代」66.7%と多い。「悪い」と回答した割合では、「10代」27.5%、「20代」27.5%、「30代」29.5%と多い。

居住地域別集計では、悪いという回答が「河辺」49.6%、「雄和」54.5%と若干少ない。



### 問2-6（産業や雇用の状況は）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（産業や雇用の状況は）についてどのように感じていますか。

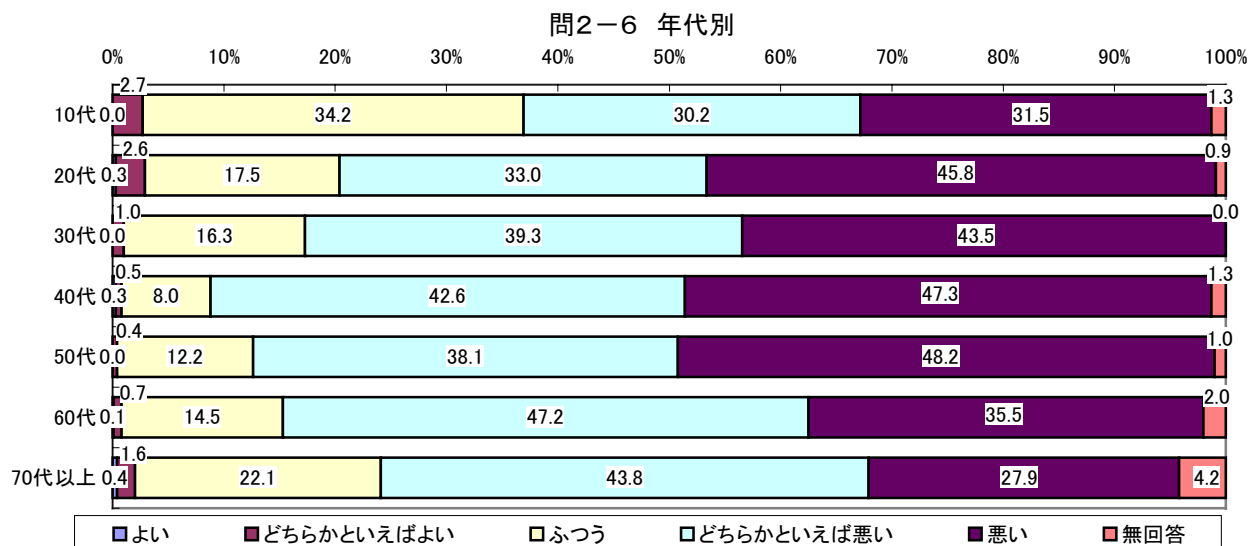
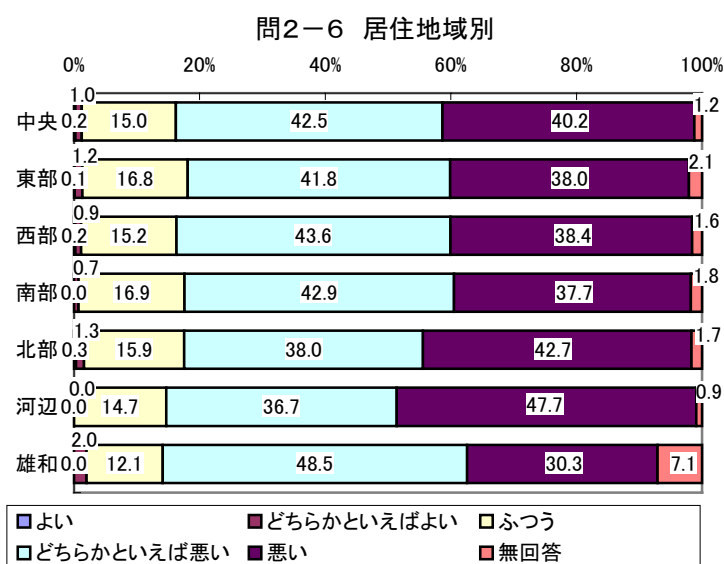
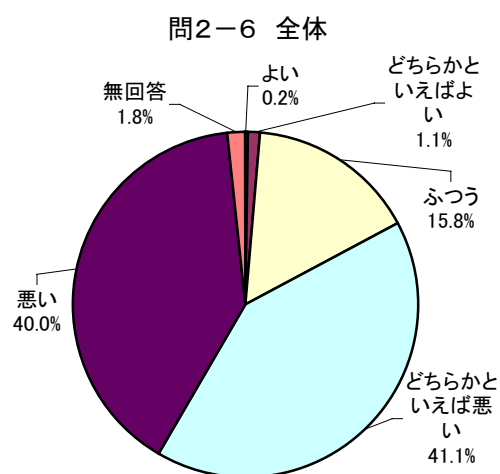
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、産業や雇用の状況に対する評価を聞いている。（集計表 P154 参照）

全体集計では、「よい」0.2%、「どちらかといえばよい」1.1%、「ふつう」15.8%、「どちらかといえば悪い」41.1%、「悪い」40.0%となった。良いという回答の合計 1.3%に対し、悪いという回答の合計は 81.1%であり、産業や雇用状況については非常に評価が低い。

年代別集計では、悪いという回答は「20代」78.8%、「30代」82.8%、「40代」89.9%、「50代」86.3%、「60代」82.7%と多い。「悪い」と回答した割合では、「20代」45.8%、「30代」43.5%、「40代」47.3%、「50代」48.2%と非常に多い。

居住地域別集計では、概ね 80%以上が悪い評価をしている。



問2-7（経済・学術交流などの国際化の進みぐあいは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（経済・学術交流などの国際化の進みぐあいは）についてどのように感じていますか。

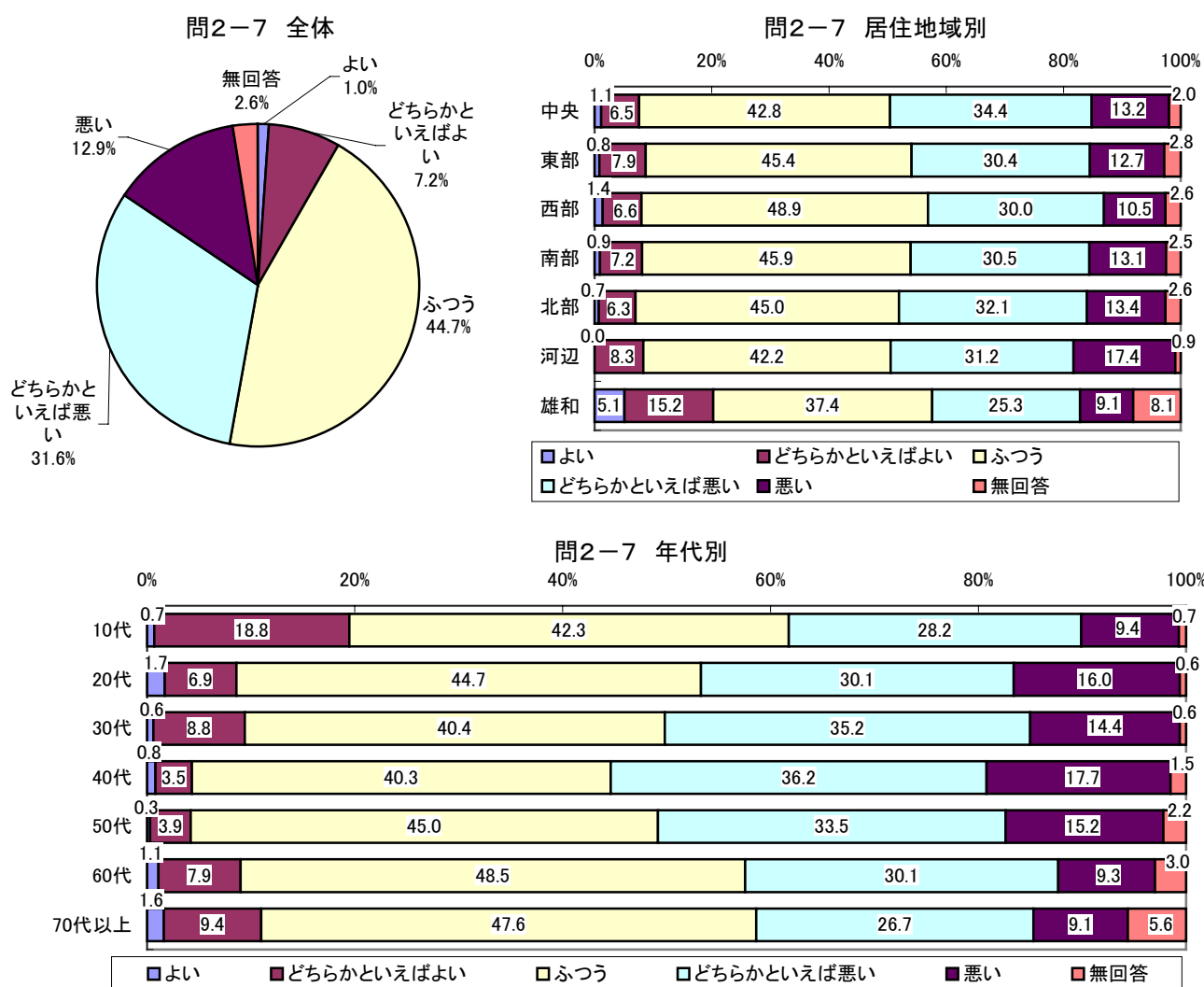
- 1 よい                      2 どちらかといえばよい                      3 ふつう  
4 どちらかといえば悪い                      5 悪い

この設問では、経済・学術交流などの国際化の進みぐあいに対する評価を聞いている。（集計表 P154 参照）

全体集計では、「よい」1.0%、「どちらかといえばよい」7.2%、「ふつう」44.7%、「どちらかといえば悪い」31.6%、「悪い」12.9%となった。良いという回答の合計8.2%に対し、悪いという回答の合計は44.5%であり、経済・学術交流などの国際化の進みぐあいについては評価が低い。

年代別集計では、悪いという回答が「20代」46.1%、「30代」49.6%、「40代」53.9%、「50代」48.7%と多い。一方、良いという回答では「10代」で19.5%と突出している。

居住地域別集計では、良いという回答が「雄和」20.3%と多い。



# 問2-8（大雨、地震など自然災害への安全性は）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（大雨、地震など自然災害への安全性は）についてどのように感じていますか。

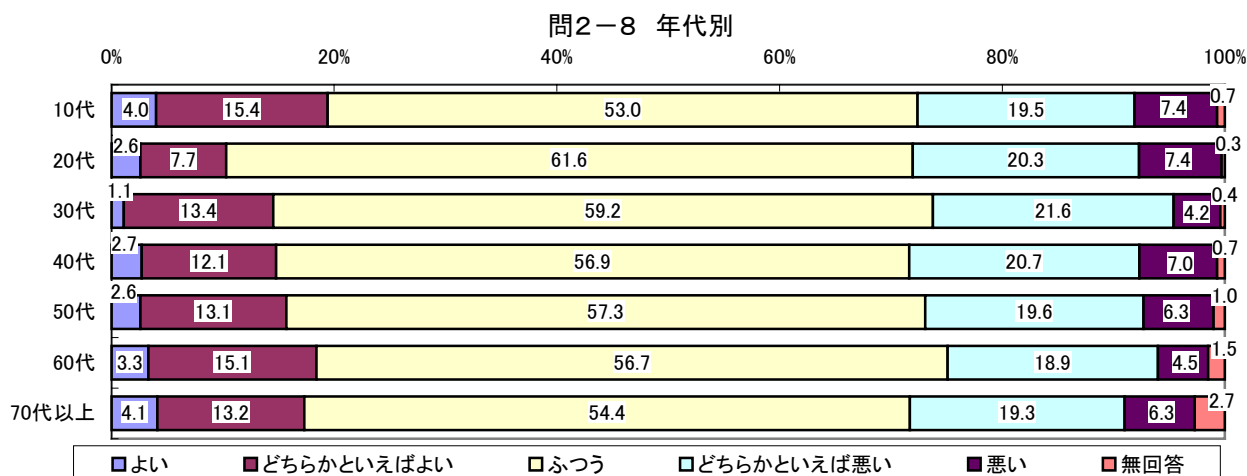
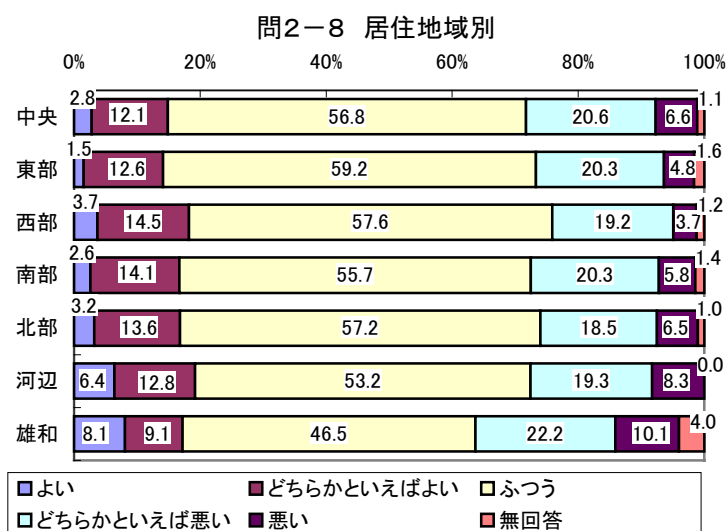
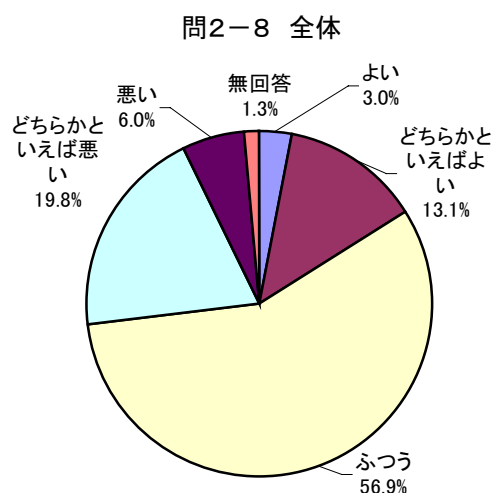
- 1 よい                                      2 どちらかといえばよい                                      3 ふつう  
4 どちらかといえば悪い                                      5 悪い

この設問では、大雨、地震など自然災害への安全性に対する評価を聞いている。（集計表 P155 参照）  
全体集計では、「よい」3.0%、「どちらかといえばよい」13.1%、「ふつう」56.9%、「どちらかといえば悪い」19.8%、「悪い」6.0%となった。良いという回答の合計 16.1%に対し、悪いという回答の合計は 25.8%であり、自然災害への安全性については若干評価が低い。

男女別集計では、良いという回答の割合が「男性」19.1%、「女性」13.8%となっており、男性の評価が若干高い。

年代別集計では、良いという回答が「20代」で10.3%と少ない。

居住地域別集計では、良いという回答が「河辺」19.2%と多く、悪いという回答は「雄和」32.3%と多い。



### 問2-9（防犯への取り組みは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（防犯への取り組みは）についてどのように感じていますか。

- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

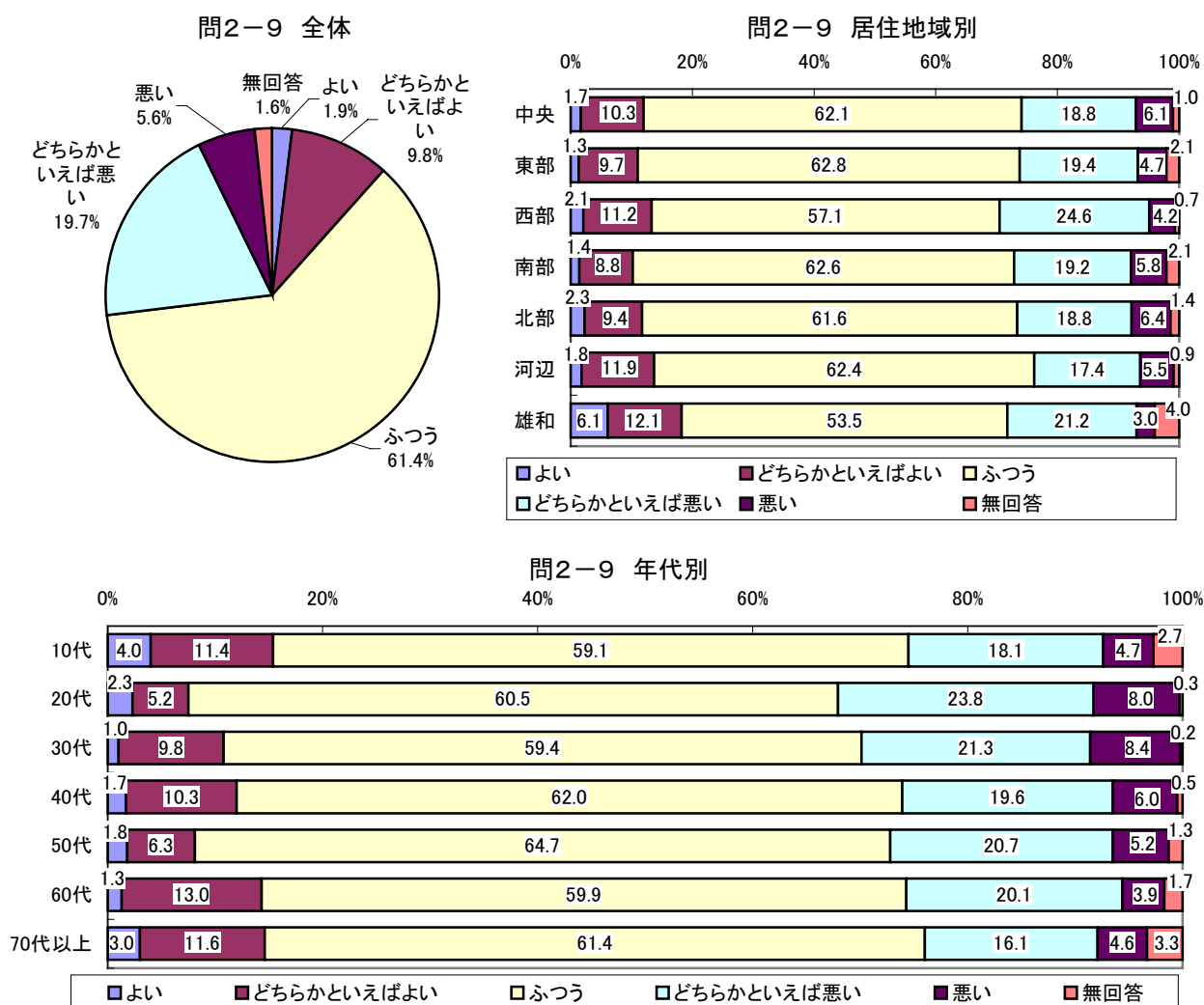
この設問では、防犯への取り組みに対する評価を聞いている。（集計表 P155 参照）

全体集計では、「よい」1.9%、「どちらかといえばよい」9.8%、「ふつう」61.4%、「どちらかといえば悪い」19.7%、「悪い」5.6%となった。良いという回答の合計11.7%に対し、悪いという回答の合計は25.3%であり、防犯への取り組みについては評価が低い。

男女別集計では、良いという回答の割合が「男性」14.5%、「女性」9.8%となっている。

年代別集計では、良いという回答が「20代」7.5%、「50代」8.1%と少ない。また、悪いという回答は「20代」31.8%、「30代」29.7%と多い。

居住地域別集計では、良いという回答が「雄和」18.2%と多い。また、悪いという回答は「西部」28.8%と多い。



問2-10（バス、電車などの利用しやすさは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（バス、電車などの利用しやすさは）についてどのように感じていますか。

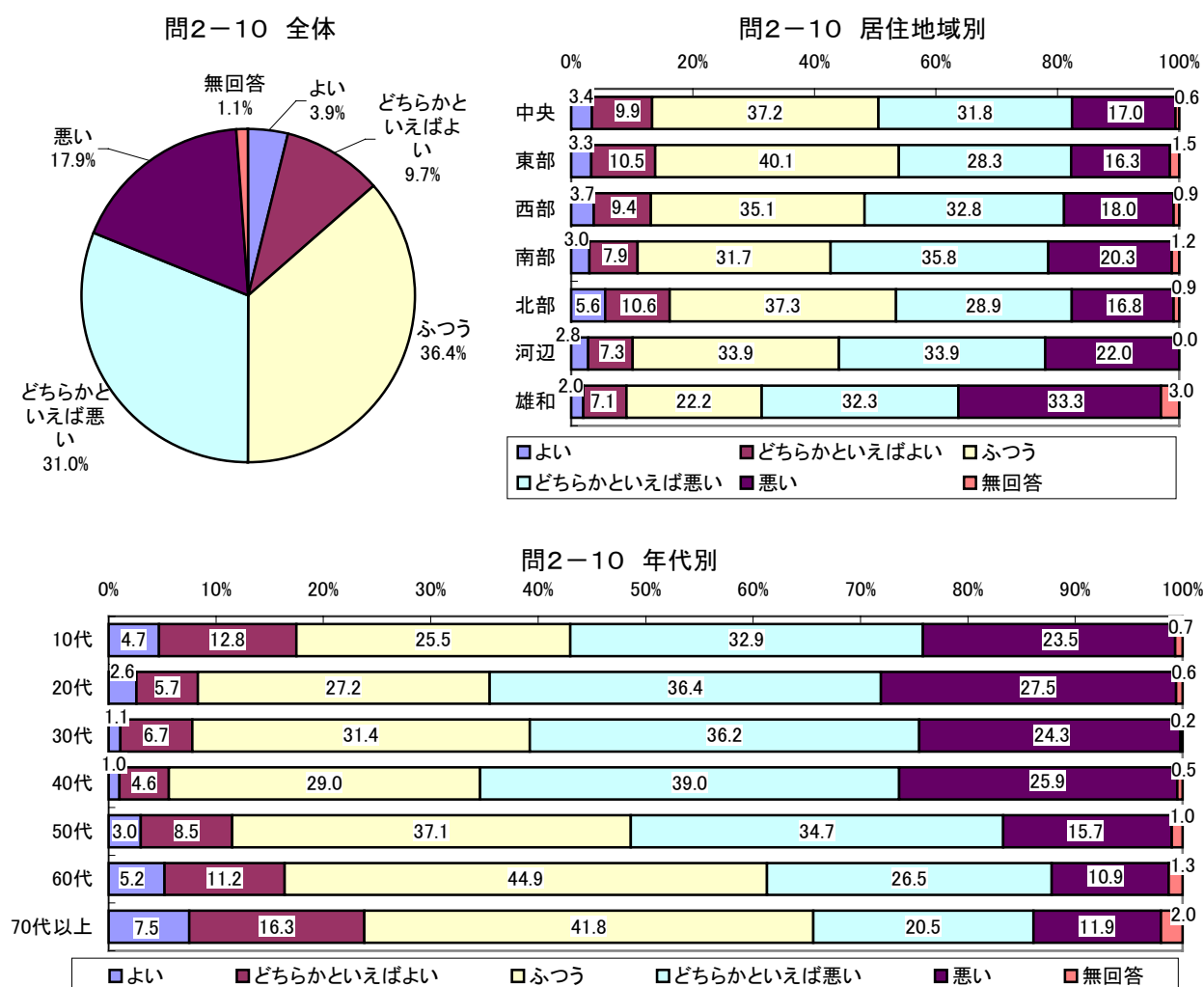
- 1 よい                                      2 どちらかといえばよい                                      3 ふつう  
4 どちらかといえば悪い                                      5 悪い

この設問では、バス、電車などの利用のしやすさに対する評価を聞いている。（集計表 P156 参照）  
全体集計では、「よい」3.9%、「どちらかといえばよい」9.7%、「ふつう」36.4%、「どちらかといえば悪い」31.0%、「悪い」17.9%となった。良いという回答の合計 13.6%に対し、悪いという回答の合計は 48.9%であり、バス、電車の利用のしやすさについては非常に評価が低い。

男女別集計では、悪いという回答の割合が「男性」46.8%、「女性」50.5%となっている。

年代別集計では、良いという回答が「20代」8.3%、「30代」7.8%、「40代」5.6%と少ない。また、悪いという回答は「10代」56.4%、「20代」63.9%、「30代」60.5%、「40代」64.9%で他の年代に比べ多い。

居住地域別集計では、悪いという回答が「南部」56.1%、「河辺」55.9%、「雄和」65.6%と多い。



### 問2-11（冬の除雪については）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（冬の除雪については）についてどのように感じていますか。

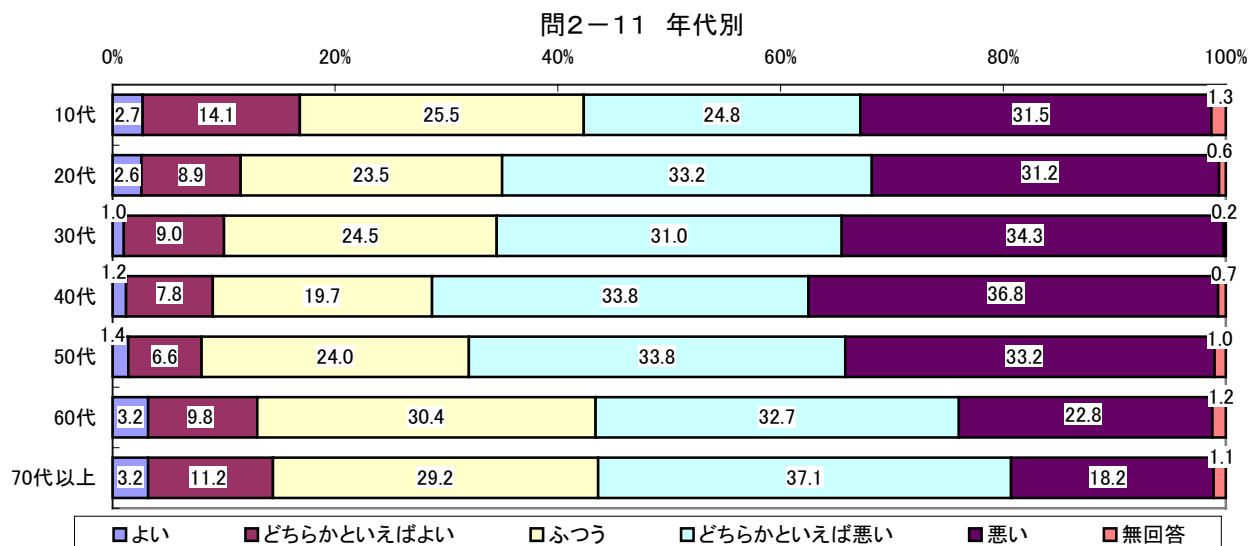
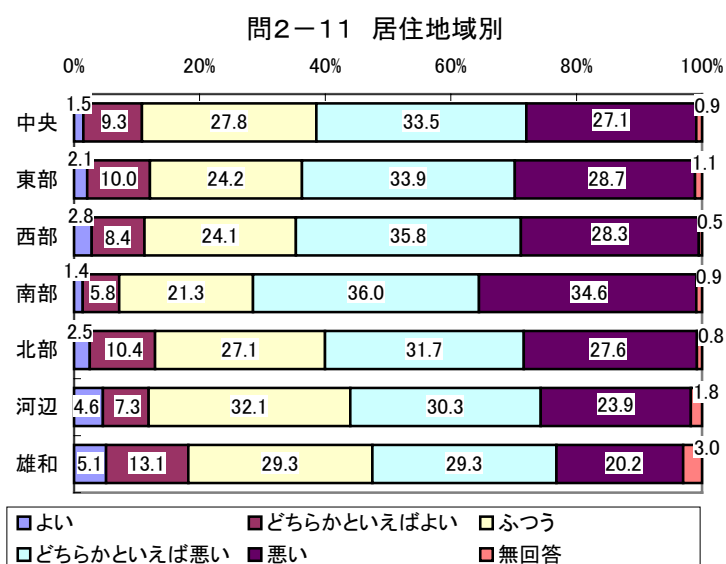
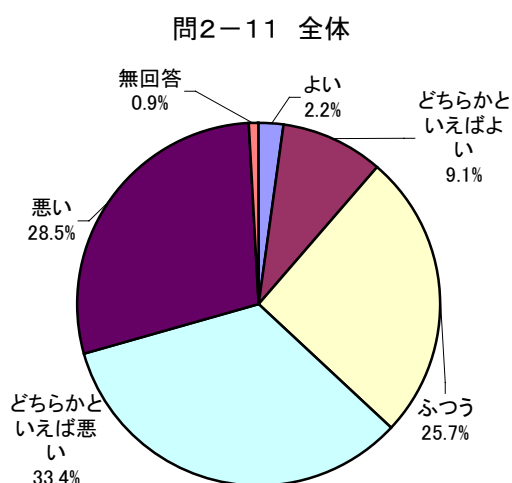
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、冬の除雪に対する評価を聞いている。（集計表 P156 参照）

全体集計では、「よい」2.2%、「どちらかといえばよい」9.1%、「ふつう」25.7%、「どちらかといえば悪い」33.4%、「悪い」28.5%となった。良いという回答の合計 11.3%に対し、悪いという回答の合計は 61.9%であり、冬の除雪については非常に評価が低い。

年代別集計では、悪いという回答がすべての年代で50%を超えており、特に「20代」64.4%、「30代」65.3%、「40代」70.6%、「50代」67.0%で多い。

居住地域別集計では、悪いという回答が「河辺」54.2%、「雄和」49.5%とやや少ない一方、「南部」70.6%と多い。



# 問2-12（買い物のしやすさは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（買い物のしやすさは）についてどのように感じていますか。

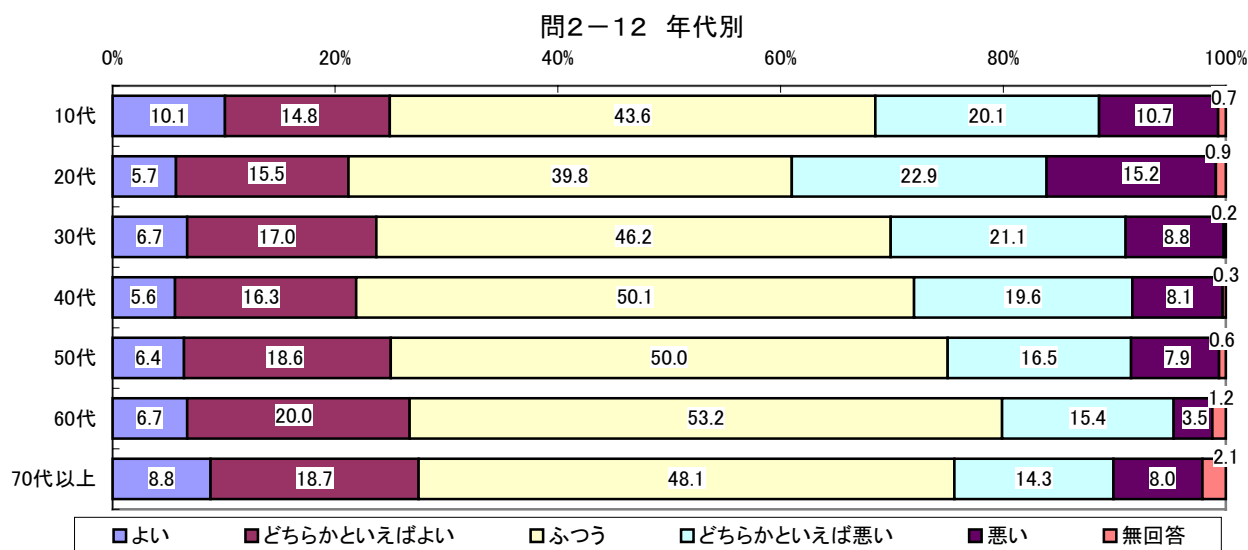
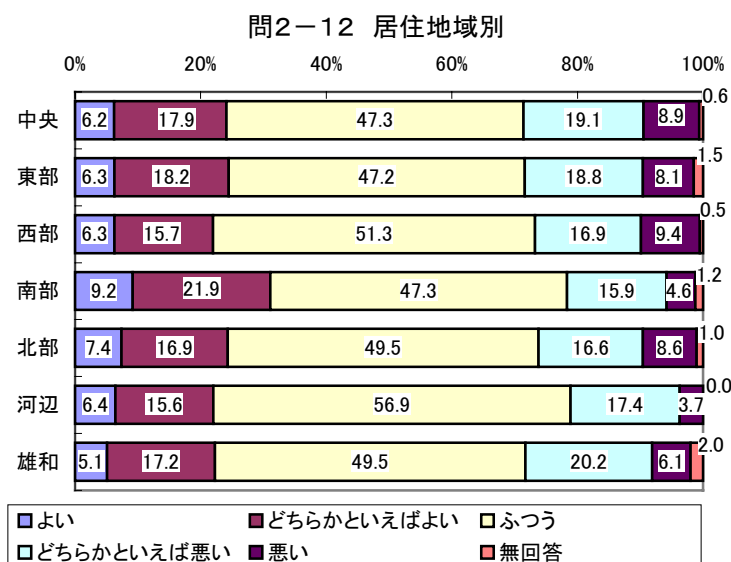
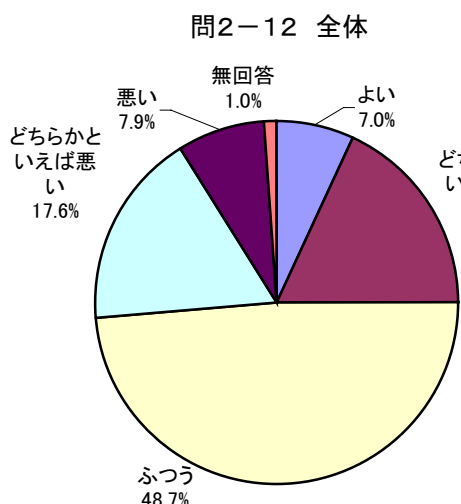
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、買い物のしやすさに対する評価を聞いている。（集計表 P157 参照）

全体集計では、「よい」7.0%、「どちらかといえばよい」17.9%、「ふつう」48.7%、「どちらかといえば悪い」17.6%、「悪い」7.9%となった。良いという回答の合計 24.9%に対し、悪いという回答の合計は 25.5%であり、買い物のしやすさについては評価が拮抗している。

年代別集計では、悪いという回答は「20代」38.1%で多い。また、良いという回答は年代が上がるにつれて多くなる傾向にある。

居住地域別集計では、良いという回答が「南部」31.1%と多い。



### 問2-13（食の安全・安心は）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（食の安全・安心は）についてどのように感じていますか。

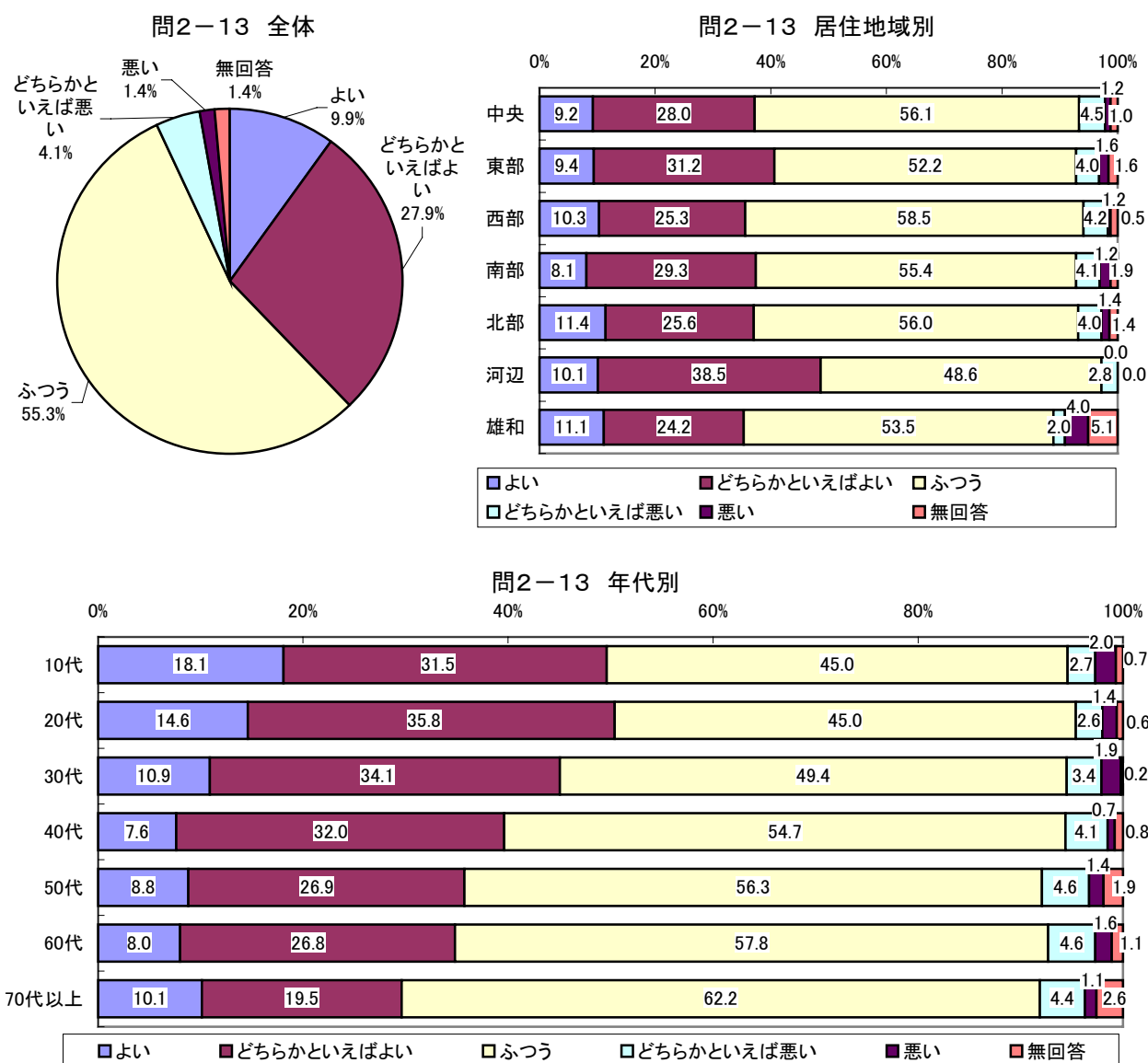
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、食の安全・安心に対する評価を聞いている。（集計表 P157 参照）

全体集計では、「よい」9.9%、「どちらかといえばよい」27.9%、「ふつう」55.3%、「どちらかといえば悪い」4.1%、「悪い」1.4%となった。良いという回答の合計37.8%に対し、悪いという回答の合計は5.5%であり、食の安全・安心については評価が高い。

年代別集計では、良いという回答が「10代」49.6%、「20代」50.4%と多く、年代が上がるにつれて、少なくなる傾向にある。

居住地域別集計では、良いという回答が「河辺」48.6%と多い。



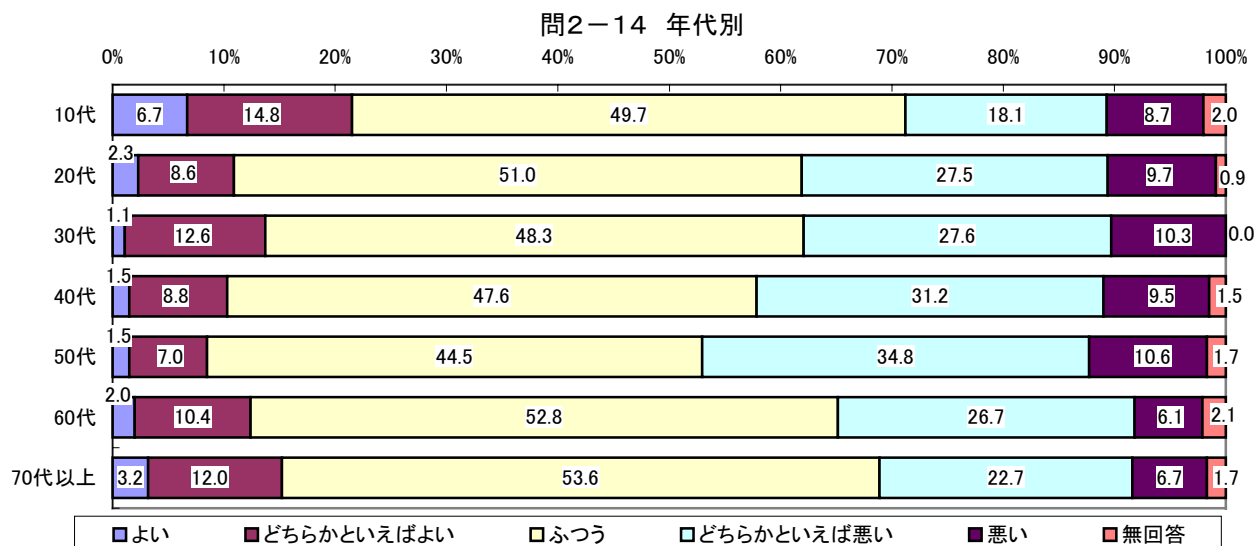
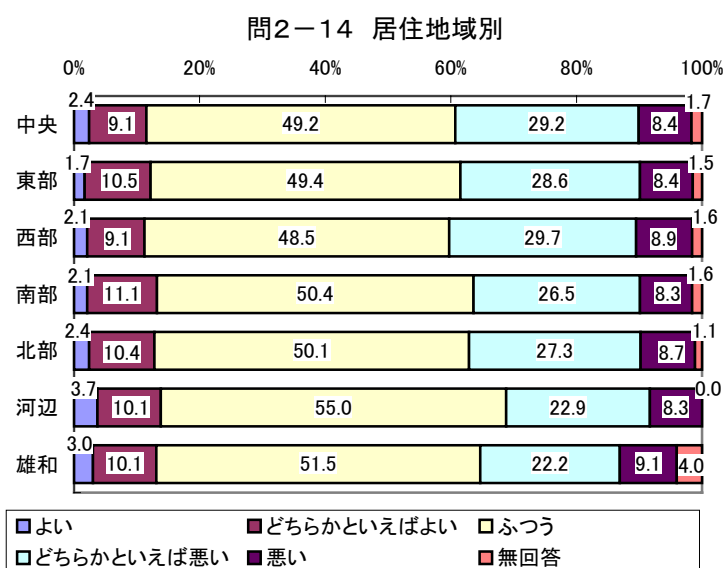
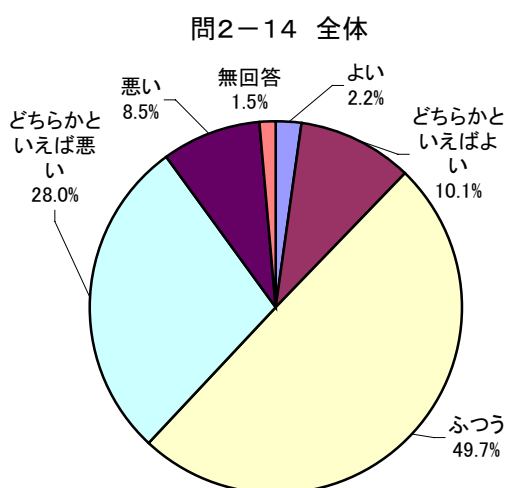
# 問2-14（高齢者・障害者の生活のしやすさは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（高齢者・障害者の生活のしやすさは）についてどのように感じていますか。

- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、高齢者・障害者の生活のしやすさに対する評価を聞いている。（集計表 P158 参照）  
 全体集計では、「よい」2.2%、「どちらかといえばよい」10.1%、「ふつう」49.7%、「どちらかといえば悪い」28.0%、「悪い」8.5%となった。良いという回答の合計 12.3%に対し、悪いという回答の合計は 36.5%である。

年代別集計では、良いという回答が「10代」21.5%と多い。悪いという回答では、「50代」までは年代が上がるにつれて多くなり、「60代」、「70代以上」は少なくなる。



### 問2-15（子どもの育てやすさは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（子どもの育てやすさは）についてどのように感じていますか。

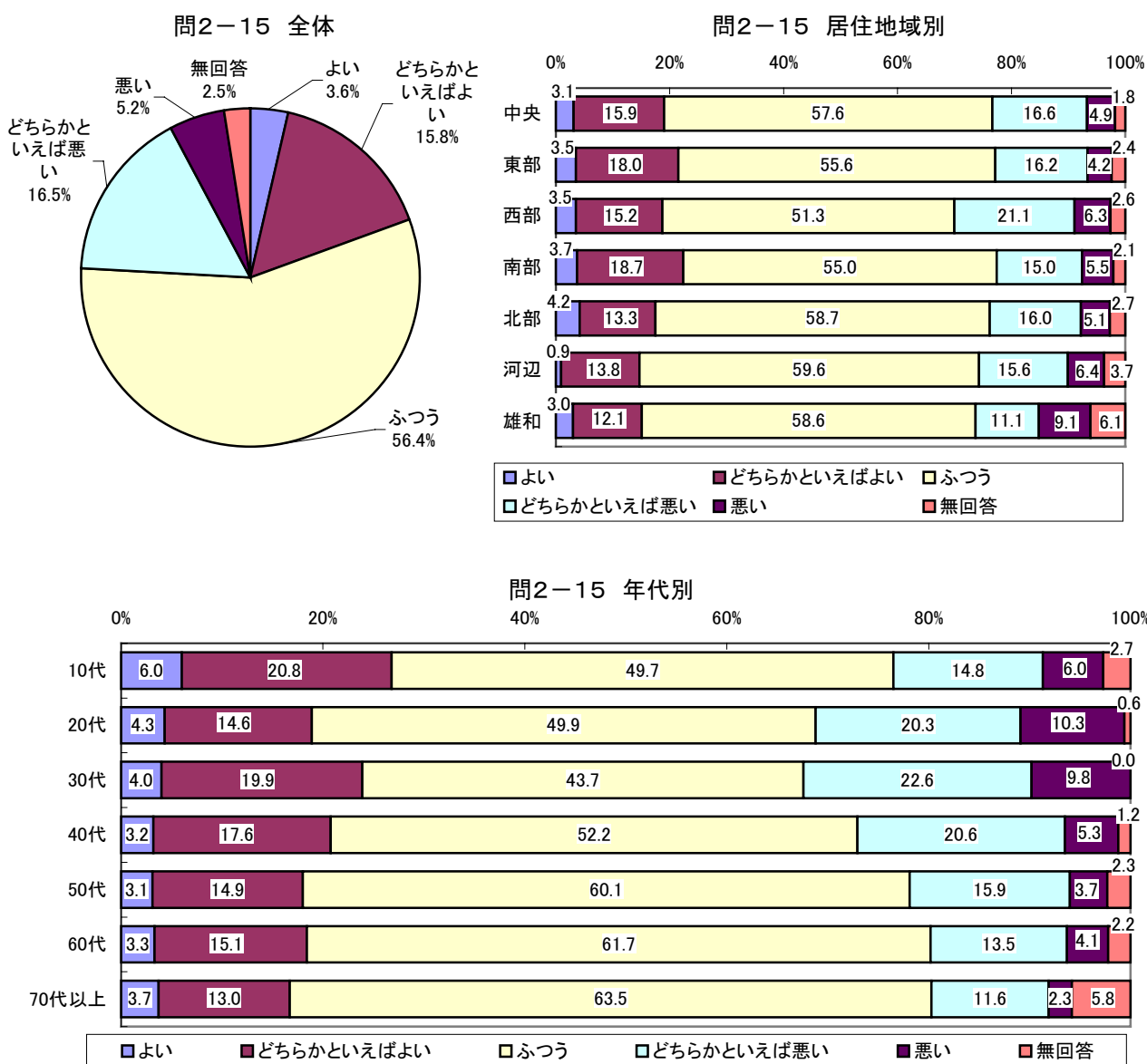
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、子どもの育てやすさに対する評価を聞いている。（集計表 P158 参照）

全体集計では、「よい」3.6%、「どちらかといえばよい」15.8%、「ふつう」56.4%、「どちらかといえば悪い」16.5%、「悪い」5.2%となった。良いという回答の合計19.4%に対し、悪いという回答の合計は21.7%であり、子どもの育てやすさについては評価が拮抗している。

年代別集計では、悪いという回答が「20代」30.6%、「30代」32.4%と多い。

居住地域別集計では、悪いという回答が「西部」27.4%と多い。



# 問2-16（病院などの医療機関の利用しやすさ）

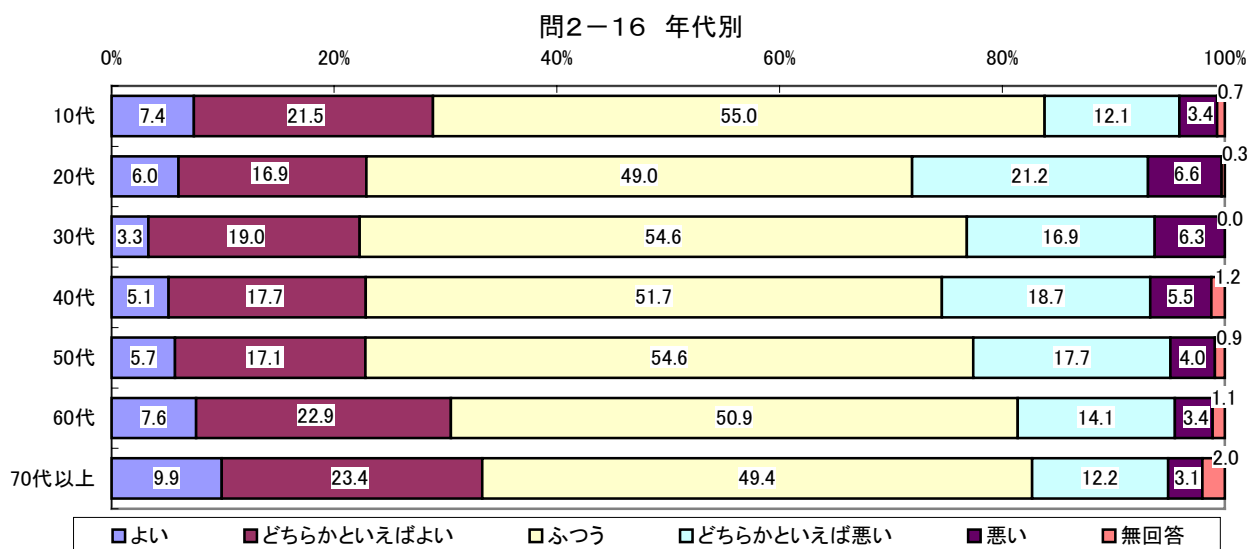
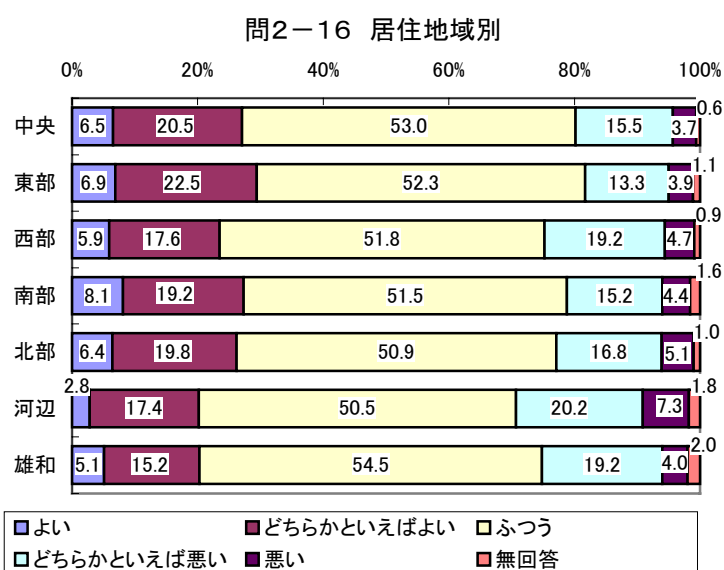
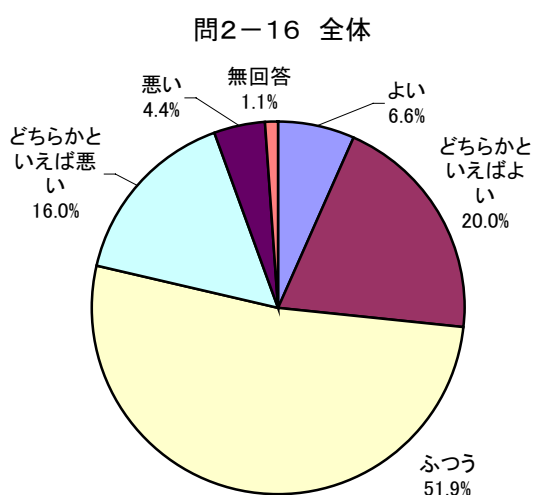
あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（病院などの医療機関の利用しやすさ）についてどのように感じていますか。

- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、病院など医療機関の利用しやすさに対する評価を聞いている。（集計表 P159 参照）  
 全体集計では、「よい」6.6%、「どちらかといえばよい」20.0%、「ふつう」51.9%、「どちらかといえば悪い」16.0%、「悪い」4.4%となった。良いという回答の合計26.6%に対し、悪いという回答の合計は20.4%であり、病院など医療機関の利用しやすさについては評価が若干高い。

年代別集計では、良いという回答が「10代」28.9%、「60代」30.5%、「70代以上」33.3%と多い。悪いという回答では「20代」が27.8%と多い。

居住地域別集計では、良いという回答が「東部」29.4%と多く、「河辺」20.2%、「雄和」20.3%と少ない。



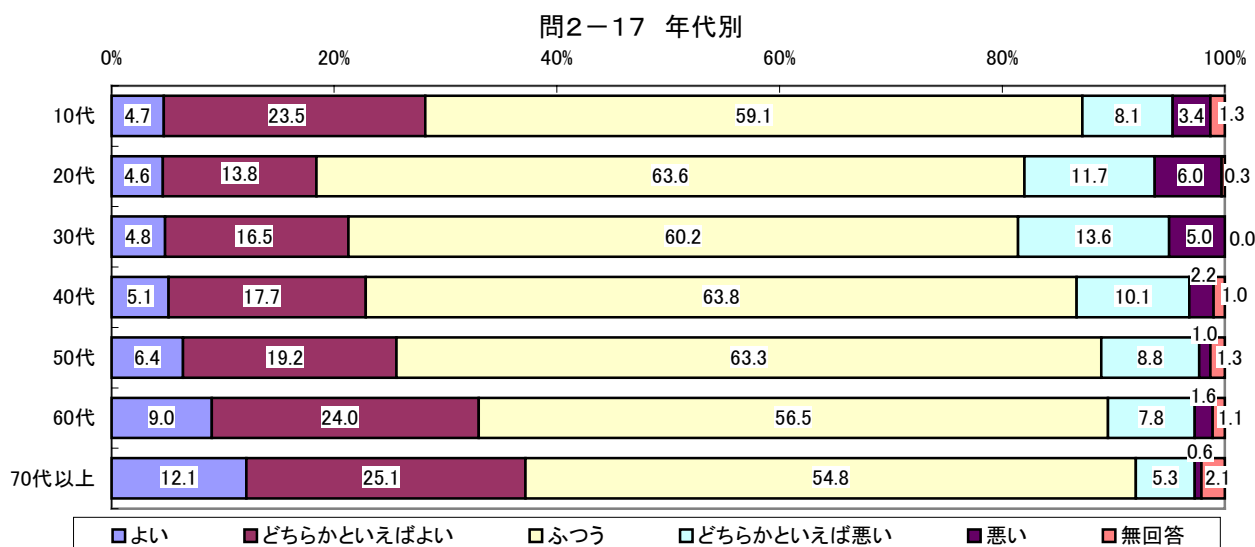
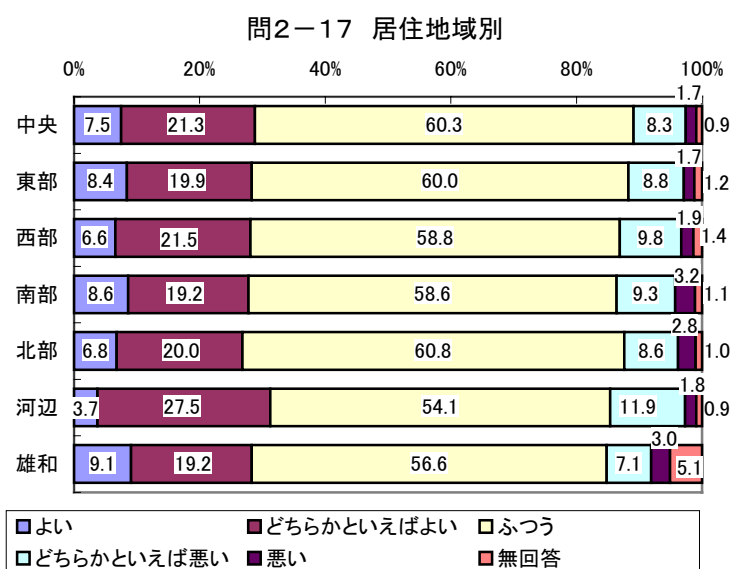
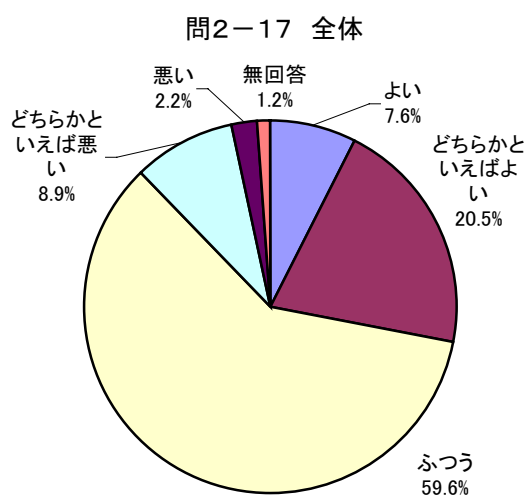
# 問2-17（健康診断や予防接種などの受けやすさは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（健康診断や予防接種などの受けやすさは）についてどのように感じていますか。

- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、健康診断や予防接種などの受けやすさに対する評価を聞いている。（集計表 P159 参照）  
 全体集計では、「よい」7.6%、「どちらかといえばよい」20.5%、「ふつう」59.6%、「どちらかといえば悪い」8.9%、「悪い」2.2%となった。良いという回答の合計 28.1%に対し、悪いという回答の合計は 11.1%であり、健康診断や予防接種などの受けやすさについては評価が高い。

年代別集計では、良いという回答が「20代」「30代」「40代」で 25%以下なのに対し、「10代」28.2%、「60代」33.0%、「70代以上」37.2%と多い。



問2-18（ごみの収集・処理やリサイクルへの取り組みは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（ごみの収集・処理やリサイクルへの取り組みは）についてどのように感じていますか。

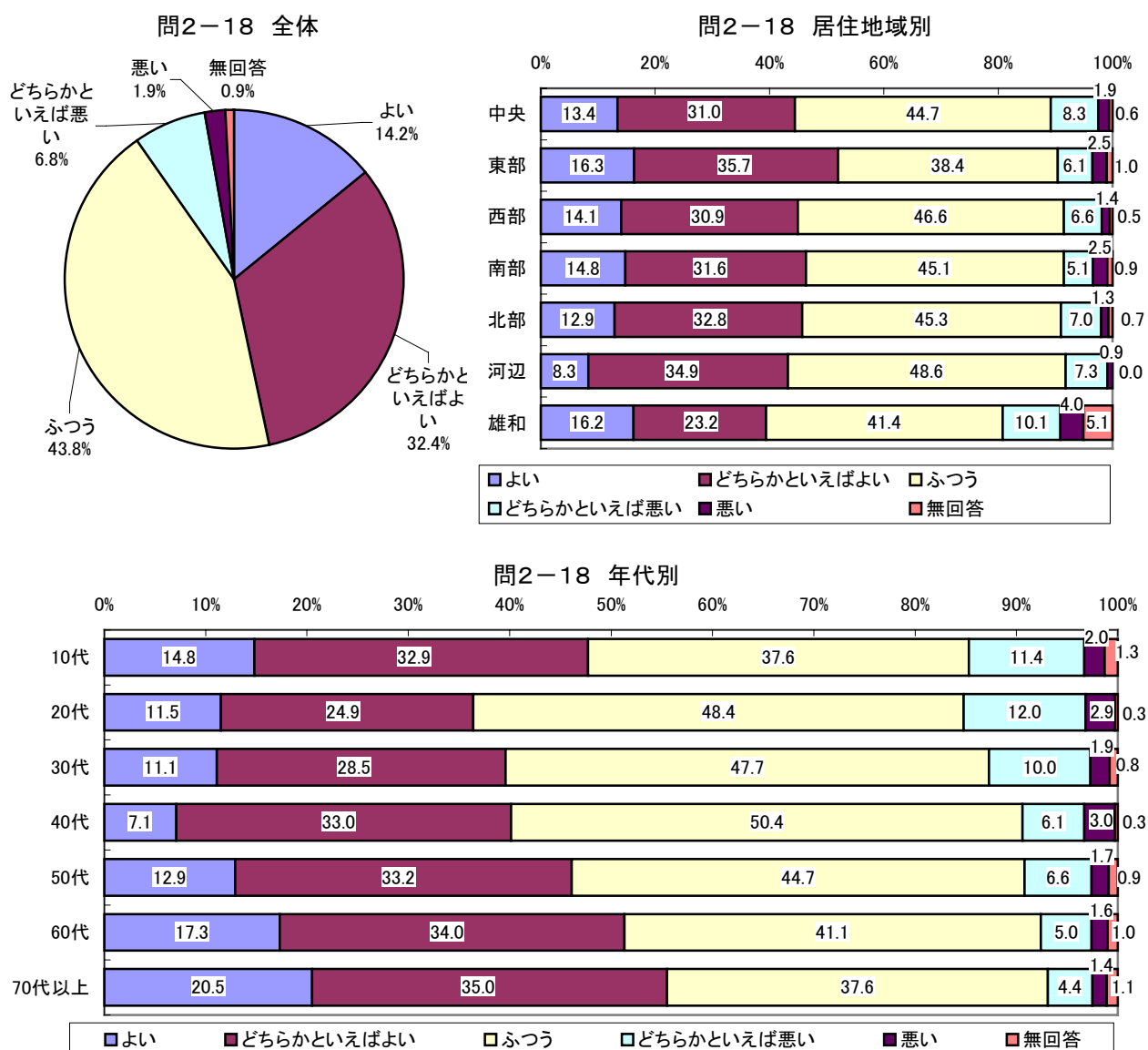
- 1 よい                      2 どちらかといえばよい                      3 ふつう  
4 どちらかといえば悪い                      5 悪い

この設問では、ごみの収集・処理やリサイクルへの取り組みに対する評価を聞いている。（集計表 P 160 参照）

全体集計では、「よい」14.2%、「どちらかといえばよい」32.4%、「ふつう」43.8%、「どちらかといえば悪い」6.8%、「悪い」1.9%となった。良いという回答の合計 46.6%に対し、悪いという回答の合計は 8.7%であり、ごみの収集・処理やリサイクルの取り組みについては非常に評価が高い。

年代別集計では、年代が上がるにつれて良いという回答が多くなる傾向にある。特に「60代」、「70代以上」では、良いという回答が半数以上を占める。

居住地域別集計では、良いという回答が「東部」52.0%と多く、「雄和」39.4%と少ない。



# 問2-19（環境保全への取り組みは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（環境保全への取り組みは）についてどのように感じていますか。

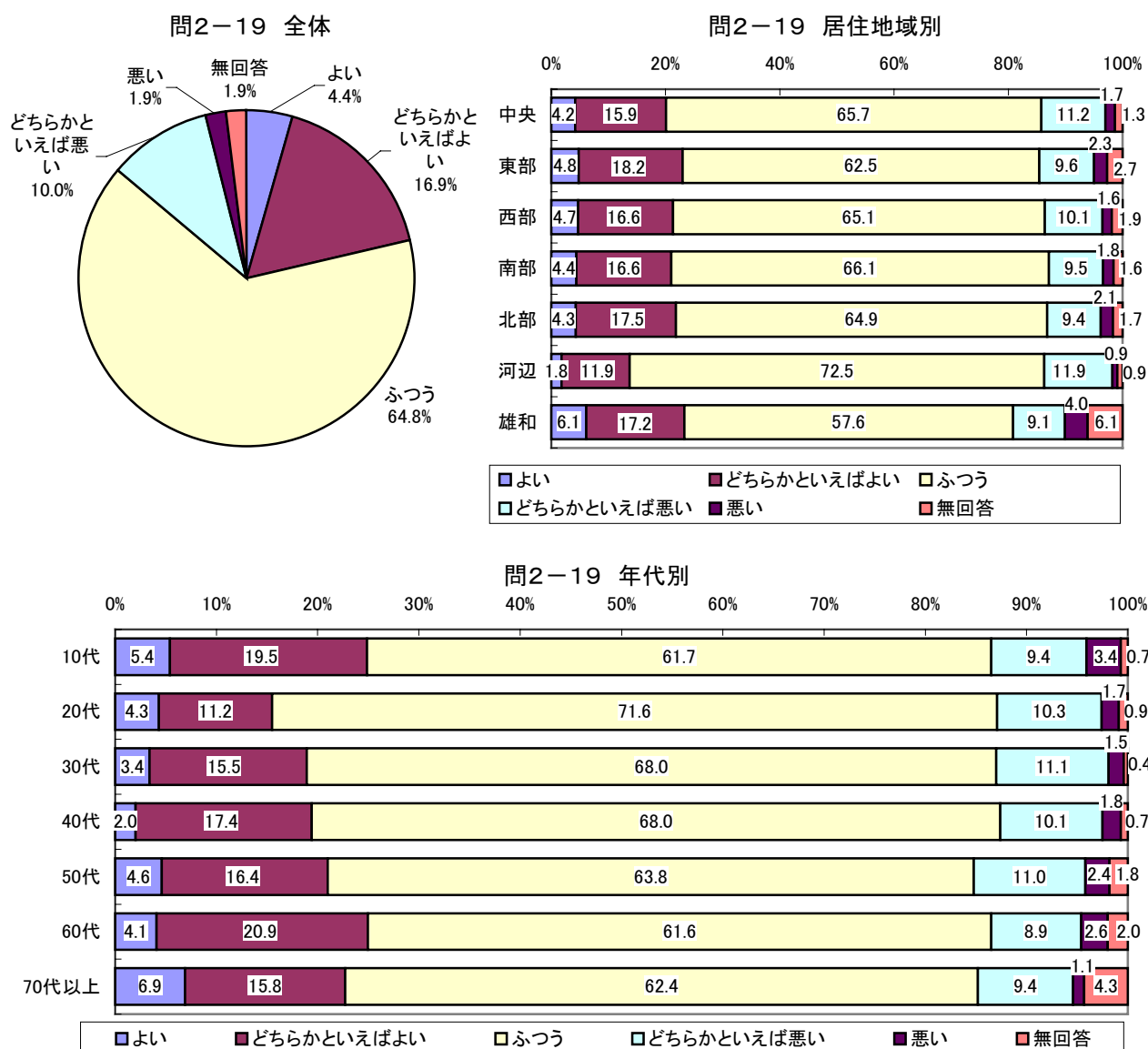
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、環境保全への取り組みに対する評価を聞いている。（集計表 P160 参照）

全体集計では、「よい」4.4%、「どちらかといえばよい」16.9%、「ふつう」64.8%、「どちらかといえば悪い」10.0%、「悪い」1.9%となった。良いという回答の合計21.3%に対し、悪いという回答の合計は11.9%であり、環境保全への取り組みについては評価が高い。

年代別集計では、良いという回答が「20代」15.5%と若干少ない。

居住地域別集計では、良いという回答が「河辺」13.7%と少ない。



# 問2-20（町内会など自治活動の状況は）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（町内会など自治活動の状況は）についてどのように感じていますか。

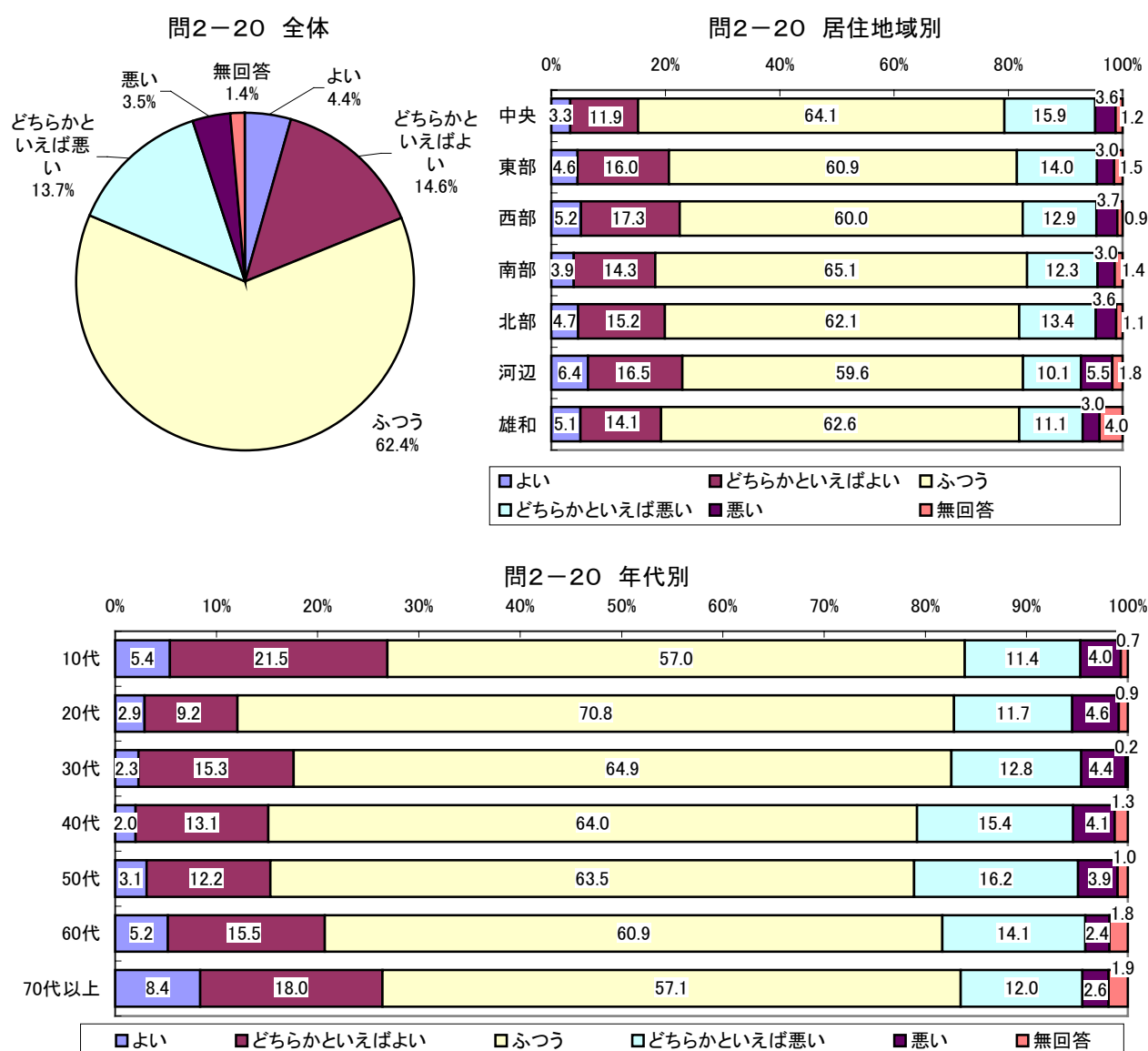
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、町内会など自治活動の状況に対する評価を聞いている。（集計表 P161 参照）

全体集計では、「よい」4.4%、「どちらかといえばよい」14.6%、「ふつう」62.4%、「どちらかといえば悪い」13.7%、「悪い」3.5%となった。良いという回答の合計19.0%に対し、悪いという回答の合計は17.2%であり、町内会など自治活動の状況については評価が拮抗している。

年代別集計では、良いという回答が「10代」26.9%、「70代以上」26.4%と多い。また、悪いという回答が「40代」19.5%、「50代」20.1%と若干多い。

居住地域別集計では、他の地域は良いという回答が悪いという回答を上回っているのに対し、「中央」では悪いという回答が19.5%と上回っている。



問2-21（NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさは）についてどのように感じていますか。

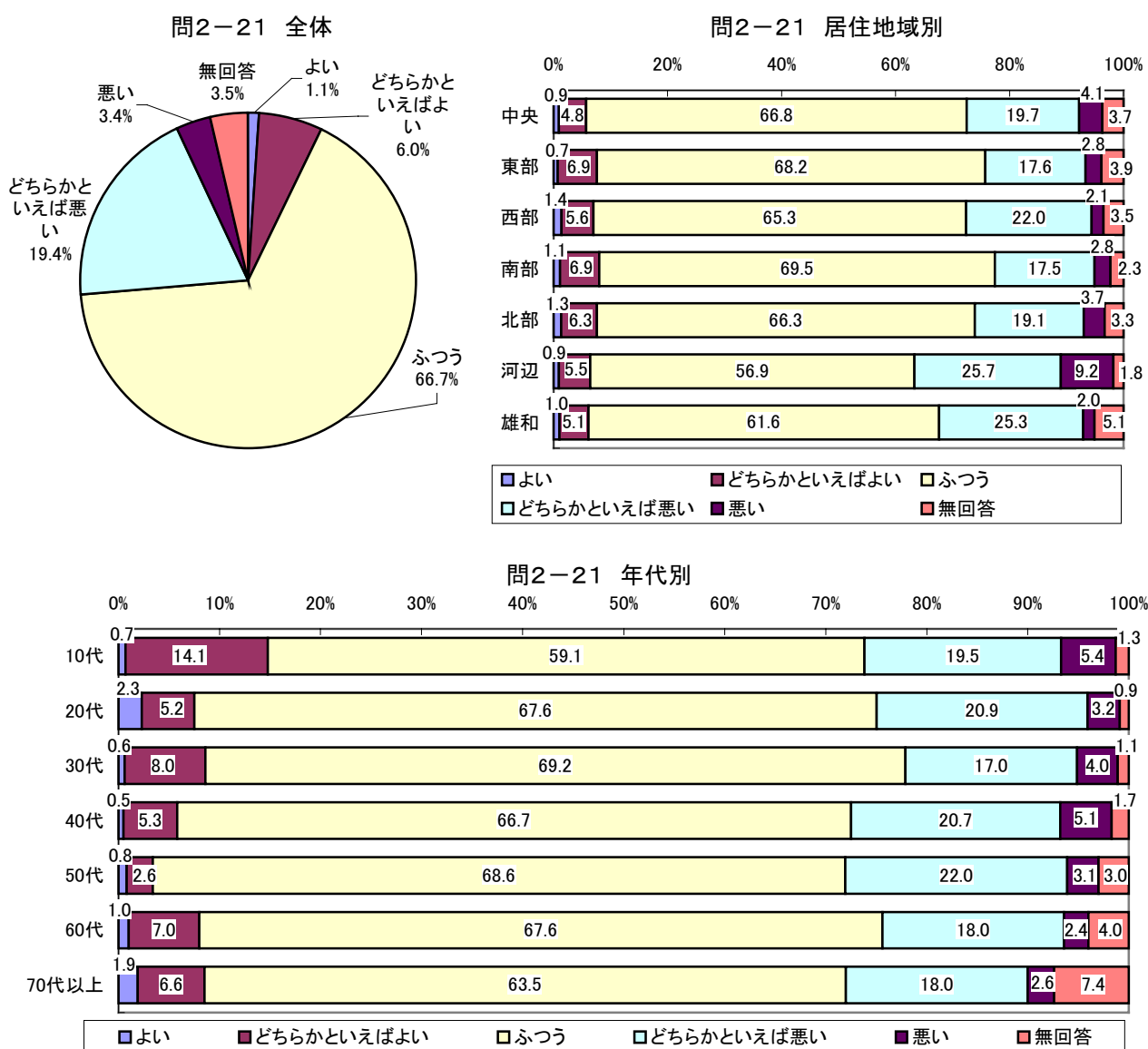
- 1 よい                                      2 どちらかといえばよい                      3 ふつう  
4 どちらかといえば悪い                  5 悪い

この設問では、NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさに対する評価を聞いている。（集計表P 161 参照）

全体集計では、「よい」1.1%、「どちらかといえばよい」6.0%、「ふつう」66.7%、「どちらかといえば悪い」19.4%、「悪い」3.4%となった。良いという回答の合計7.1%に対し、悪いという回答の合計は22.8%であり、NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさについては、評価が低い。

年代別集計では、良いという回答が「10代」14.8%と多い。悪いという回答では「40代」25.8%、「50代」25.1%と多い。

居住地域別集計では、悪いという回答が「河辺」34.9%、「雄和」27.3%と多い。



問2-22（レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさは）

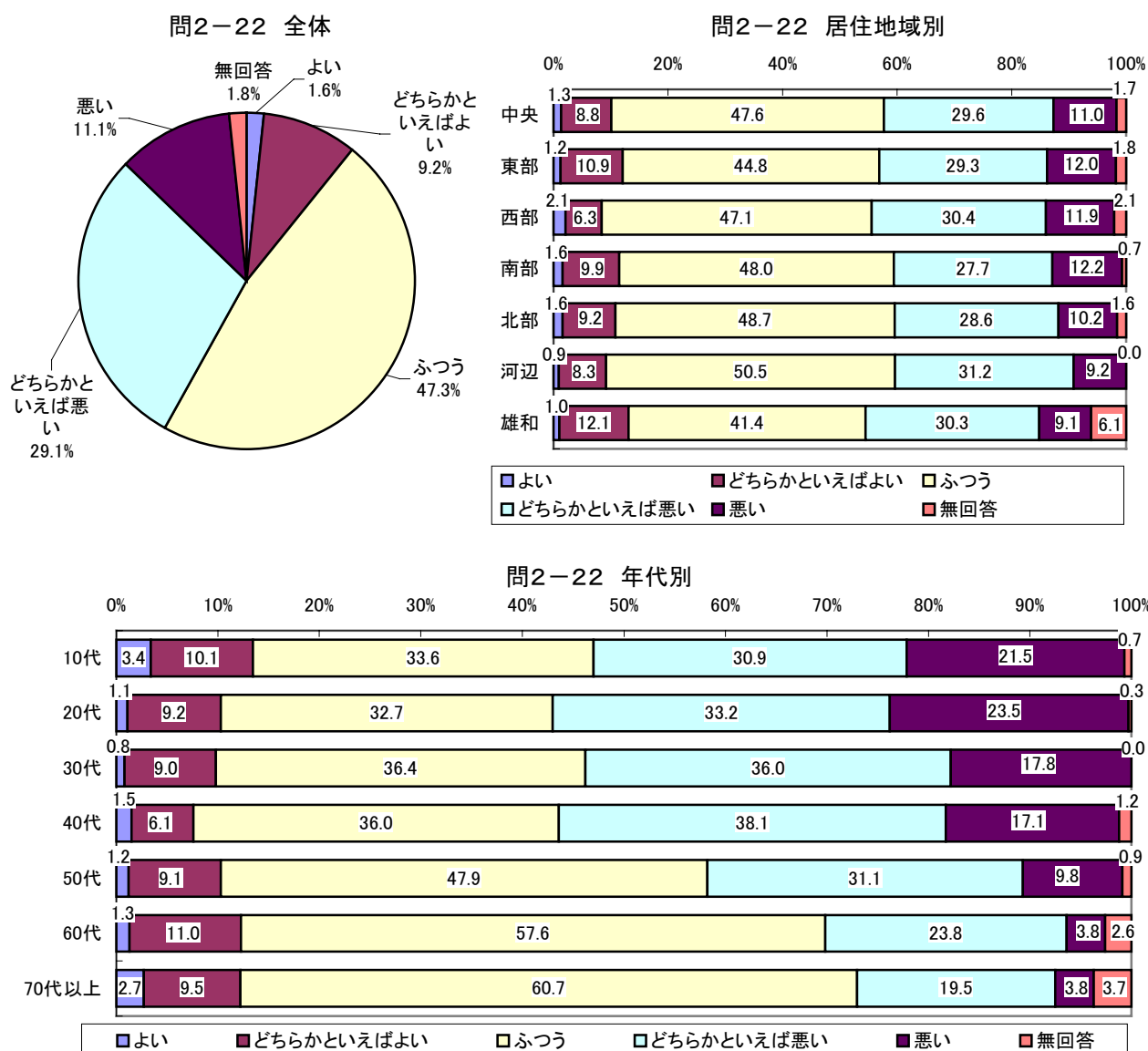
あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさは）についてどのように感じていますか。

- 1 よい                                      2 どちらかといえばよい                                      3 ふつう  
4 どちらかといえば悪い                                      5 悪い

この設問では、レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさに対する評価を聞いている。（集計表 P162 参照）

全体集計では、「よい」1.6%、「どちらかといえばよい」9.2%、「ふつう」47.3%、「どちらかといえば悪い」29.1%、「悪い」11.1%となった。良いという回答の合計 10.8%に対し、悪いという回答の合計は 40.2%であり、レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさについては、非常に評価が低い。

年代別集計では、悪いという回答が「10代」52.4%、「20代」56.7%、「30代」53.8%、「40代」55.2%と多い。



問2-23（各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさは）についてどのように感じていますか。

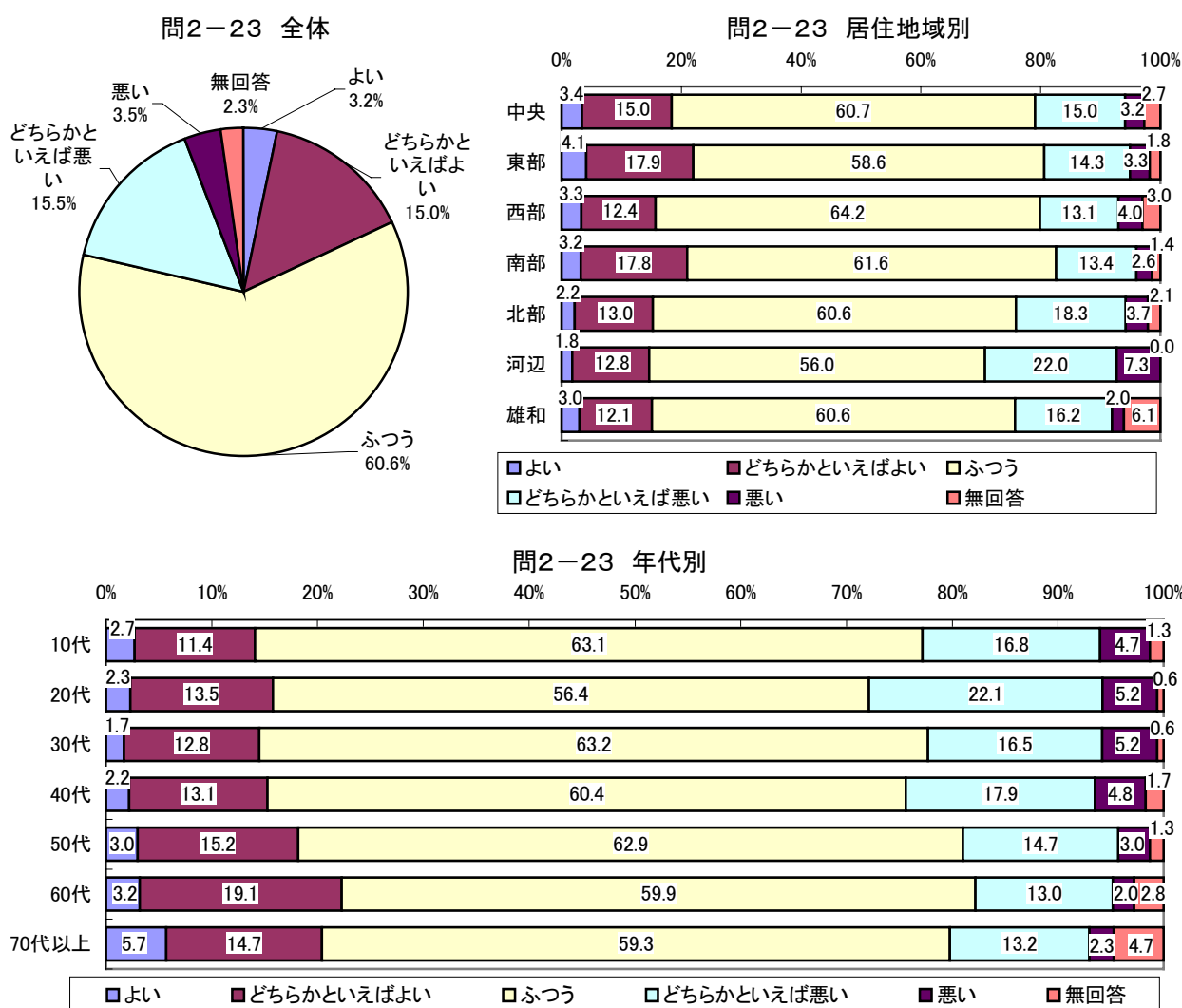
- 1 よい                                      2 どちらかといえばよい                      3 ふつう  
4 どちらかといえば悪い              5 悪い

この設問では、各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさに対する評価を聞いている。（集計表 P 162 参照）

全体集計では、「よい」3.2%、「どちらかといえばよい」15.0%、「ふつう」60.6%、「どちらかといえば悪い」15.5%、「悪い」3.5%となった。良いという回答の合計 18.2%に対し、悪いという回答の合計は 19.0%であり、各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさについては評価が拮抗している。

年代別集計では、良いという回答が「60代」22.3%、「70代以上」20.4%と多い一方、悪いという回答では「20代」27.3%と多い。

居住地域別集計では、良いという回答が「東部」22.0%、「南部」21.0%と多い一方、悪いという回答は「河辺」29.3%、「北部」22.0%と多い。



# 問2-24（スポーツ活動のしやすさは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（スポーツ活動のしやすさは）についてどのように感じていますか。

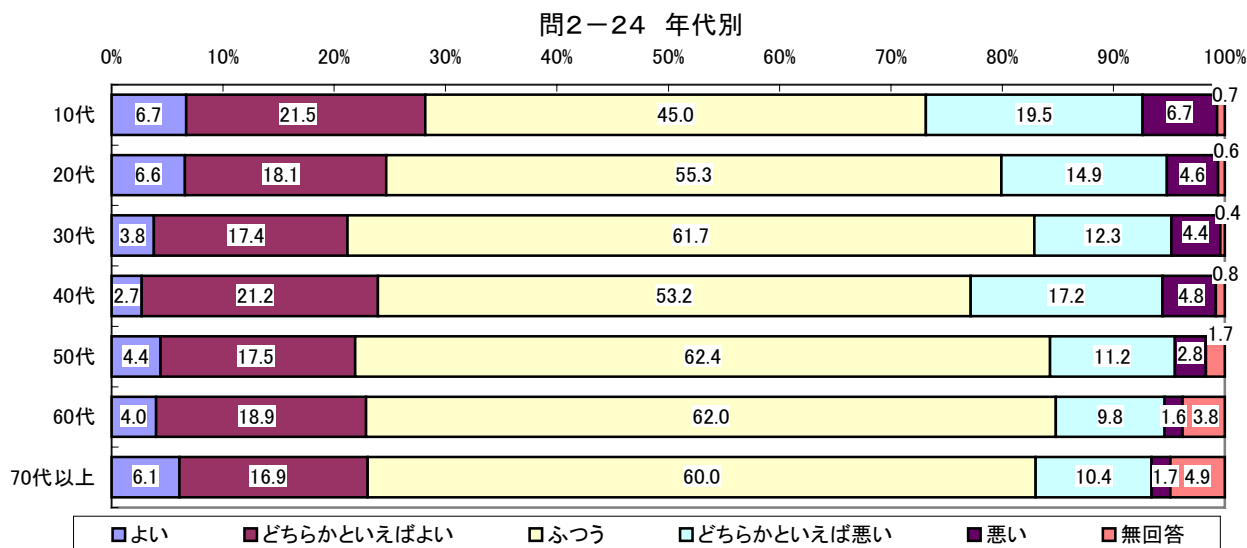
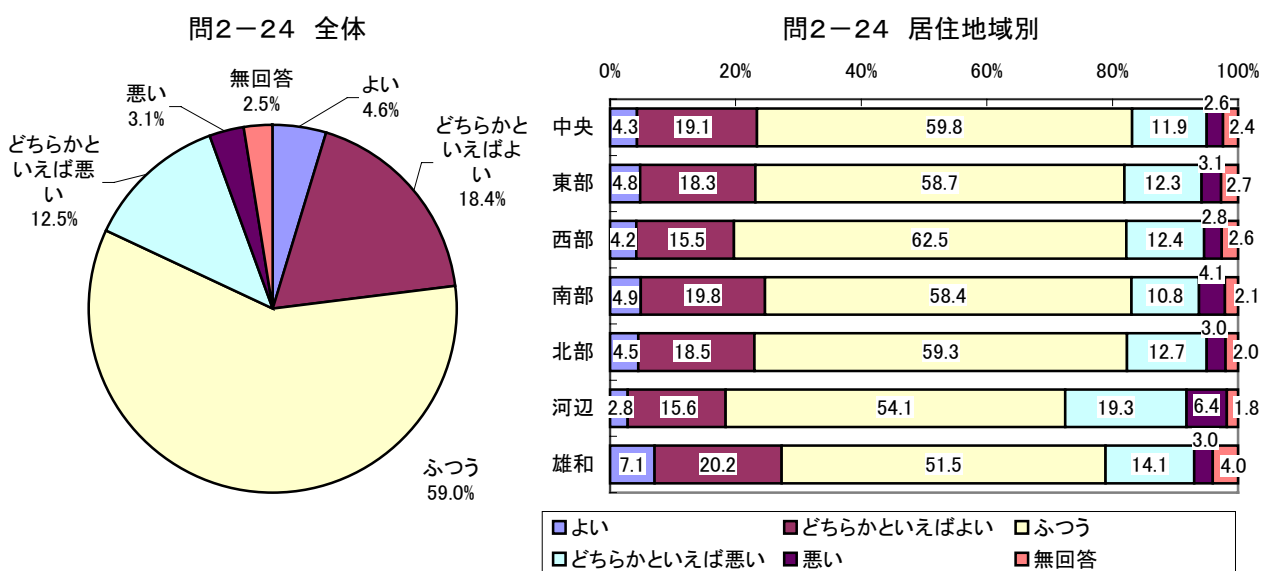
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、スポーツ活動のしやすさに対する評価を聞いている。（集計表 P163 参照）

全体集計では、「よい」4.6%、「どちらかといえばよい」18.4%、「ふつう」59.0%、「どちらかといえば悪い」12.5%、「悪い」3.1%となった。良いという回答の合計 23.0%に対し、悪いという回答の合計は 15.6%であり、スポーツ活動のしやすさについては、良い評価が若干上回っている。

年代別集計では、良いという回答が「10代」28.2%、「20代」24.7%、「40代」23.9%、悪いという回答が「10代」26.2%、「20代」19.5%、「40代」22.0%であり、良いという回答が多い年代で悪いという回答も多くなっている。

居住地域別集計では、良いという回答が「雄和」27.3%と多く、「河辺」18.4%と少ない。



# 問2-25（文化・芸術活動のしやすさは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（文化・芸術活動のしやすさは）についてどのように感じていますか。

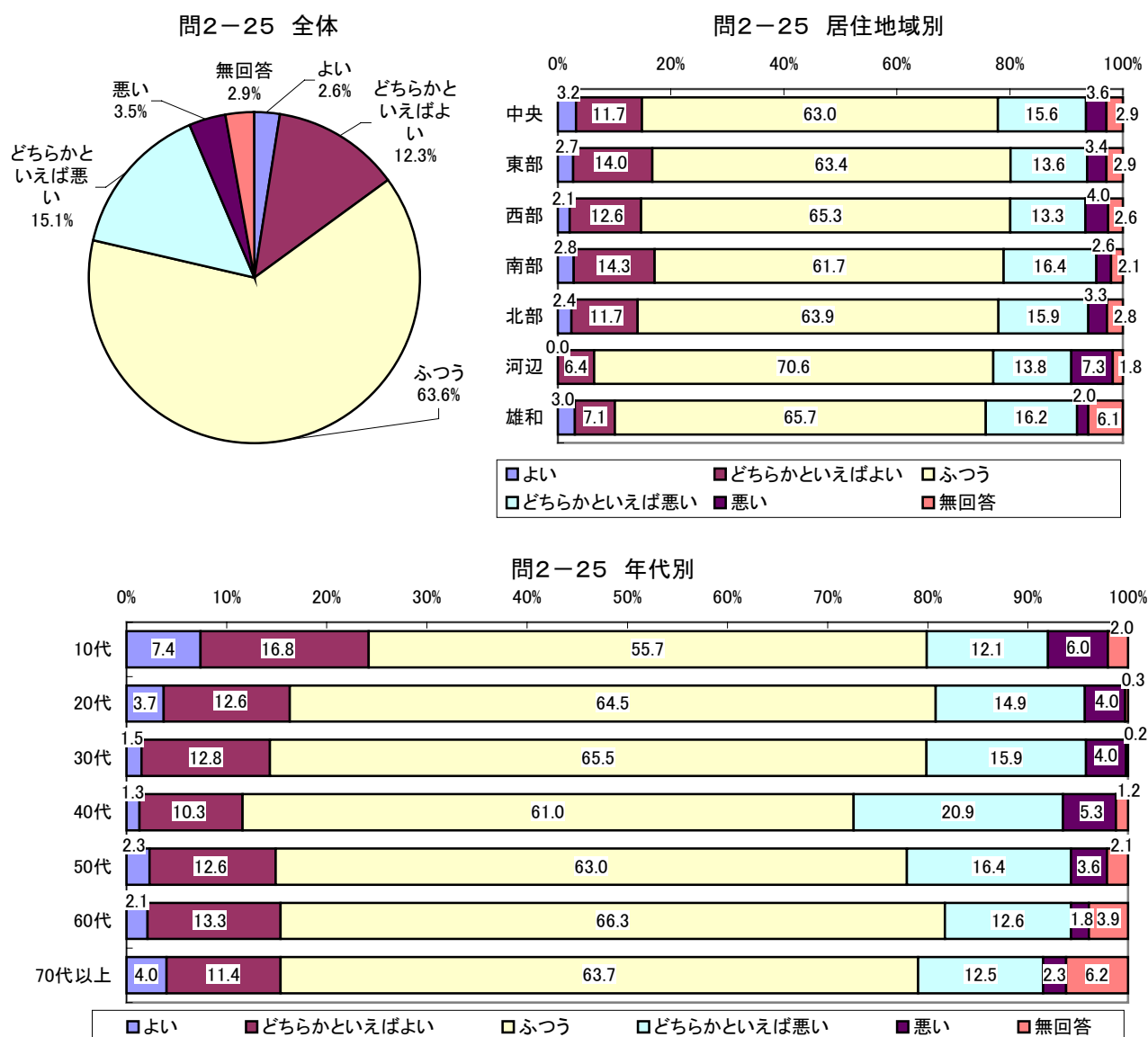
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、文化・芸術活動のしやすさに対する評価を聞いている。（集計表 P163 参照）

全体集計では、「よい」2.6%、「どちらかといえばよい」12.3%、「ふつう」63.6%、「どちらかといえば悪い」15.1%、「悪い」3.5%となった。良いという回答の合計 14.9%に対し、悪いという回答の合計は 18.6%であり、文化・芸術活動のしやすさについては、悪いという回答が若干上回っている。

年代別集計では、良いという回答が「10代」24.2%と多く、悪いという回答が「40代」26.2%と多い。

居住地域別集計では、良いという回答が「河辺」6.4%、「雄和」10.1%と他の地域に比べ少ない。



# 問2-26（女性の社会参加のしやすさは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（女性の社会参加のしやすさは）についてどのように感じていますか。

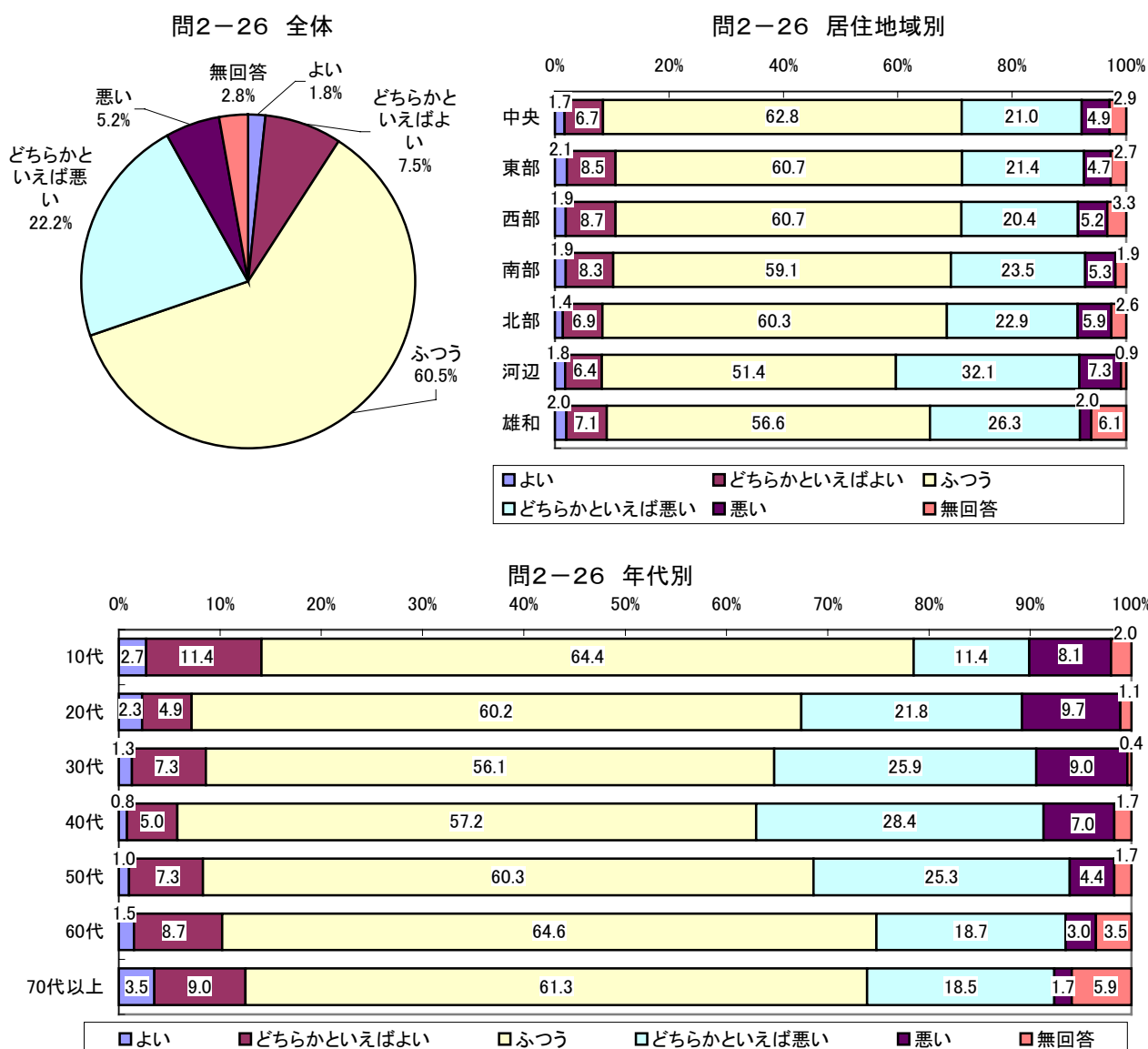
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、女性の社会参加のしやすさに対する評価を聞いている。（集計表 P164 参照）

全体集計では、「よい」1.8%、「どちらかといえばよい」7.5%、「ふつう」60.5%、「どちらかといえば悪い」22.2%、「悪い」5.2%となった。良いという回答の合計9.3%に対し、悪いという回答の合計27.4%であり、女性の社会参加のしやすさについては、悪い評価が大きく上回っている。

年代別集計では、悪いという回答が「20代」31.5%、「30代」34.9%、「40代」35.4%、「50代」29.7%と多い。

居住地域別集計では、悪いという回答が「河辺」39.4%と他の地域に比べ多い。



# 問2-27（市民の市政参加のしやすさは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（市民の市政参加のしやすさは）についてどのように感じていますか。

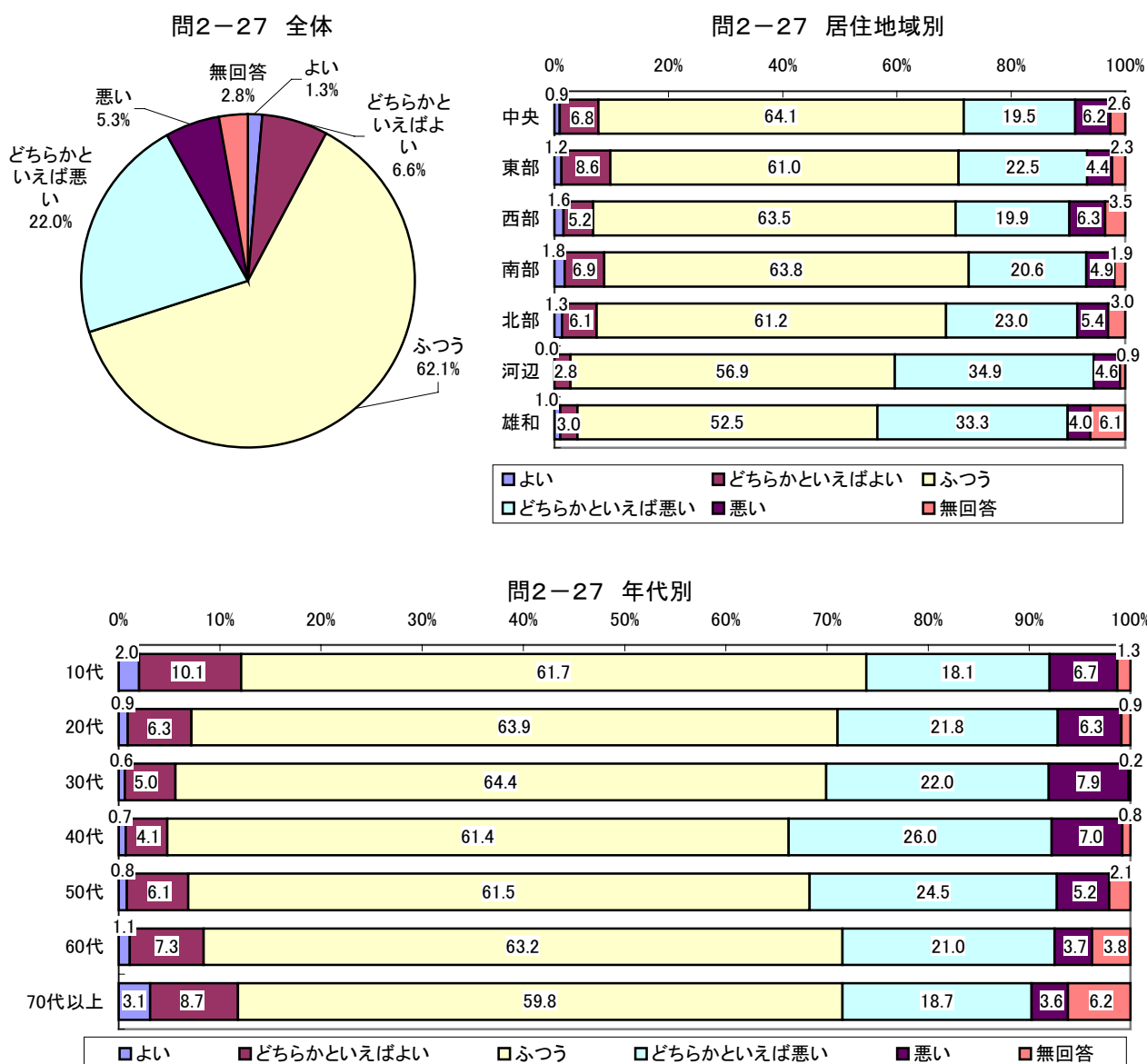
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、市民の市政参加のしやすさに対する評価を聞いている。（集計表 P164 参照）

全体集計では、「よい」1.3%、「どちらかといえばよい」6.6%、「ふつう」62.1%、「どちらかといえば悪い」22.0%、「悪い」5.3%となった。良いという回答の合計7.9%に対し、悪いという回答の合計は27.3%であり、市民の市政参加のしやすさについては、評価が低い。

年代別集計では、悪いという回答が「20代」28.1%、「30代」29.9%、「40代」33.0%、「50代」29.7%と多い。

居住地域別集計では、悪いという回答が「河辺」39.5%、「雄和」37.3%と多い。



# 問2-28（市役所の窓口サービスは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（市役所の窓口サービスは）についてどのように感じていますか。

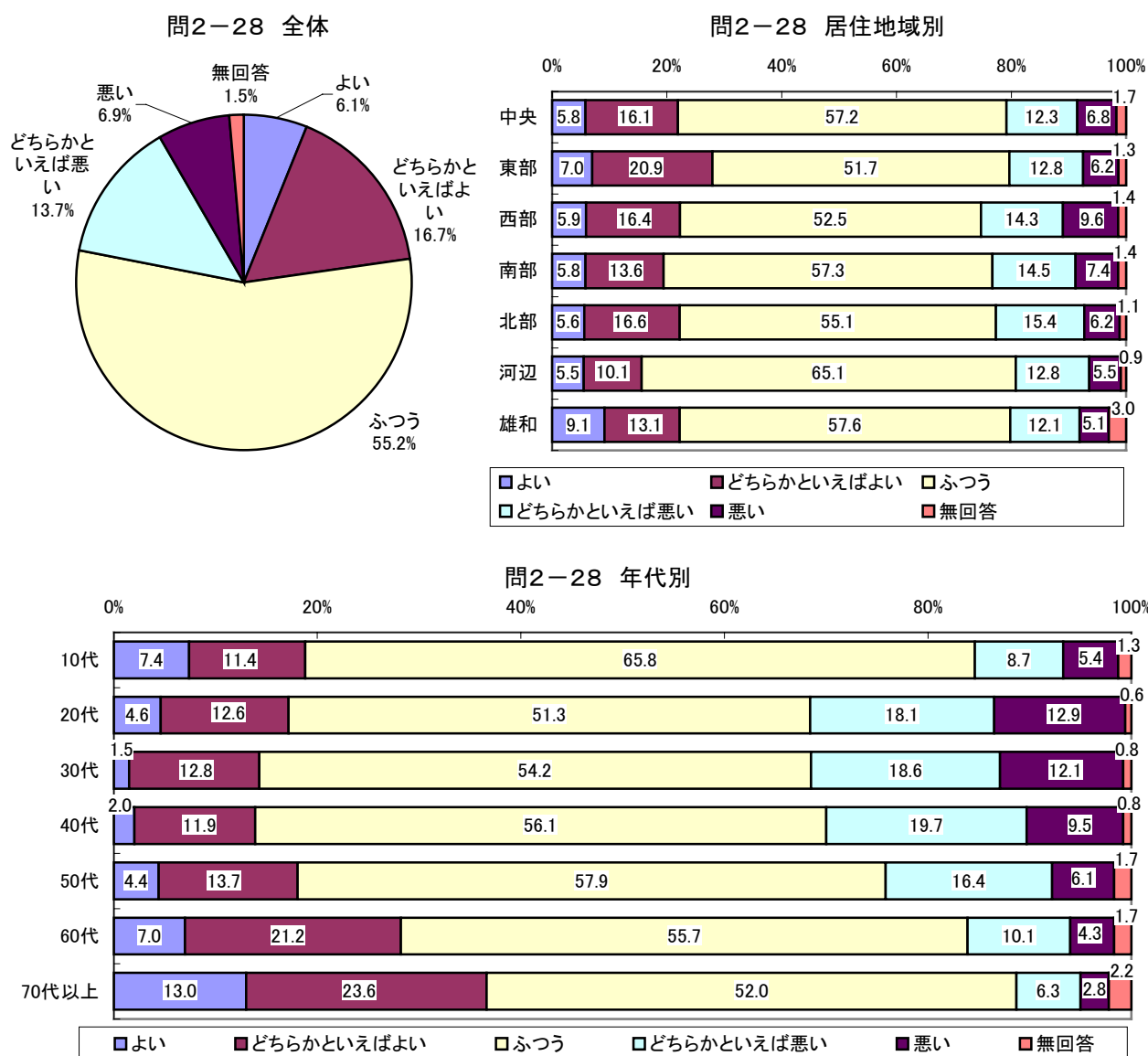
- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、市役所の窓口サービスに対する評価を聞いている。（集計表 P165 参照）

全体集計では、「よい」6.1%、「どちらかといえばよい」16.7%、「ふつう」55.2%、「どちらかといえば悪い」13.7%、「悪い」6.9%となった。良いという回答の合計22.8%に対し、悪いという回答の合計は20.6%であり、市役所の窓口サービスについては、評価が拮抗している。

年代別集計では、良いという回答が「60代」28.2%、「70代以上」36.6%と多く、悪いという回答では「20代」31.0%、「30代」30.7%、「40代」29.2%と多い。

居住地域別集計では、良いという回答が「東部」27.9%と多く、悪いという回答では「西部」23.9%と多い。



# 問2-29（広報あきたなど市政情報の得やすさは）

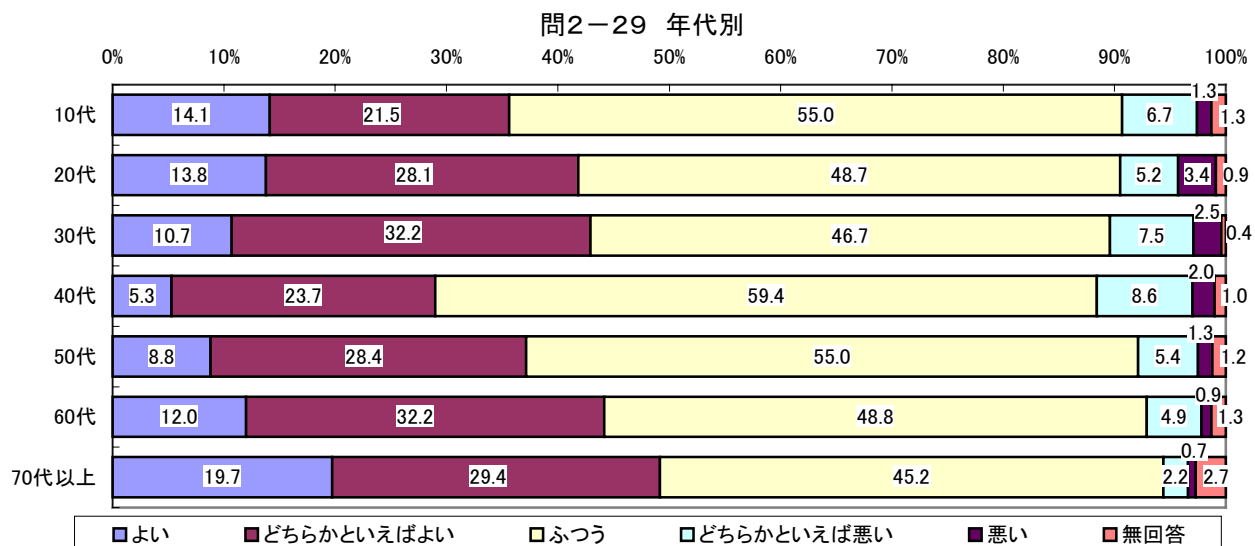
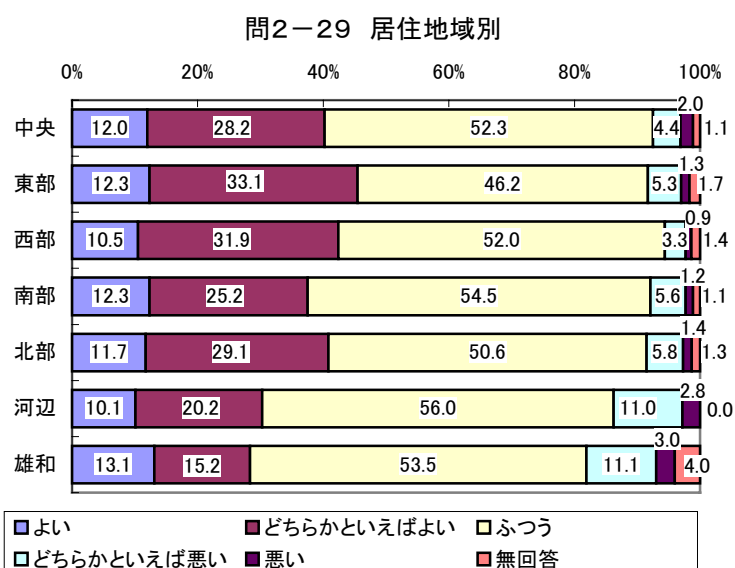
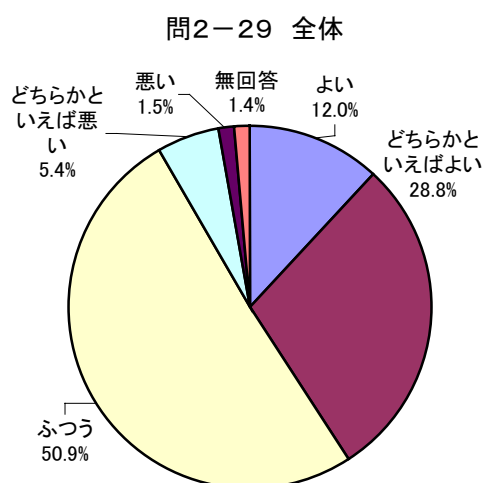
あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（広報あきたなど市政情報の得やすさは）についてどのように感じていますか。

- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 よい         | 2 どちらかといえばよい | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

この設問では、広報あきたなど市政情報の得やすさに対する評価を聞いている。（集計表 P165 参照）  
 全体集計では、「よい」12.0%、「どちらかといえばよい」28.8%、「ふつう」50.9%、「どちらかといえ  
 ば悪い」5.4%、「悪い」1.5%となった。良いという回答の合計 40.8%に対し、悪いという回答の合計は  
 6.9%であり、広報あきたなど市政情報の得やすさについては、非常に評価が高い。

年代別集計では、良いという回答が「20代」41.9%、「30代」42.9%、「60代」44.2%、「70代以上」49.1%  
 と多い。

居住地域別集計では、良いという回答が「河辺」30.3%、「雄和」28.3%と、他の地域に比べ少ない。

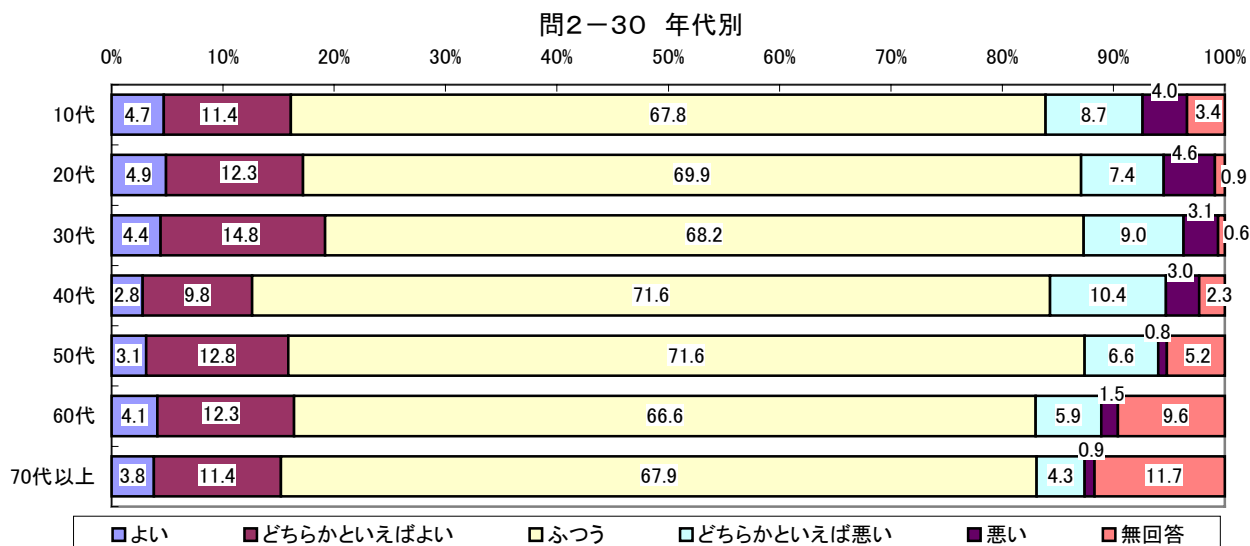
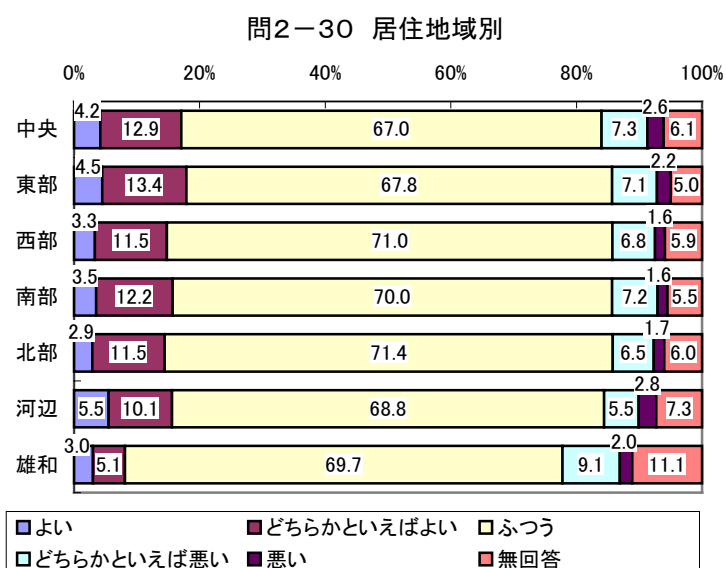
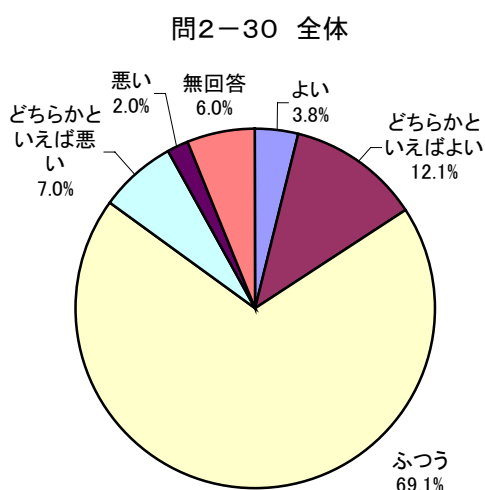


問2-30（ホームページを使った市民サービスは）

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（ホームページを使った市民サービスは）についてどのように感じていますか。

- 1 よい                                      2 どちらかといえばよい                      3 ふつう  
4 どちらかといえば悪い                      5 悪い

この設問では、ホームページを使った市民サービスに対する評価を聞いている。（集計表 P166 参照）  
 全体集計では、「よい」3.8%、「どちらかといえばよい」12.1%、「ふつう」69.1%、「どちらかといえば悪い」7.0%、「悪い」2.0%となった。良いという回答の合計15.9%に対し、悪いという回答の合計は9.0%であり、ホームページを使った市民サービスについては、若干評価が高い。  
 年代別集計では、無回答が「60代」9.6%、「70代以上」11.7%と多い。  
 居住地域別集計では、良いという回答が「雄和」8.1%と少ない。



## 第2節 秋田市の施策について

### 1 力を入れて欲しい施策（問3①）

#### 問3①（力を入れて欲しい施策）

秋田市が行っていることの中で、あなたはどのような面に力を入れて欲しいと思いますか。次の中から5つまで選んで下さい。

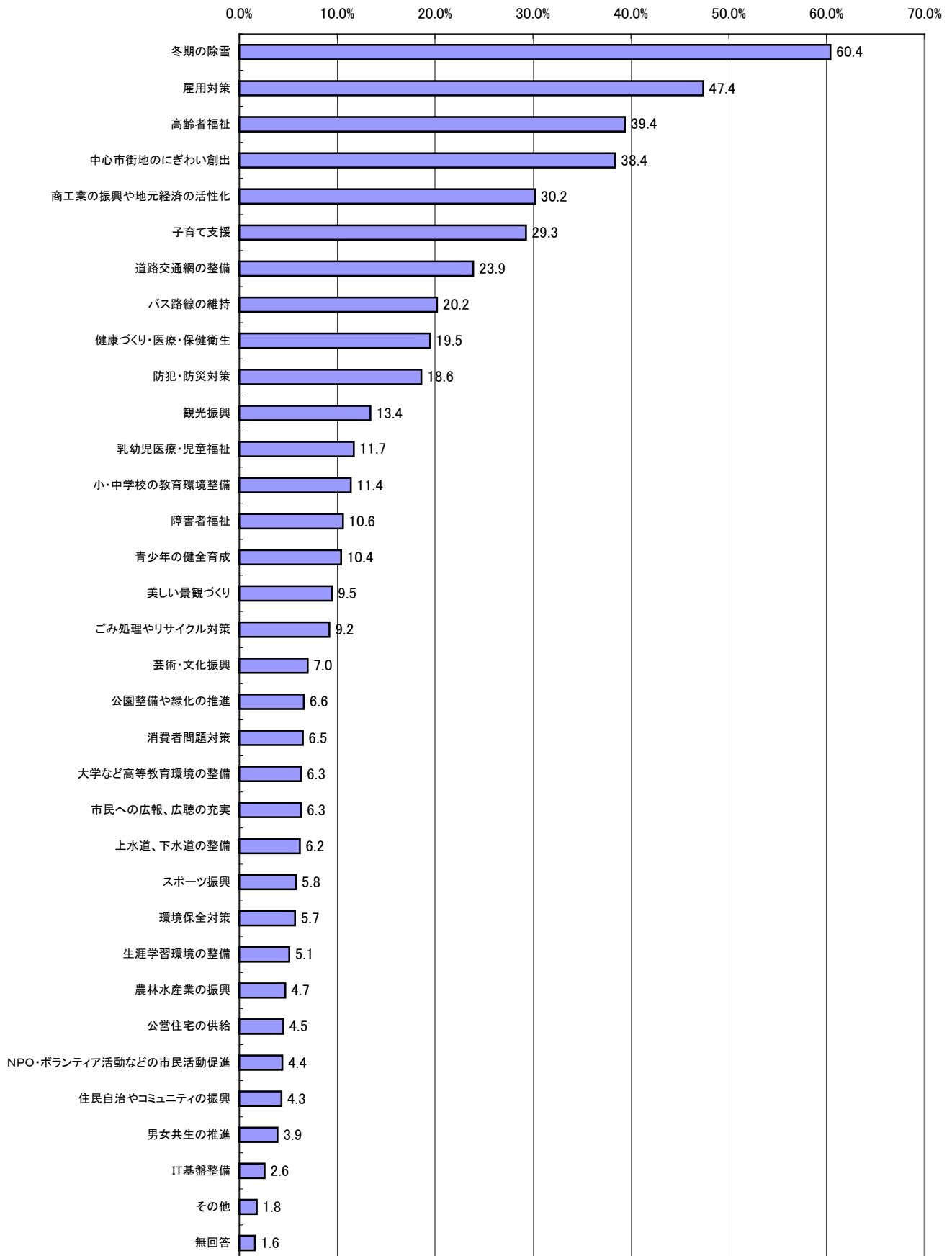
- |                             |                   |                    |
|-----------------------------|-------------------|--------------------|
| 1 道路交通網の整備                  | 2 バス路線の維持         | 3 冬期の除雪            |
| 4 中心市街地のにぎわい創出              | 5 公営住宅の供給         | 6 上水道、下水道の整備       |
| 7 美しい景観づくり                  | 8 公園整備や緑化の推進      | 9 環境保全対策           |
| 10 ごみ処理やリサイクル対策             | 11 I T 基盤整備       | 12 商工業の振興や地元経済の活性化 |
| 13 雇用対策                     | 14 観光振興           | 15 農林水産業の振興        |
| 16 高齢者福祉                    | 17 障害者福祉          | 18 子育て支援           |
| 19 乳幼児医療・児童福祉               | 20 健康づくり・医療・保健衛生  | 21 防犯・防災対策         |
| 22 消費者問題対策                  | 23 小・中学校の教育環境整備   | 24 大学など高等教育環境の整備   |
| 25 生涯学習環境の整備                | 26 青少年の健全育成       | 27 スポーツ振興          |
| 28 芸術・文化振興                  | 29 住民自治やコミュニティの振興 |                    |
| 30 N P O ・ボランティア活動などの市民活動促進 |                   | 31 男女共生の推進         |
| 32 市民への広報、広聴の充実             | 33 その他            |                    |

この設問では、力を入れて欲しい施策を5つ聞いている。（集計表 P167～168 参照）

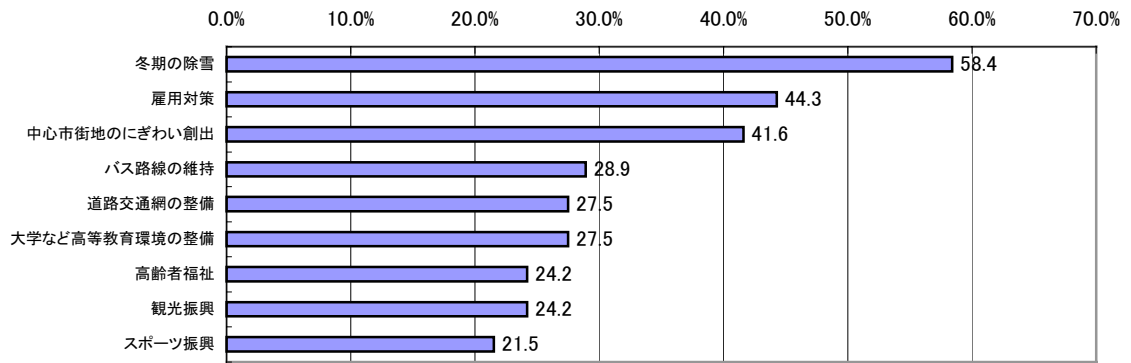
全体集計では、最も多かったのは「冬期の除雪」60.4%であった。以下、「雇用対策」47.4%、「高齢者福祉」39.4%、「中心市街地のにぎわい創出」38.4%、「商工業の振興や地元経済の活性化」30.2%、「子育て支援」29.3%と続いている。（P44 グラフ参照）

なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P45 からP48 のグラフで示している。（表記の条件として、20%以上の回答があったものを記している）

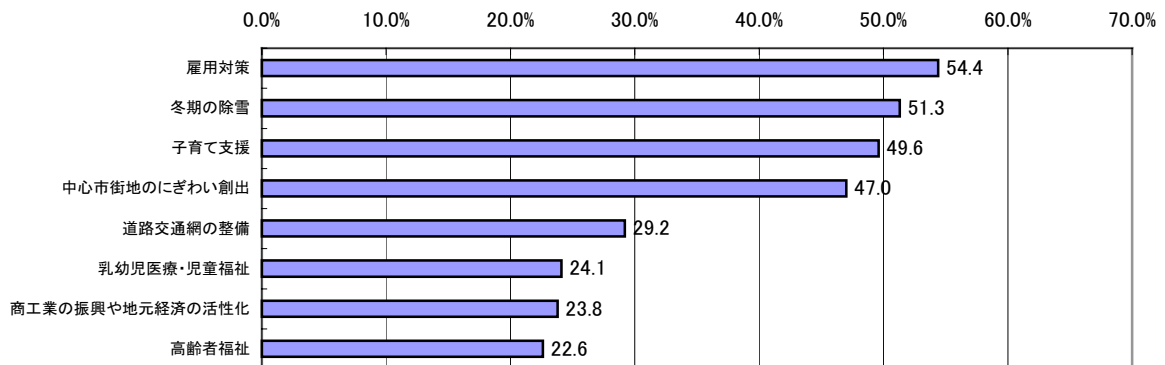
### 問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）



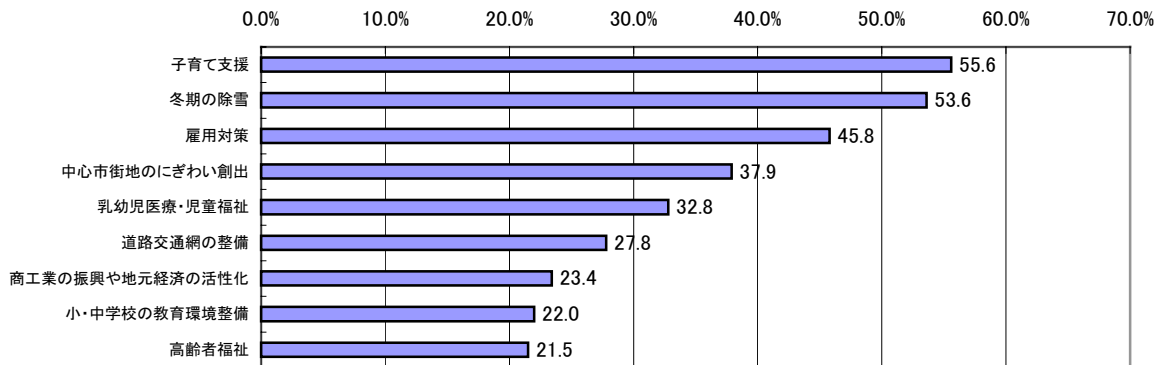
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「10代」



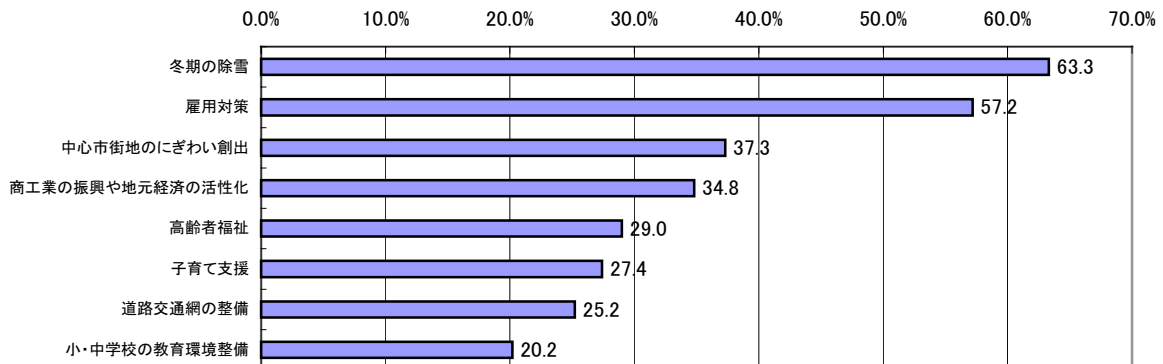
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「20代」



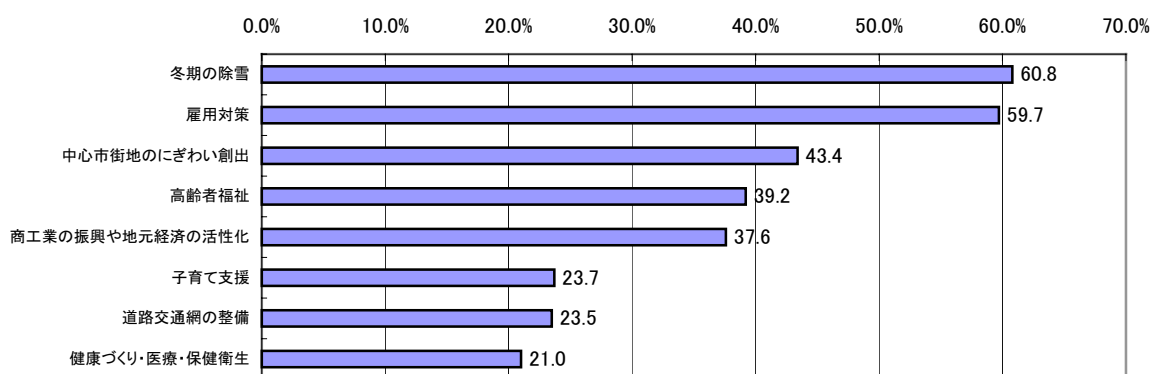
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「30代」



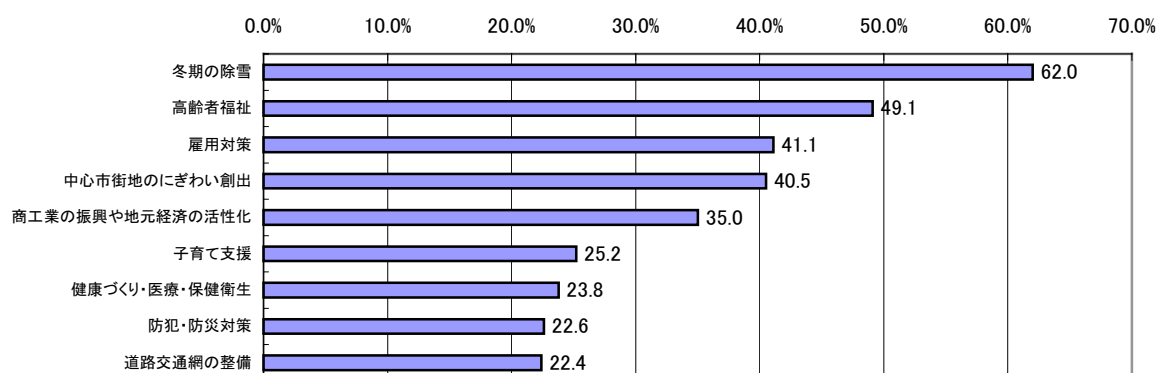
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「40代」



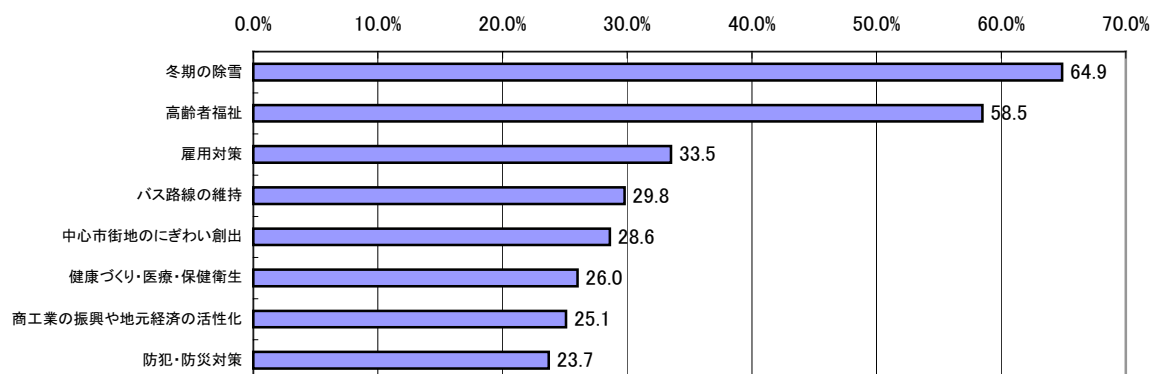
### 問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「50代」



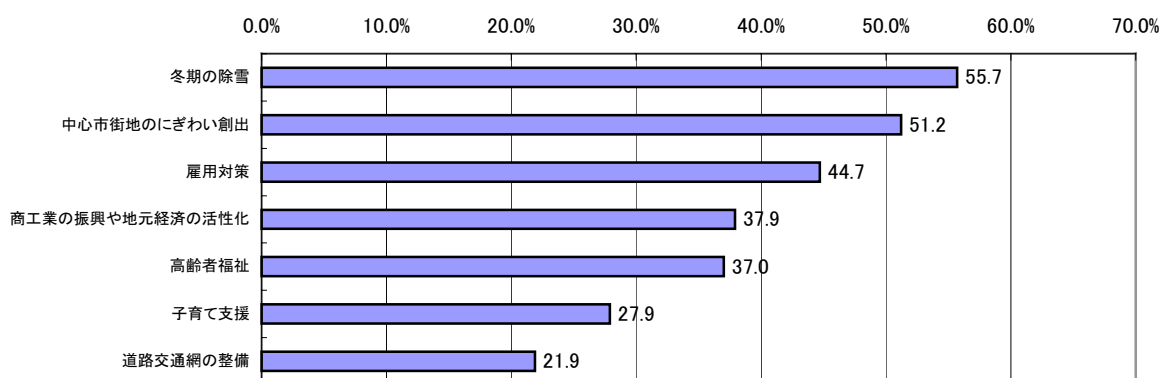
### 問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「60代」



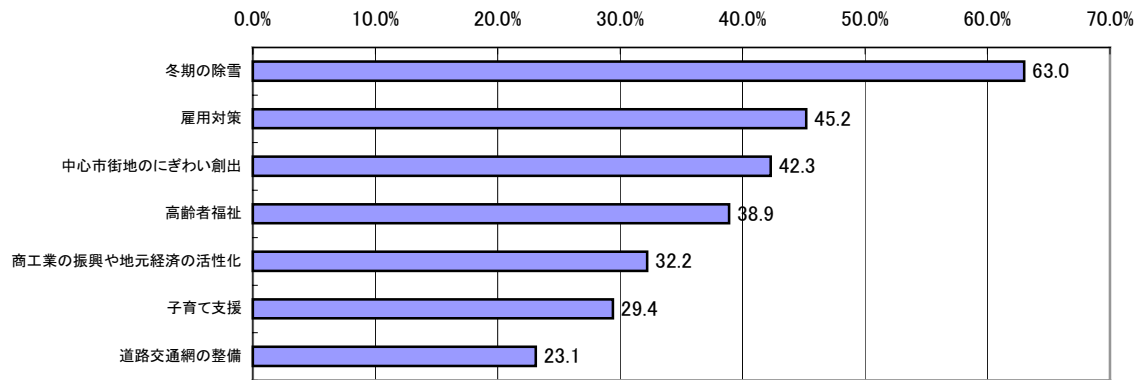
### 問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「70代以上」



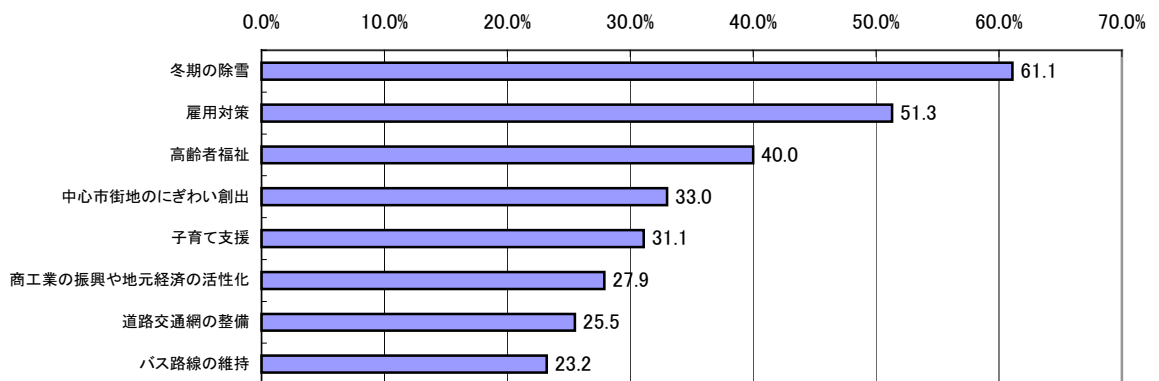
### 問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「中央」



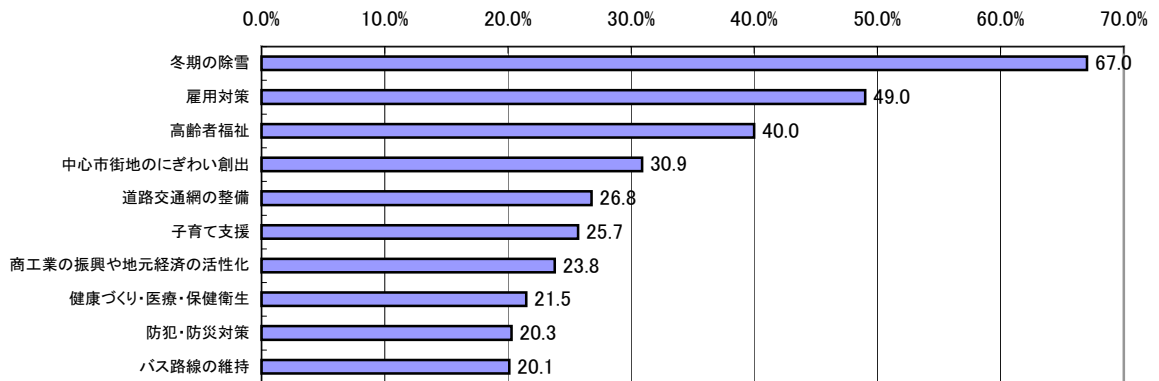
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「東部」



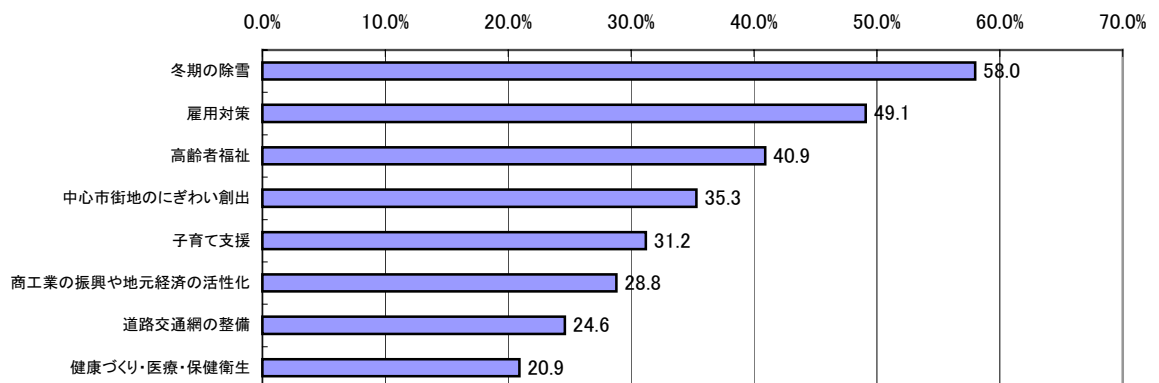
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「西部」



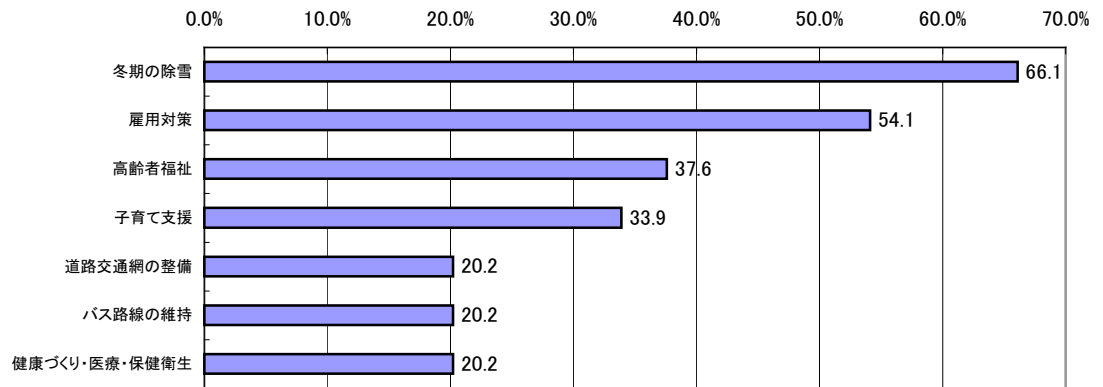
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「南部」



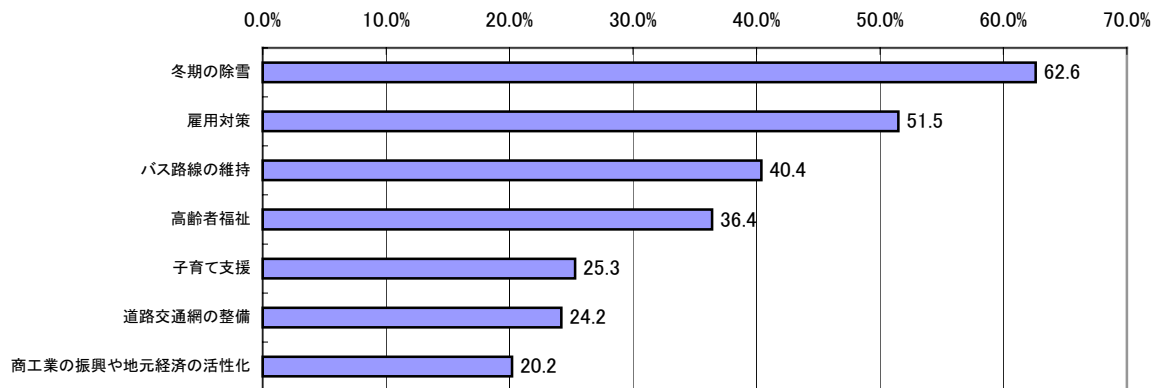
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「北部」



問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「河辺」



問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「雄和」



## 2 最も力を入れて欲しい施策（問3②）

### 問3②（最も力を入れて欲しい施策）

（問3①の質問を受け）その中で、あなたが一番力を入れて欲しいと思うものはどれですか。

- |                             |                   |                    |
|-----------------------------|-------------------|--------------------|
| 1 道路交通網の整備                  | 2 バス路線の維持         | 3 冬期の除雪            |
| 4 中心市街地のにぎわい創出              | 5 公営住宅の供給         | 6 上水道、下水道の整備       |
| 7 美しい景観づくり                  | 8 公園整備や緑化の推進      | 9 環境保全対策           |
| 10 ごみ処理やリサイクル対策             | 11 I T 基盤整備       | 12 商工業の振興や地元経済の活性化 |
| 13 雇用対策                     | 14 観光振興           | 15 農林水産業の振興        |
| 16 高齢者福祉                    | 17 障害者福祉          | 18 子育て支援           |
| 19 乳幼児医療・児童福祉               | 20 健康づくり・医療・保健衛生  | 21 防犯・防災対策         |
| 22 消費者問題対策                  | 23 小・中学校の教育環境整備   | 24 大学など高等教育環境の整備   |
| 25 生涯学習環境の整備                | 26 青少年の健全育成       | 27 スポーツ振興          |
| 28 芸術・文化振興                  | 29 住民自治やコミュニティの振興 |                    |
| 30 N P O ・ボランティア活動などの市民活動促進 |                   | 31 男女共生の推進         |
| 32 市民への広報、広聴の充実             | 33 その他            |                    |

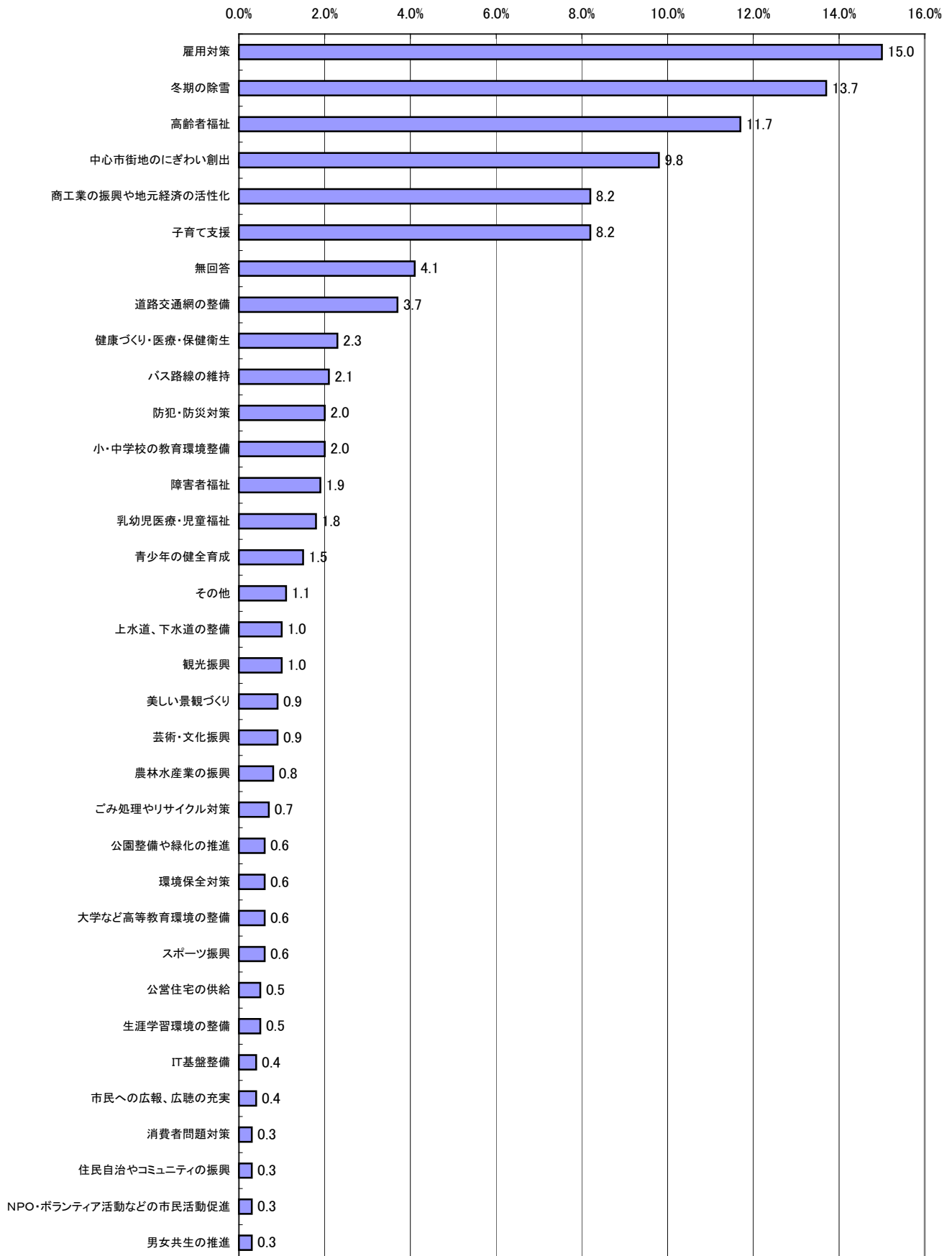
この設問では、最も力を入れてほしい施策を1つ聞いている。（集計表 P169～170 参照）

全体集計では、「雇用対策」15.0%、「冬期の除雪」13.7%、「高齢者福祉」11.7%、「中心市街地のにぎわい創出」9.8%、「商工業の振興や地元経済の活性化」と「子育て支援」が8.2%という結果となった。（P50 グラフ参照）

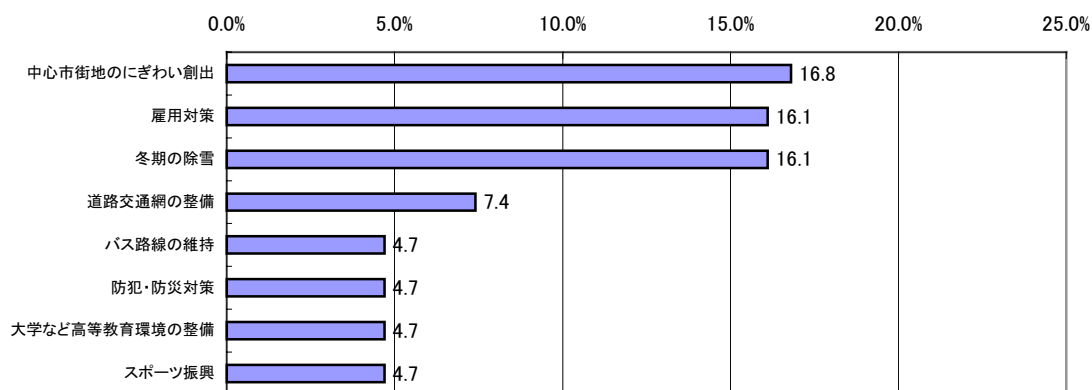
問3①と比べると、最も多く選択された項目が「冬期の除雪」から「雇用対策」になっている。

なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P51 から P54 のグラフで示している。（表記の条件として、4.0%以上の回答があったものを記している）

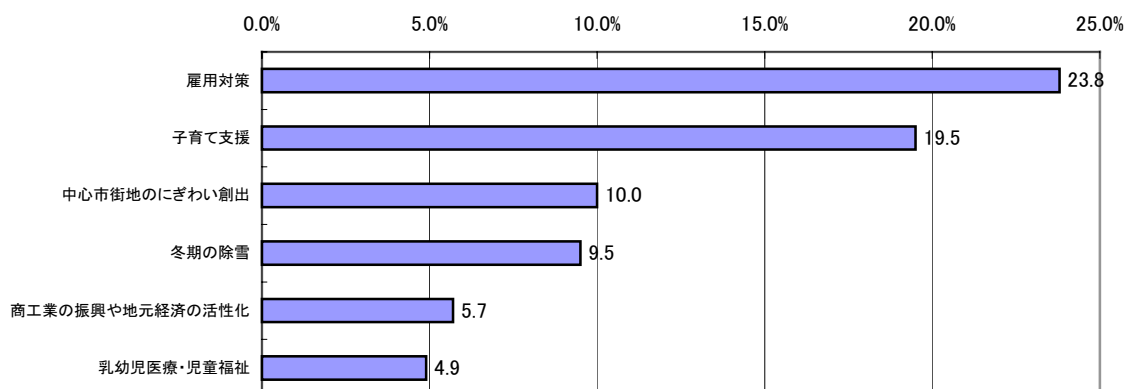
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）



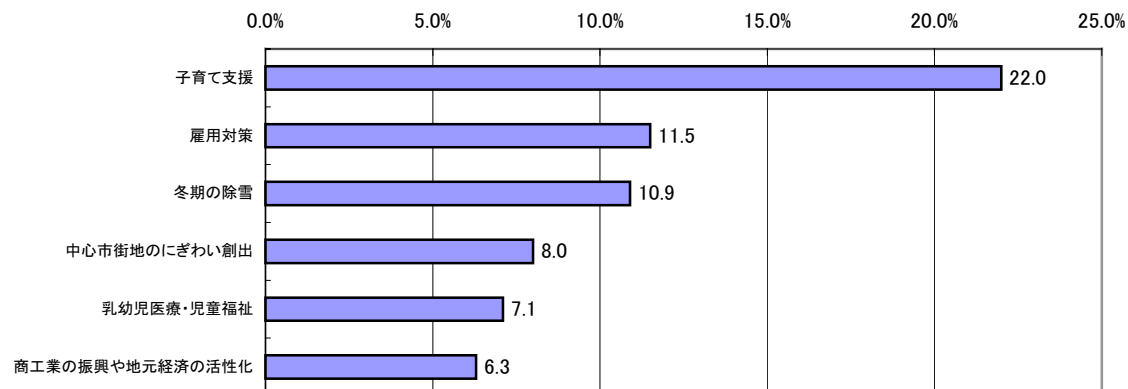
### 問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「10代」



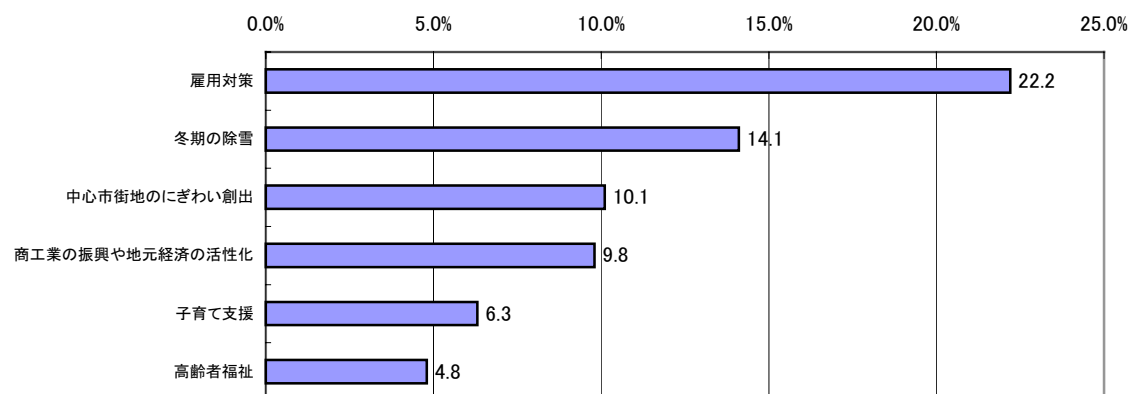
### 問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「20代」



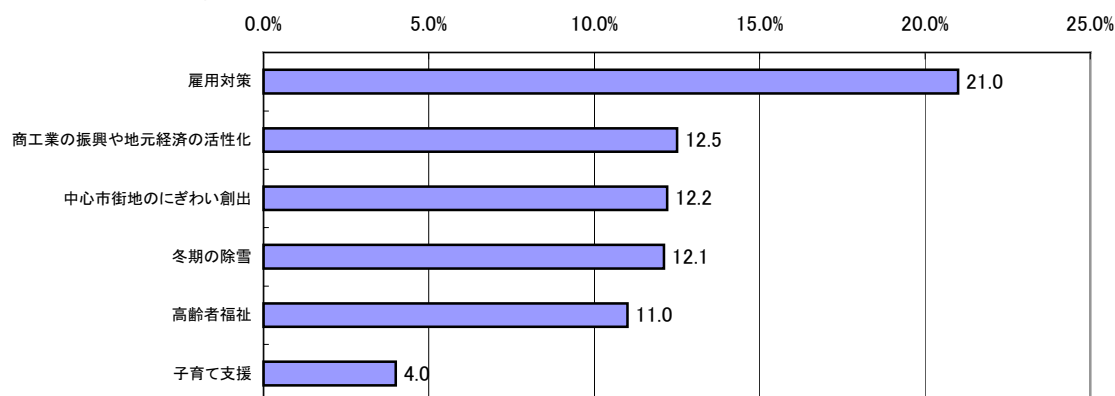
### 問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「30代」



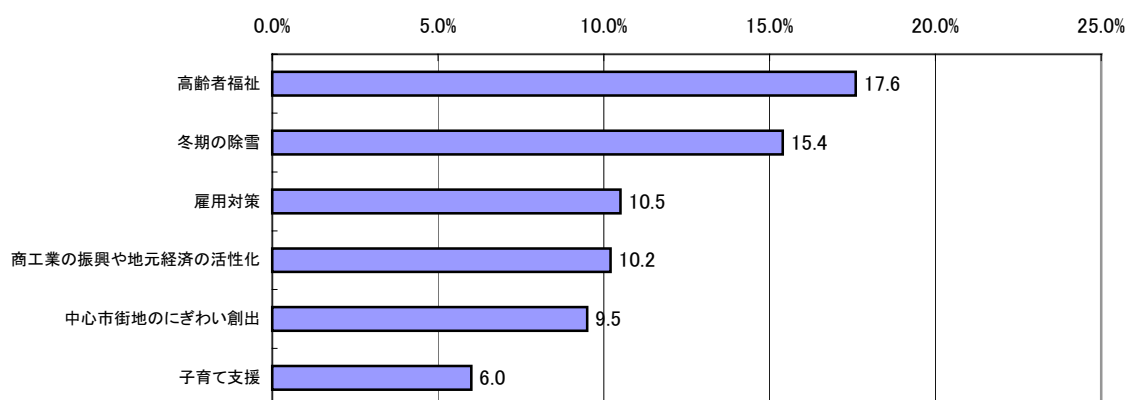
### 問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「40代」



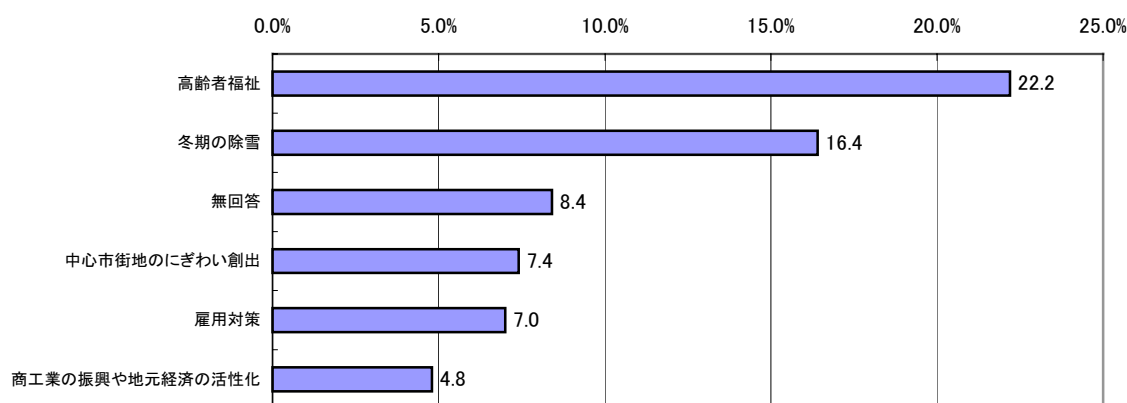
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「50代」



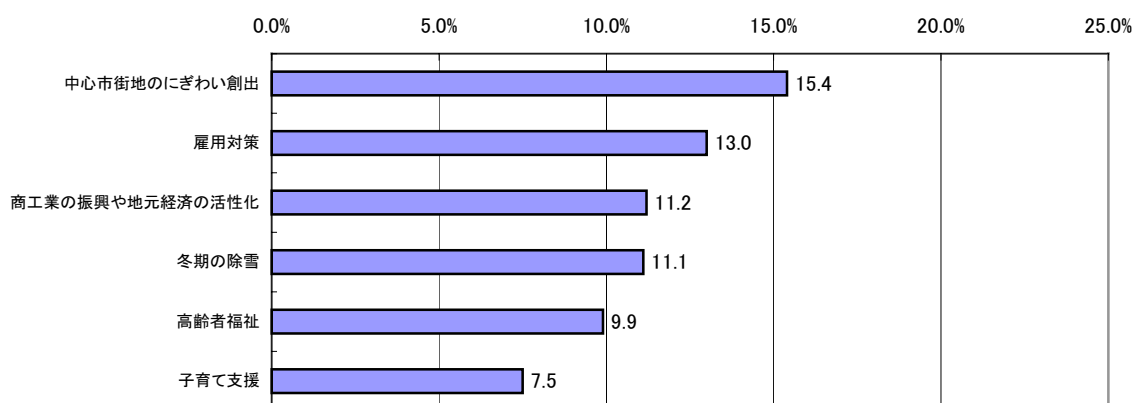
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「60代」



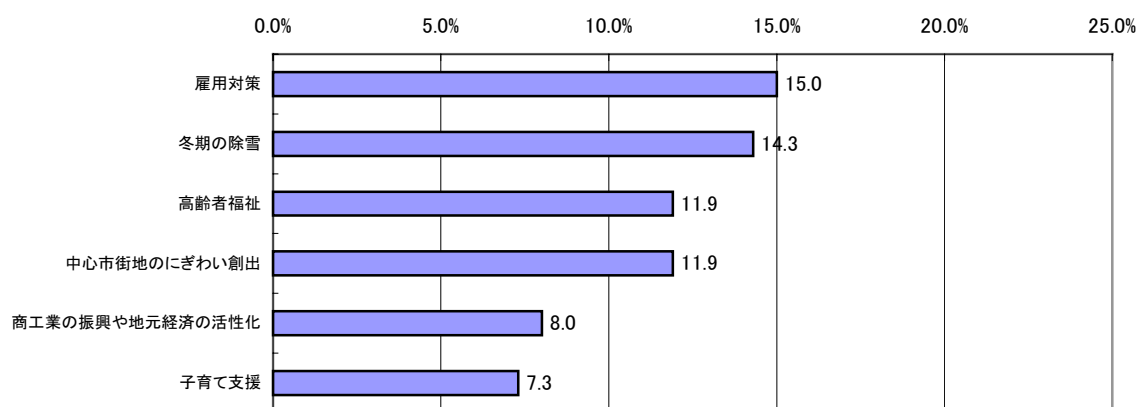
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「70代以上」



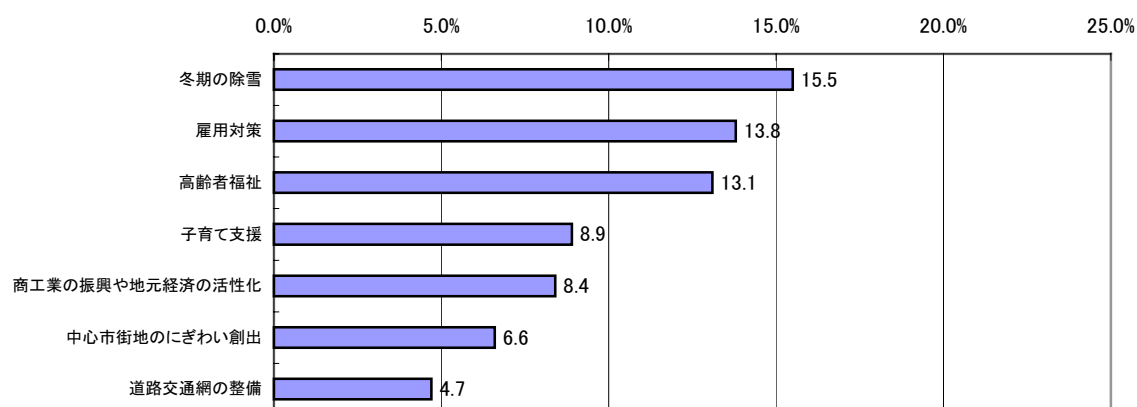
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「中央」



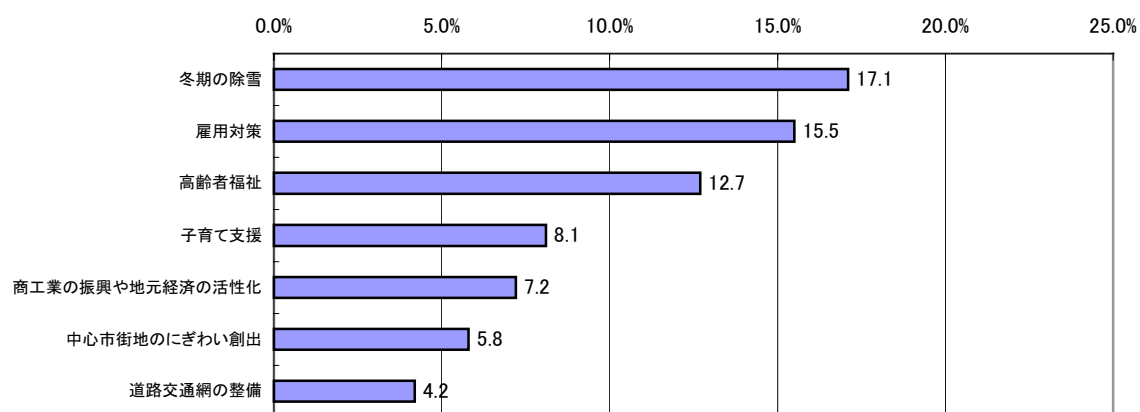
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「東部」



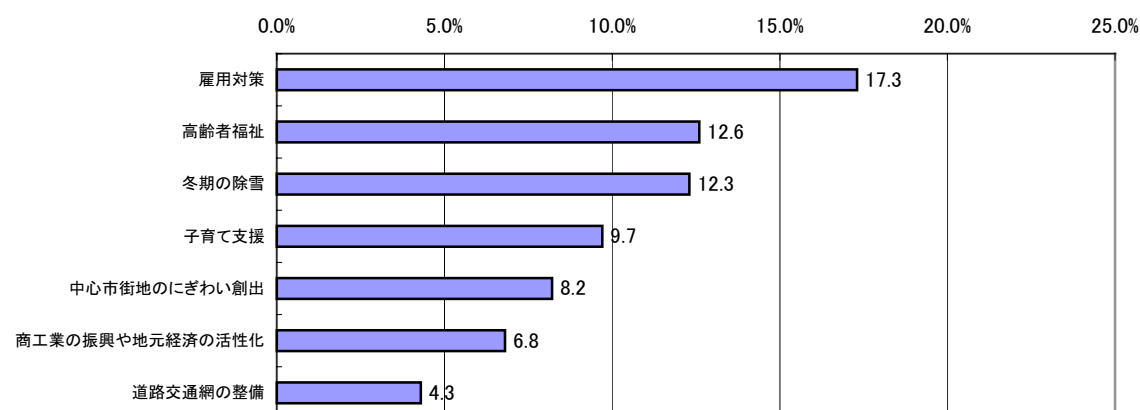
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「西部」



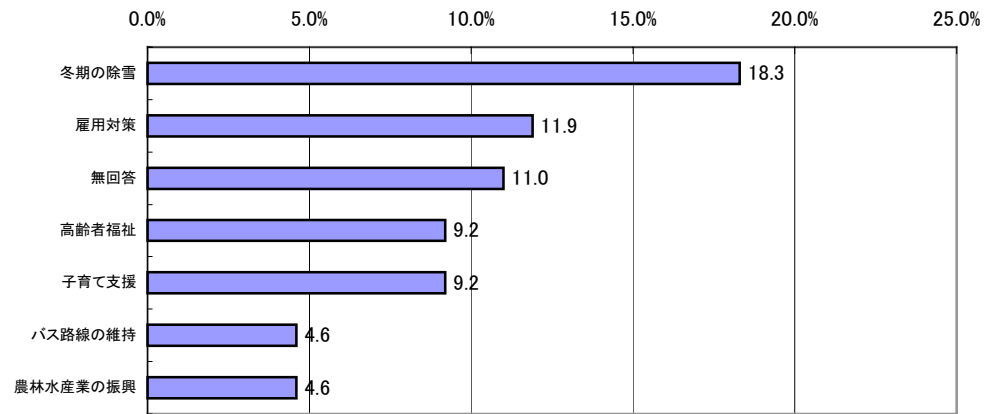
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「南部」



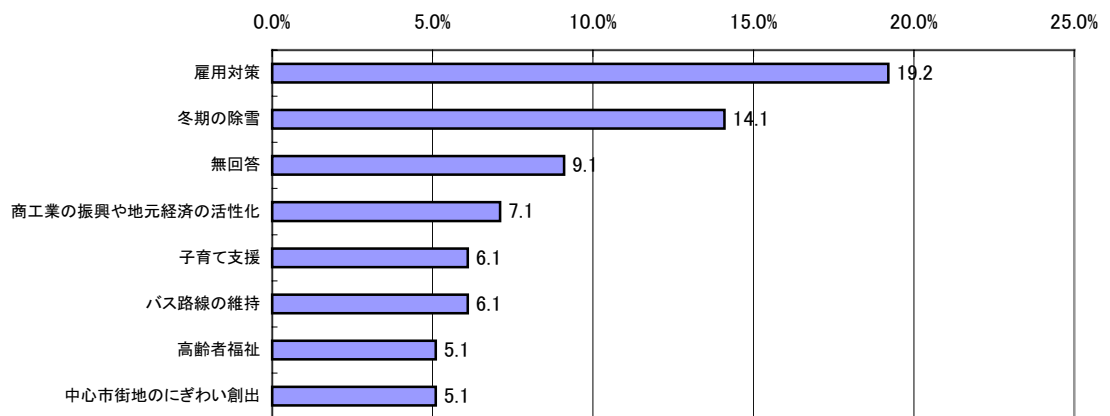
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「北部」



問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「河辺」



問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「雄和」



### 第3節 市民協働について

#### 1 これからの市と市民による公共サービスの役割分担（問4）

##### 問4（これからの市と市民による公共サービスの役割分担）

これからの市と市民による公共サービスの役割分担について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。（13項目の公共サービスについて質問）

##### 【選択肢】

- 1 市が担う      2 市と市民が協働で担う      3 市民が担う      4 わからない

##### 【公共サービス】

- 1 地域の道路の管理      2 地域の公園や街路樹の管理      3 環境活動  
4 自宅周辺の除排雪      5 里地・里山の保全      6 高齢者の生活支援  
7 障害者の生活支援      8 地域での子育て支援      9 健康増進活動  
10 防災活動      11 公衆トイレの維持管理      12 地域の文化財の管理・活用  
13 地域の公共施設の維持管理

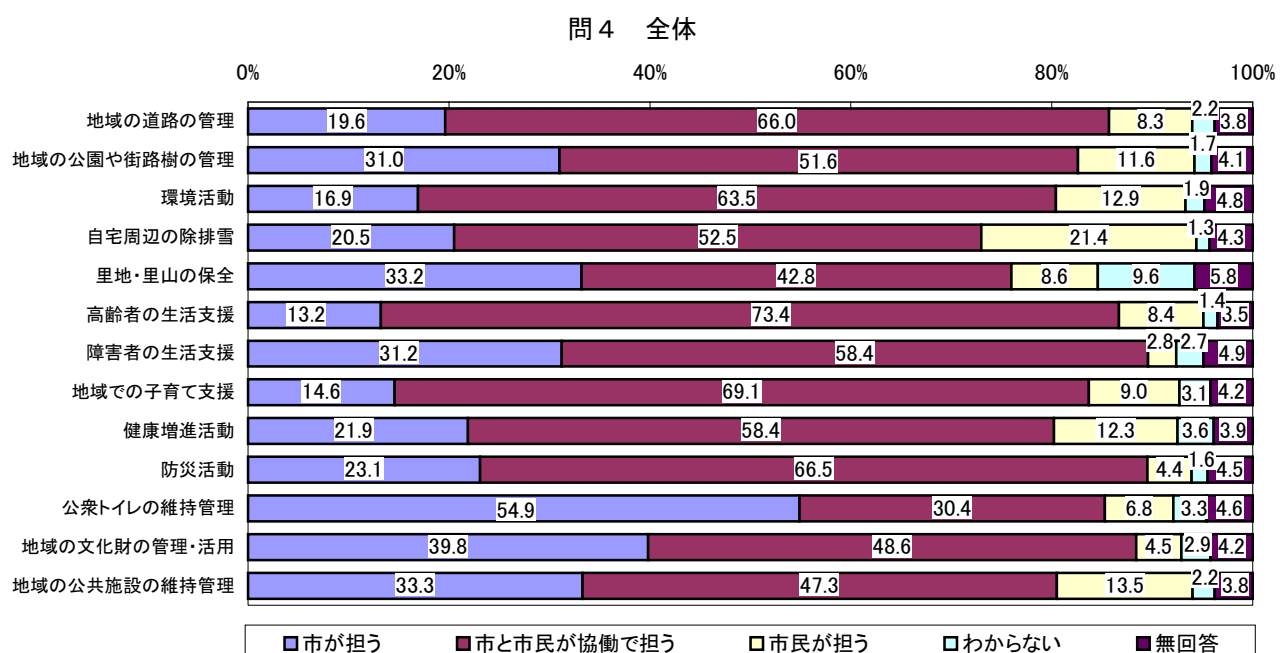
この設問では、これからの公共サービスの役割分担について市民の意識を把握するため、13の公共サービスについて、市と市民がどのように担っていくべきかを聞いた。（集計表 P171～177 参照）

全体集計では、「市と市民が協働で担う」が、13項目中の9項目で50%以上と高い割合を占めた。「市が担う」は、1項目で50%台を占めたほかは、10%台から30%台であった。「市民が担う」は、最も高い項目でも20%台前半であり、全体的に低い割合であった。

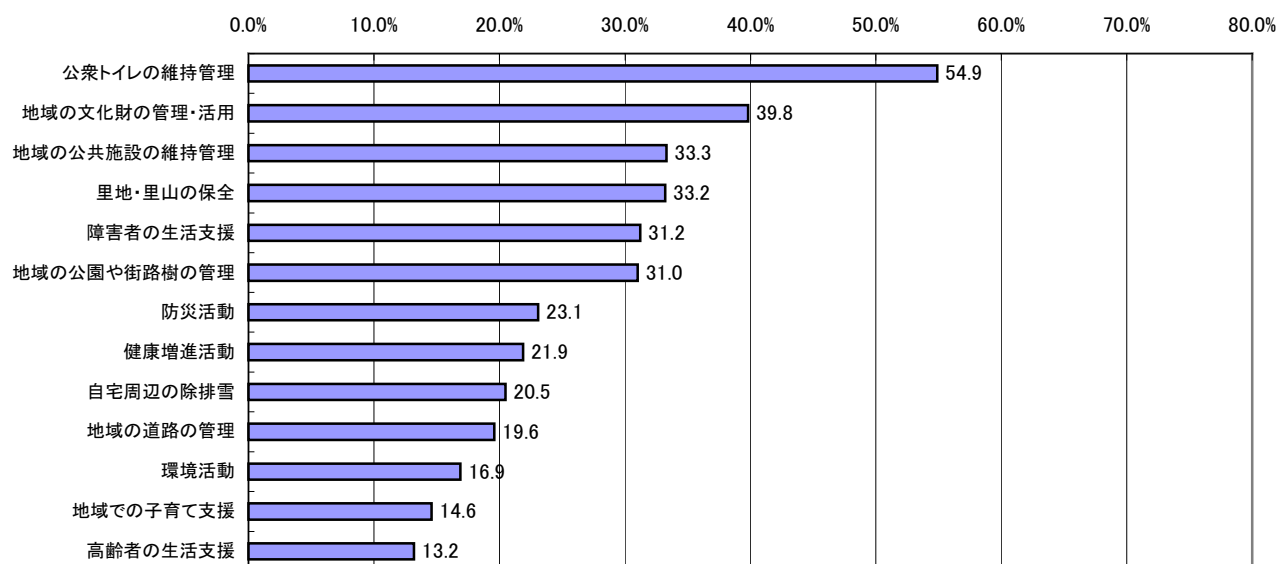
また、「市が担う」の回答が多かった項目は、「公衆トイレの維持管理」54.9%、「地域の文化財の管理・活用」39.8%、「地域の公共施設の維持管理」33.3%、「里地・里山の保全」33.2%、「障害者の生活支援」31.2%、「地域の公園や街路樹の管理」31.0%である。

「市と市民が協働で担う」の回答が多かった項目は、「高齢者の生活支援」73.4%、「地域での子育て支援」69.1%、「防災活動」66.5%、「地域の道路の管理」66.0%、「環境活動」63.5%である。

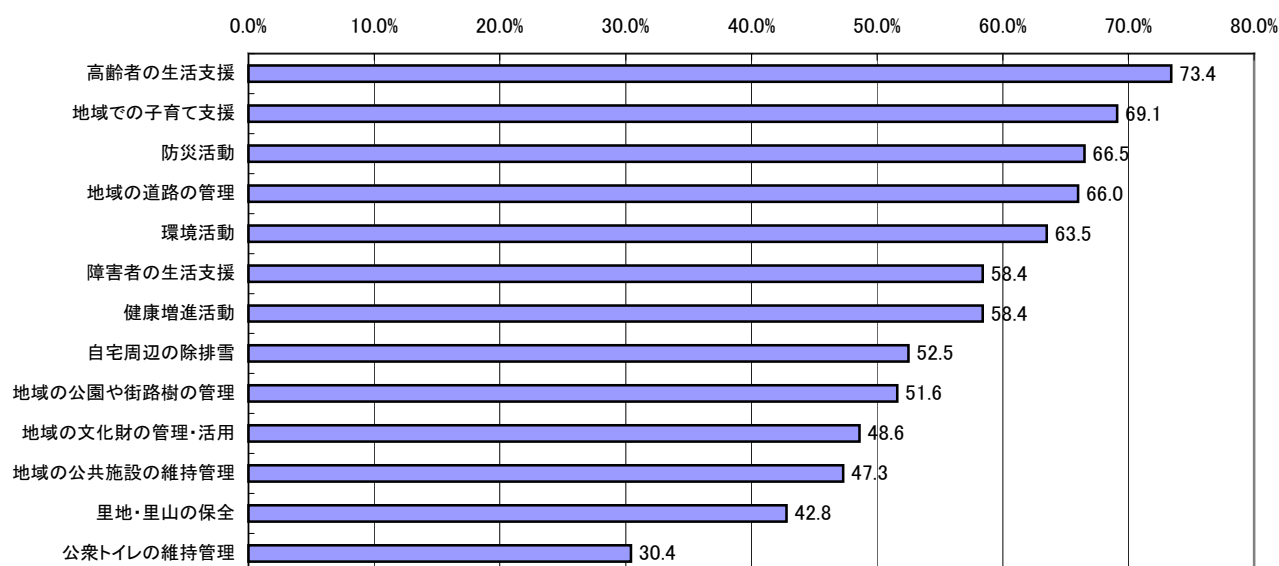
「市民が担う」の回答が多かった項目は、「自宅周辺の除排雪」21.4%、「地域の公共施設の維持管理」13.5%、「環境活動」12.9%、「健康増進活動」12.3%である。



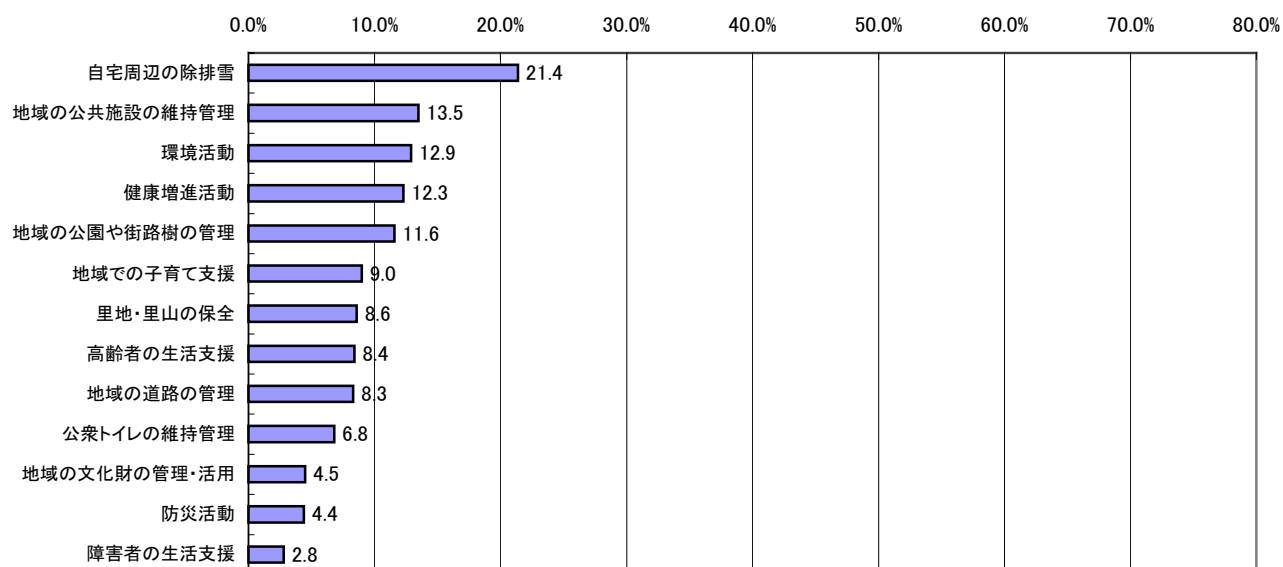
問4 これからの市と市民による公共サービスの役割分担 「市が担う」



問4 これからの市と市民による公共サービスの役割分担 「市と市民が協働で担う」



問4 これからの市と市民による公共サービスの役割分担 「市民が担う」



### 問4-1（地域の道路の管理）

これからの市と市民による公共サービスの役割分担（地域の道路の管理）について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

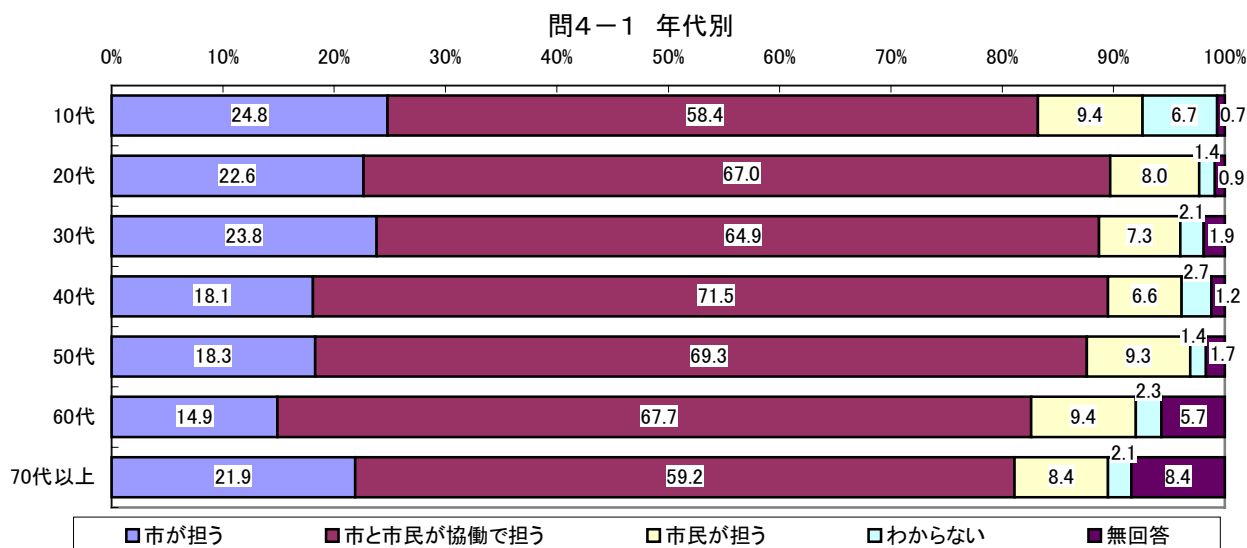
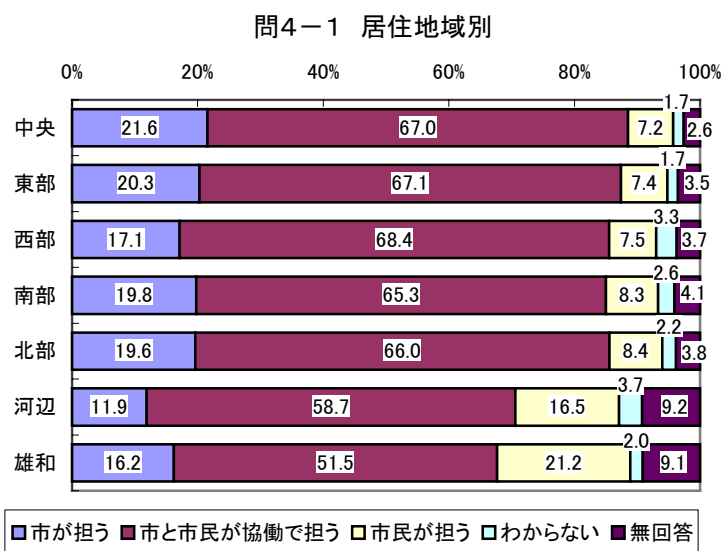
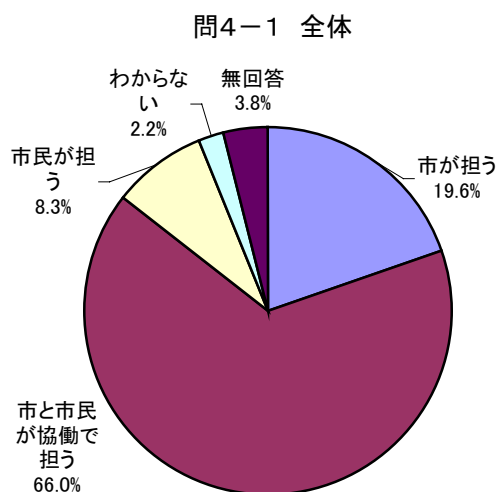
- 1 市が担う      2 市と市民が協働で担う      3 市民が担う      4 わからない

この設問では、これからの公共サービスの役割分担について、地域の道路の管理を市と市民がどのように担っていくべきかを聞いている。（集計表 P171 参照）

全体集計では、「市と市民が協働で担う」が66.0%で最も多く、「市が担う」が19.6%、「市民が担う」が8.3%である。「市と市民が協働で担う」が、全体の約3分の2を占めており、「市が担う」が「市民が担う」の2倍を超えている。

年代別集計では、「市が担う」の回答は年代が上がるにつれて少なくなるが、「70代以上」では21.9%と多い。

居住地域別集計では、「旧秋田市」における「市民が担う」の回答が地域間でほとんど差がなかったのに対し、「河辺」16.5%、「雄和」21.2%と「旧秋田市」の2倍以上を占めた。



#### 問4-2（地域の公園や街路樹の管理）

これからの市と市民による公共サービスの役割分担（地域の公園や街路樹の管理）について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が担う      2 市と市民が協働で担う      3 市民が担う      4 わからない

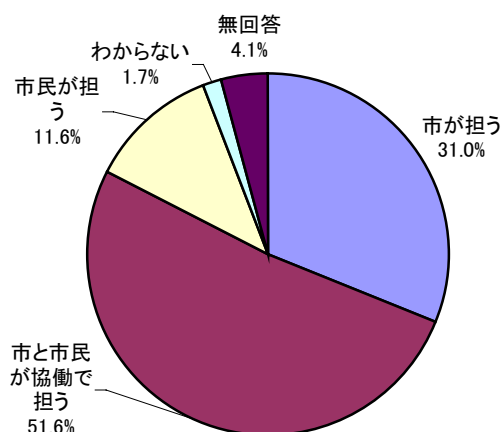
この設問では、これからの公共サービスの役割分担について、地域の公園や街路樹の管理を市と市民がどのように担っていくべきかを聞いている。（集計表 P171 参照）

全体集計では、「市と市民が協働で担う」が51.6%で最も多く、「市が担う」が31.0%、「市民が担う」が11.6%である。「市と市民が協働で担う」が、全体の半分以上を占めており、「市が担う」が「市民が担う」の3倍近くを占めた。

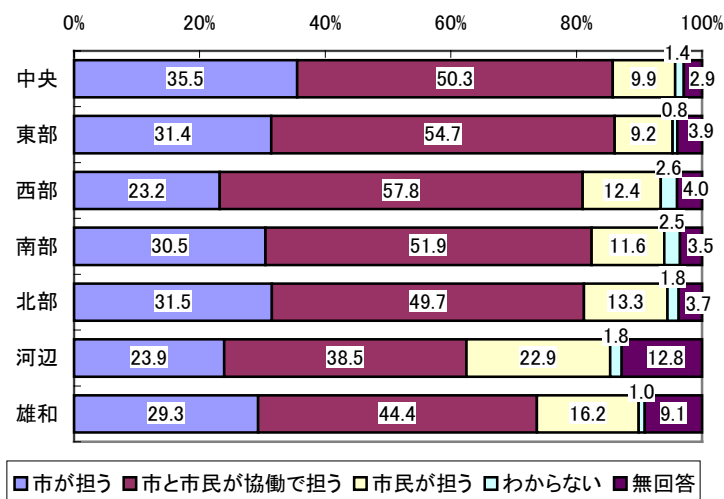
年代別集計では、「市民が担う」の回答が「10代」で18.8%であり、他の年代と比較して多い。

居住地域別集計では、「市が担う」の回答が「西部」23.2%、「河辺」23.9%と比較的少なく、「市と市民が協働で担う」の回答では「河辺」38.5%、「雄和」44.4%と少ない。また、「市民が担う」の回答では「河辺」22.9%、「雄和」16.2%と多い。

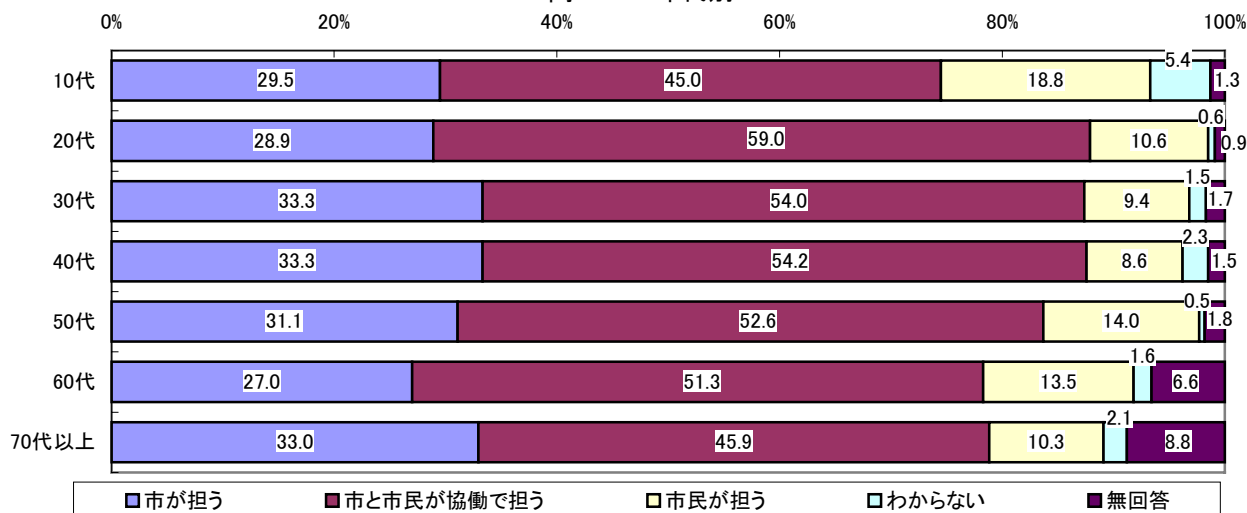
問4-2 全体



問4-2 居住地域別



問4-2 年代別



### 問4-3（環境活動）

これからの市と市民による公共サービスの役割分担（環境活動）について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

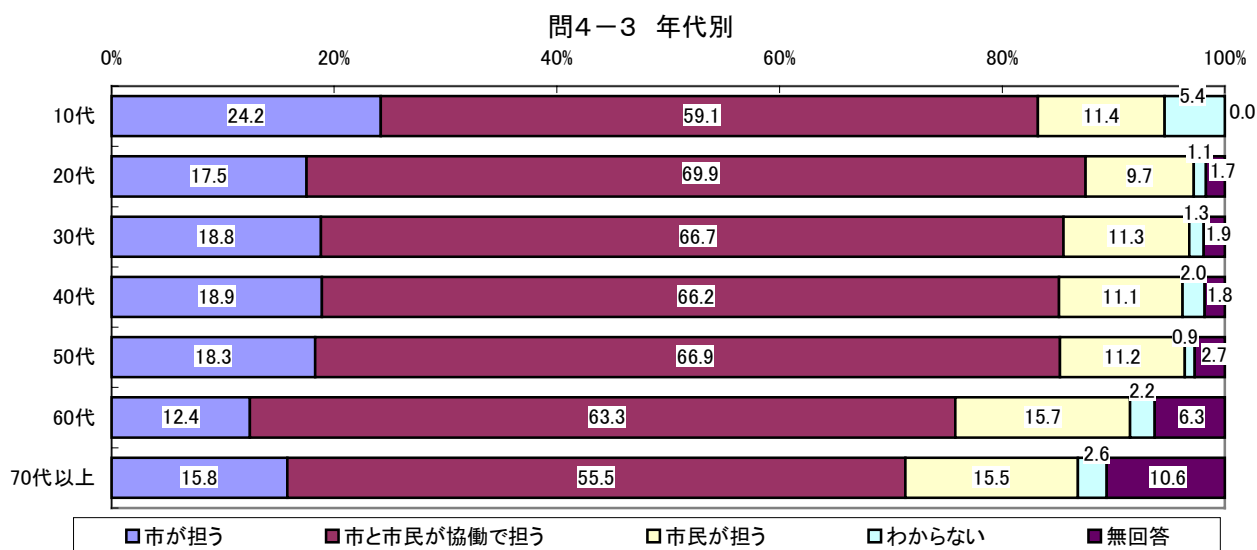
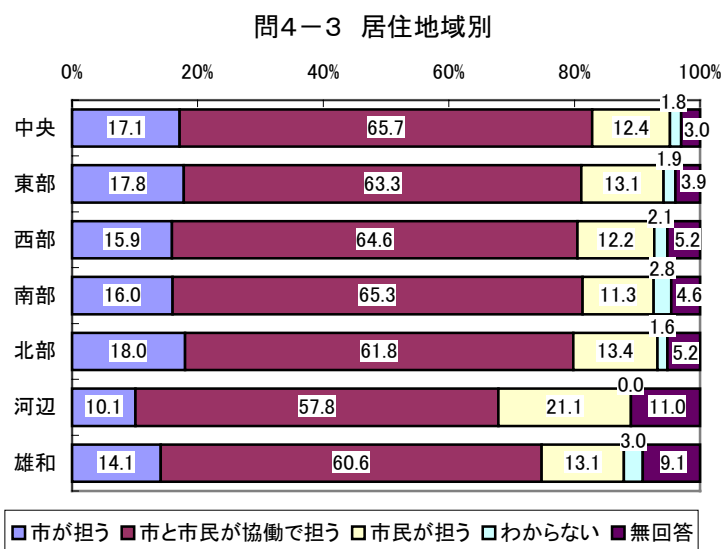
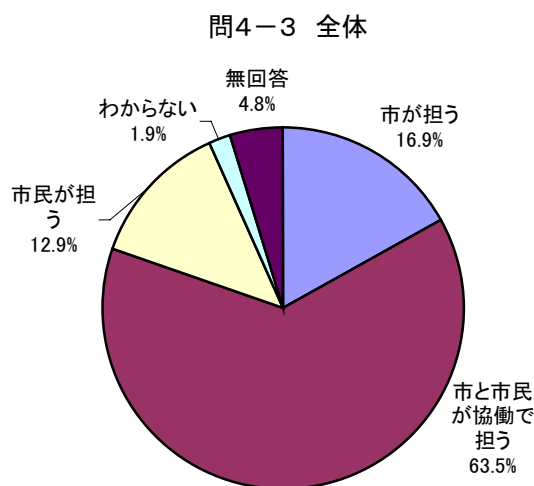
- 1 市が担う      2 市と市民が協働で担う      3 市民が担う      4 わからない

この設問では、これからの公共サービスの役割分担について、環境活動を市と市民がどのように担っていくべきかを聞いている。（集計表 P172 参照）

全体集計では、「市と市民が協働で担う」が63.5%で最も多く、「市が担う」が16.9%、「市民が担う」が12.9%である。「市と市民が協働で担う」が、全体の3分の2近くを占めた。また、「市が担う」と「市民が担う」の回答の差は4.0%にとどまった。

年代別集計では、「市が担う」の回答が「10代」24.2%と最も多く、「60代」12.4%と最も少ない。

居住地域別集計では、「市が担う」の回答が「河辺」10.1%と少なく、「市民が担う」の回答は「河辺」で21.1%と多い。



#### 問４－４（自宅周辺の除排雪）

これからの市と市民による公共サービスの役割分担（自宅周辺の除排雪）について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

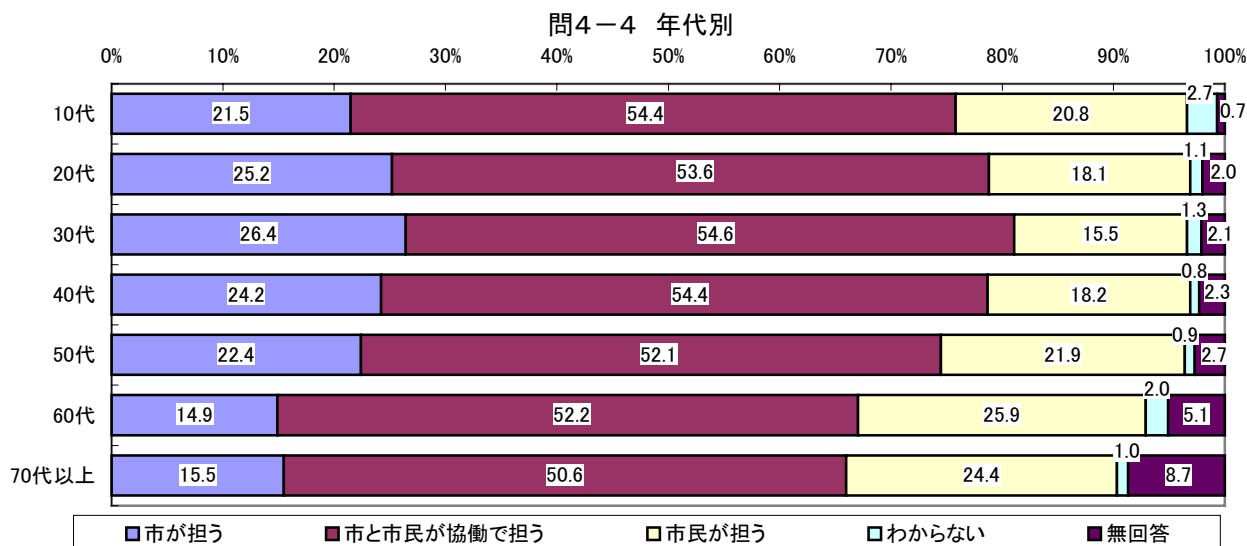
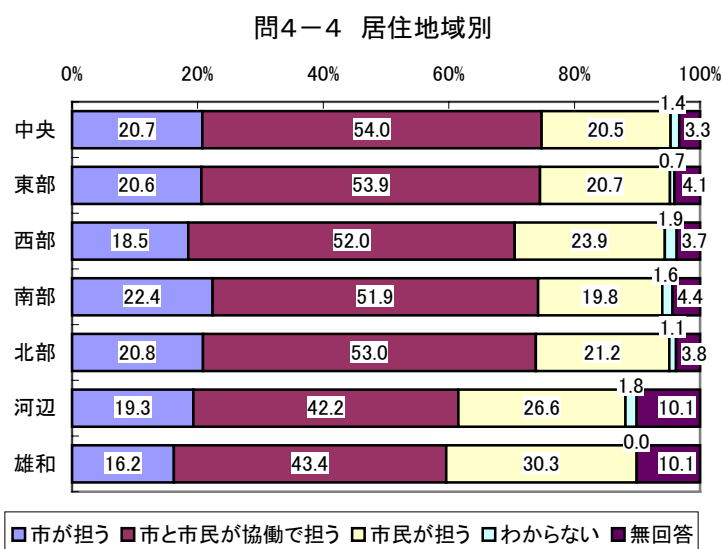
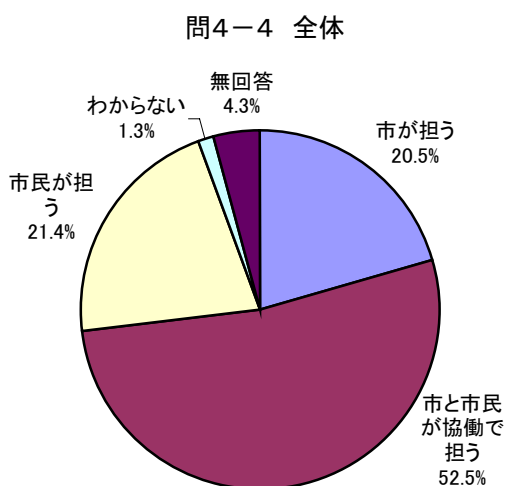
- 1 市が担う      2 市と市民が協働で担う      3 市民が担う      4 わからない

この設問では、これからの公共サービスの役割分担について、自宅周辺の除排雪を市と市民がどのように担っていくべきかを聞いている。（集計表 P172 参照）

全体集計では、「市と市民が協働で担う」が52.5%で最も多く、「市が担う」が20.5%、「市民が担う」が21.4%である。「市と市民が協働で担う」が全体の半分以上を占めた。また、「市が担う」と「市民が担う」の回答は、ほぼ拮抗している。

年代別集計では、「市が担う」の回答が、「10代」から「50代」が20%台であるのに対し、「60代」「70代以上」が15%前後と少ない。「市民が担う」の回答は、「60代」「70代以上」が他の年代に比べて多い。「市と市民が協働で担う」の回答に顕著な差はない。

居住地域別集計では、「市民が担う」の回答が「河辺」で26.6%、「雄和」で30.3%と多い。



# 問4-5（里地・里山の保全）

これからの市と市民による公共サービスの役割分担（里地・里山の保全）について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が担う      2 市と市民が協働で担う      3 市民が担う      4 わからない

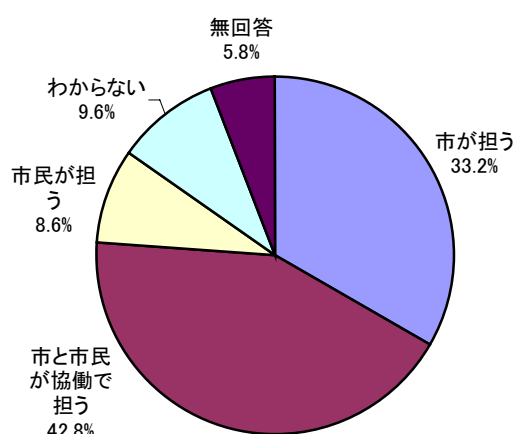
この設問では、これからの公共サービスの役割分担について、里地・里山の保全を市と市民がどのように担っていくべきかを聞いている。（集計表 P173 参照）

全体集計では、「市と市民が協働で担う」が、42.8%で最も多く、「市が担う」が33.2%、「市民が担う」が8.6%である。

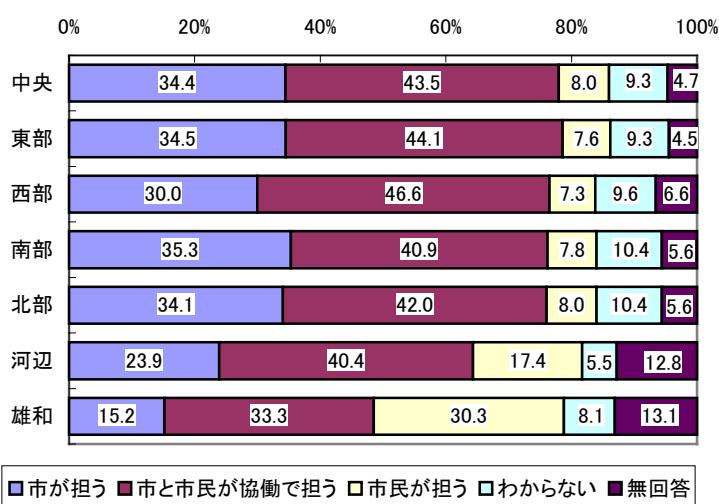
年代別集計では、「市が担う」の回答が「10代」から「50代」が30%台であるのに対し、「60代」「70代以上」が20%台後半と若干少ない。

居住地域別集計では、「市が担う」の回答が「旧秋田市」が30%台であるのに対し、「河辺」で23.9%、「雄和」で15.2%と少なく、「市民が担う」の回答では「河辺」で17.4%、「雄和」で30.3%と多い。

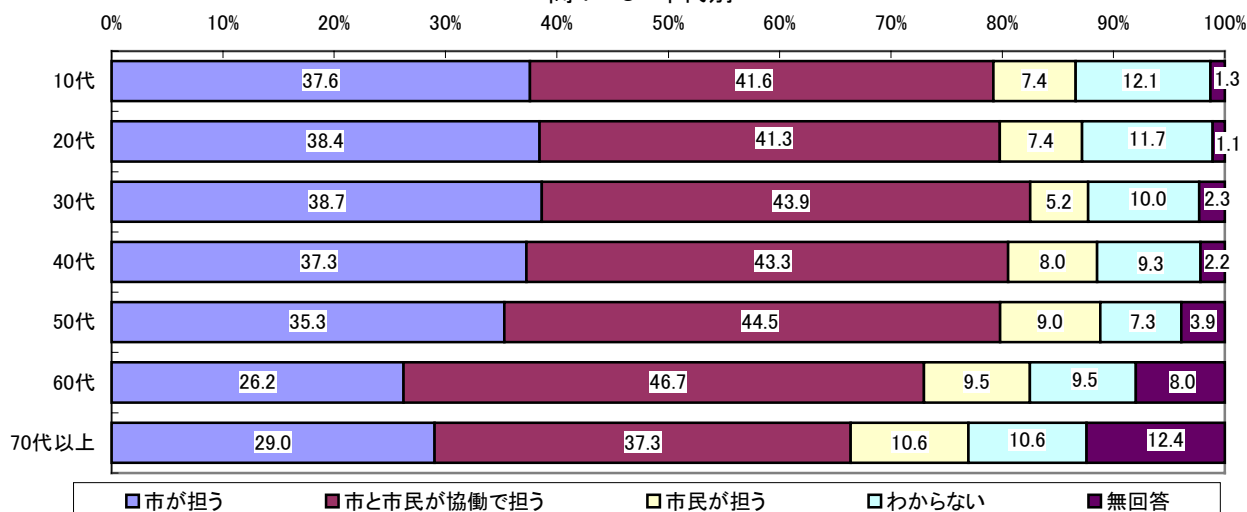
問4-5 全体



問4-5 居住地域別



問4-5 年代別



#### 問４－６（高齢者の生活支援）

これからの市と市民による公共サービスの役割分担（高齢者の生活支援）について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

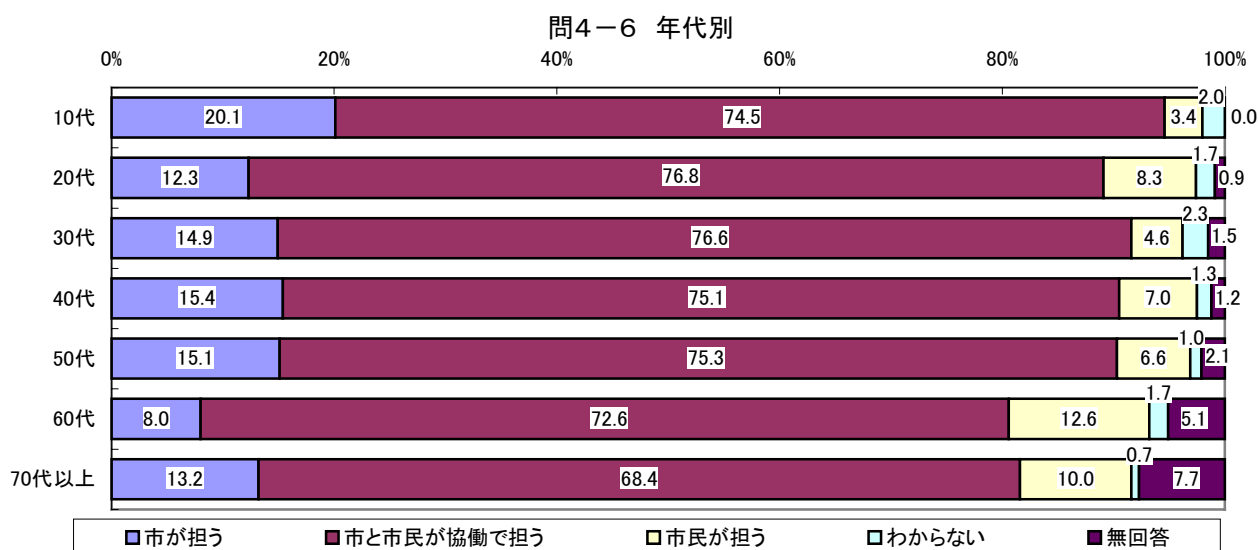
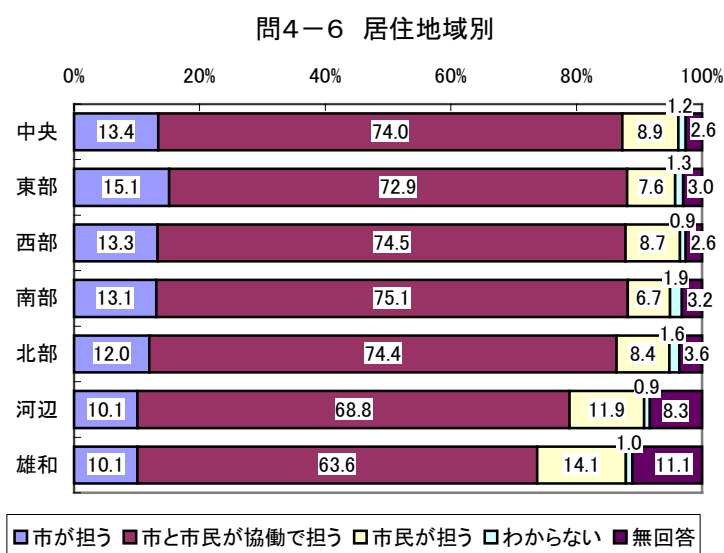
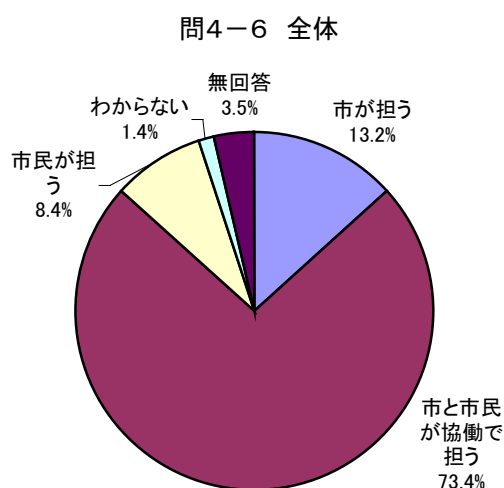
- 1 市が担う      2 市と市民が協働で担う      3 市民が担う      4 わからない

この設問では、これからの公共サービスの役割分担について、高齢者の生活支援を市と市民がどのように担っていくべきかを聞いている。（集計表 P173 参照）

全体集計では、「市と市民が協働で担う」が73.4%で最も多く、「市が担う」が13.2%、「市民が担う」が8.4%である。「市と市民が協働で担う」が、全体の3分の2以上を占めた。

年代別集計では、「市が担う」の回答が全体的に10%台であるのに対し、「10代」が20.1%と比較的多く、「60代」が8.0%と若干少ない。「市民が担う」の回答は、「60代」「70代以上」で若干多い。

居住地域別集計では、「河辺」「雄和」が「旧秋田市」に比較して「市と市民が協働で担う」の回答が少なく、「市民が担う」の回答が多い。



# 問4-7（障害者の生活支援）

これからの市と市民による公共サービスの役割分担（障害者の生活支援）について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

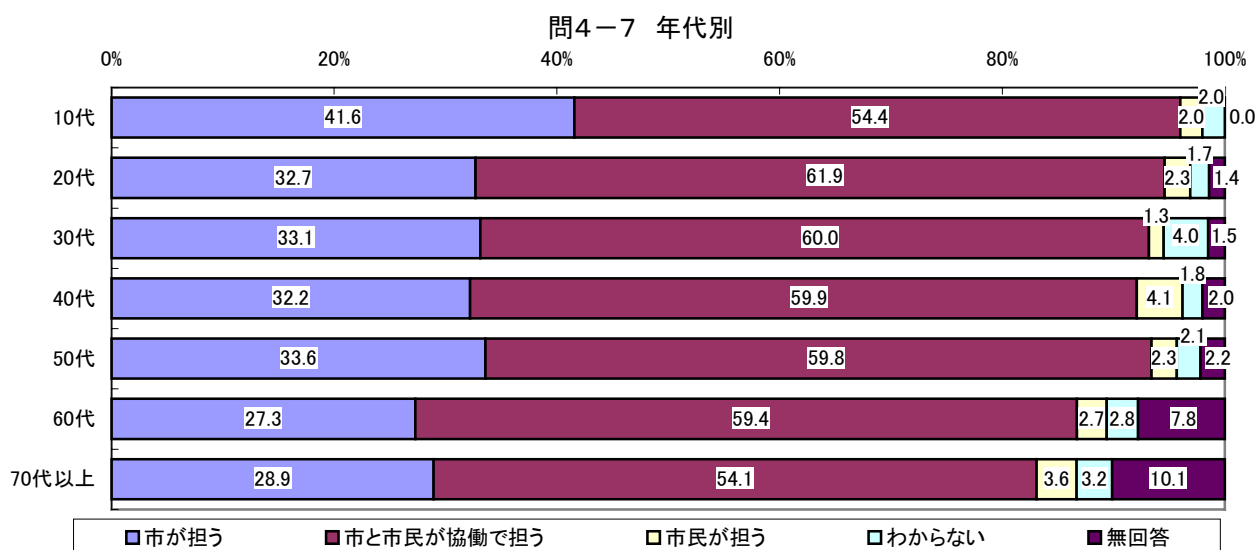
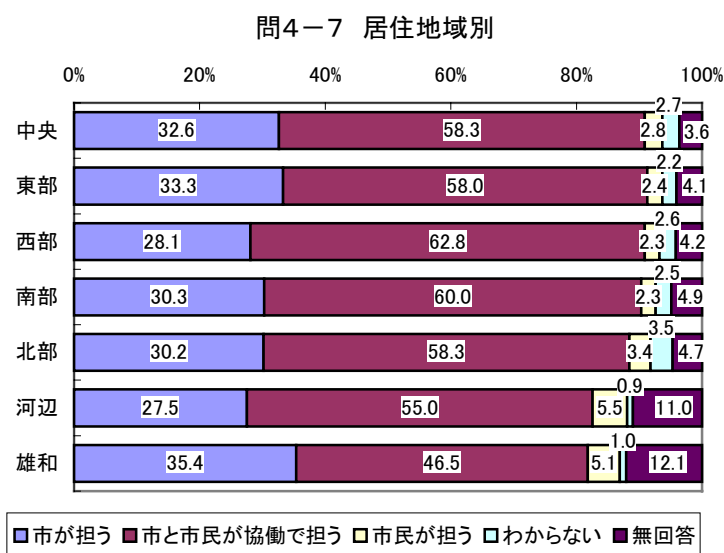
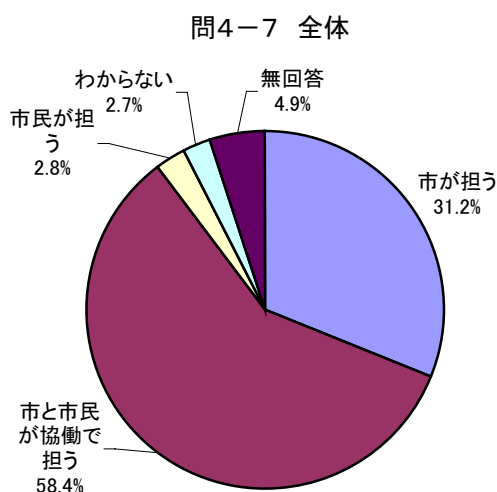
- 1 市が担う      2 市と市民が協働で担う      3 市民が担う      4 わからない

この設問では、これからの公共サービスの役割分担について、障害者の生活支援を市と市民がどのように担っていくべきかを聞いている。（集計表 P174 参照）

全体集計では、「市と市民が協働で担う」が58.4%で最も多く、「市が担う」が31.2%、「市民が担う」が2.8%である。「市と市民が協働で担う」が全体の半分以上を占めるとともに、「市民が担う」の回答は極めて少ない。

年代別集計では、「市が担う」の回答が「20代」から「50代」で30%台前半であるのに対し、「10代」は41.6%と多く、「60代」「70代以上」が20%台後半と若干少ない。

居住地域別集計では、「河辺」「雄和」が「旧秋田市」と比較して「市民が担う」の回答が若干多い。



# 問4－8（地域での子育て支援）

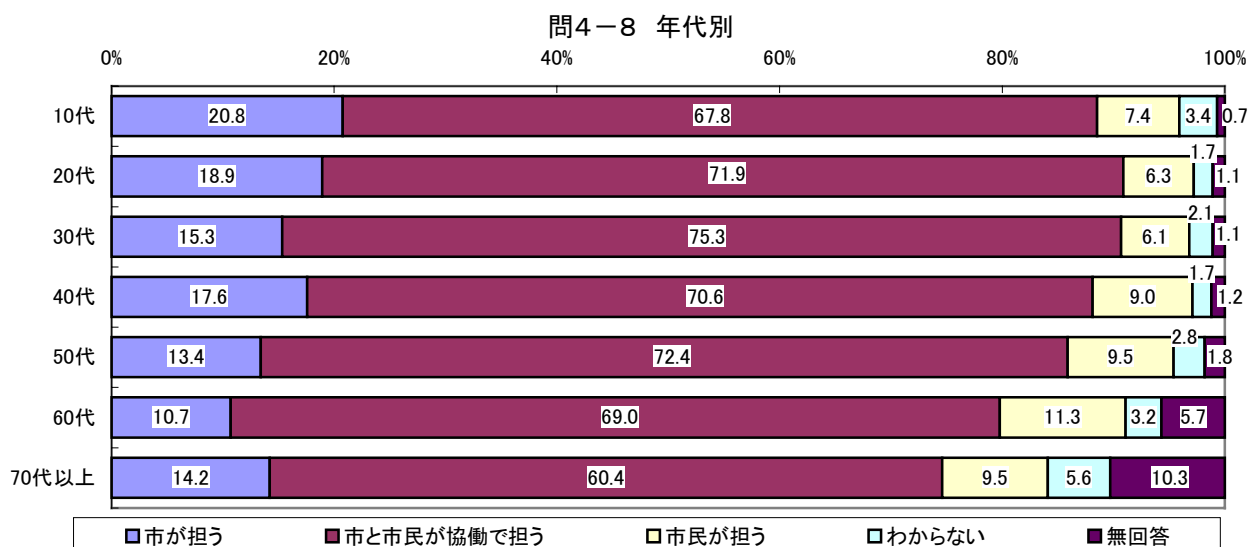
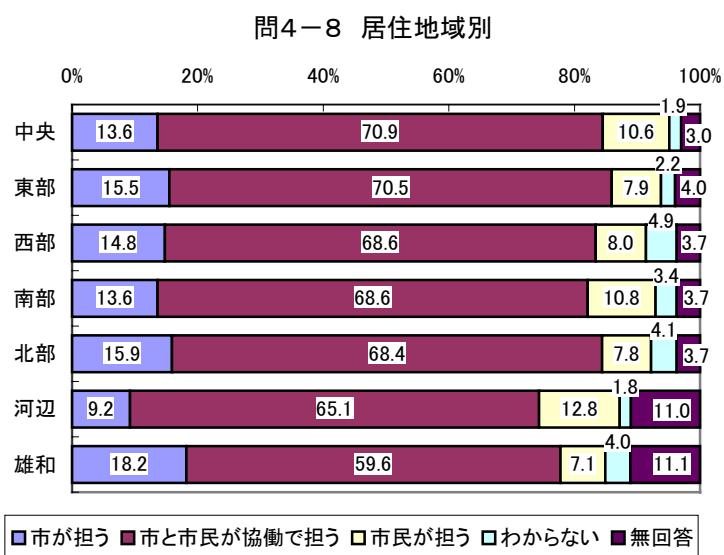
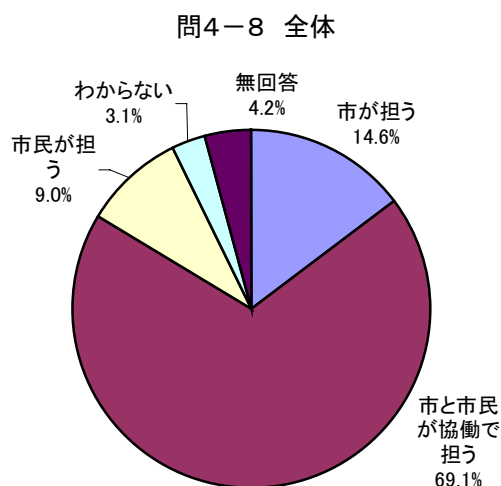
これからの市と市民による公共サービスの役割分担（地域での子育て支援）について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が担う      2 市と市民が協働で担う      3 市民が担う      4 わからない

この設問では、これからの公共サービスの役割分担について、地域での子育て支援を市と市民がどのように担っていくべきかを聞いている。（集計表 P174 参照）

全体集計では、「市と市民が協働で担う」が69.1%で最も多く、「市が担う」が14.6%、「市民が担う」が9.0%である。「市と市民が協働で担う」が全体の3分の2以上を占めた。

居住地域別集計では、「市が担う」の回答が「河辺」で少なく、「雄和」で多い。また、「市と市民が協働で担う」の回答が「雄和」で若干少ない。



#### 問４－９（健康増進活動）

これからの市と市民による公共サービスの役割分担（健康増進活動）について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が担う      2 市と市民が協働で担う      3 市民が担う      4 わからない

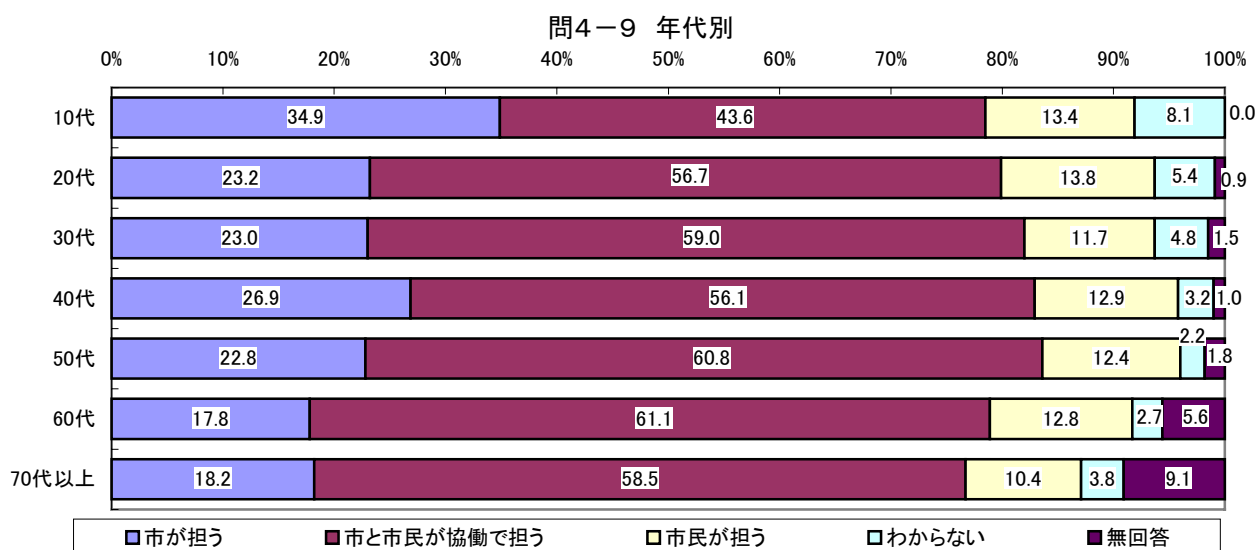
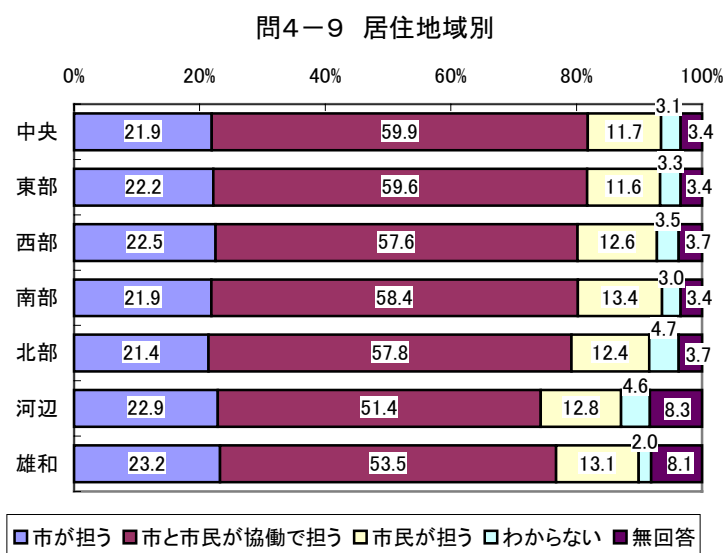
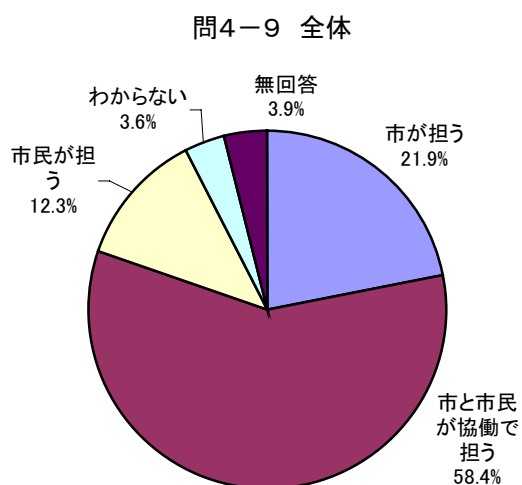
この設問では、これからの公共サービスの役割分担について、健康増進活動を市と市民がどのように担っていくべきかを聞いている。（集計表 P175 参照）

全体集計では、「市と市民が協働で担う」が58.4%で最も多く、「市が担う」が21.9%、「市民が担う」が12.3%である。「市と市民が協働で担う」が全体の半分以上を占めた。

男女別集計では、「市が担う」との回答が「女性」が「男性」を3.1%上回っている。

年代別集計では、「市が担う」の回答が「10代」34.9%と他の年代に比較して多い。また、「市と市民が協働で担う」の回答では「10代」43.6%と少ない。

居住地域別集計では、顕著な差はない。



# 問4-10（防災活動）

これからの市と市民による公共サービスの役割分担（防災活動）について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

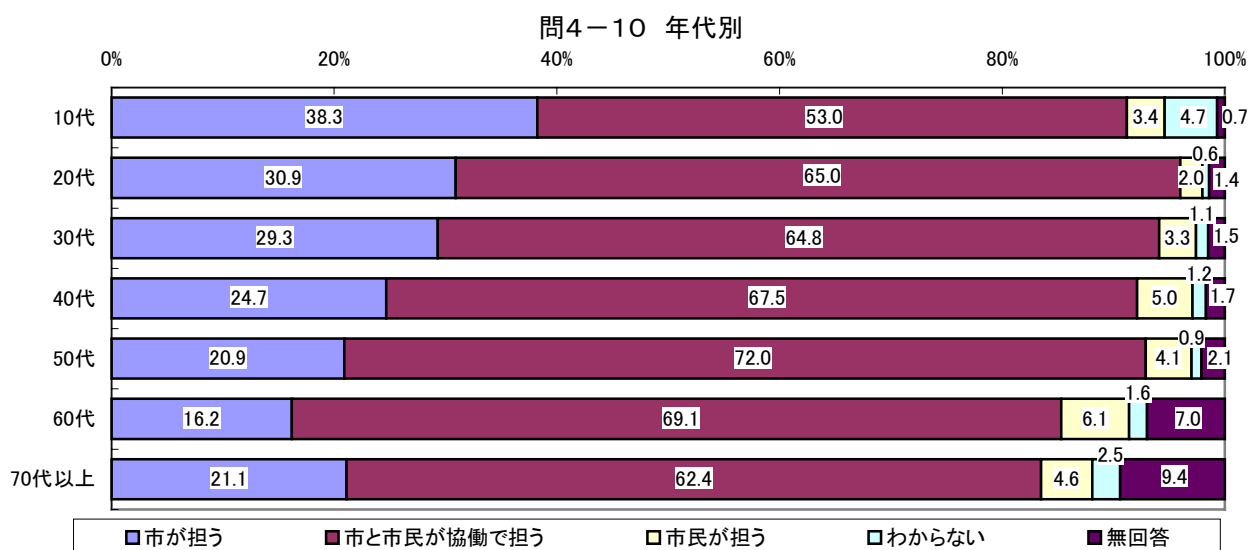
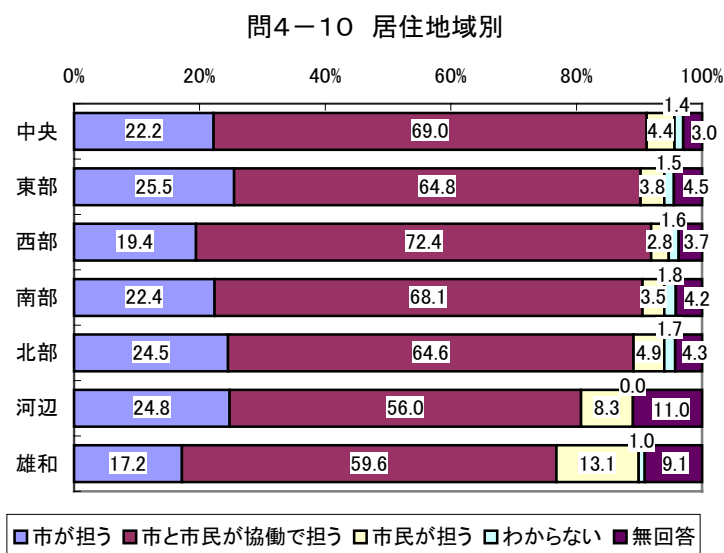
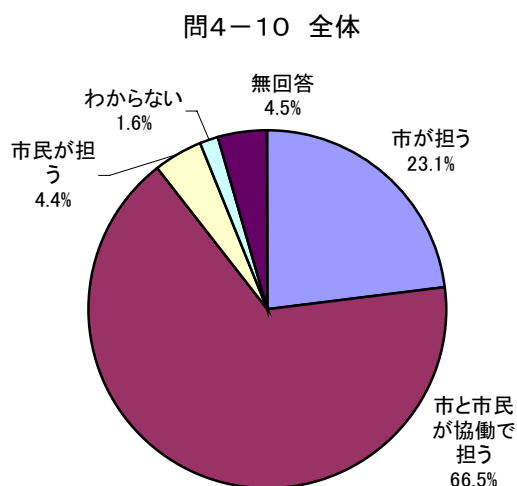
- 1 市が担う      2 市と市民が協働で担う      3 市民が担う      4 わからない

この設問では、これからの公共サービスの役割分担について、防災活動を市と市民がどのように担っていくべきかを聞いている。（集計表 P175 参照）

全体集計では、「市と市民が協働で担う」が66.5%で最も多く、「市が担う」が23.1%、「市民が担う」が4.4%である。「市と市民が協働で担う」が全体の約3分の2を占めた。

年代別集計では、「市が担う」の回答が、年代が上がるにつれて少なくなる傾向がある。

居住地域別集計では、「市が担う」の回答が「雄和」で17.2%と少なく、「市民が担う」が「河辺」で8.3%、「雄和」で13.1%と多い。



# 問4-11（公衆トイレの維持管理）

これからの市と市民による公共サービスの役割分担（公衆トイレの維持管理）について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

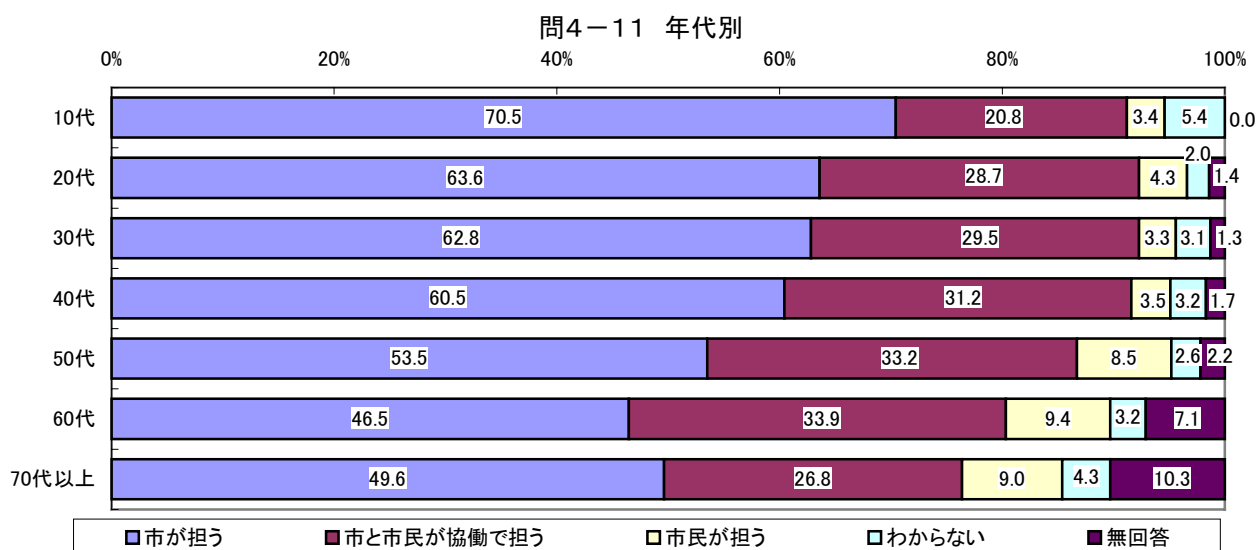
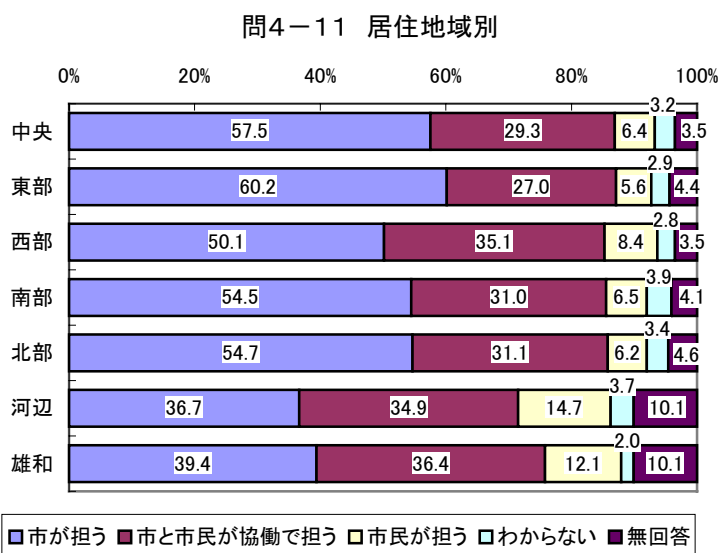
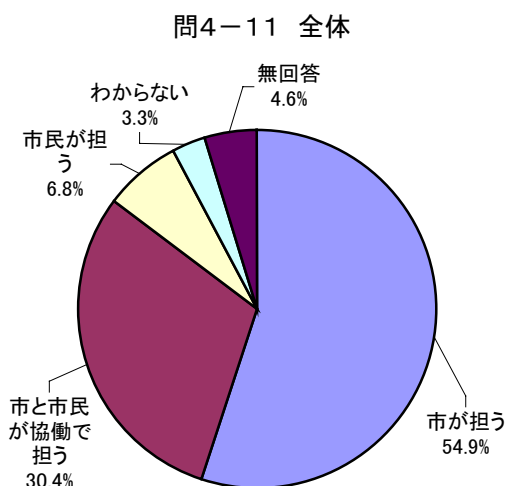
- 1 市が担う      2 市と市民が協働で担う      3 市民が担う      4 わからない

この設問では、これからの公共サービスの役割分担について、公衆トイレの維持管理を市と市民がどのように担っていくべきかを聞いている。（集計表 P176 参照）

全体集計では、「市が担う」が54.9%で最も多く、「市と市民が協働で担う」が30.4%、「市民が担う」が6.8%である。「市が担う」が全体の半分以上を占めた。

年代別集計では、「市が担う」の回答が、年代が上がるにつれて少なくなる傾向がある。

居住地域別集計では、「市が担う」の回答が「河辺」で36.7%、「雄和」で39.4%と少なく、「市民が担う」が「河辺」で14.7%、「雄和」で12.1%と多い。



# 問4-12（地域の文化財の管理・活用）

これからの市と市民による公共サービスの役割分担（地域の文化財の管理・活用）について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

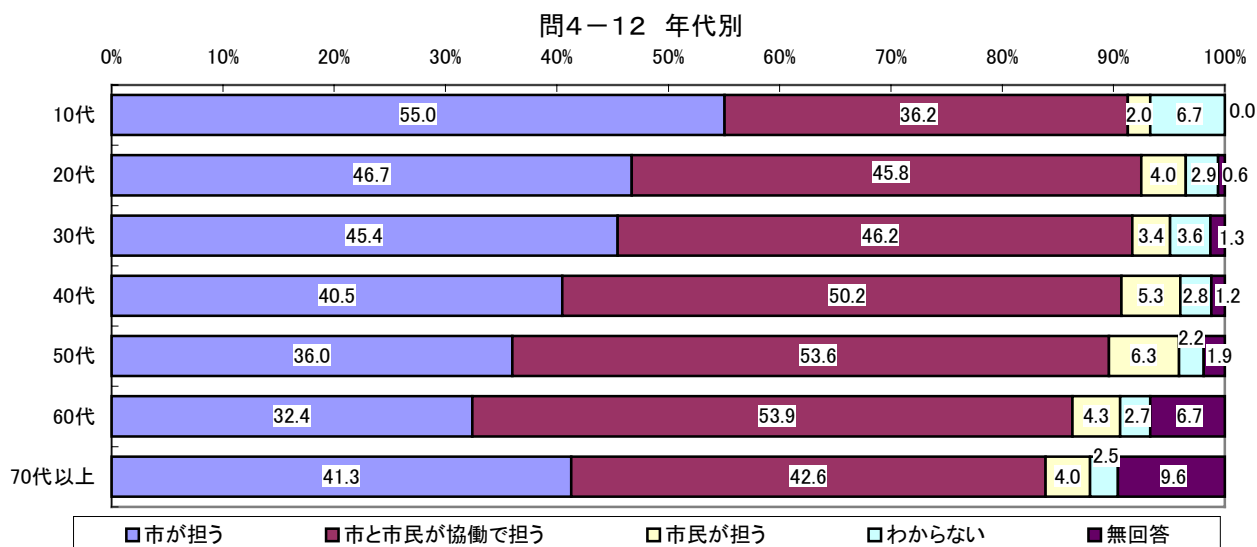
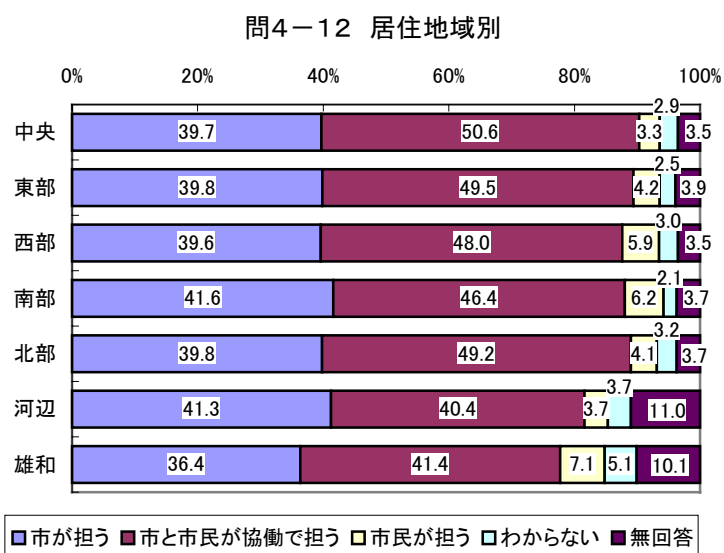
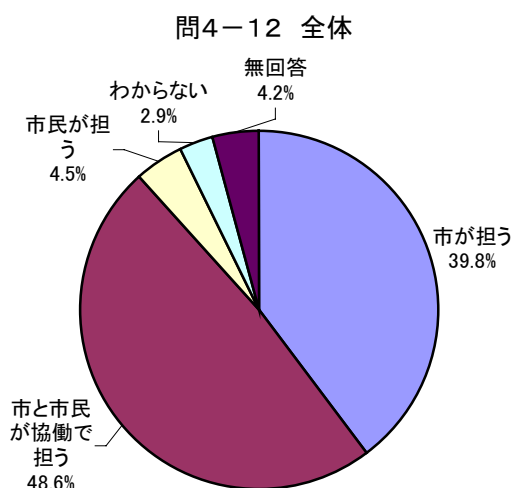
- 1 市が担う      2 市と市民が協働で担う      3 市民が担う      4 わからない

この設問では、これからの公共サービスの役割分担について、地域の文化財の管理・活用を市と市民がどのように担っていくべきかを聞いている。（集計表 P176 参照）

全体集計では、「市と市民が協働で担う」が48.6%で最も多く、「市が担う」が39.8%、「市民が担う」が4.5%である。

年代別集計では、「市が担う」の回答が、年代が上がるにつれて少なくなる傾向がある。

居住地域別集計では、顕著な差はない。



# 問4-13（地域の公共施設の維持管理）

これからの市と市民による公共サービスの役割分担（地域の公共施設の維持管理）について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

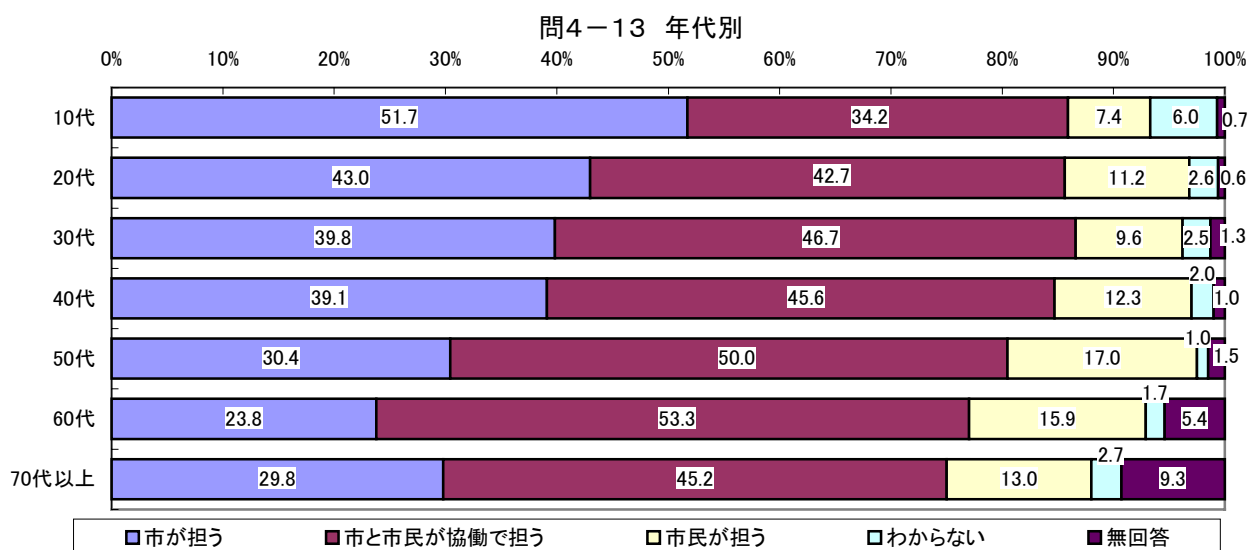
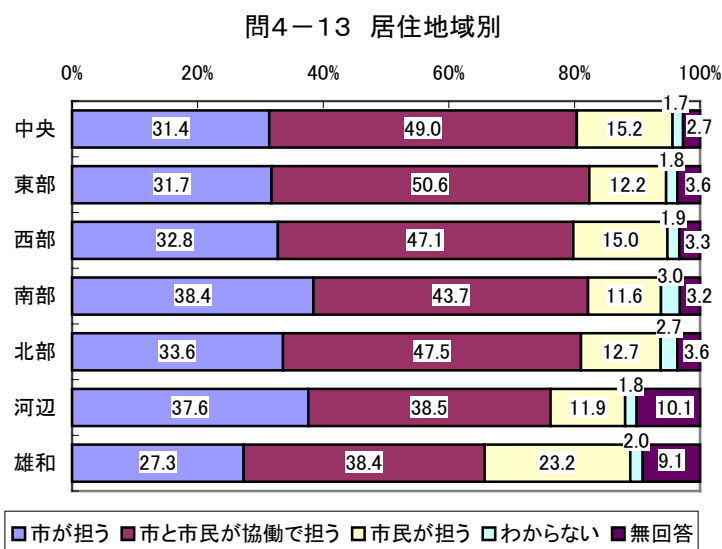
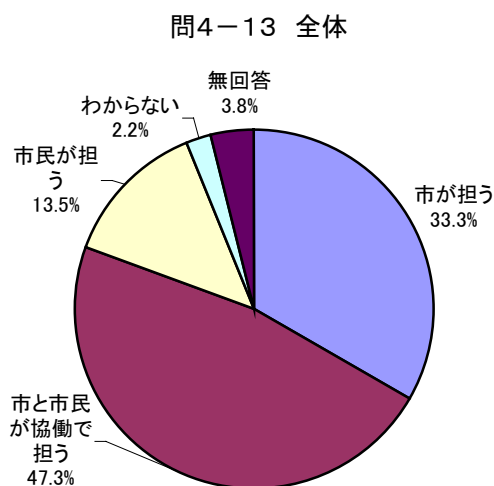
- 1 市が担う      2 市と市民が協働で担う      3 市民が担う      4 わからない

この設問では、これからの公共サービスの役割分担について、地域の公共施設の維持管理を市と市民がどのように担っていくべきかを聞いている。（集計表 P177 参照）

全体集計では、「市と市民が協働で担う」が47.3%で最も多く、「市が担う」が33.3%、「市民が担う」が13.5%である。

年代別集計では、「市が担う」の回答が、年代が上がるにつれて少なくなる傾向がある。

居住地域別集計では、「雄和」で「市が担う」の回答が27.3%と他地域に比較して少なく、「市民が担う」の回答が23.2%と他地域に比較して多い。



## 2 市民活動への関心（問5①）

### 問5①（市民活動への関心）

あなたは、NPO・ボランティア活動などの市民活動に関心がありますか。

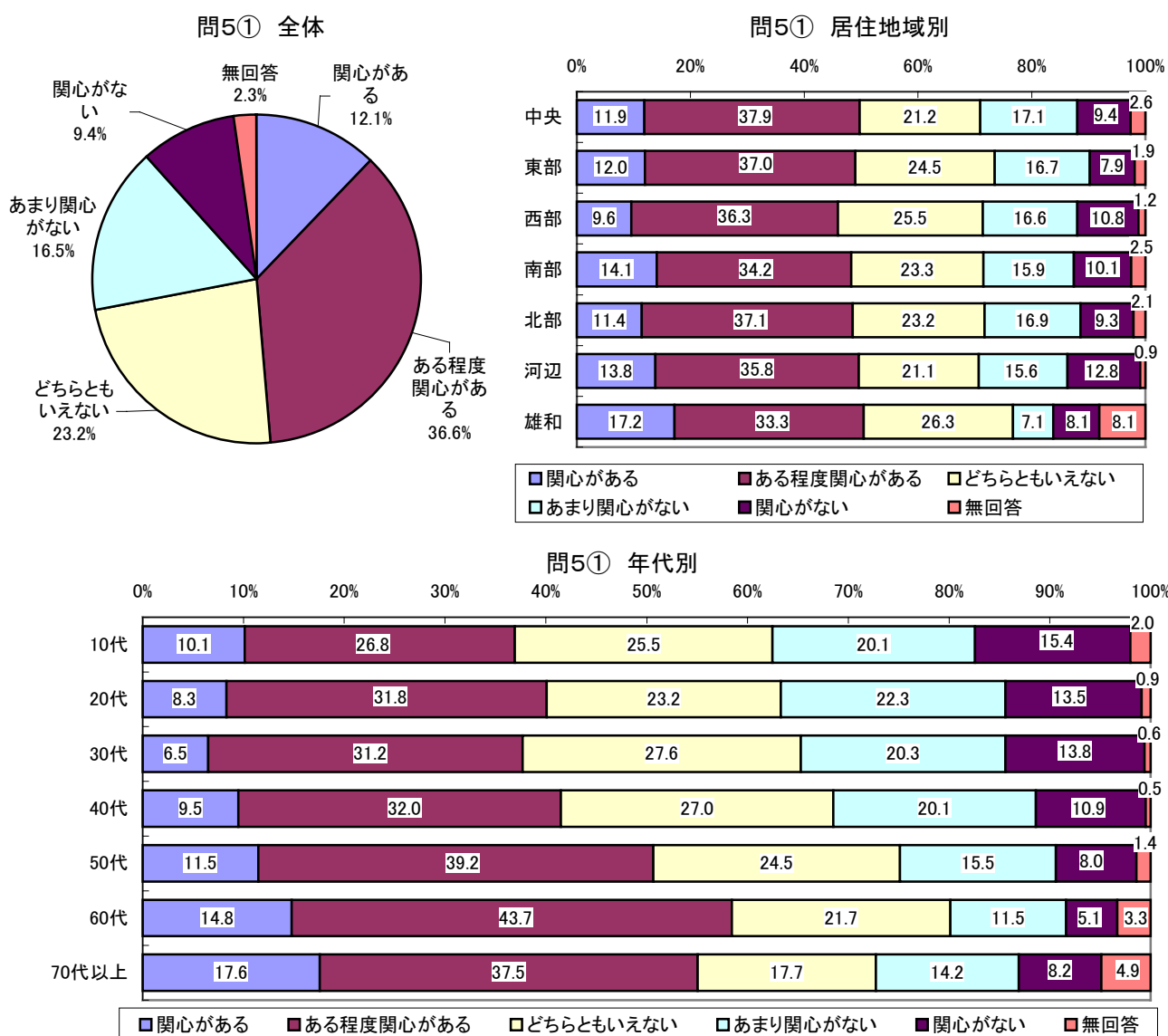
- 1 関心がある      2 ある程度関心がある      3 どちらともいえない  
4 あまり関心がない      5 関心がない

この設問では、市民活動への関心を聞いている。（集計表 P177 参照）

全体集計では、「関心がある」が12.1%、「ある程度関心がある」が36.6%であり、「ある程度」も含めて関心があるという回答の合計が、48.7%と約半分を占めた。一方、「関心がない」が9.4%、「あまり関心がない」が16.5%であり、「あまり」も含めて関心がないという回答の合計が、25.9%であった。「どちらともいえない」は23.2%であった。

年代別集計では、「関心がある」「ある程度関心がある」の合計が、年代が上がるにつれて多くなる傾向がある。

居住地域別集計では、顕著な差はない。



### 3 市民活動への参加（問5②）

#### 問5②（市民活動への参加）

あなたは、NPO・ボランティア活動などの市民活動に参加していますか。

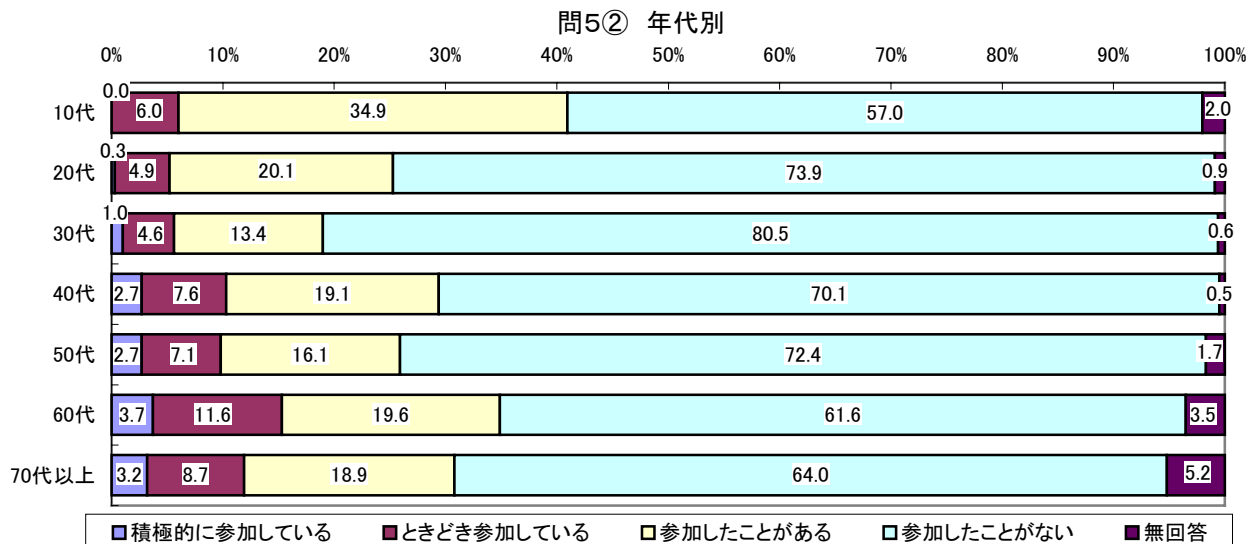
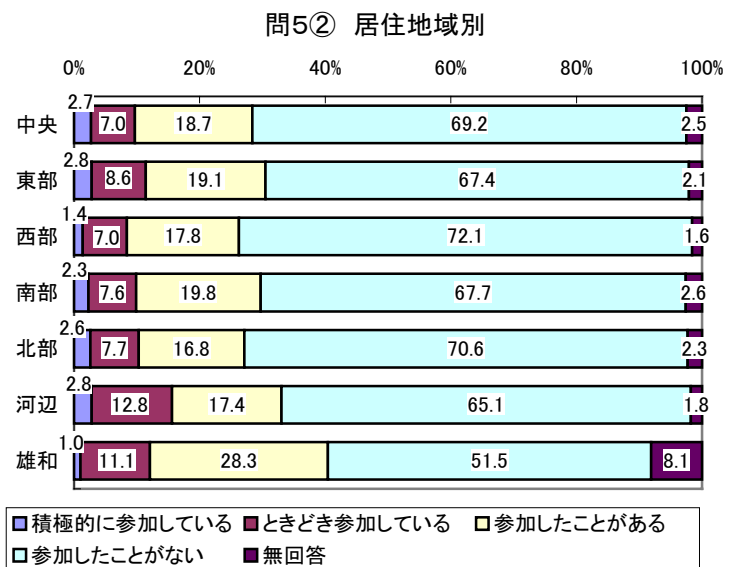
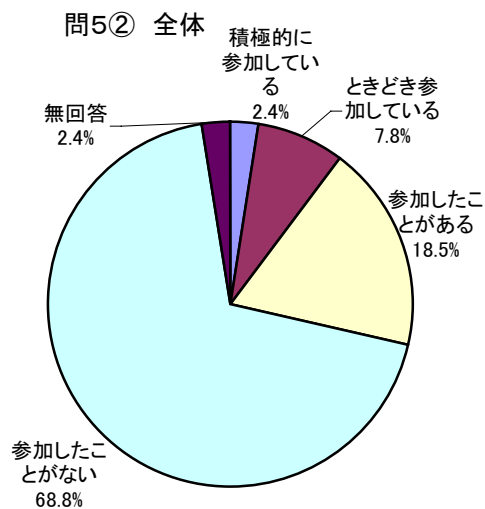
- 1 積極的に参加している      2 ときどき参加している      3 参加したことがある  
4 参加したことがない

この設問では、市民活動への参加について聞いている。（集計表 P178 参照）

全体集計では、「積極的に参加している」が2.4%、「ときどき参加している」が7.8%、「参加したことがある」が18.5%、「参加したことがない」が68.8%であり、「参加したことがない」という回答が3分の2以上を占めた。

年代別集計では、「積極的に参加している」「ときどき参加している」「参加したことがある」の合計が「10代」「60代」で多くなっているが、その内訳をみると「10代」は「参加したことがある」の回答が多く、「60代」は「ときどき参加している」の回答も多い。

居住地域別集計では、「雄和」で「参加したことがある」という回答が多い。



#### 4 関心があるNPO・ボランティア活動の分野（問5③）

##### 問5③（関心があるNPO・ボランティア活動の分野）

①で1から4と答えた方におたずねします。あなたが実際に行っている、または、関心があるNPO・ボランティア活動の分野はどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- |                    |              |                      |
|--------------------|--------------|----------------------|
| 1 保健・医療・福祉の増進      | 2 社会教育の推進    | 3 まちづくりの推進           |
| 4 学術・文化・芸術・スポーツの振興 | 5 環境の保全      | 6 災害救援               |
| 7 地域安全             | 8 人権擁護、平和の推進 | 9 国際協力               |
| 10 男女共生社会の形成促進     | 11 子どもの健全育成  | 12 情報化社会の発展          |
| 13 科学技術の振興         | 14 経済活動の活性化  | 15 職業能力の開発、雇用機会の拡充支援 |
| 16 消費者の保護          | 17 その他       |                      |

この設問では、関心がある市民活動の分野を聞いている。（集計表 P179 参照）

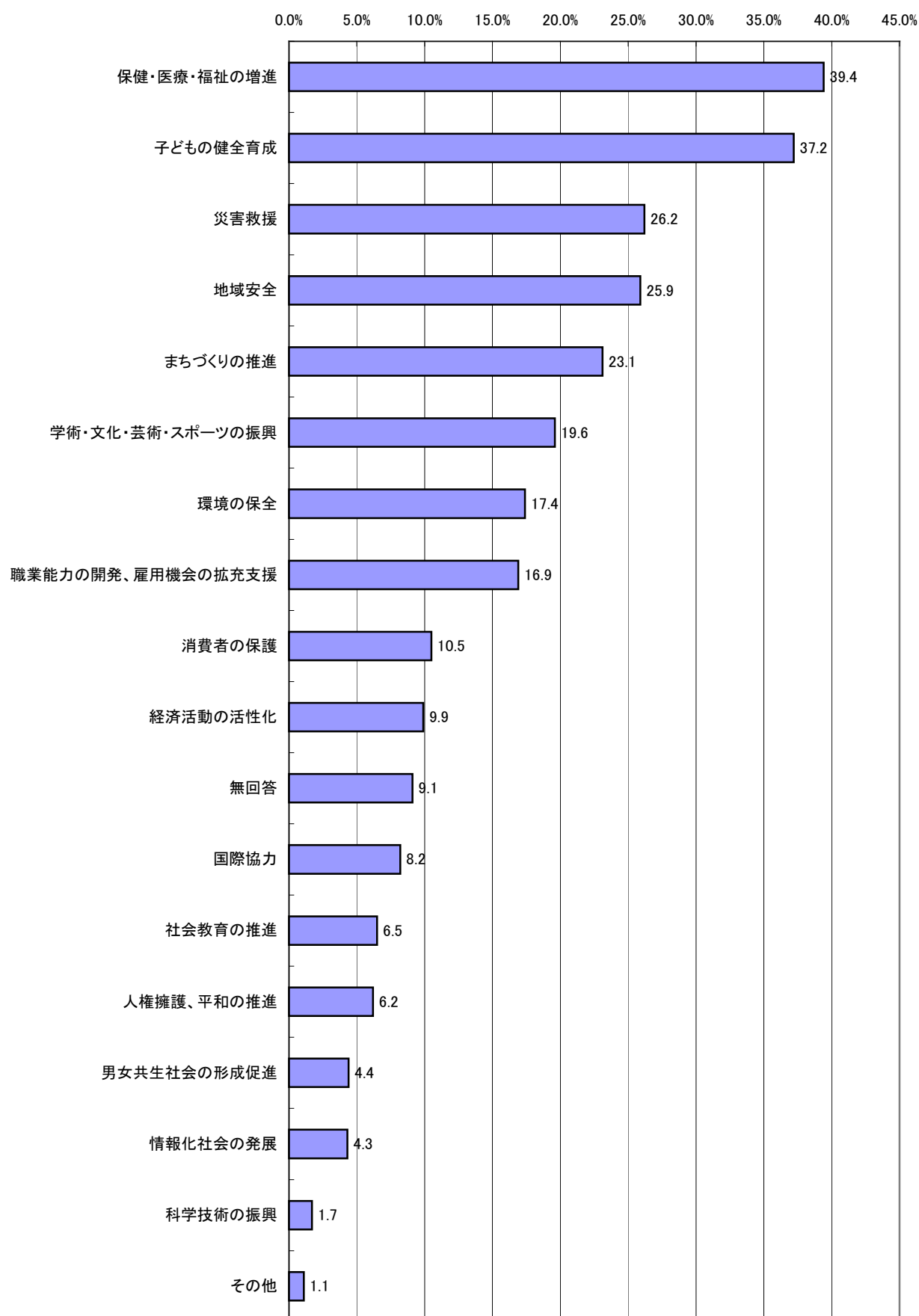
全体集計で回答が多かった市民活動の分野は、「保健・医療・福祉の増進」が39.4%、「子どもの健全育成」が37.2%、「災害救援」が26.2%、「地域安全」が25.9%、「まちづくりの推進」が23.1%であった。（P73 グラフ参照）

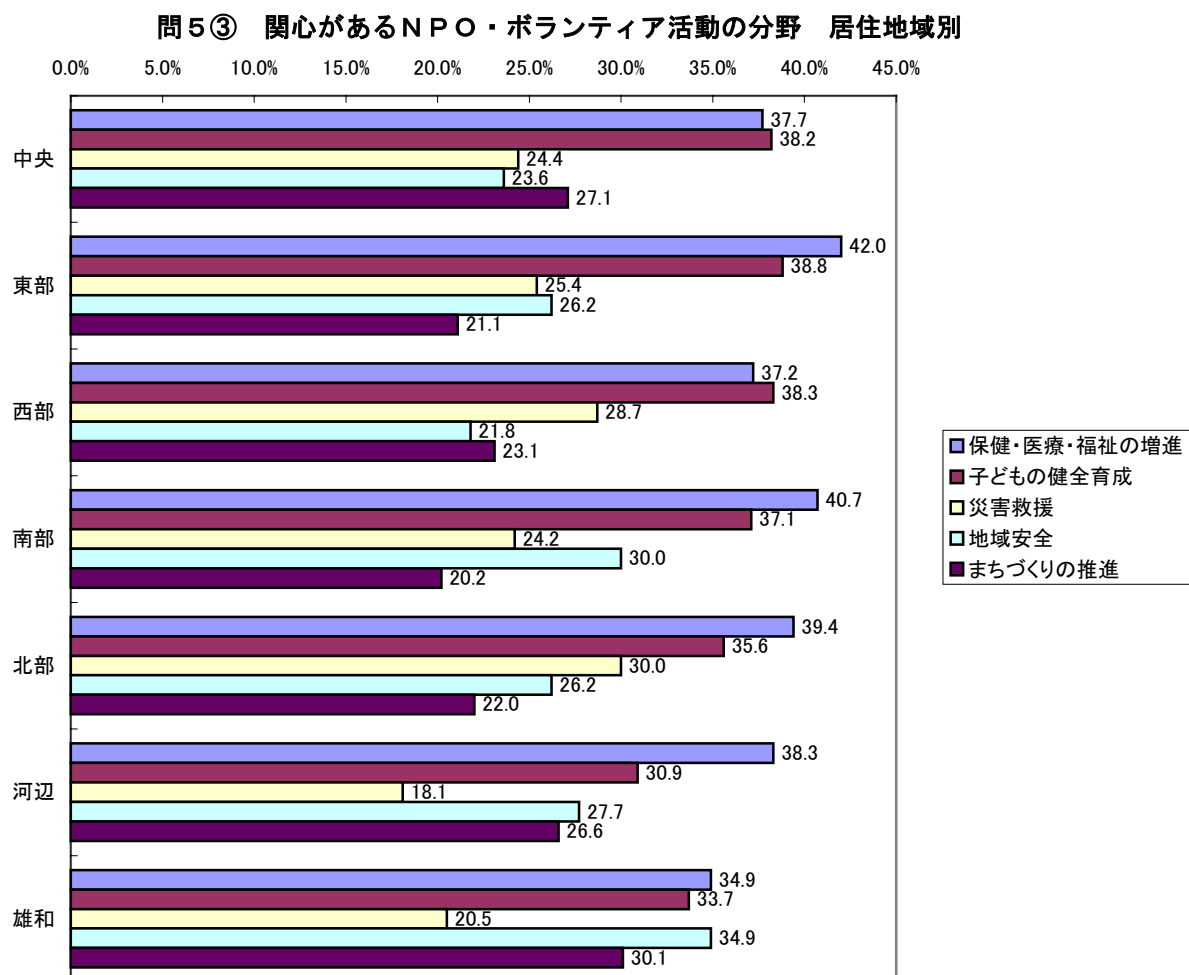
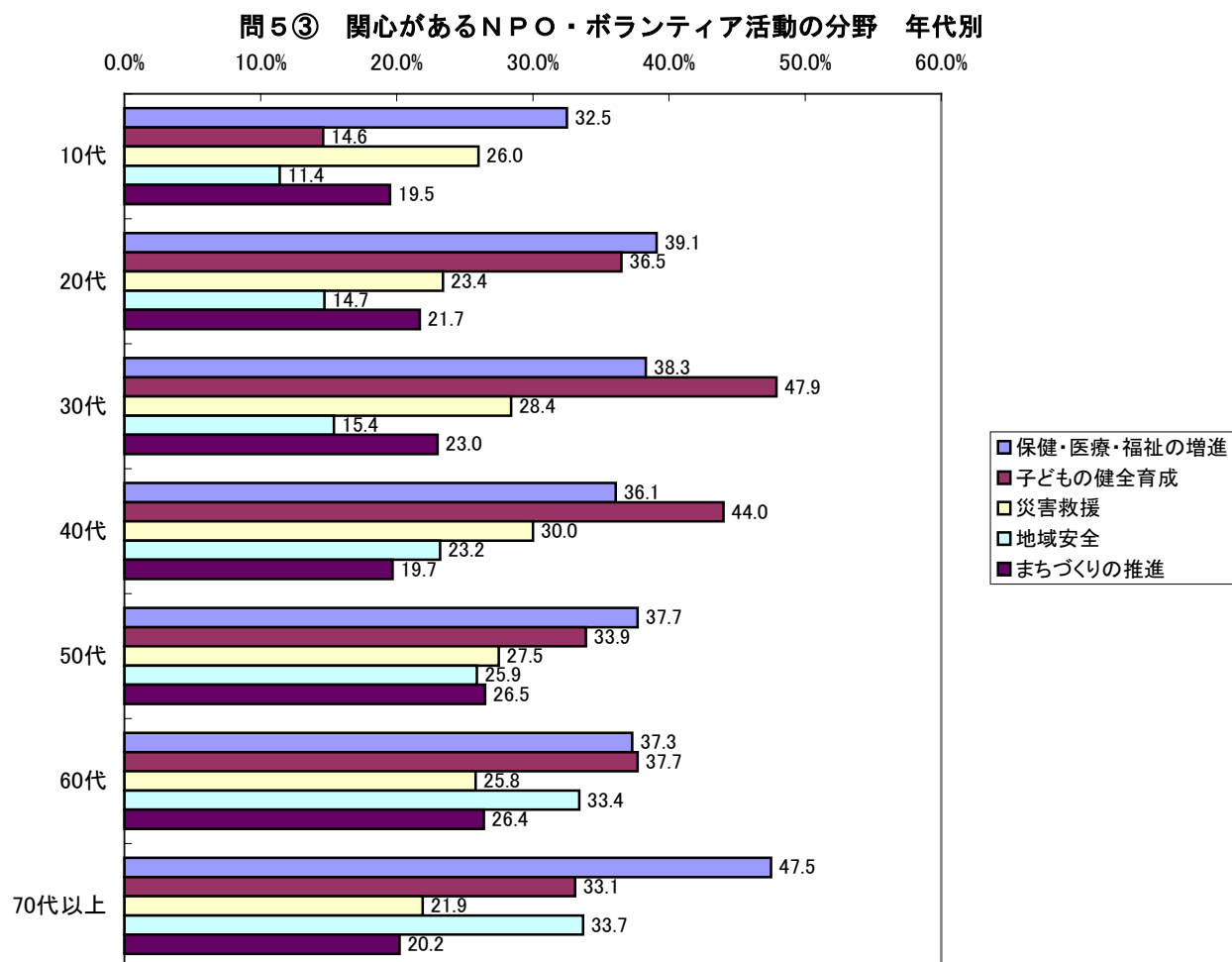
男女別集計では、「女性」が「男性」を上回ったものとして、「保健・医療・福祉の増進」で差が13.0%、「子どもの健全育成」で差が7.4%であり、「男性」が「女性」を上回ったものとして、「環境の保全」で差が9.9%、「まちづくりの推進」で差が6.7%であった。

全体集計で上位を占めた5つの項目について、年代別にみると、「保健・医療・福祉の増進」が「70代以上」で多い。「子どもの健全育成」は、「30代」「40代」で多い。「地域の安全」は、年代が上がるにつれて多くなる傾向がある。（P74 上段グラフ参照）

全体集計で上位を占めた5つの項目について、居住地域別にみると、どの地域でも「保健・医療・福祉の増進」と「子どもの健全育成」が高い割合を占めた。また、「雄和」で「地域の安全」が他地域に比べ多い。（P74 下段グラフ参照）

### 問5③ 関心があるNPO・ボランティア活動の分野





## 5 市民活動を行っている団体への寄付について（問5④）

### 問5④（市民活動を行っている団体への寄付について）

あなたは、NPO・ボランティア活動などの市民活動を行っている団体への寄付についてどう思いますか。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 寄付してもよい        | 2 どちらかという寄付してもよい |
| 3 どちらかという寄付したくない | 4 寄付したくない        |

この設問では、市民活動を行っている団体への寄付について聞いている。（集計表 P180 参照）

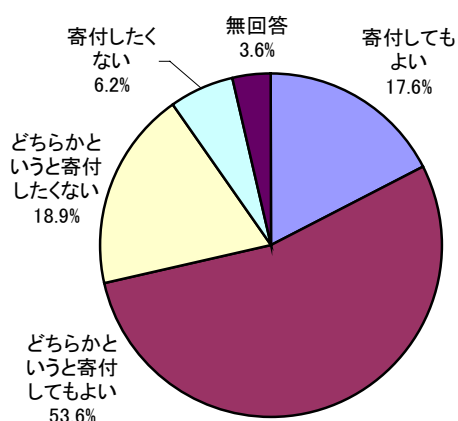
質問の趣旨として、市民活動への意欲、関心を「寄付」という金銭に置き換えて把握しようという側面もある。

全体集計では、「寄付してもよい」が17.6%、「どちらかという寄付してもよい」が53.6%、「どちらかという寄付したくない」が18.9%、「寄付したくない」が6.2%である。「どちらかという寄付してもよい」という回答を含め、71.2%が寄付してもよいと回答した。

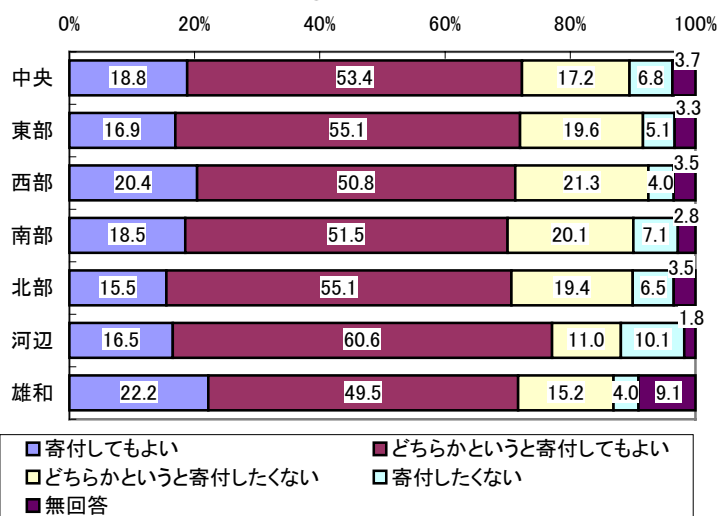
年代別集計では、「30代」で「寄付してもよい」という回答が他の年代より少ない。

居住地域別集計では、「寄付してもよい」「どちらかという寄付してもよい」の回答の合計が「河辺」で若干多くなっているほか、「西部」「雄和」においては「寄付してもよい」の回答が多くなっている。

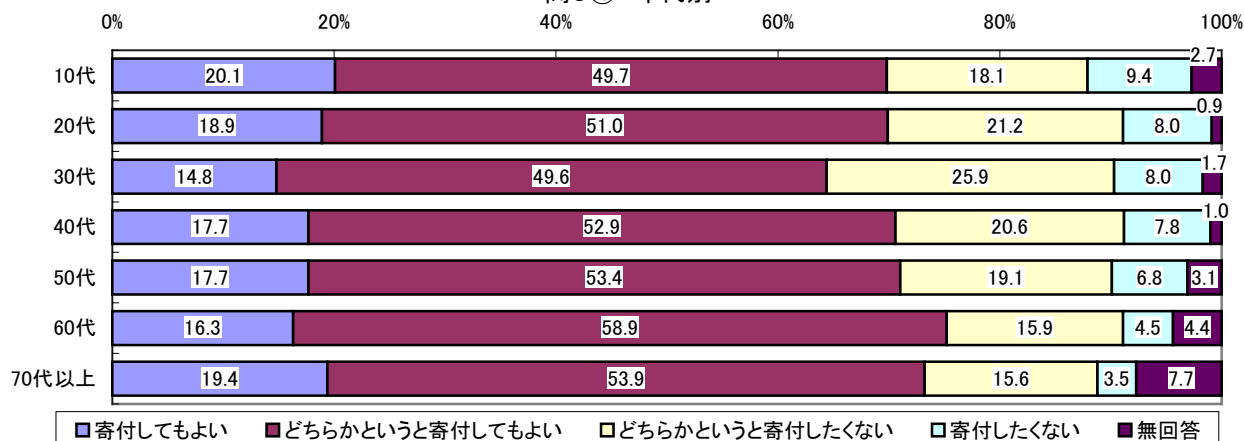
問5④ 全体



問5④ 居住地域別



問5④ 年代別



## 6 秋田市における市民協働の推進について（問6①）

### 【市民協働とは】

日常生活における様々な課題に対し、市民自らも主体となって市と共通の目的をもって解決にあたる仕組みであり、「市民と市がともに考え、ともにつくり、ともに実行していく姿」です。

### 問6①（秋田市における市民協働の推進について）

秋田市は、上記のような市民協働型社会の実現をめざしています。このことをどう考えますか。

- 1 推進すべき                      2 ある程度推進すべき                      3 どちらともいえない  
4 あまり推進すべきでない      5 推進すべきでない

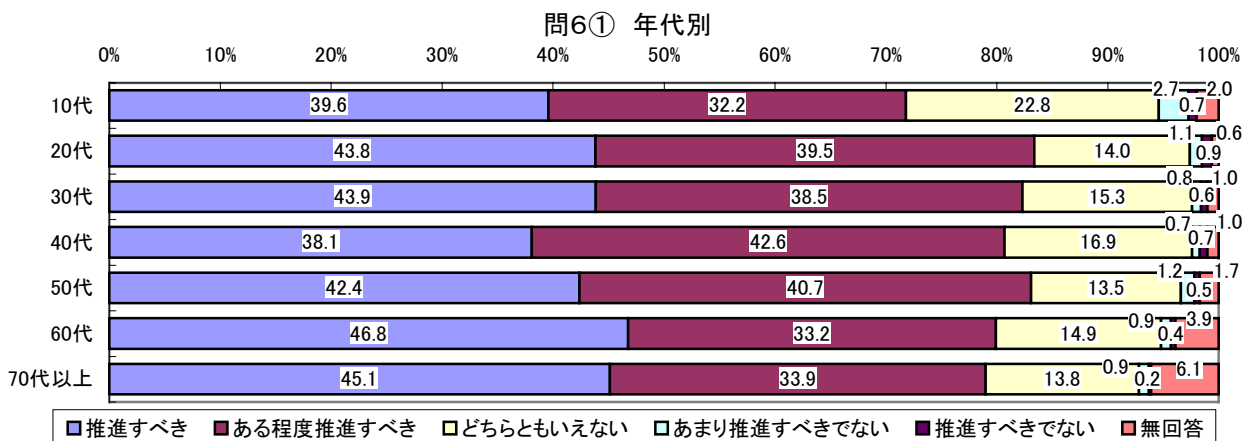
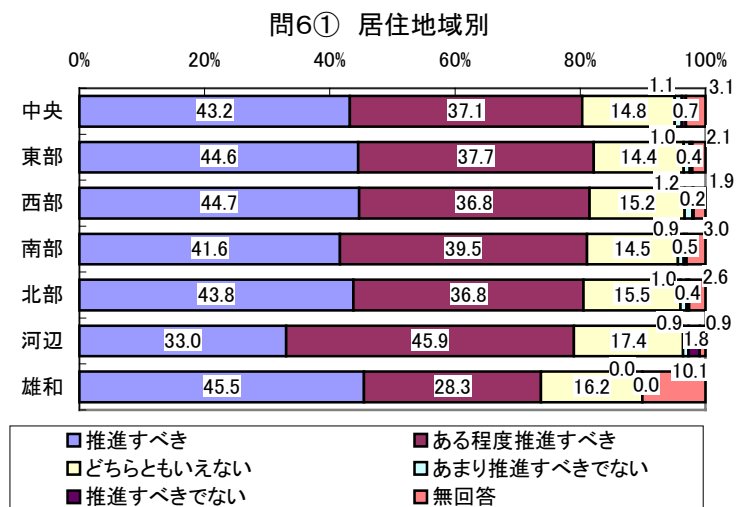
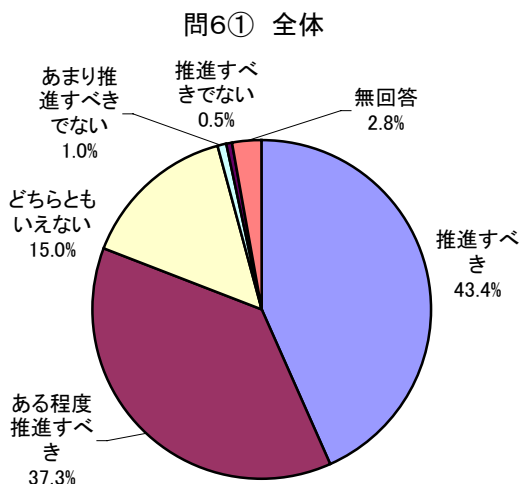
この設問では、秋田市が市民協働型社会の実現を目指すことに関する市民の意識を聞いている。（集計表 P180 参照）

全体集計では、「推進すべき」が43.4%、「ある程度推進すべき」が37.3%、「どちらともいえない」が15.0%、「あまり推進すべきでない」が1.0%、「推進すべきでない」が0.5%であり、「ある程度推進すべき」も含め、推進すべきとの回答は80.7%である。

男女別集計では、「推進すべき」の回答で、「男性」が7.3%「女性」を上回っている。

年代別集計では、「10代」で、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の回答の合計が少なく、「どちらともいえない」の回答が多い。

居住地域別集計では、「推進すべき」の回答が「河辺」で他地域に比べ少ない。



## 7 市民協働型社会推進のために秋田市が取り組むべきこと（問6②）

### 問6②（市民協働型社会推進のために秋田市が取り組むべきこと）

①で1または2と答えた方におたずねします。市民協働型社会推進のために、秋田市が取り組むべきことは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

- |                  |                              |
|------------------|------------------------------|
| 1 市政情報の積極的な提供    | 2 職員の意識改革など、市役所の体制整備         |
| 3 市民活動促進のための支援   | 4 市の業務における他の団体との協力促進と業務委託の検討 |
| 5 市民と市の意見交換の場の設定 | 6 しあわせづくり秋田市民公聴条例の一層の促進      |
| 7 市民の協働意識の醸成     | 8 その他                        |

この設問では、市民協働型社会推進のために秋田市が取り組むべきことを聞いている。（集計表 P181 参照）

全体集計では、「職員の意識改革など、市役所の体制整備」が58.3%、「市民と市の意見交換の場の設定」が56.1%、「市政情報の積極的な提供」が48.0%で上位を占めた。

全体集計で上位を占めた5つの項目について年代別にみると、「職員の意識改革など、市役所の体制整備」が「20代」から「50代」で多い。

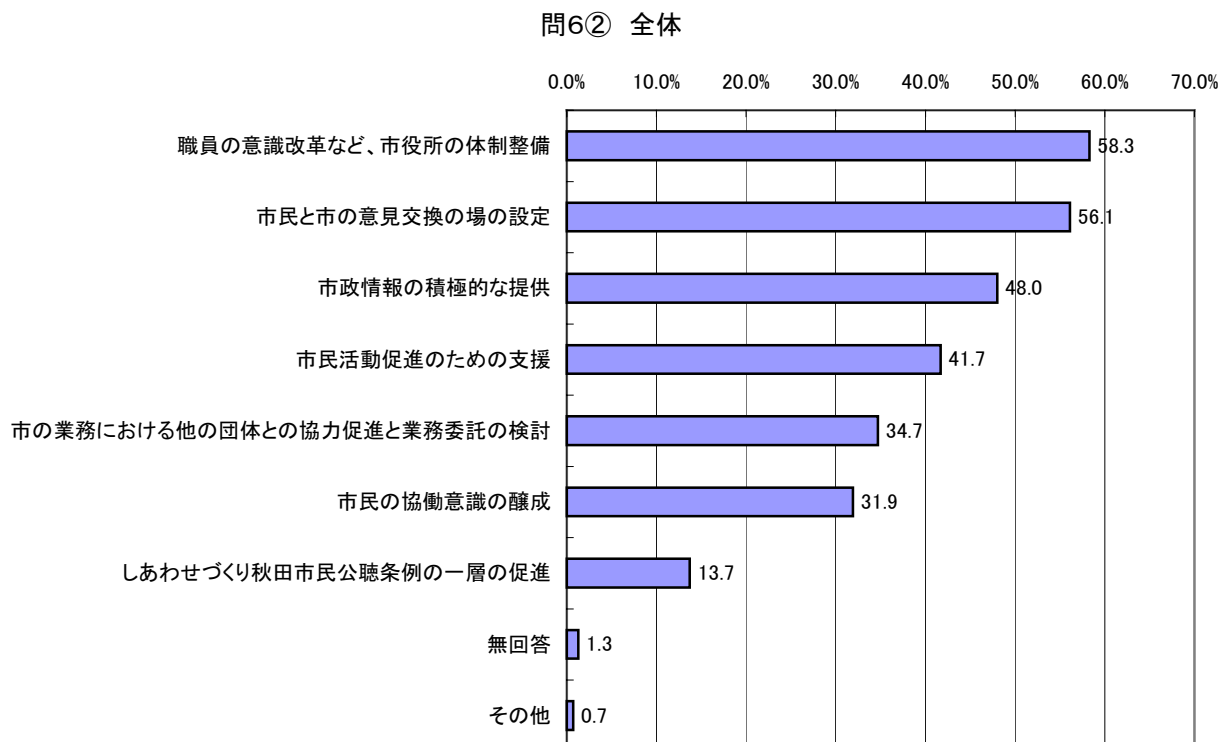
「市民と市の意見交換の場の設定」では、「10代」が64.5%と最も多い。

「市政情報の積極的な提供」は、「70代以上」で他の年代より高い割合を占めた。

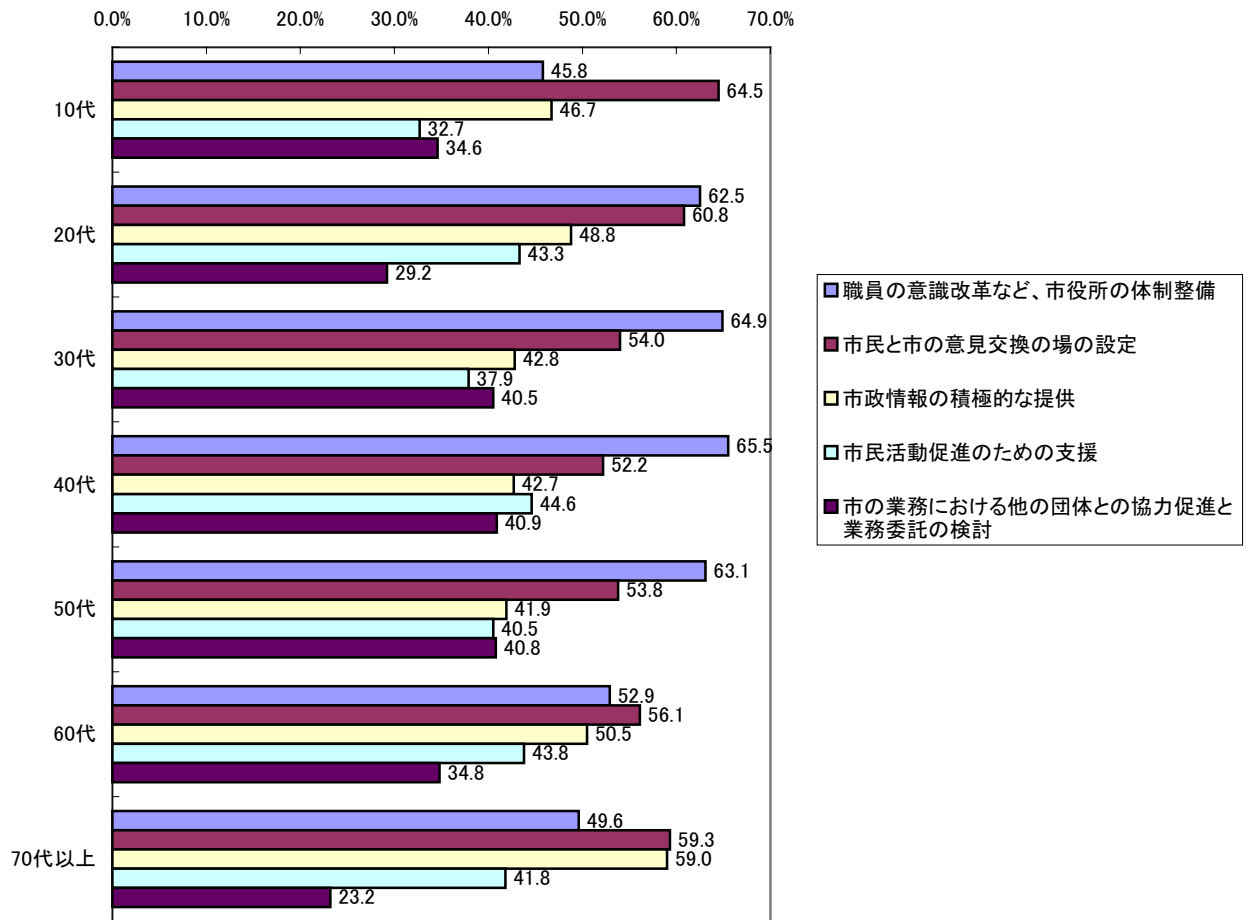
「市の業務における他の団体との協力促進と業務委託の検討」は、「30代」から「50代」が他の年代より多い。

全体集計で上位を占めた5つの項目について居住地域別にみると、「職員の意識改革など、市役所の体制整備」が「雄和」で少ない。（P78 グラフ参照）

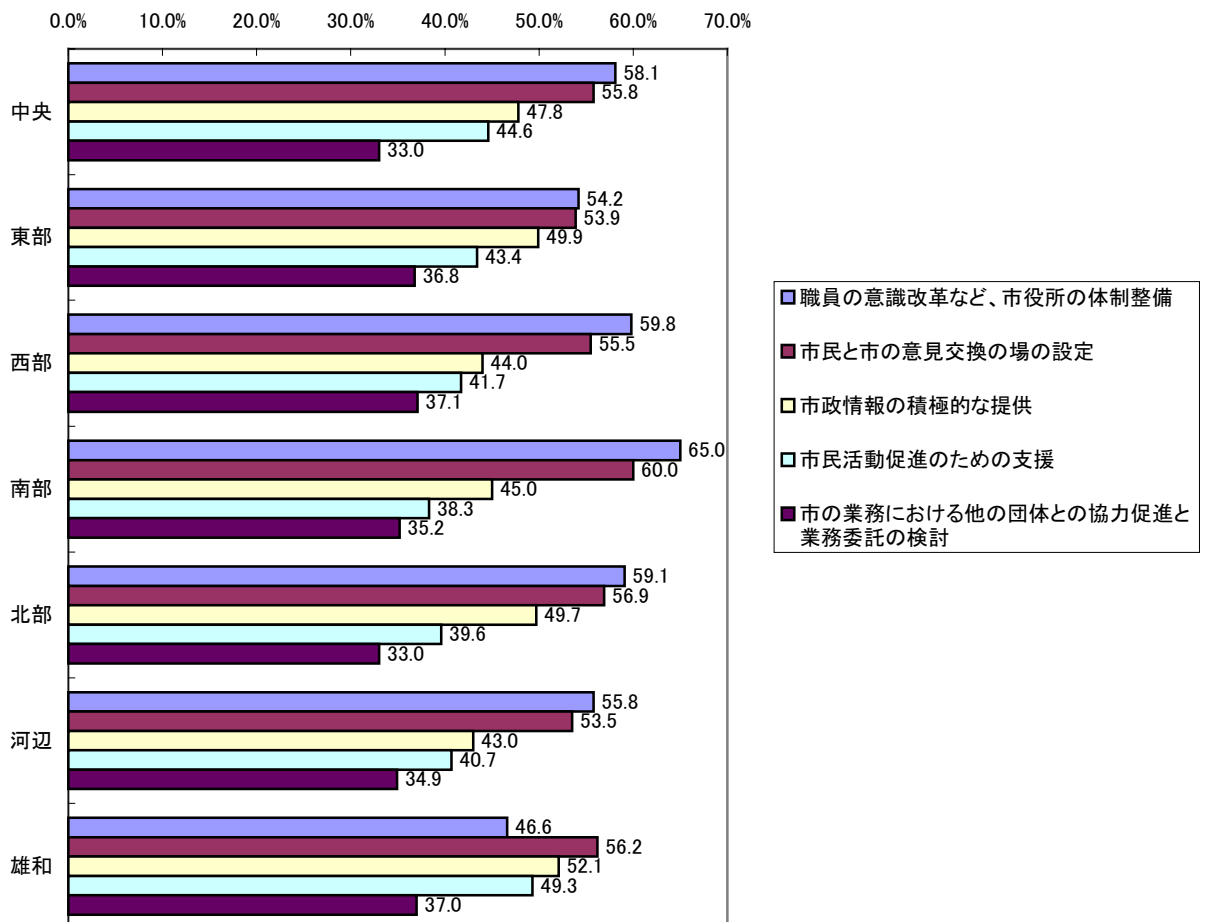
【回答者数】 3,273名



問6② 年代別



問6② 居住地域別



## 8 市民協働推進による公共サービスの変化（問6③）

### 問6③（市民協働推進による公共サービスの変化）

秋田市は、市民協働を推進することにより、次のような公共サービスの変化を期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

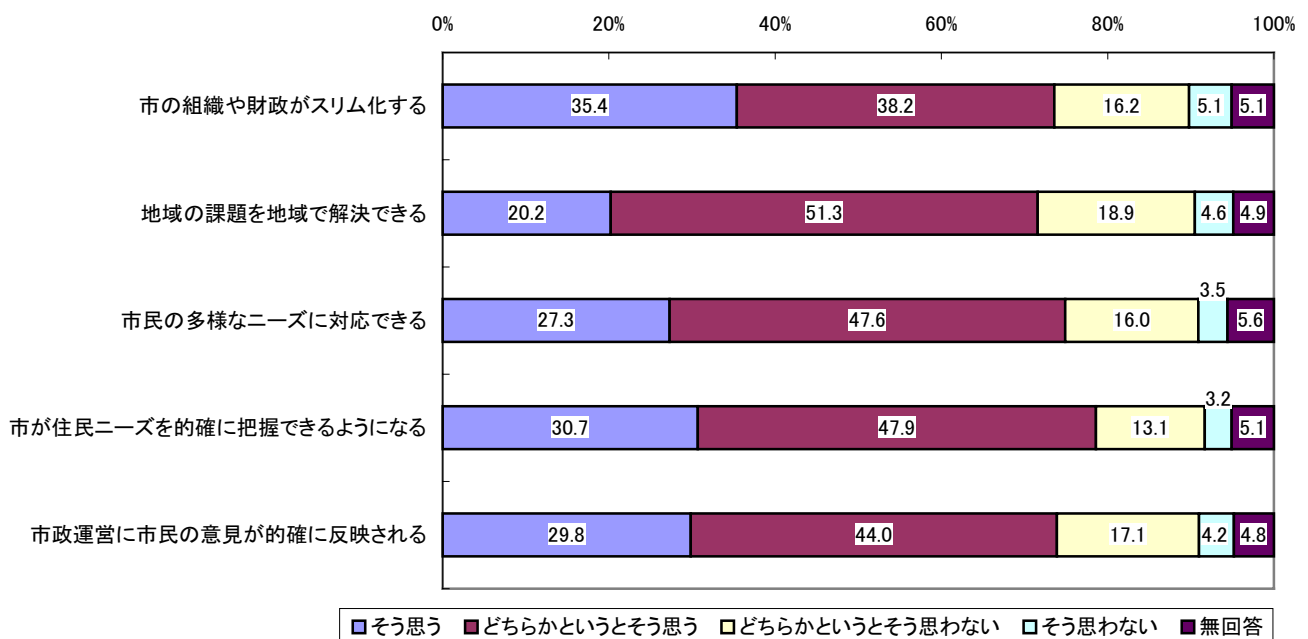
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が市民協働を推進することにより期待する公共サービスの変化について、市民の意識を聞いている。（集計表 P182～184 参照）

「市の組織や財政がスリム化する」「地域の課題を地域で解決できる」「市民の多様なニーズに対応できる」「市が住民ニーズを的確に把握できるようになる」「市政運営に市民の意見が的確に反映される」の5つの項目について質問した結果、5つの項目すべてについて、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計が70%を超えた。

また、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計は、「市が住民ニーズを的確に把握できるようになる」が78.6%で最も多く、次いで「市民の多様なニーズに対応できる」74.9%、「市政運営に市民の意見が的確に反映される」73.8%、「市の組織や財政がスリム化する」73.6%、「地域の課題は地域で解決できる」71.5%の順となった。

問6③ 全体



### 問6③-1（市の組織や財政がスリム化する）

秋田市は、市民協働を推進することにより、次のような公共サービスの変化（市の組織や財政がスリム化する）を期待していますが、あなたはごどう思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

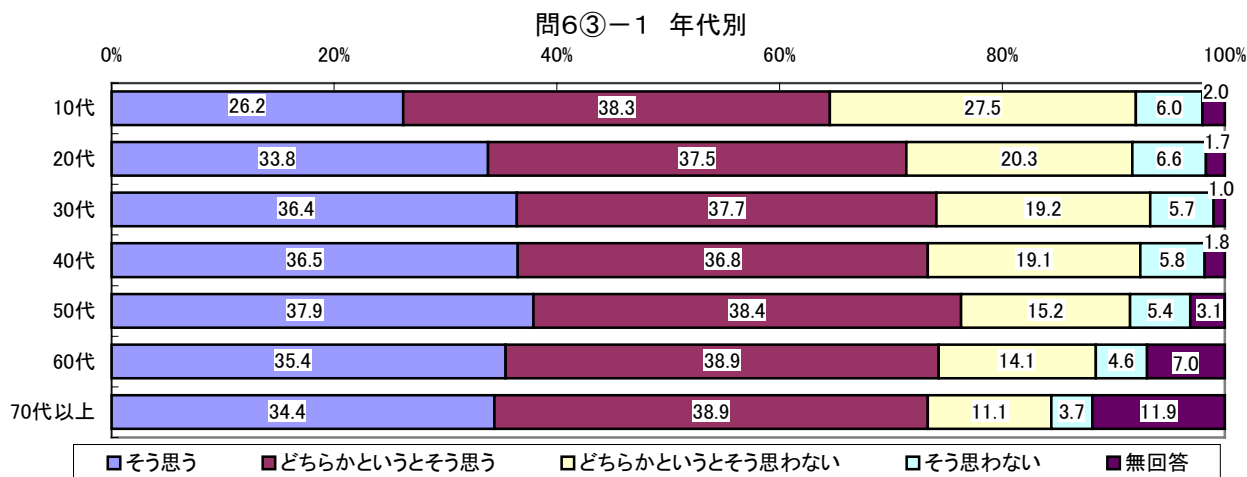
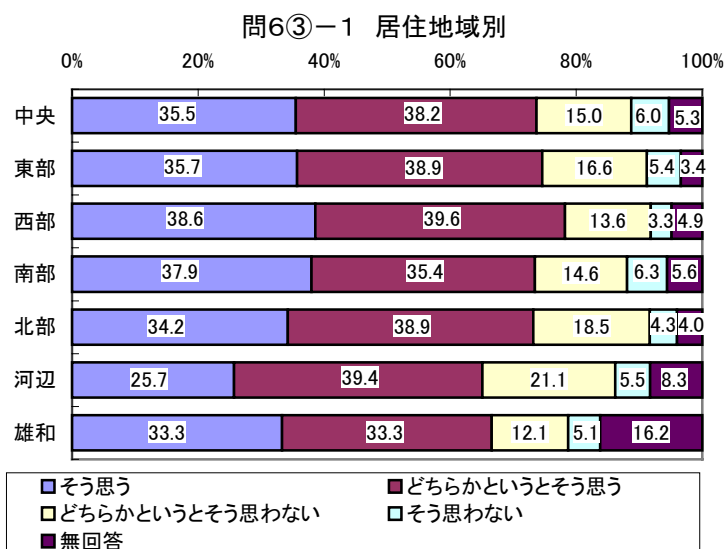
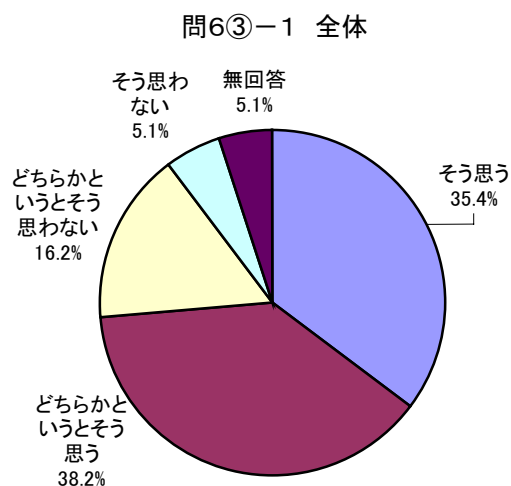
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が市民協働を推進することにより市の組織や財政がスリム化するかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P182 参照）

全体集計では、「そう思う」が35.4%、「どちらかというと思う」が38.2%、「どちらかというと思わない」が16.2%、「そう思わない」が5.1%であり、「どちらかというと思う」も含めそう思うとの回答が73.6%であった。

年代別集計では、「10代」で「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計が他の年代に比較して少なく、「そう思わない」「どちらかというと思わない」の合計が多い。

居住地域別集計では、「河辺」の「そう思う」の回答が他地域に比較して少なく、「どちらかというと思わない」が多い。



問6③-2（地域の課題を地域で解決できる）

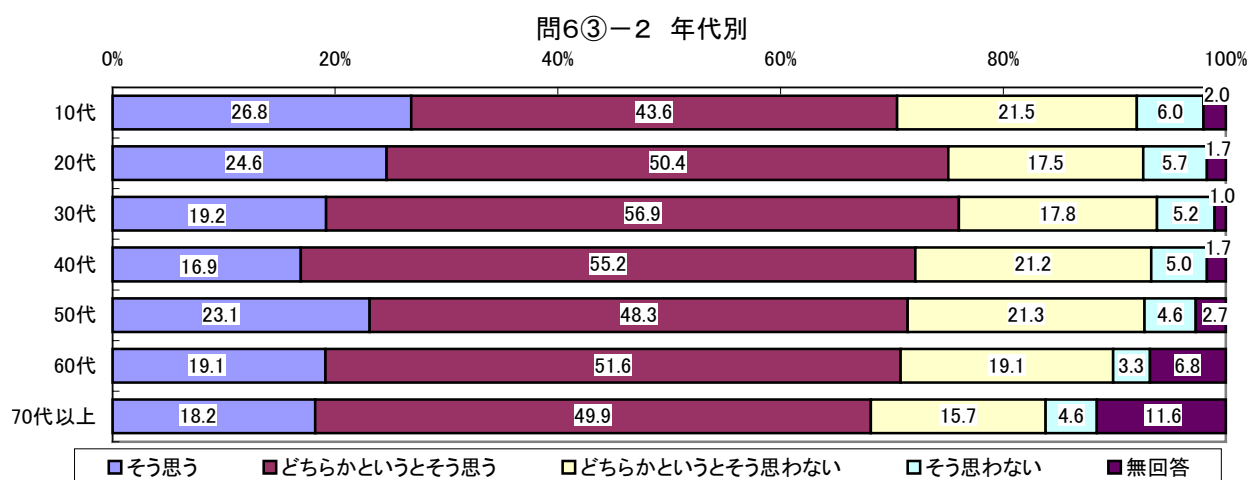
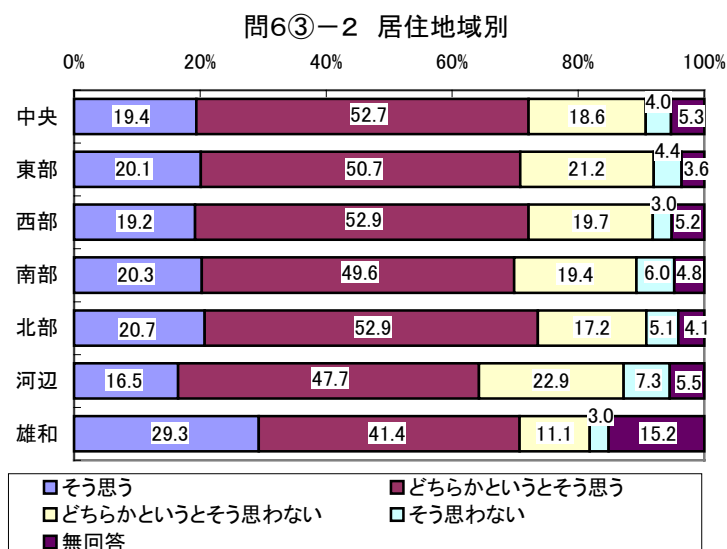
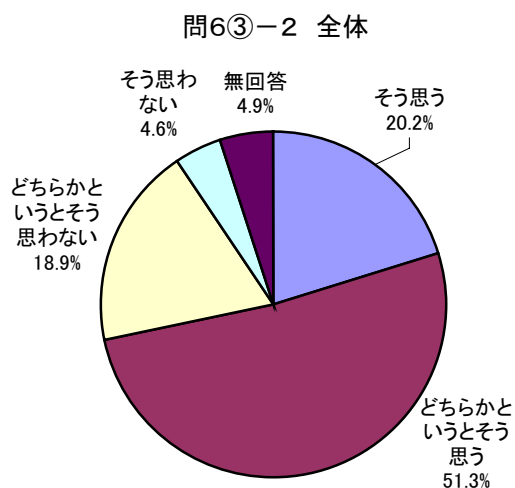
秋田市は、市民協働を推進することにより、次のような公共サービスの変化（地域の課題を地域で解決できる）を期待していますが、あなたはごどう思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が市民協働を推進することにより地域の課題を地域で解決できるようになるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P182 参照）

全体集計では、「そう思う」が20.2%、「どちらかというと思う」が51.3%、「どちらかというと思わない」が18.9%、「そう思わない」が4.6%であり、「どちらかというと思う」も含め、そう思うという回答は71.5%である。

居住地域別集計では、「河辺」の「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計が、他地域に比較して少ない。



問6③-3（市民の多様なニーズに対応できる）

秋田市は、市民協働を推進することにより、次のような公共サービスの変化（市民の多様なニーズに対応できる）を期待していますが、あなたはごどう思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

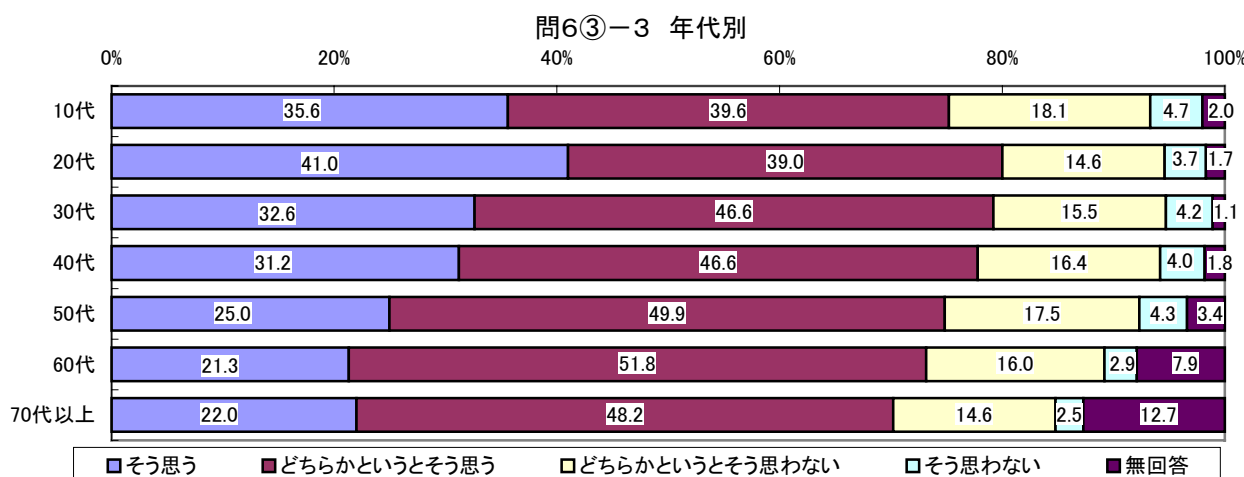
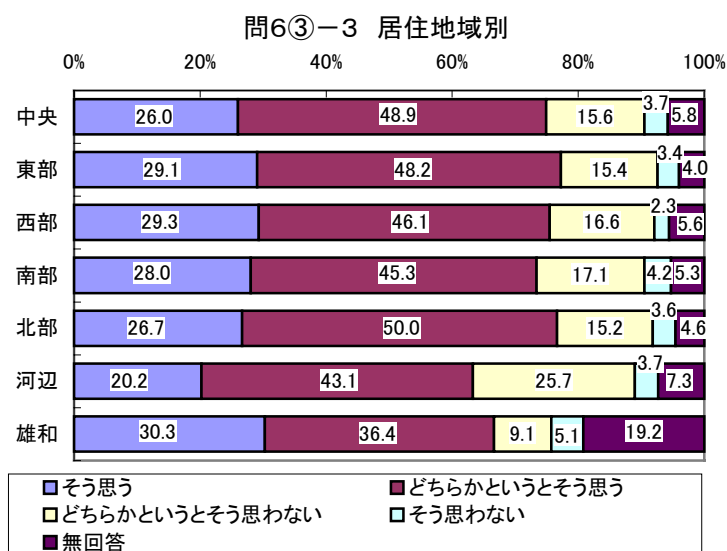
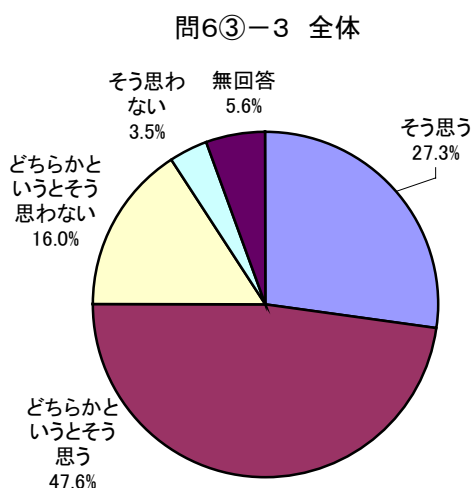
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が市民協働を推進することにより市民の多様なニーズに対応できるようになるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P183 参照）

全体集計では、「そう思う」が27.3%、「どちらかというと思う」が47.6%、「どちらかというと思わない」が16.0%、「そう思わない」が3.5%であり、「どちらかというと思う」も含め、そう思うという回答は74.9%である。

年代別集計では、年代が上がるにつれて「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計が少なくなる傾向がある。

居住地域別集計では、「河辺」の「そう思う」の回答が他地域に比較して少なく、「どちらかというと思わない」の回答が多い。



問6③-4（市が住民ニーズを的確に把握できるようになる）

秋田市は、市民協働を推進することにより、次のような公共サービスの変化（市が住民ニーズを的確に把握できるようになる）を期待していますが、あなたはごどう思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

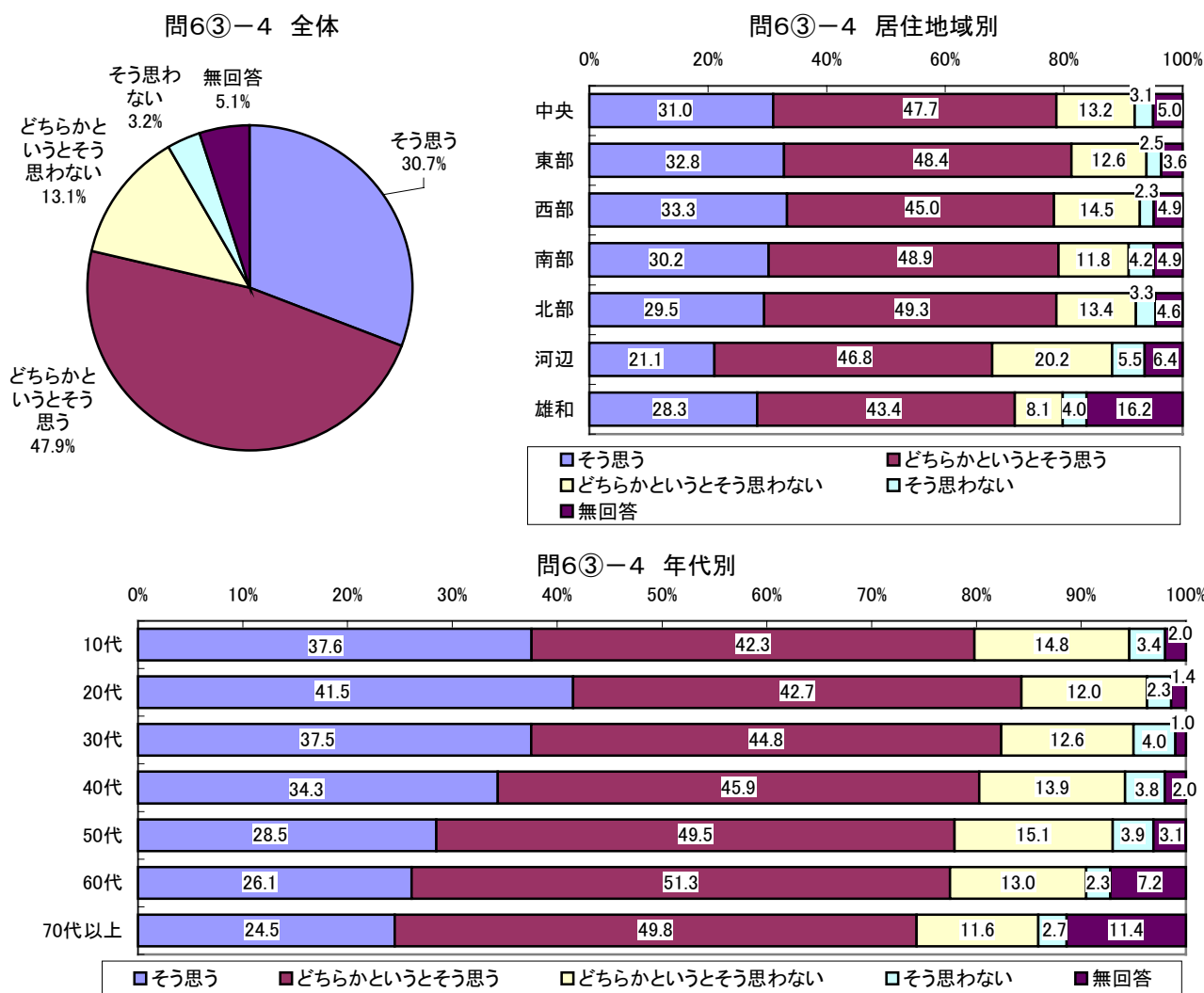
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が市民協働を推進することにより市が住民ニーズを的確に把握できるようになるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P183 参照）

全体集計では、「そう思う」が30.7%、「どちらかというと思う」が47.9%、「どちらかというと思わない」が13.1%、「そう思わない」が3.2%であり、「どちらかというと思う」も含め、そう思うという回答は78.6%である。

年代別集計では、年代が上がるにつれて「そう思う」の回答が少なくなる傾向がある。

居住地域別集計では、「河辺」の「そう思う」の回答が他地域に比較して少なく、「どちらかというと思わない」の回答が多い。



問6③－5（市政運営に市民の意見が的確に反映される）

秋田市は、市民協働を推進することにより、次のような公共サービスの変化（市政運営に市民の意見が的確に反映される）を期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

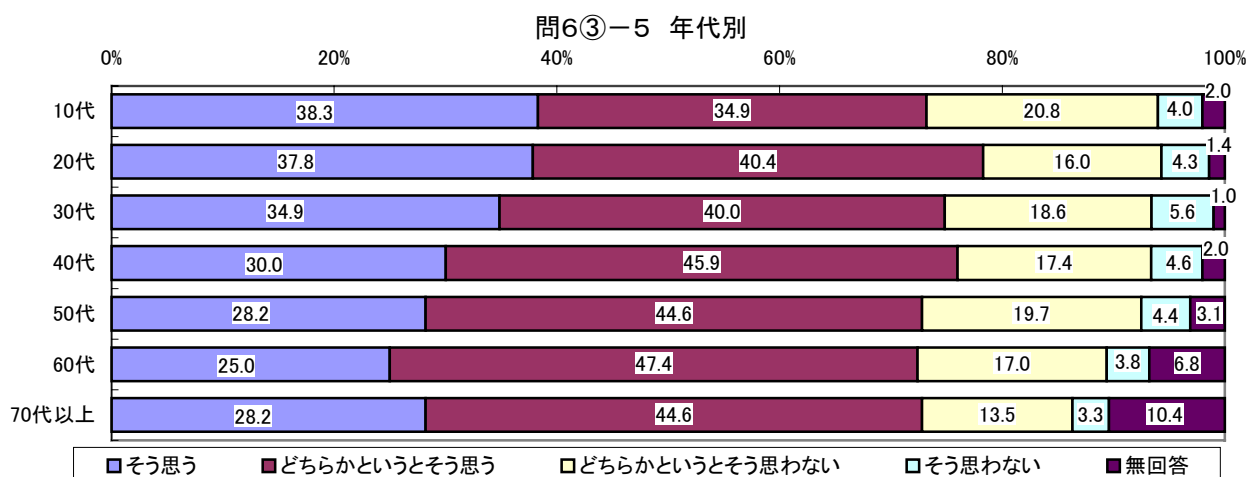
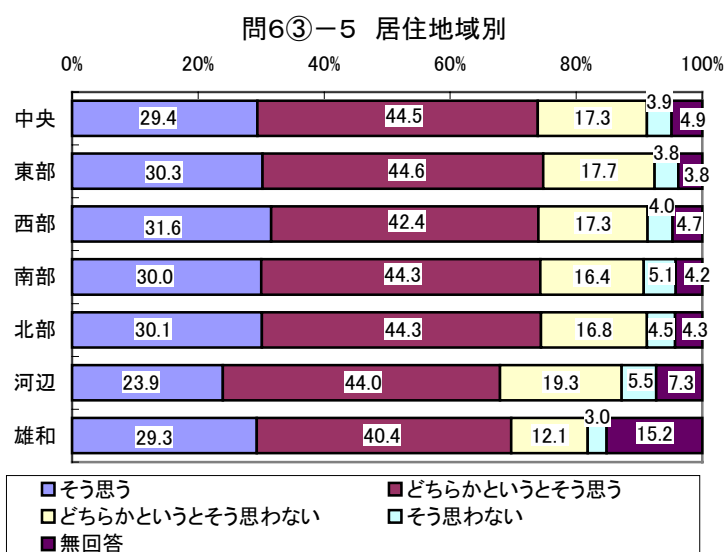
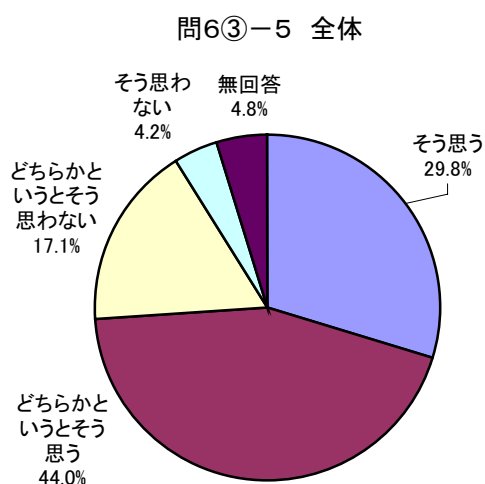
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が市民協働を推進することにより市政運営に市民の意見が的確に反映されるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P184 参照）

全体集計では、「そう思う」が29.8%、「どちらかというと思う」が44.0%、「どちらかというと思わない」が17.1%、「そう思わない」が4.2%であり、「どちらかというと思う」も含め、そう思うという回答は73.8%である。

年代別集計では、年代が上がるにつれて「そう思う」の回答が少なくなる傾向がある。

居住地域別集計では、「河辺」の「そう思う」の回答が他地域に比較して少ない。



## 9 市民協働推進による市民の暮らしや意識の変化（問6④）

### 問6④（市民協働推進による市民の暮らしや意識の変化）

秋田市は、市民協働を推進することにより、市民の暮らしや意識が次のように変わることを期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

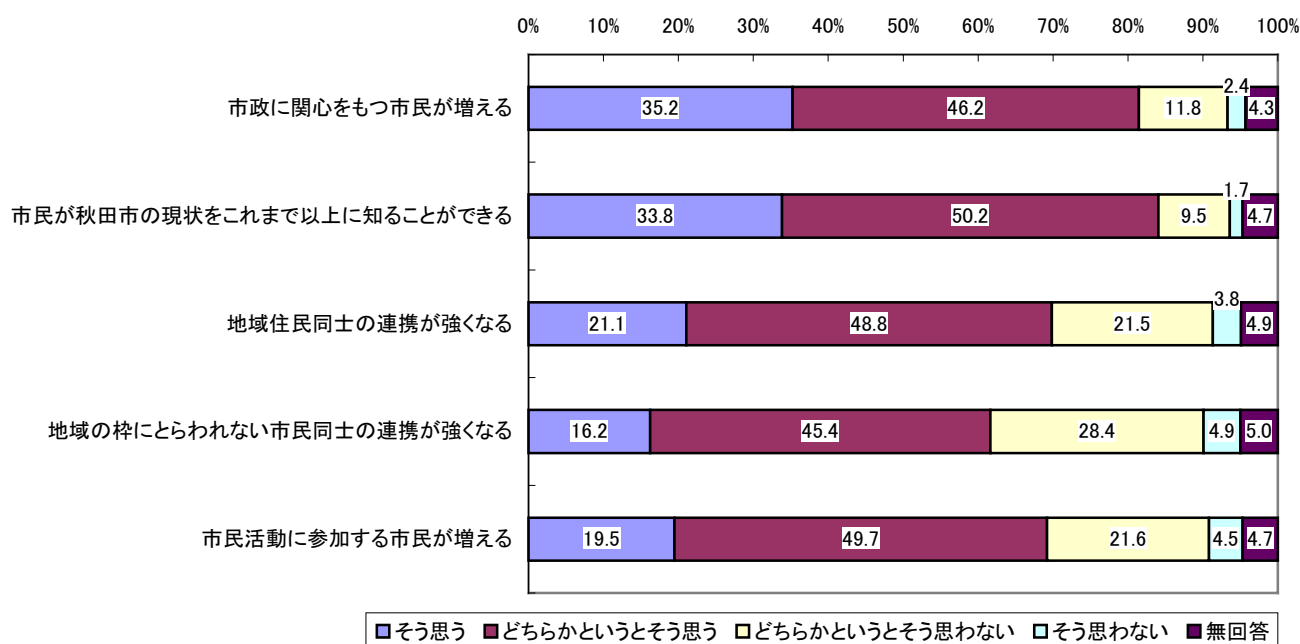
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が市民協働を推進することによる市民の暮らしや意識の変化について、市民の意識を聞いている。（集計表 P184～186 参照）

「市政に関心をもつ市民が増える」「市民が秋田市の現状をこれまで以上に知ることができる」「地域住民同士の連携が強くなる」「地域の枠にとらわれない市民同士の連携が強くなる」「市民活動に参加する市民が増える」の5つの項目について質問した結果、5つの項目全てについて、「そう思う」「どちらかというと思う」の肯定的な回答の合計が60%を超えた。

また、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計は、「市民が秋田市の現状をこれまで以上に知ることができる」が84.0%、「市政に関心をもつ市民が増える」が81.4%と多く、次いで「地域住民同士の連携が強くなる」69.9%、「市民活動に参加する市民が増える」69.2%、「地域の枠にとらわれない市民同士の連携が強くなる」61.6%の順となった。

問6④ 全体



# 問6④－1（市政に関心をもつ市民が増える）

秋田市は、市民協働を推進することにより、市民の暮らしや意識が次のように変わる（市政に関心をもつ市民が増える）ことを期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

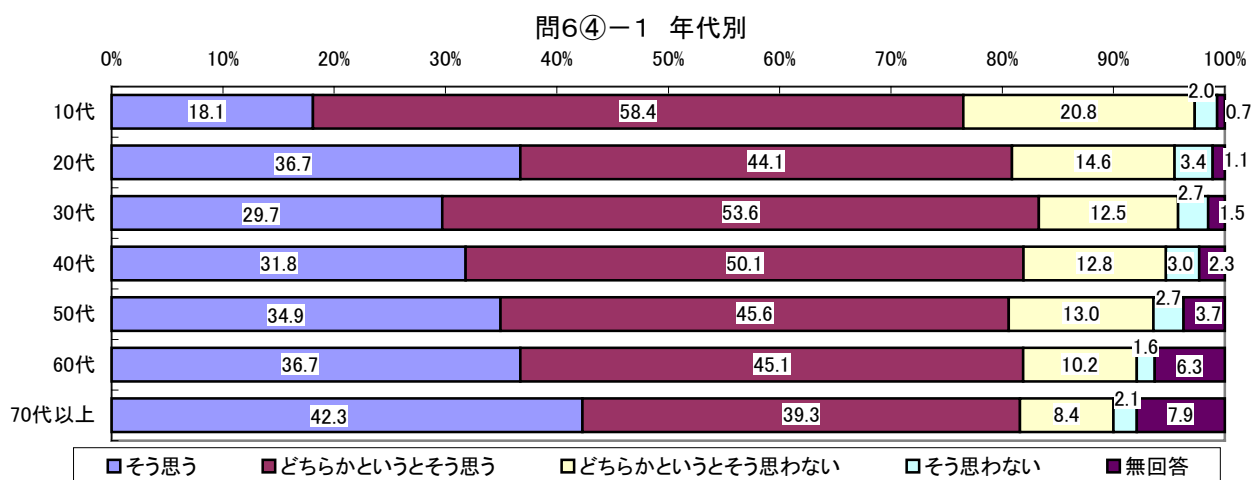
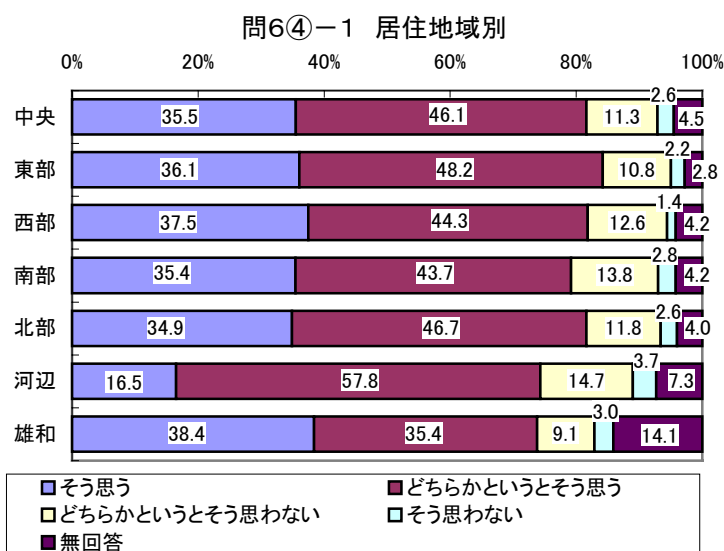
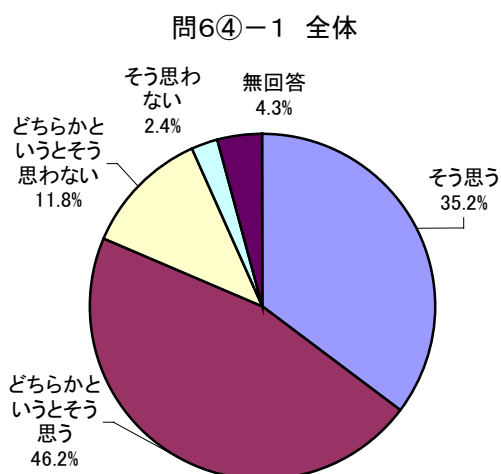
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が市民協働を推進することにより市政に関心をもつ市民が増えるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P184 参照）

全体集計では、「そう思う」が35.2%、「どちらかというと思う」が46.2%、「どちらかというと思わない」が11.8%、「そう思わない」が2.4%であり、「どちらかというと思う」も含め、そう思うという回答は81.4%である。

年代別集計では、「20代」を除き、年代が上がるにつれて「そう思う」の回答が多くなる傾向がある。

居住地域別集計では、「河辺」の「そう思う」の回答が他地域に比較して少ない。



問6④-2（市民が秋田市の現状をこれまで以上に知ることができる）

秋田市は、市民協働を推進することにより、市民の暮らしや意識が次のように変わる（市民が秋田市の現状をこれまで以上に知ることができる）ことを期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

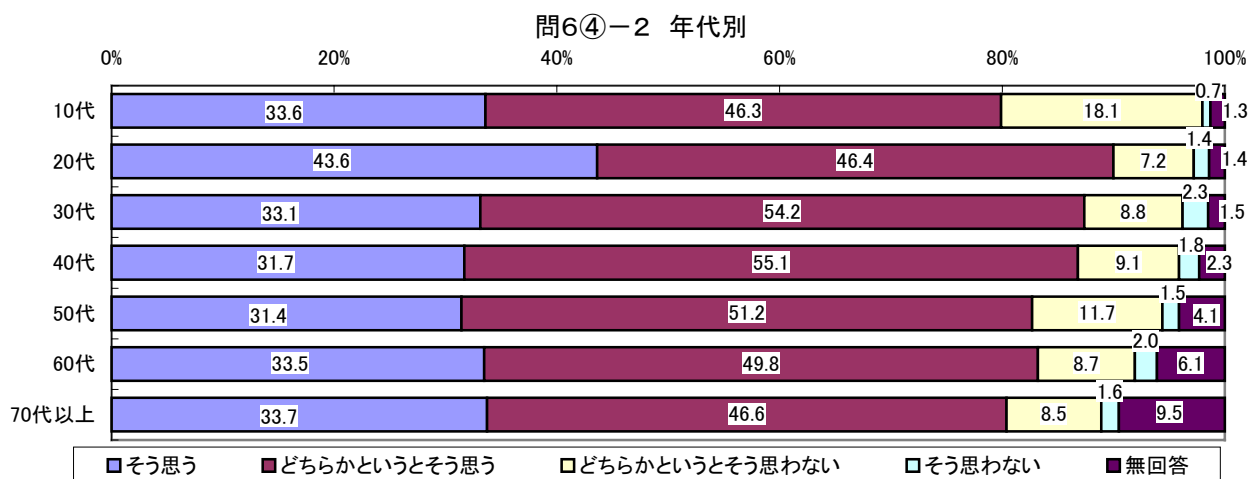
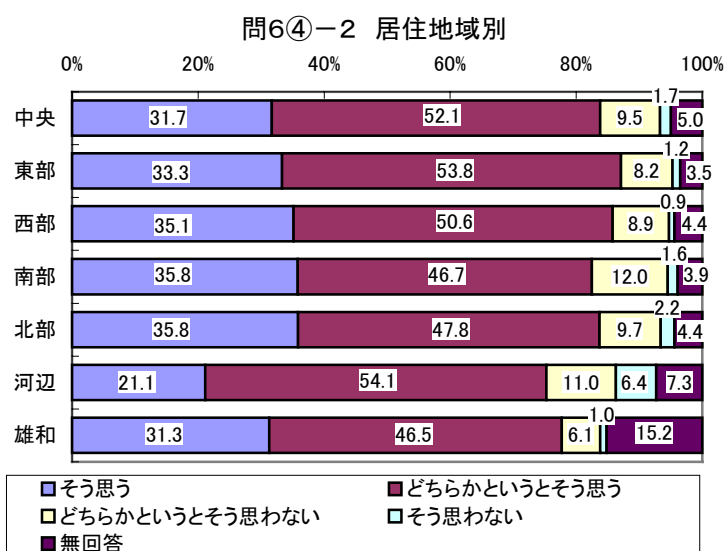
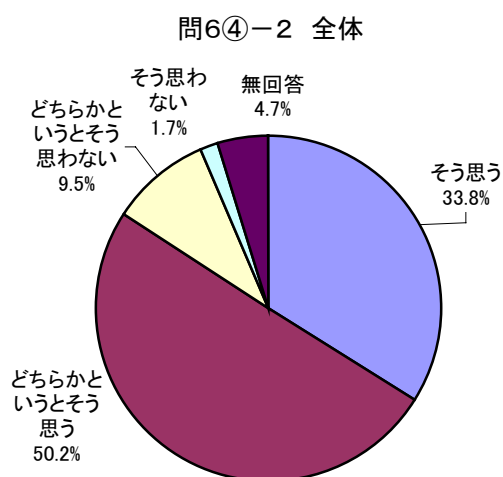
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が市民協働を推進することにより市民が秋田市の現状をこれまで以上に知ることができるようになるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P185 参照）

全体集計では、「そう思う」が33.8%、「どちらかというと思う」が50.2%、「どちらかというと思わない」が9.5%、「そう思わない」が1.7%であり、「どちらかというと思う」も含め、そう思うという回答は84.0%である。

年代別集計では、「20代」の「そう思う」の回答が他の年代に比較して多い。

居住地域別集計では、「河辺」の「そう思う」の回答が他地域に比較して少ない。



問6④－3（地域住民同士の連携が強くなる）

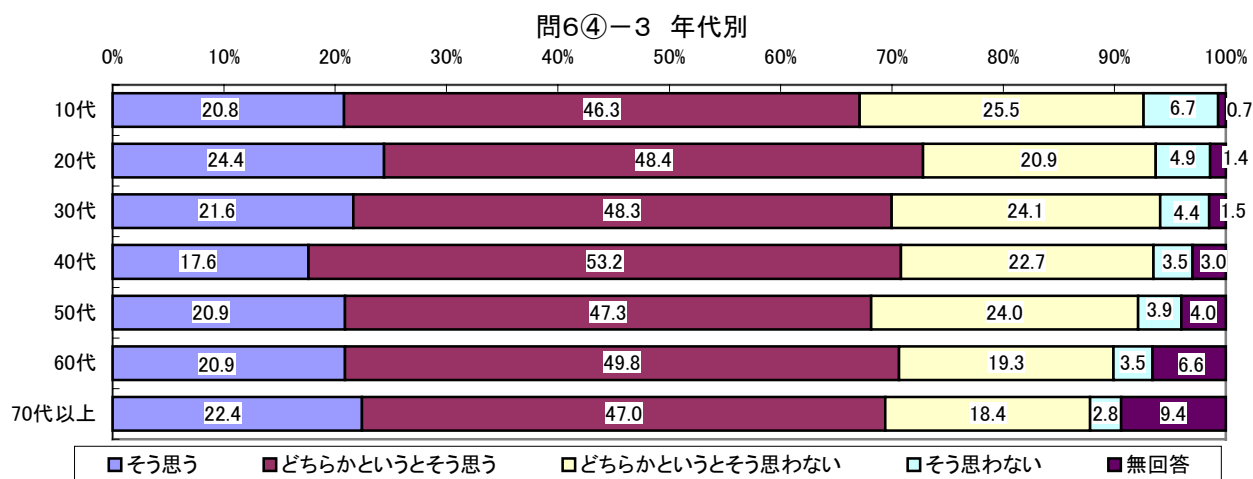
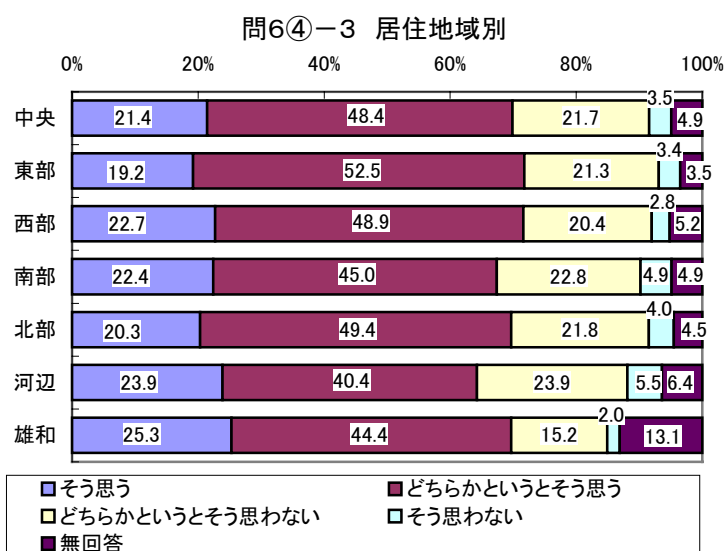
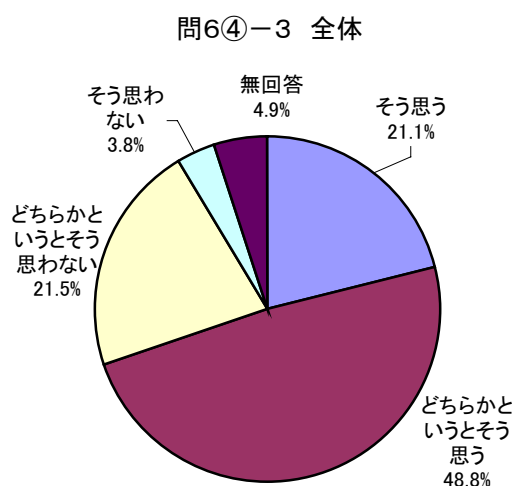
秋田市は、市民協働を推進することにより、市民の暮らしや意識が次のように変わる（地域住民同士の連携が強くなる）ことを期待していますが、あなたはごどう思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が市民協働を推進することにより地域住民同士の連携が強くなるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P185 参照）

全体集計では、「そう思う」が21.1%、「どちらかというと思う」が48.8%、「どちらかというと思わない」が21.5%、「そう思わない」が3.8%であり、「どちらかというと思う」も含め、そう思うという回答は69.9%である。

年代別集計、居住地域別集計では顕著な差はない。



問6④－4（地域の枠にとらわれない市民同士の連携が強くなる）

秋田市は、市民協働を推進することにより、市民の暮らしや意識が次のように変わる（地域の枠にとらわれない市民同士の連携が強くなる）ことを期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

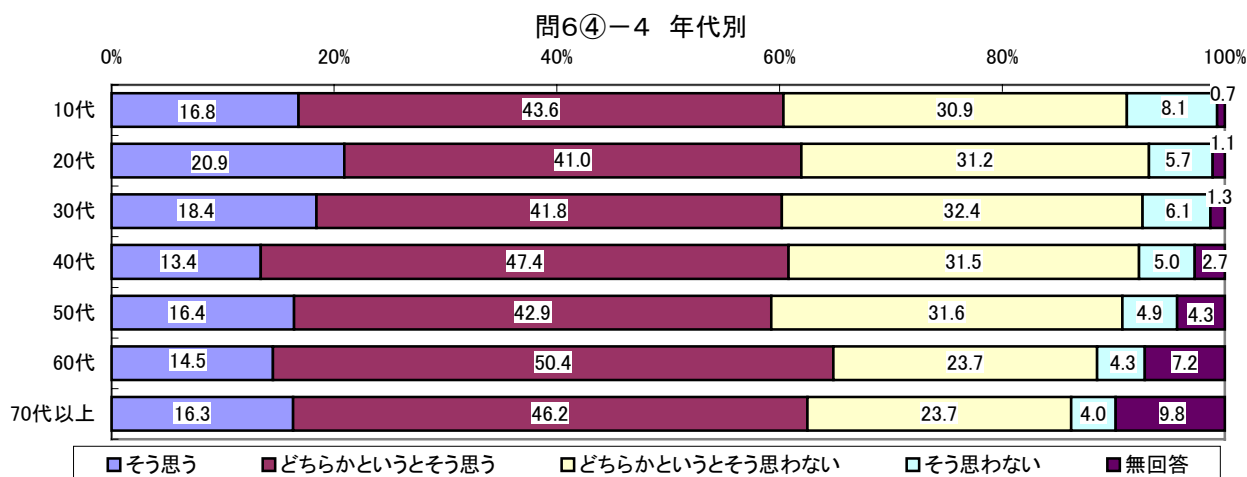
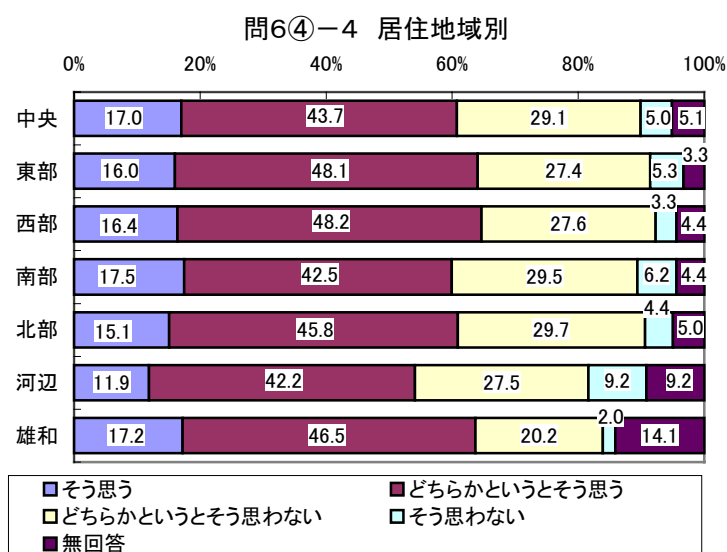
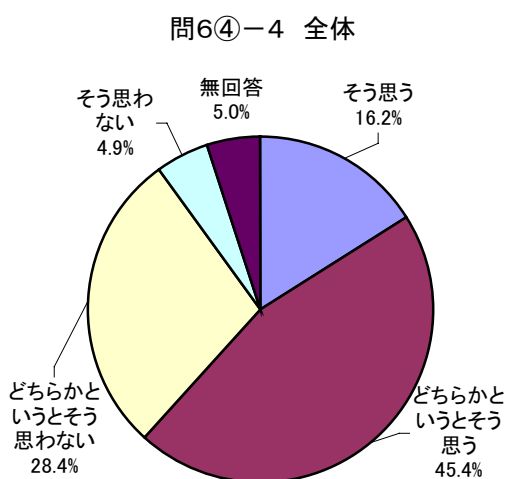
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が市民協働を推進することにより地域の枠にとらわれない市民同士の連携が強くなるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P186 参照）

全体集計では、「そう思う」が16.2%、「どちらかというと思う」が45.4%、「どちらかというと思わない」が28.4%、「そう思わない」が4.9%であり、「どちらかというと思う」も含め、そう思うという回答は61.6%である。

年代別集計では、「20代」の「そう思う」の回答が他の年代に比較して多い。

居住地域別集計では、「河辺」の「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計が他地域に比較して少ない。



問6④－5（市民活動に参加する市民が増える）

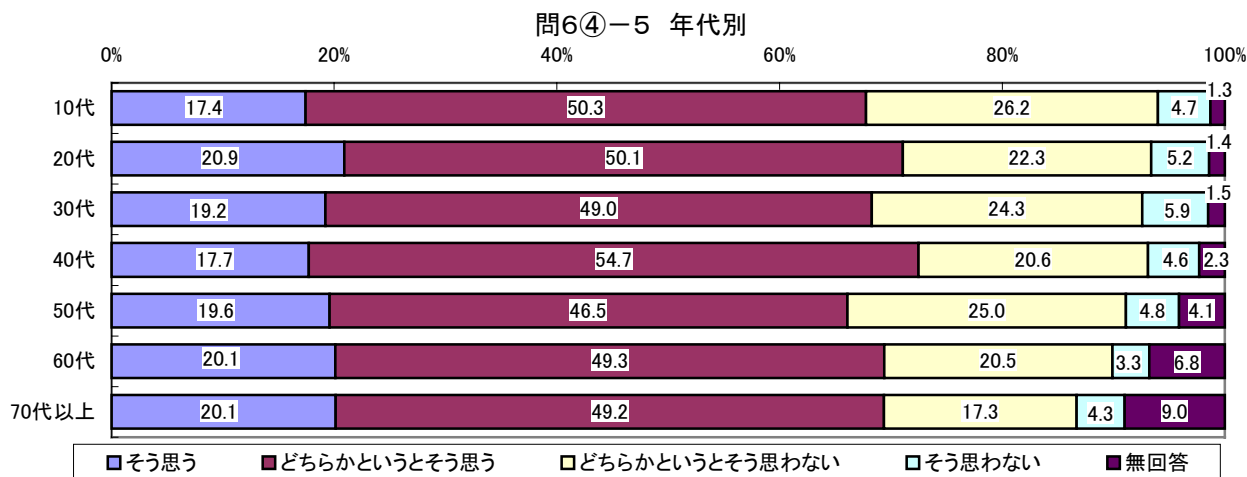
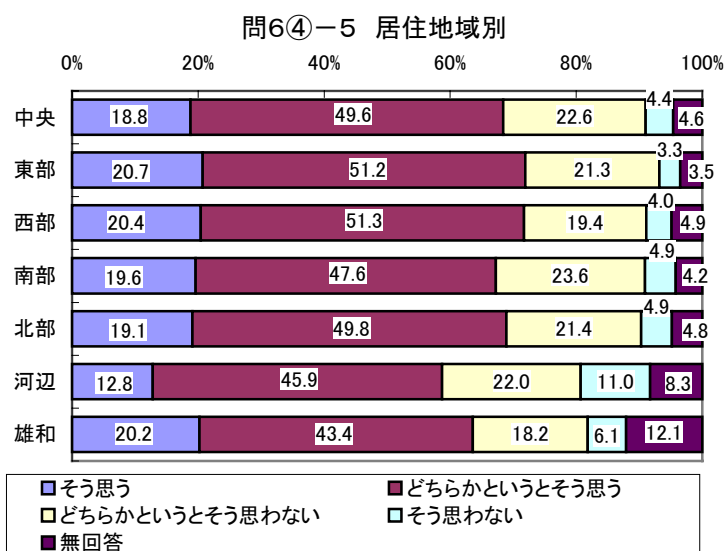
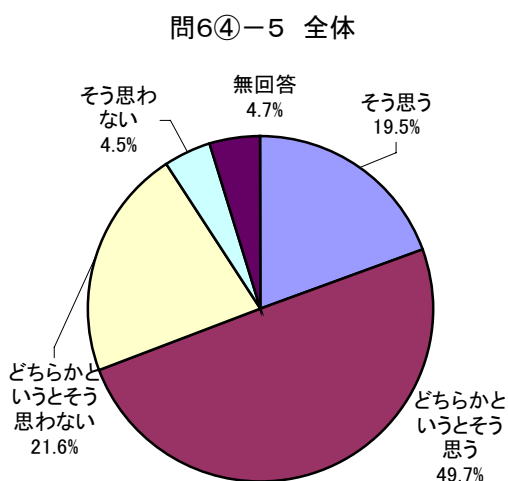
秋田市は、市民協働を推進することにより、市民の暮らしや意識が次のように変わる（市民活動に参加する市民が増える）ことを期待していますが、あなたはごどう思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が市民協働を推進することにより市民活動に参加する市民が増えるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P186 参照）

全体集計では、「そう思う」が19.5%、「どちらかというと思う」が49.7%、「どちらかというと思わない」が21.6%、「そう思わない」が4.5%であり、「どちらかというと思う」も含め、そう思うという回答は69.2%である。

居住地域別集計では、「河辺」の「そう思う」の回答が他地域に比較して少なく、「そう思わない」の回答が多い。



## 第4節 都市内地域分権について

### 1 都市内地域分権の認知度（問7①）

#### 【都市内地域分権とは】

市民に身近な行政サービスを身近な場所で提供することや、地域の課題は一定程度地域で解決できる体制づくりを行うことです。合併により市域が拡大した秋田市にとって、その推進は、まさに直面する課題です。今後、その拠点施設として、東部・西部・南部・北部・中央・河辺・雄和の7地域へ（仮称）市民サービスセンターを配置することとしています。

#### 問7①（都市内地域分権の認知度）

秋田市は、上記のような都市内地域分権の実現に取り組んでいます。このことをあなたは知っていましたか。

- 1 知っている    2 ある程度知っている    3 言葉は知っている    4 知らない

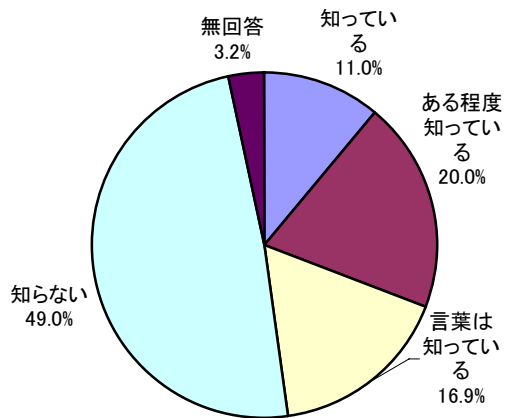
この設問では、都市内地域分権の認知度を聞いている。（集計表 P187 参照）

全体集計では、「知っている」が11.0%、「ある程度知っている」が20.0%、「言葉は知っている」が16.9%、「知らない」が49.0%であり、「知っている」「ある程度知っている」「言葉は知っている」の合計は47.9%である。

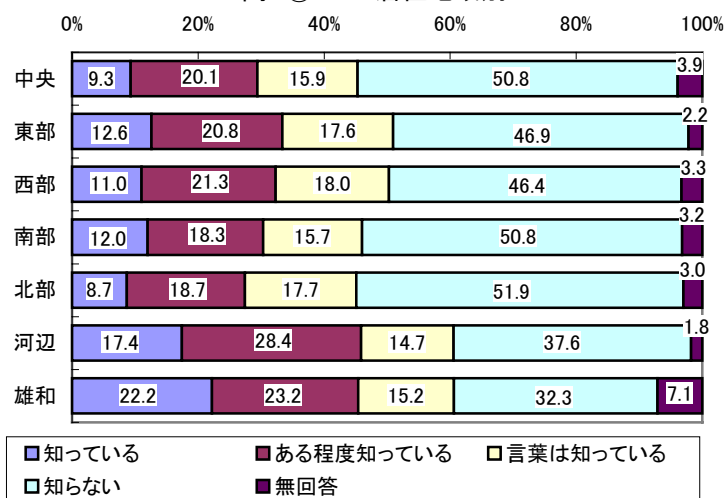
年代別集計では、年代が上がるにつれて認知度が高くなる傾向がある。

居住地域別集計では、「河辺」「雄和」の認知度が「旧秋田市」より高い。

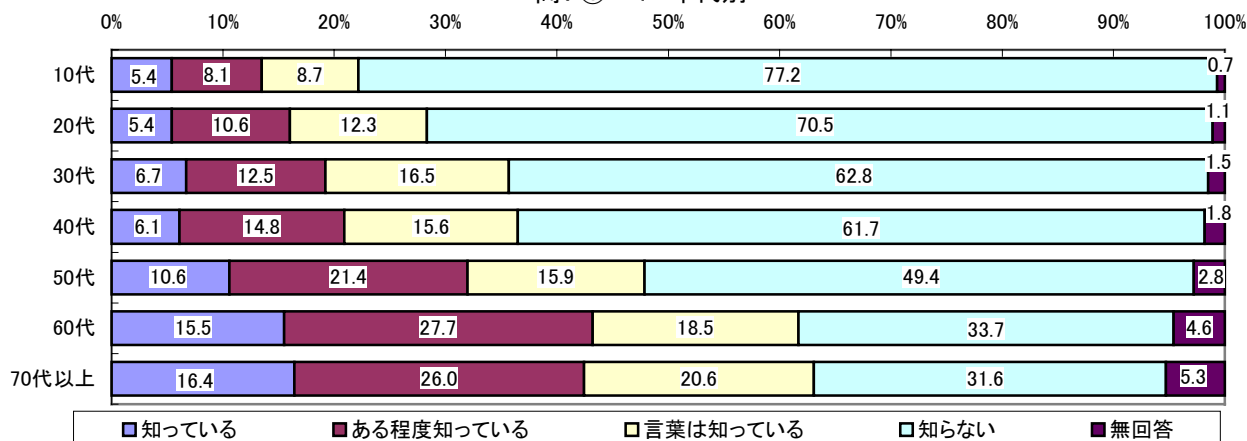
問7①-1 全体



問7①-1 居住地域別



問7①-1 年代別



## 2 秋田市における都市内地域分権の推進について（問7②）

### 【都市内地域分権とは】

市民に身近な行政サービスを身近な場所で提供することや、地域の課題は一定程度地域で解決できる体制づくりを行うことです。合併により市域が拡大した秋田市にとって、その推進は、まさに直面する課題です。今後、その拠点施設として、東部・西部・南部・北部・中央・河辺・雄和の7地域へ（仮称）市民サービスセンターを配置することとしています。

### 問7②（秋田市における都市内地域分権の推進について）

このような秋田市の取り組みをあなたはどのように思いますか。

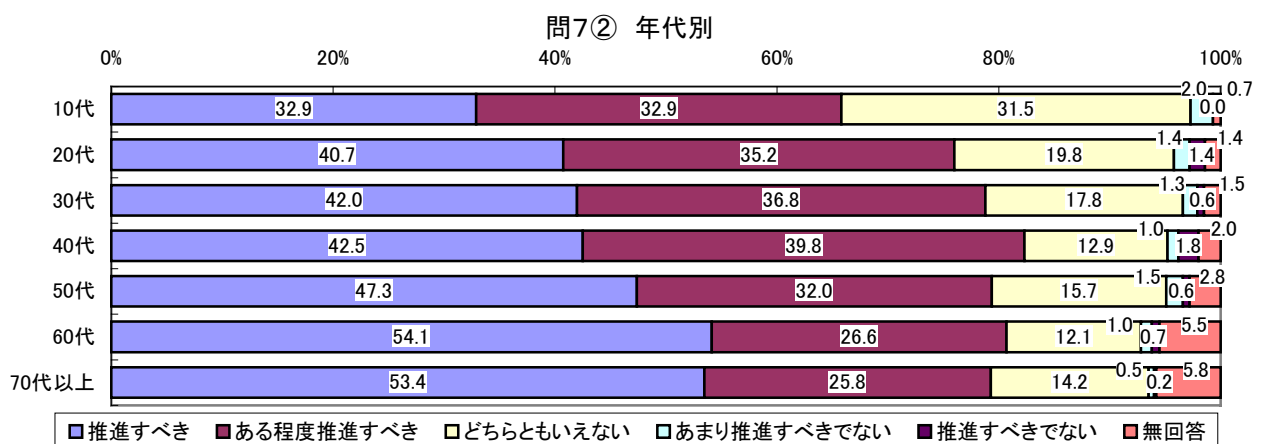
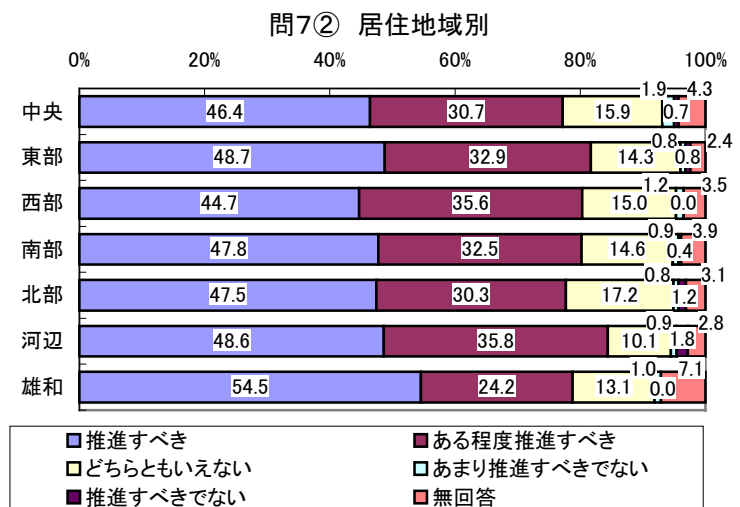
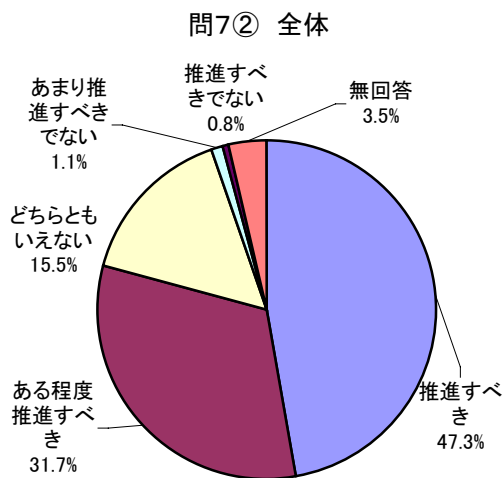
- |               |             |             |
|---------------|-------------|-------------|
| 1 推進すべき       | 2 ある程度推進すべき | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり推進すべきでない | 5 推進すべきでない  |             |

この設問では、都市内地域分権の推進について市民の意識を聞いている。（集計表 P187 参照）

全体集計では、「推進すべき」が47.3%、「ある程度推進すべき」が31.7%、「どちらともいえない」が15.5%、「あまり推進すべきでない」が1.1%、「推進すべきでない」が0.8%であり、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計は79.0%である。

年代別集計では、「推進すべき」の回答が年代が上がるにつれて多くなる傾向がある。

居住地域別集計では、「推進すべき」の回答が「雄和」で多く、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計は「河辺」で多い。



### 3 都市内地域分権推進による公共サービスの変化（問7③）

#### 問7③（都市内地域分権推進による公共サービスの変化）

秋田市は、都市内地域分権を推進することにより、次のような公共サービスの変化を期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

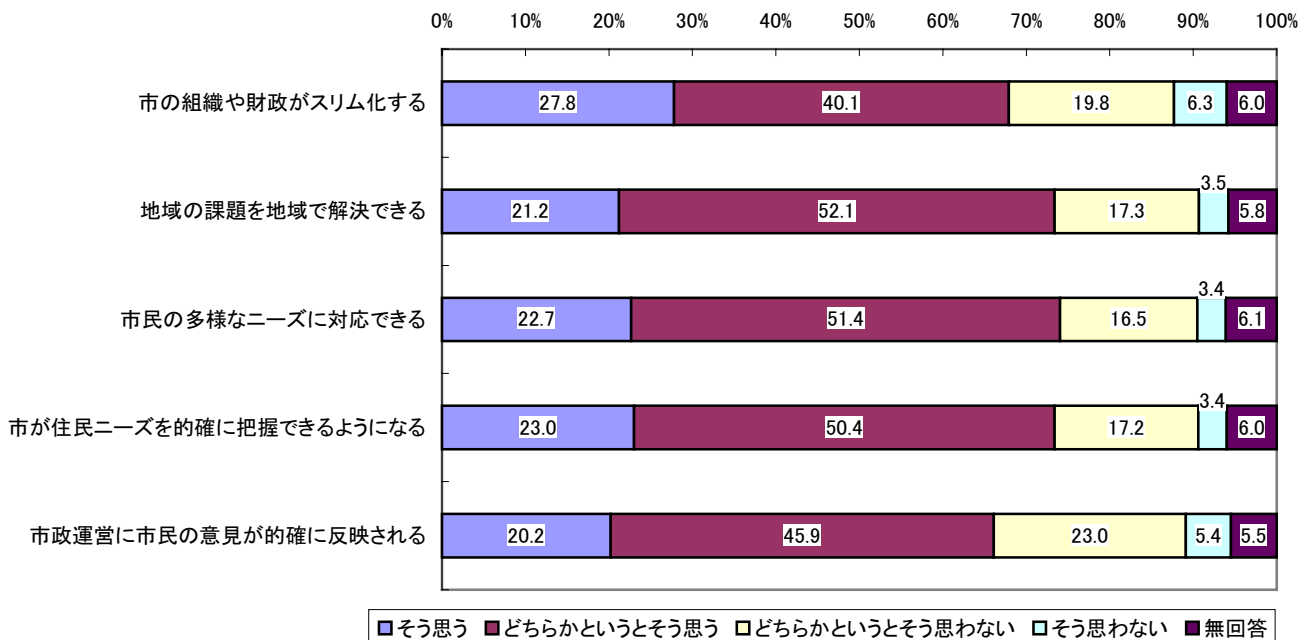
- 1 そう思う    2 どちらかというと思う    3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、都市内地域分権を推進することにより期待する公共サービスの変化について、市民の意識を聞いている。（集計表 P188～190 参照）

「市の組織や財政がスリム化する」「地域の課題を地域で解決できる」「市民の多様なニーズに対応できる」「市が住民ニーズを的確に把握できるようになる」「市政運営に市民の意見が的確に反映される」の5つの項目について質問した結果、5つの項目すべてについて、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計が65%を超えた。

また、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計は、「市民の多様なニーズに対応できる」が74.1%で最も多く、次いで「市が住民ニーズを的確に把握できるようになる」73.4%、「地域の課題を地域で解決できる」73.3%、「市の組織や財政がスリム化する」67.9%、「市政運営に市民の意見が的確に反映される」66.1%の順となった。

問7③ 全体



### 問7③-1（市の組織や財政がスリム化する）

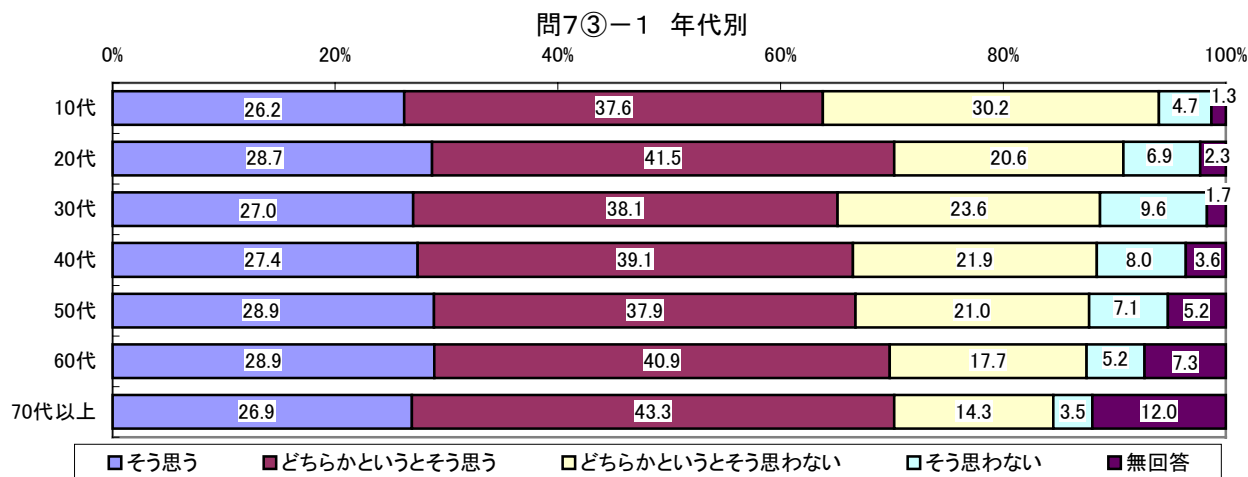
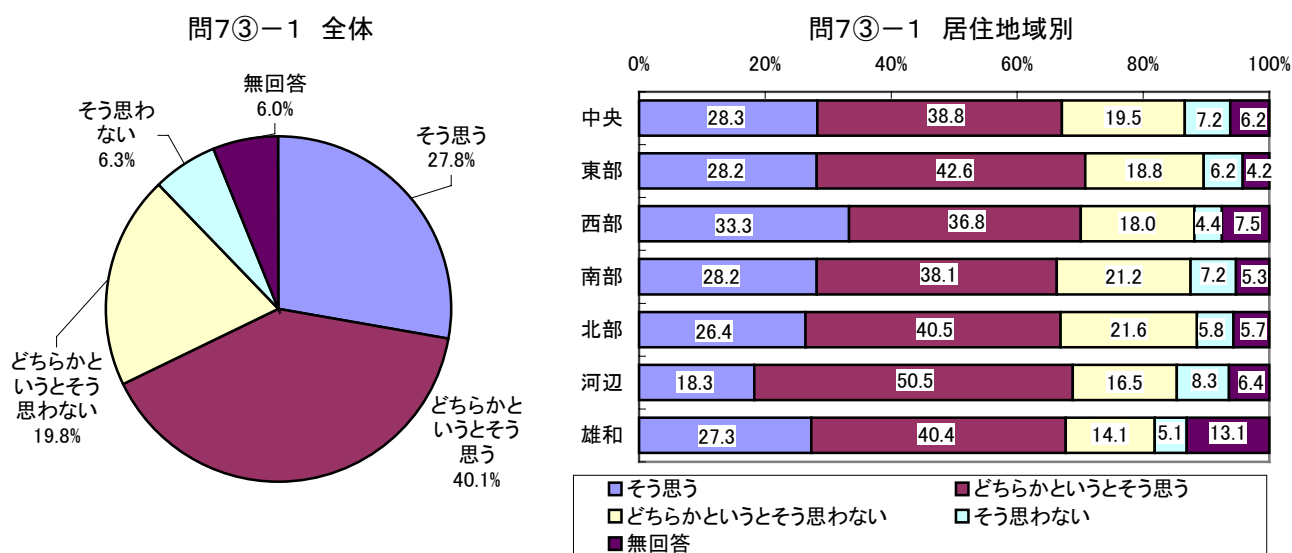
秋田市は、都市内地域分権を推進することにより、次のような公共サービスの変化（市の組織や財政がスリム化する）を期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、都市内地域分権を推進することにより市の組織や財政がスリム化するかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P188 参照）

全体集計では、「そう思う」が27.8%、「どちらかというと思う」が40.1%「どちらかというと思わない」が19.8%であり、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計は67.9%である。

居住地域別集計では、「そう思う」の回答が「西部」で多く、「河辺」で少なくなっている。



### 問7③-2（地域の課題を地域で解決できる）

秋田市は、都市内地域分権を推進することにより、次のような公共サービスの変化（地域の課題を地域で解決できる）を期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

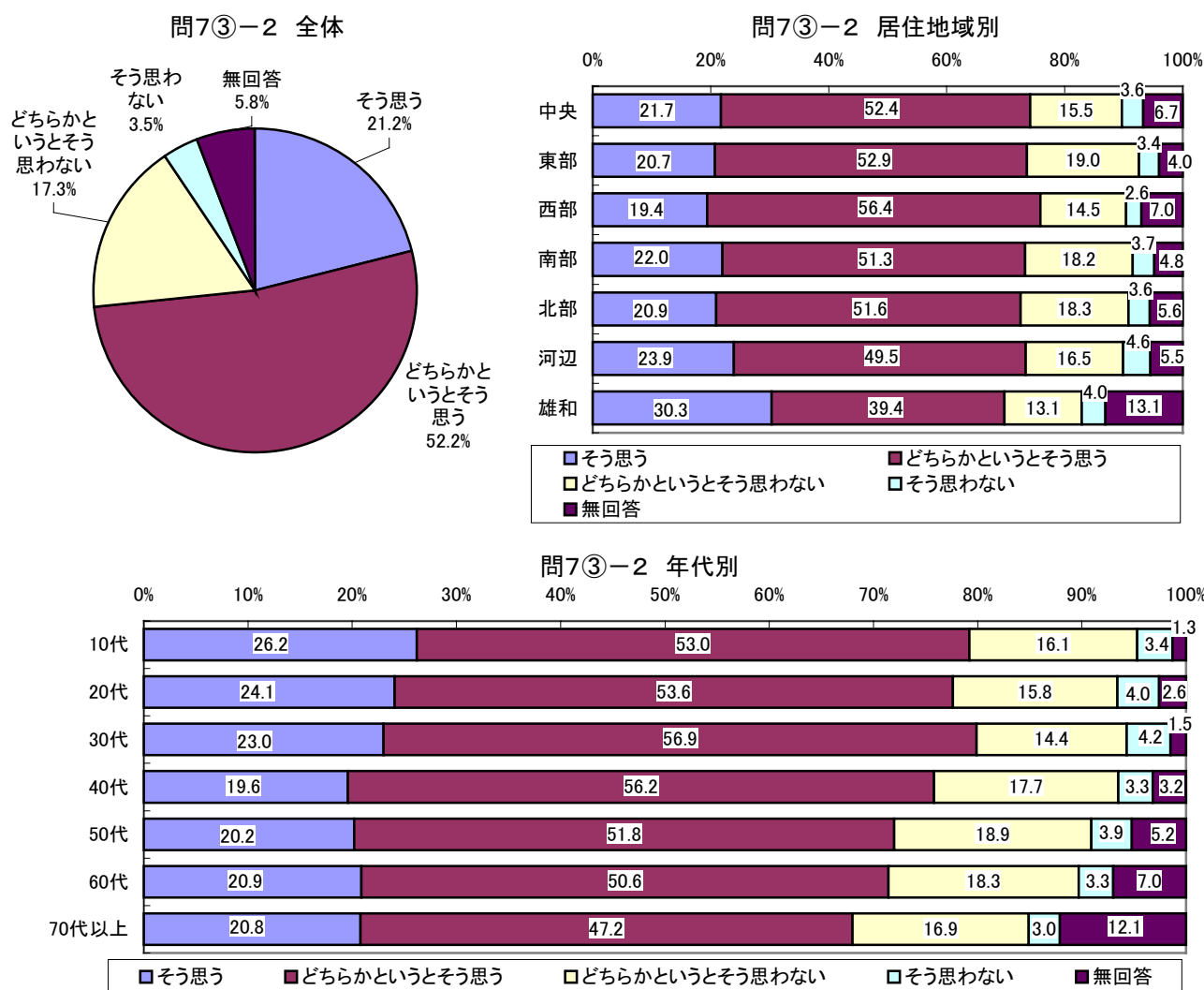
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、都市内地域分権を推進することにより地域の課題を地域で解決できるようになるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P188 参照）

全体集計では、「そう思う」が21.2%、「どちらかというと思う」が52.2%、「どちらかというと思わない」が17.3%、「そう思わない」3.5%であり、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計は73.4%である。

年代別集計では、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計が年代が上がるにつれて少なくなる傾向がある。

居住地域別集計では、「そう思う」の回答が「雄和」で多い。



### 問7③-3（市民の多様なニーズに対応できる）

秋田市は、都市内地域分権を推進することにより、次のような公共サービスの変化（市民の多様なニーズに対応できる）を期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

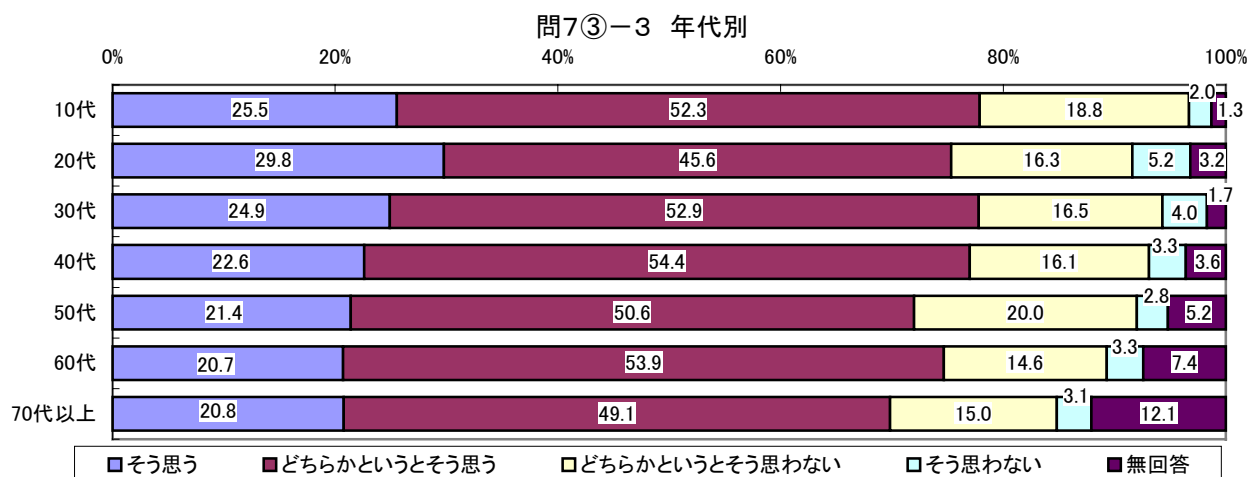
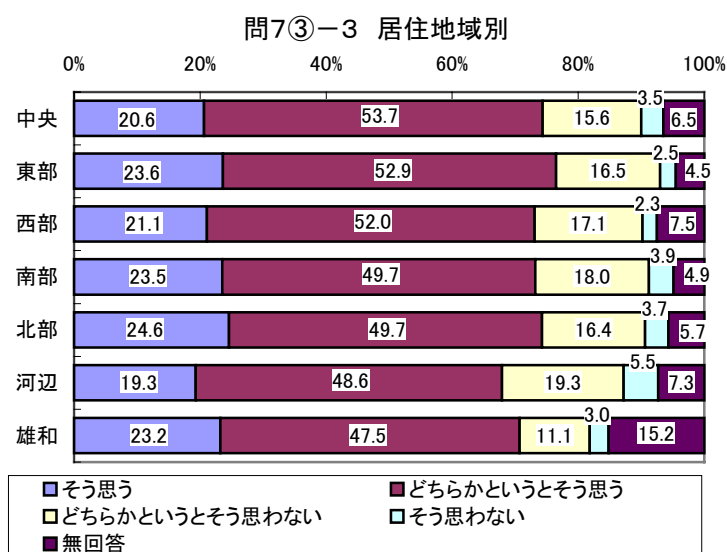
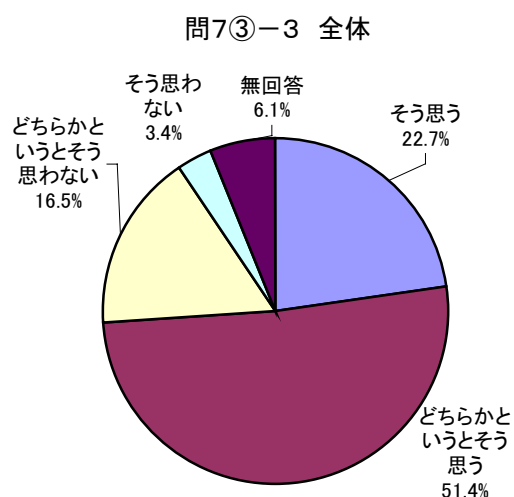
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、都市内地域分権を推進することにより市民の多様なニーズに対応できるようになるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P189 参照）

全体集計では、「そう思う」が22.7%、「どちらかというと思う」が51.4%、「どちらかというと思わない」が16.5%、「そう思わない」3.4%であり、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計は74.1%である。

年代別集計では、顕著な差はない。

居住地域別集計では、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計が「河辺」で少ない。



問7③-4（市が住民ニーズを的確に把握できるようになる）

秋田市は、都市内地域分権を推進することにより、次のような公共サービスの変化（市が住民ニーズを的確に把握できるようになる）を期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

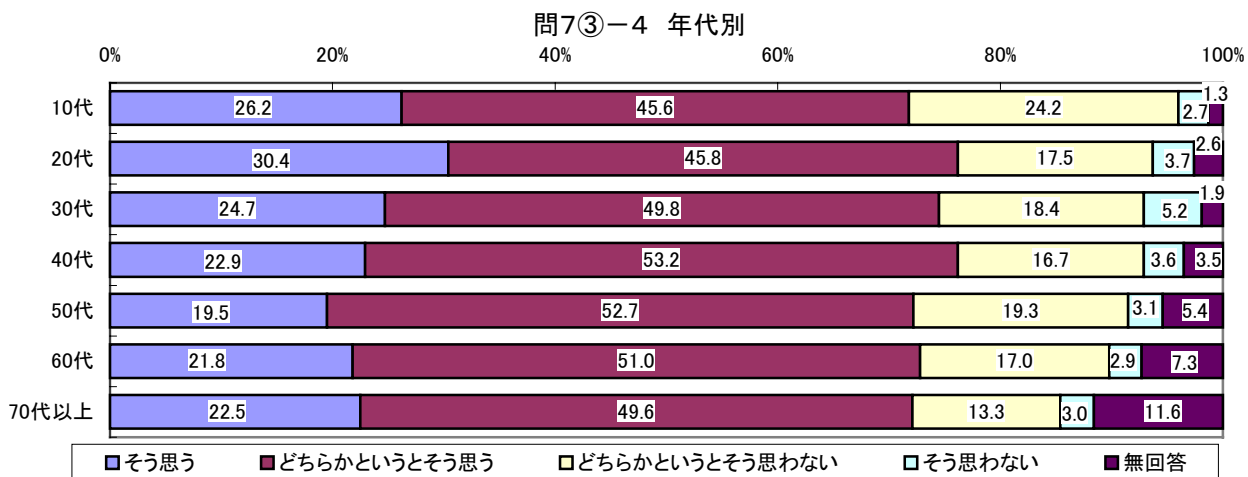
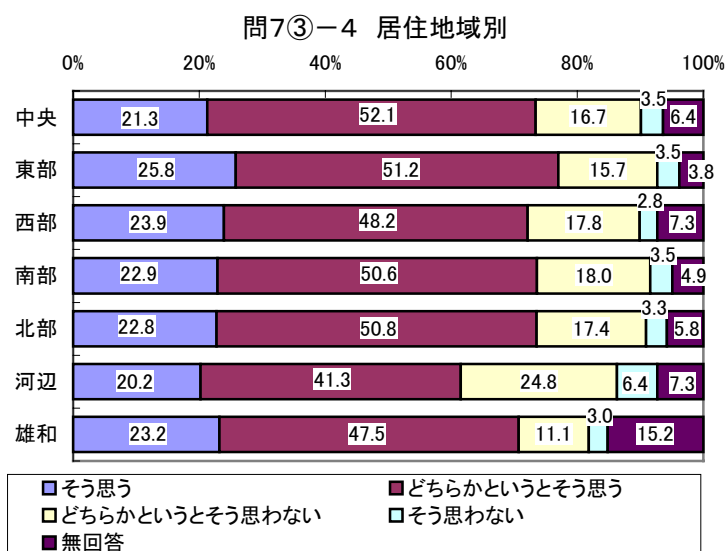
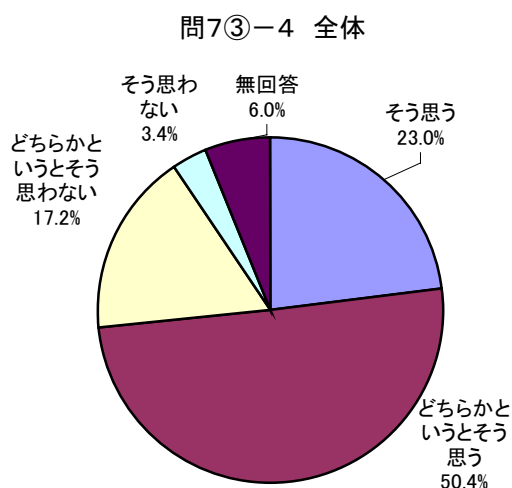
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、都市内地域分権を推進することにより市が住民ニーズを的確に把握できるようになるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P189 参照）

全体集計では、「そう思う」が23.0%、「どちらかというと思う」が50.4%、「どちらかというと思わない」が17.2%、「そう思わない」3.4%であり、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計は73.4%である。

年代別集計では、顕著な差はない。

居住地域別集計では、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計が「河辺」で少ない。



問7③-5（市政運営に市民の意見が的確に反映される）

秋田市は、都市内地域分権を推進することにより、次のような公共サービスの変化（市政運営に市民の意見が的確に反映される）を期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

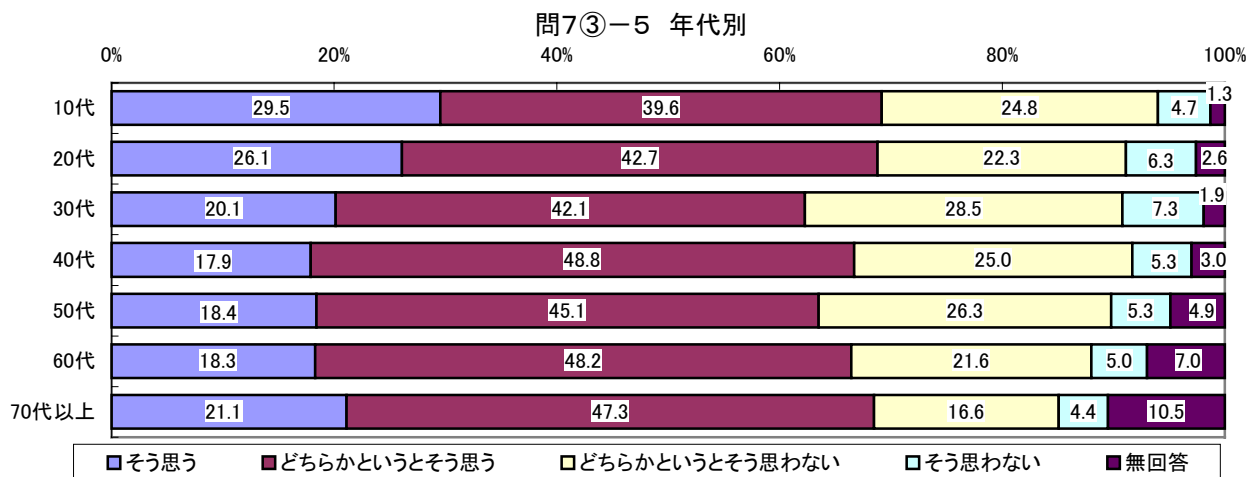
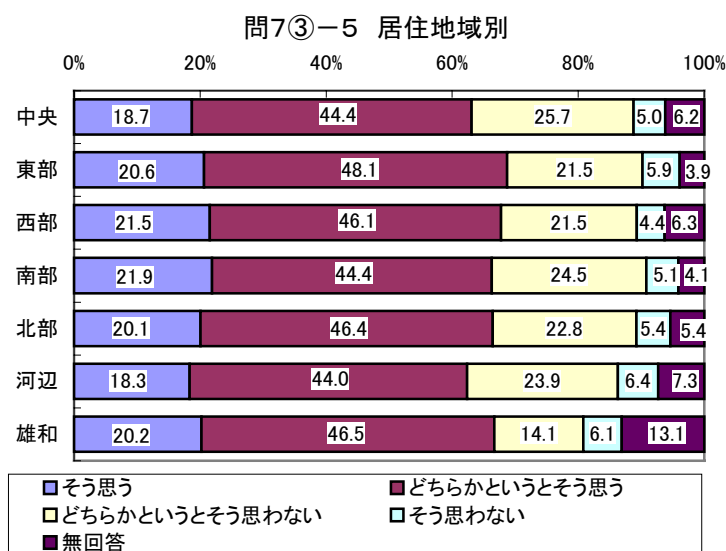
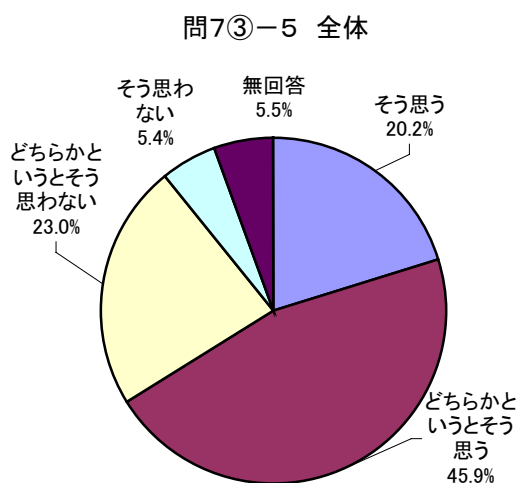
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、都市内地域分権を推進することにより市政運営に市民の意見が的確に反映されるようになるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P190 参照）

全体集計では、「そう思う」が20.2%、「どちらかというと思う」が45.9%、「どちらかというと思わない」が23.0%、「そう思わない」5.4%であり、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計は66.1%である。

年代別集計では、「そう思う」が「10代」「20代」で他の年代に比較して多い。

居住地域別集計では、顕著な差はない。



#### 4 都市内地域分権推進による市民の暮らしや意識の変化（問7④）

##### 問7④（都市内地域分権推進による市民の暮らしや意識の変化）

秋田市は、都市内地域分権を推進することにより、市民の暮らしや意識が次のように変わることを期待していますが、あなたはごどう思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

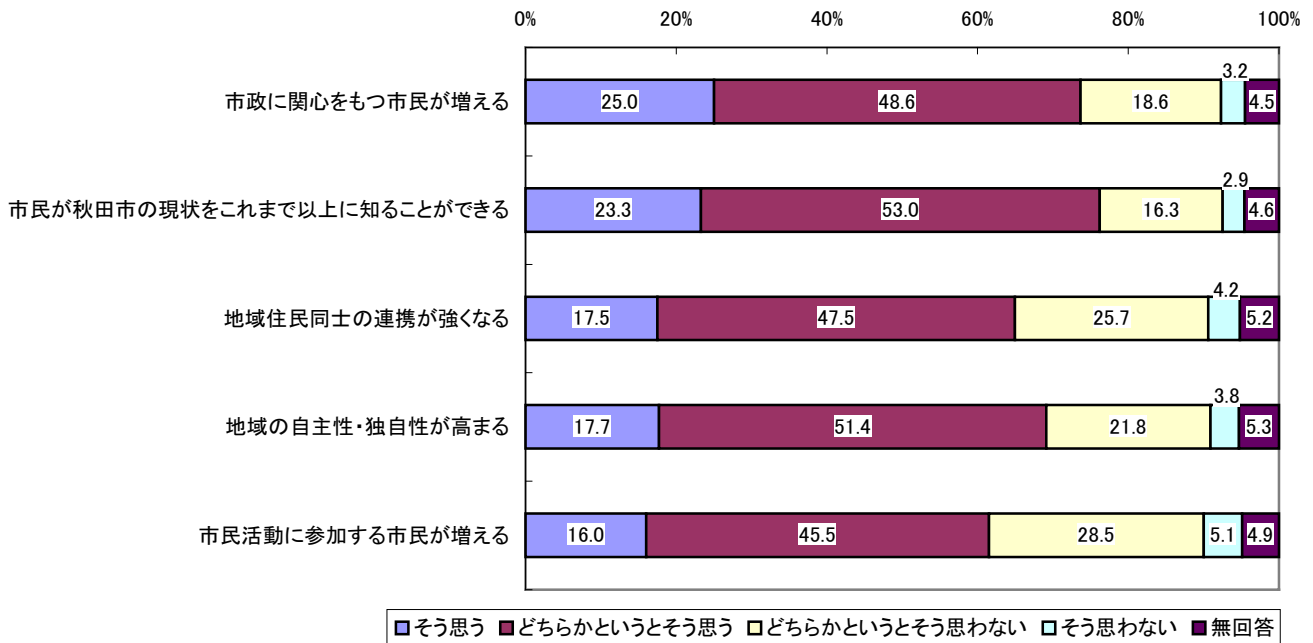
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が都市内地域分権を推進することによる市民の暮らしや意識の変化について、市民の意識を聞いている。（集計表 P190～192 参照）

「市政に関心をもつ市民が増える」「市民が秋田市の現状をこれまで以上に知ることができる」「地域住民同士の連携が強くなる」「地域の自主性・独自性が高まる」「市民活動に参加する市民が増える」の5つの項目について質問した結果、5つの項目すべてについて、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計が60%を超えた。

また、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計は、「市民が秋田市の現状をこれまで以上に知ることができる」が76.3%と最も多く、次いで「市政に関心を持つ市民が増える」73.6%、「地域の自主性・独自性が高まる」69.1%、「地域住民同士の連携が強くなる」65.0%、「市民活動に参加する市民が増える」61.5%の順となった。

問7④ 全体



# 問7④-1（市政に関心をもつ市民が増える）

秋田市は、都市内地域分権を推進することにより、市民の暮らしや意識が次のように変わる（市政に関心をもつ市民が増える）ことを期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

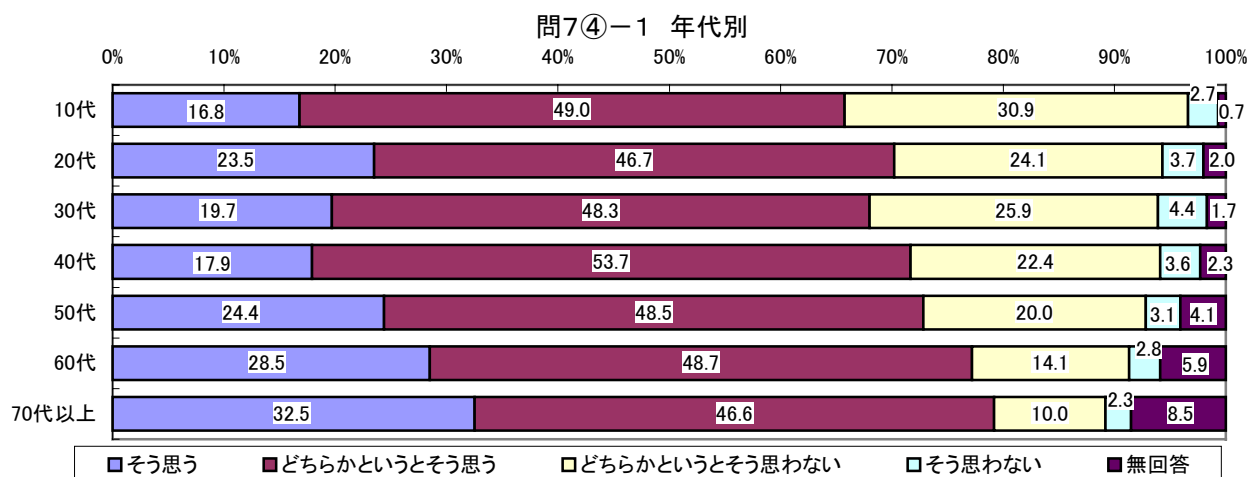
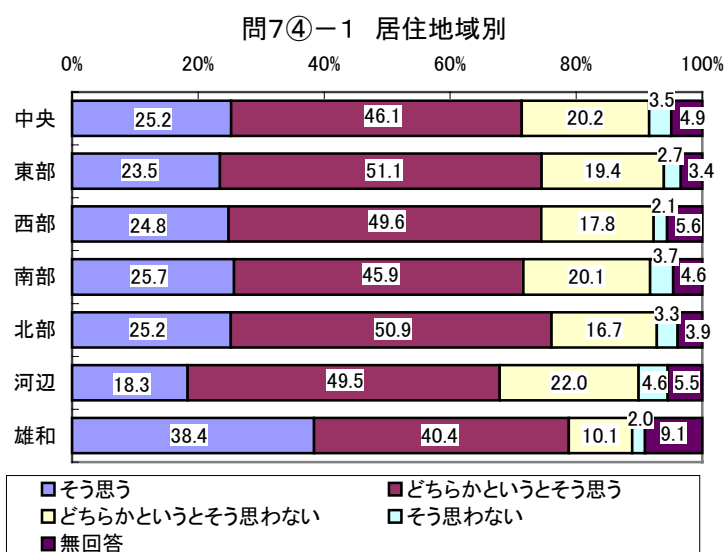
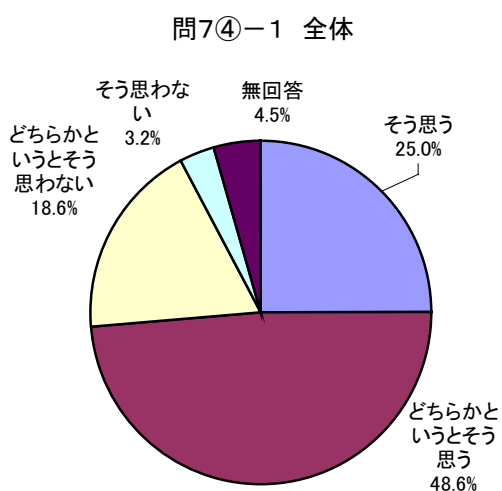
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が都市内地域分権を推進することにより市政に関心をもつ市民が増えるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P190 参照）

全体集計では、「そう思う」が25.0%、「どちらかというと思う」が48.6%、「どちらかというと思わない」が18.6%、「そう思わない」3.2%であり、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計は73.6%である。

年代別集計では、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計が年代が上がるにつれて多くなる傾向がある。

居住地域別集計では、「そう思う」の回答が「河辺」で少なく、「雄和」で多い。



問7④-2（市民が秋田市の現状をこれまで以上に知ることができる）

秋田市は、都市内地域分権を推進することにより、市民の暮らしや意識が次のように変わる（市民が秋田市の現状をこれまで以上に知ることができる）ことを期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

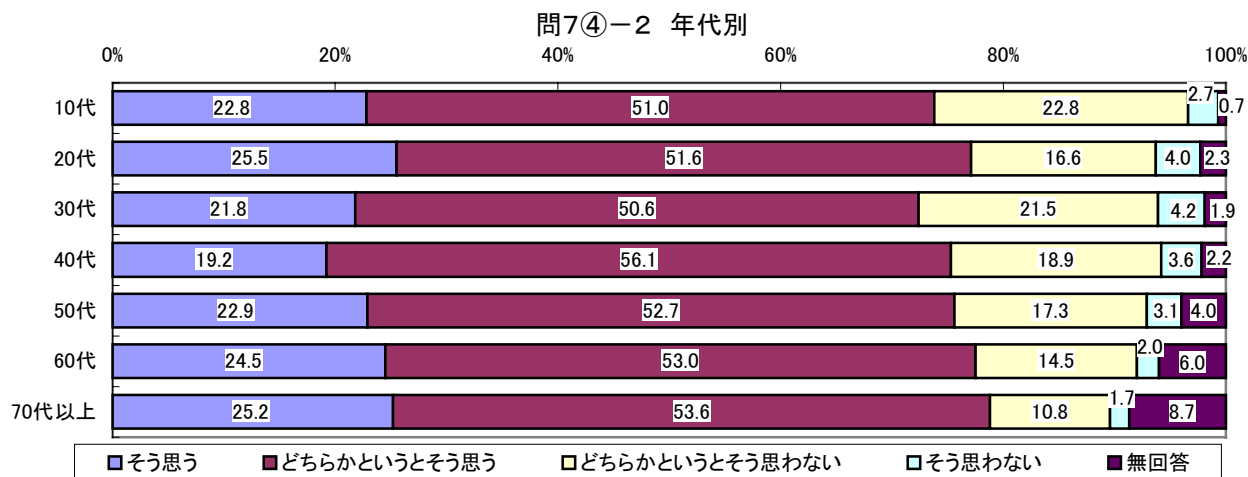
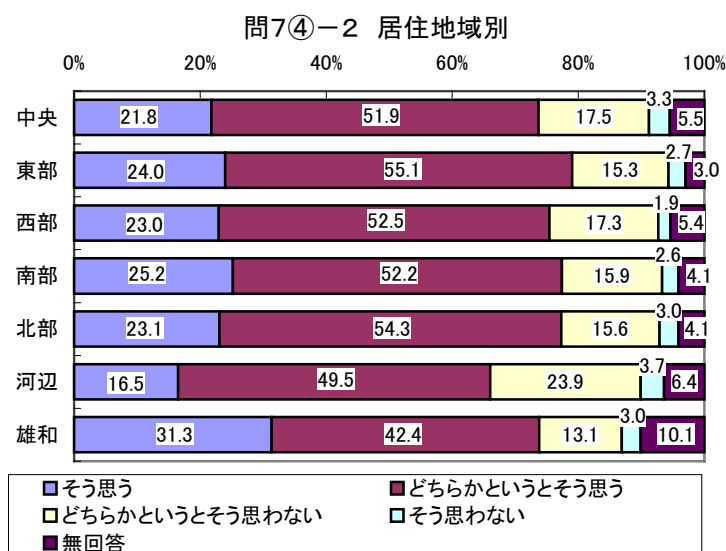
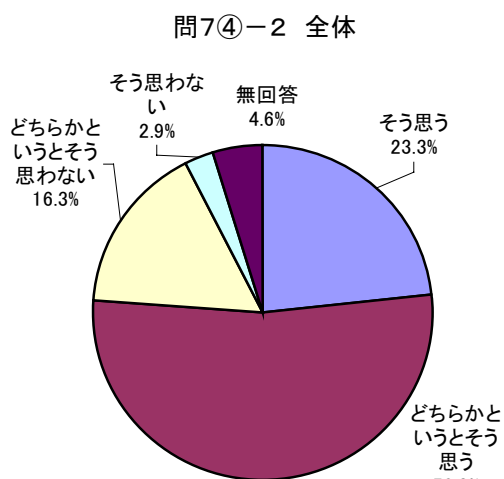
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が都市内地域分権を推進することにより市民が秋田市の現状をこれまで以上に知ることができるようになるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P191 参照）

全体集計では、「そう思う」が23.3%、「どちらかというと思う」が53.0%、「どちらかというと思わない」が16.3%、「そう思わない」2.9%であり、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計は76.3%である。

年代別集計では、顕著な差はない。

居住地域別集計では、「そう思う」の回答が「河辺」で少なく、「雄和」で多い。



### 問7④-3（地域住民同士の連携が強くなる）

秋田市は、都市内地域分権を推進することにより、市民の暮らしや意識が次のように変わる（地域住民同士の連携が強くなる）ことを期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

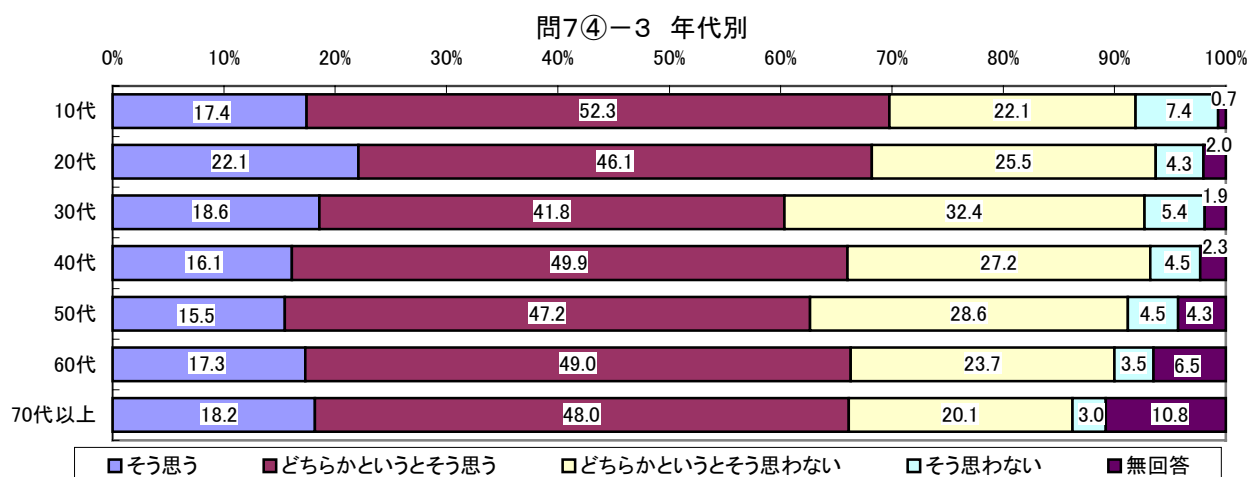
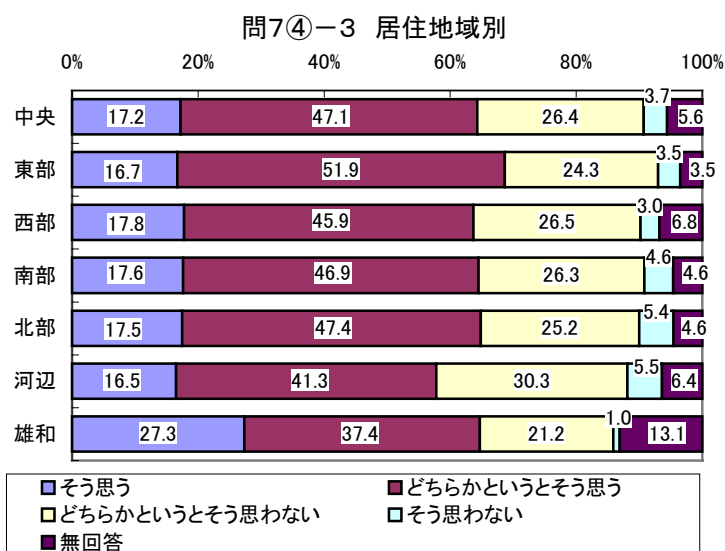
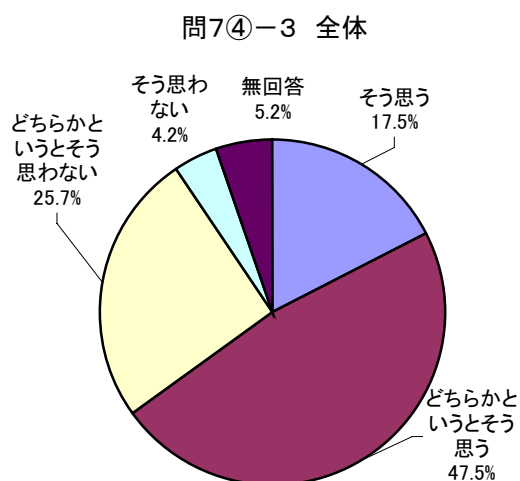
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が都市内地域分権を推進することにより地域住民同士の連携が強くなるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P191 参照）

全体集計では、「そう思う」が17.5%、「どちらかというと思う」が47.5%、「どちらかというと思わない」が25.7%「そう思わない」4.2%であり、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計は65.0%である。

年代別集計では、「30代」で「どちらかというと思わない」が多い。

居住地域別集計では、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計が「河辺」で少ない。



# 問7④-4（地域の自主性・独自性が高まる）

秋田市は、都市内地域分権を推進することにより、市民の暮らしや意識が次のように変わる（地域の自主性・独自性が高まる）ことを期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

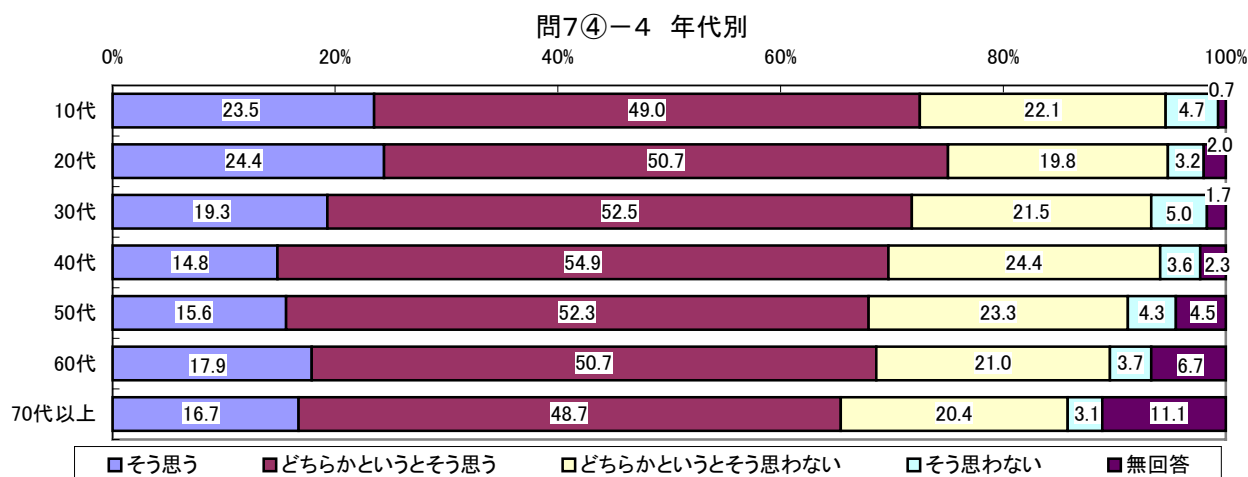
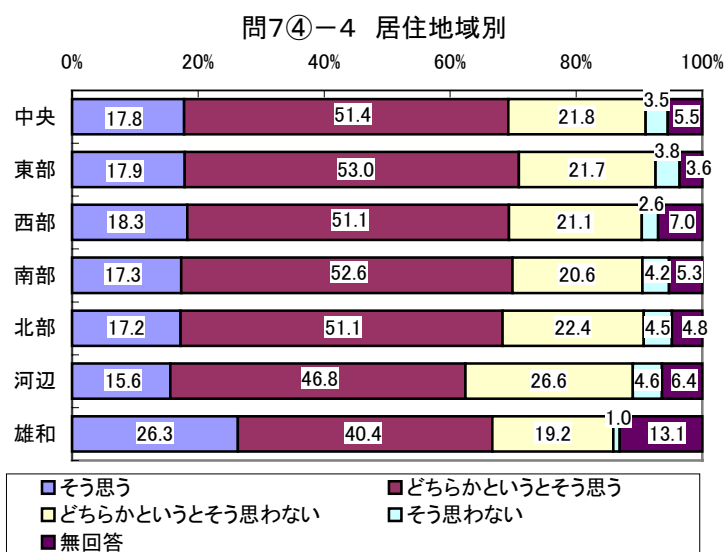
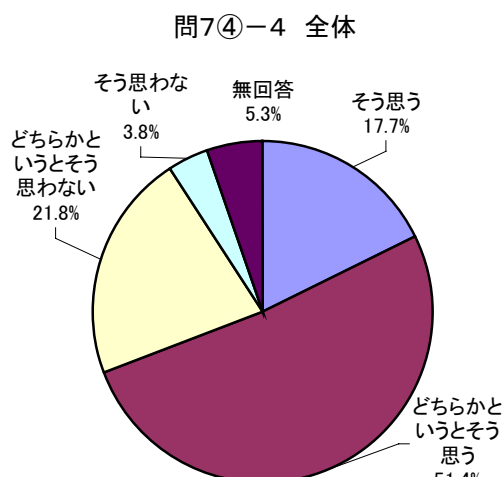
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が都市内地域分権を推進することにより地域の自主性・独自性が高まるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P192 参照）

全体集計では、「そう思う」が17.7%、「どちらかというと思う」が51.4%、「どちらかというと思わない」が21.8%、「そう思わない」3.8%であり、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計は69.1%である。

年代別集計では、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計が年代が上がるにつれて少なくなる傾向がある。

居住地域別集計では、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計が「河辺」で少ない。



# 問7④-5（市民活動に参加する市民が増える）

秋田市は、都市内地域分権を推進することにより、市民の暮らしや意識が次のように変わる（市民活動に参加する市民が増える）ことを期待していますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

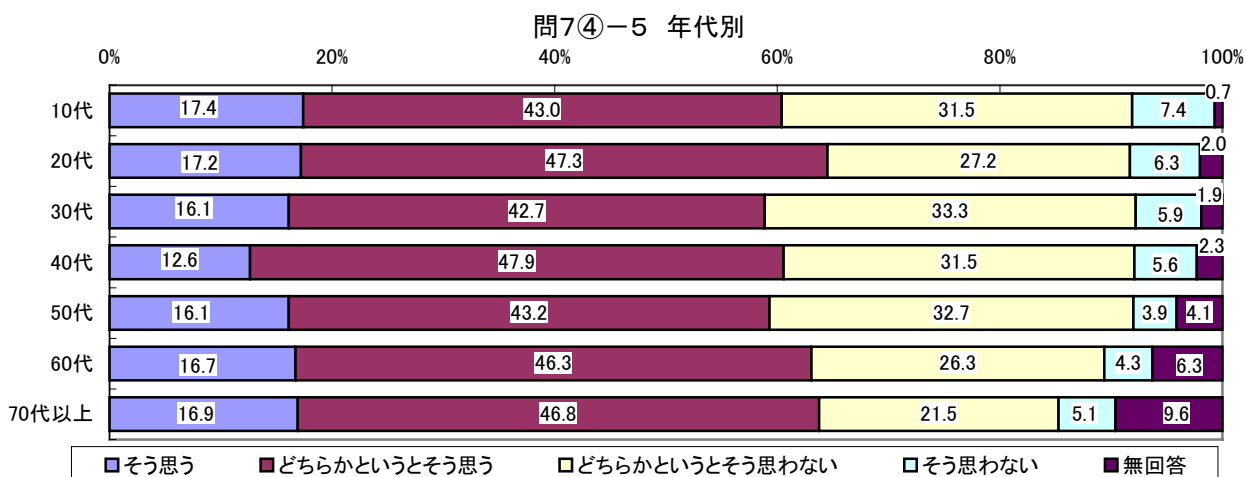
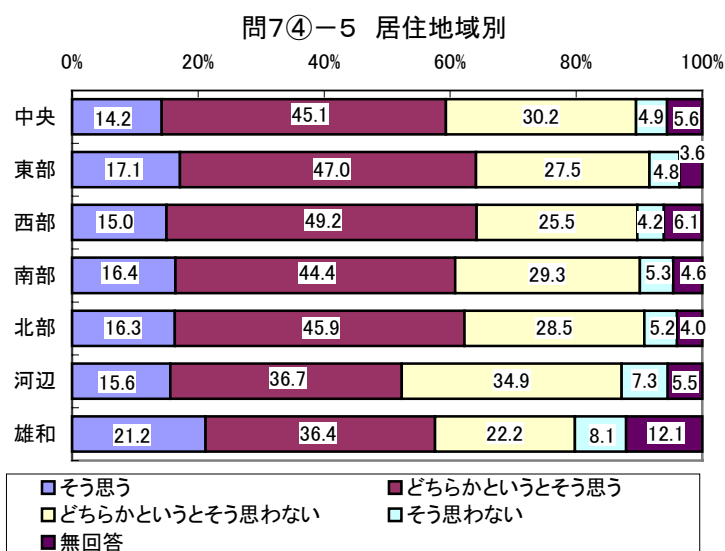
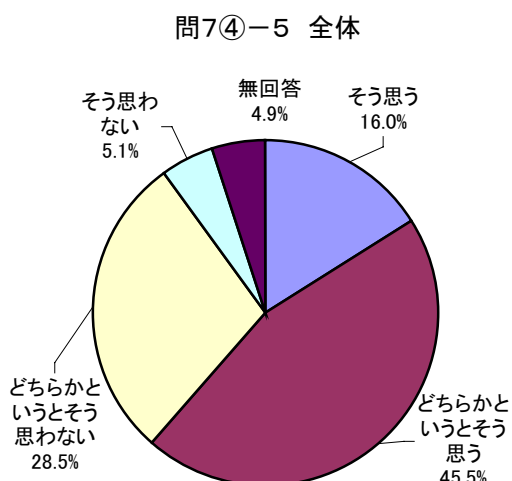
- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない

この設問では、秋田市が都市内地域分権を推進することにより市民活動に参加する市民が増えるかについて、市民の意識を聞いている。（集計表 P192 参照）

全体集計では、「そう思う」が16.0%、「どちらかというと思う」が45.5%、「どちらかというと思わない」が28.5%、「そう思わない」5.1%であり、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計は61.5%である。

年代別集計では、顕著な差はない。

居住地域別集計では、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答の合計が「河辺」で少ない。



## 第5節 行政サービスについて

### 1 公共施設の利用料について（問8①、②）

#### 問8①（公共施設の利用料について）

公共施設の維持管理費用には、市が負担する部分と利用料などの形で利用者が負担する部分があります。市が負担するということは、その施設を利用する・しないに関わらず、税金という形ですべての市民が、費用を負担しているということです。

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

#### 【選択肢】

- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

#### 【施設】

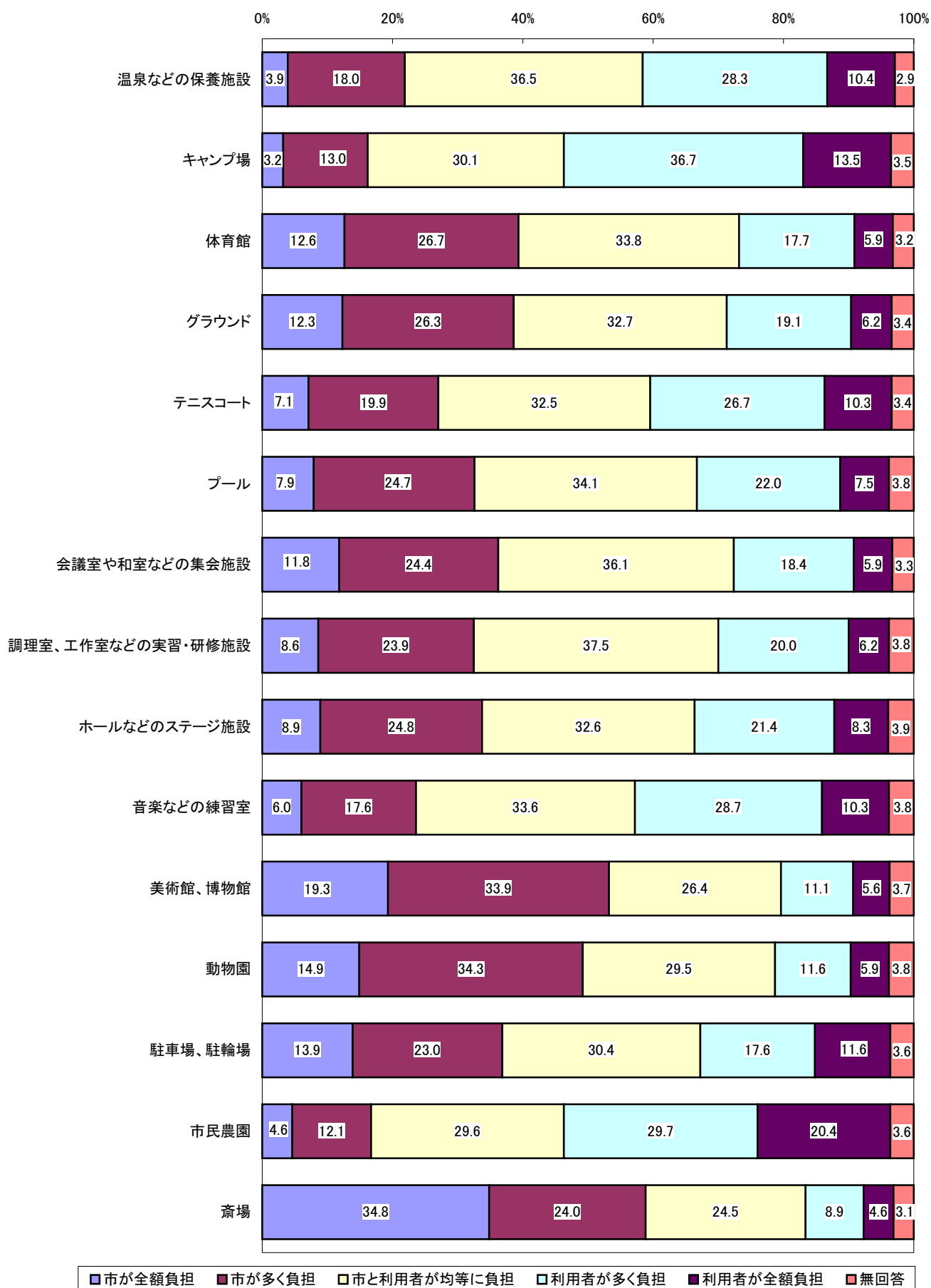
- |                     |                |                 |         |
|---------------------|----------------|-----------------|---------|
| 1 温泉などの保養施設         | 2 キャンプ場        | 3 体育館           | 4 グラウンド |
| 5 テニスコート            | 6 プール          | 7 会議室や和室などの集会施設 |         |
| 8 調理室、工作室などの実習・研修施設 | 9 ホールなどのステージ施設 |                 |         |
| 10 音楽などの練習室         | 11 美術館、博物館     | 12 動物園          |         |
| 13 駐車場、駐輪場          | 14 市民農園        | 15 斎場           |         |

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、15の公共施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P193～200 参照）

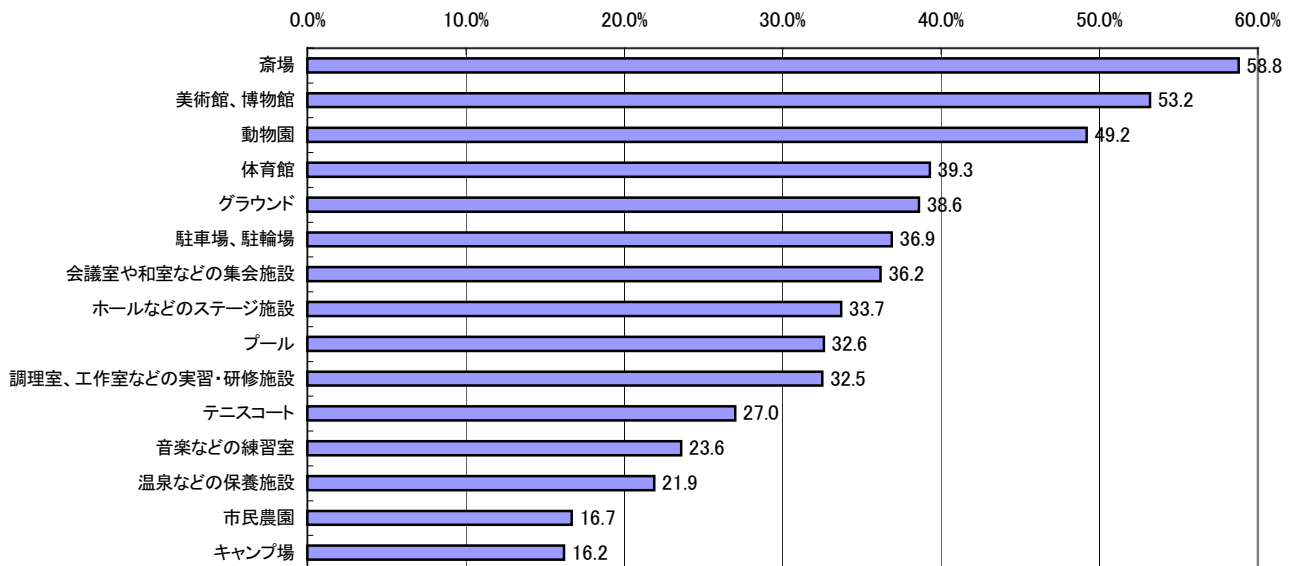
全体集計では、施設により回答結果に大きな差が生じている（P106 グラフ参照）。

回答結果を「市が全額負担」と「市が多く負担」の合計、「市と利用者が均等に負担」、「利用者が全額負担」と「利用者が多く負担」の合計の3つに分けて集計した（P107 グラフ参照）。

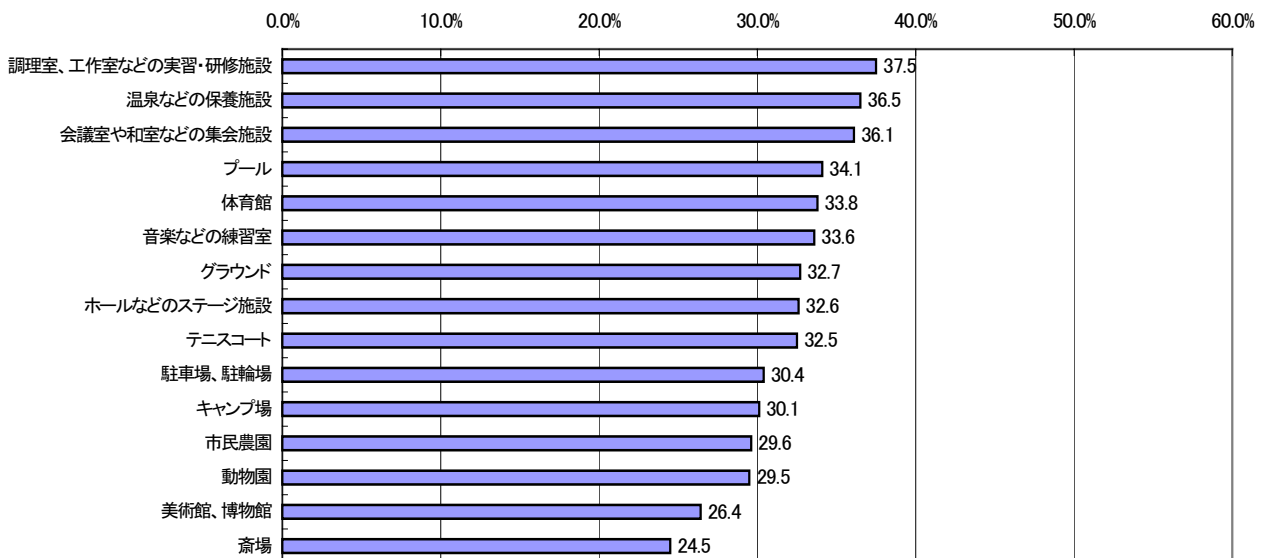
問8① 公共施設の利用料について 全体集計グラフ



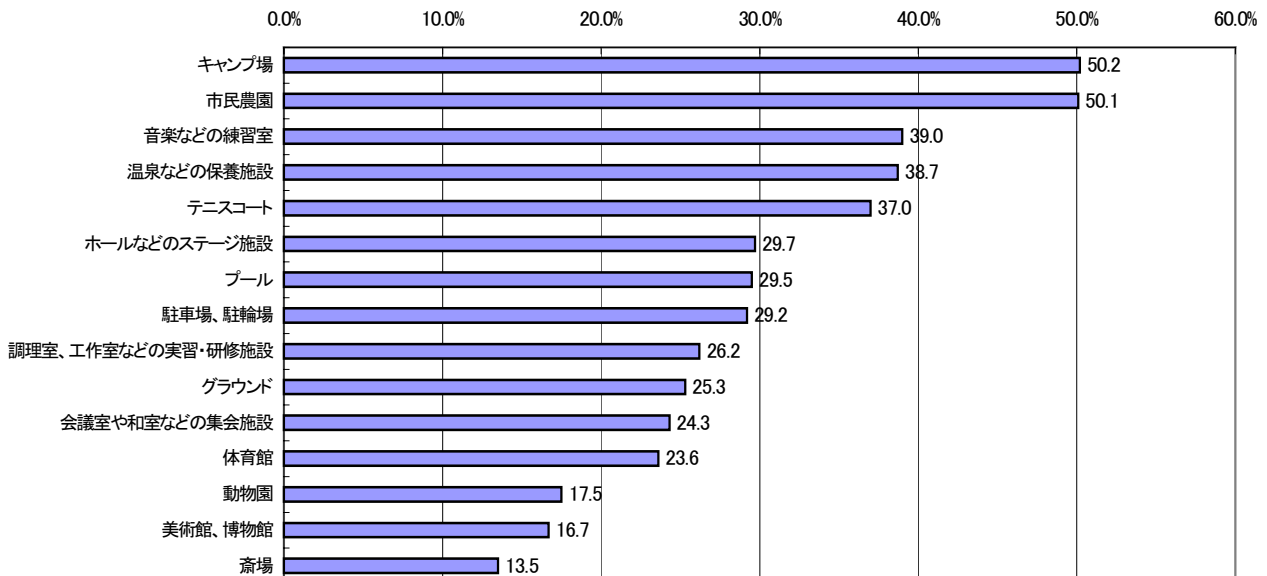
問8① 公共施設の利用料について 「市が全額負担」「多く負担」の回答合計グラフ



問8① 公共施設の利用料について 「市と利用者が均等に負担」のグラフ



問8① 公共施設の利用料について 「利用者が全額負担」「多く負担」の回答合計グラフ



### 問8①－1（温泉などの保養施設）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（温泉などの保養施設）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

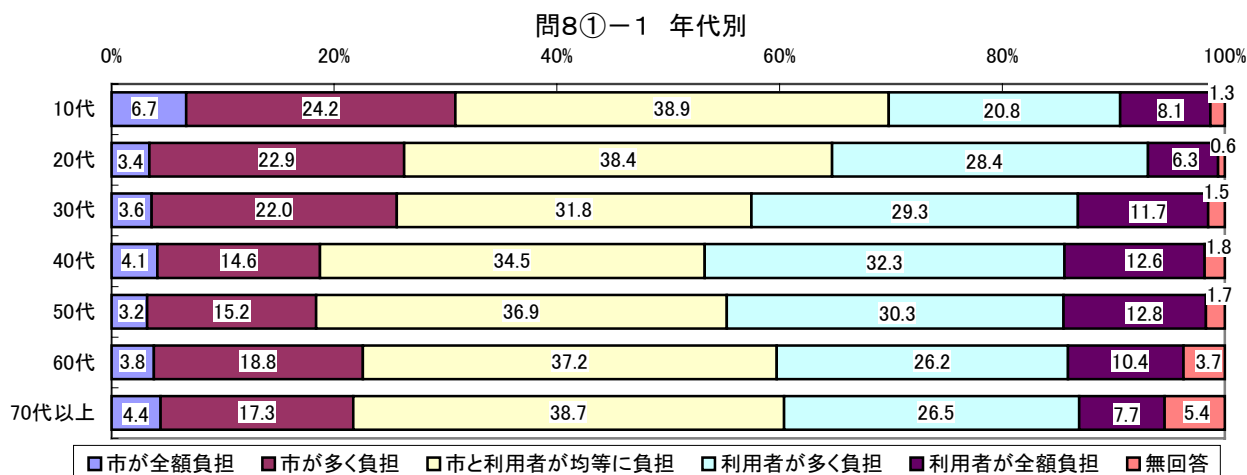
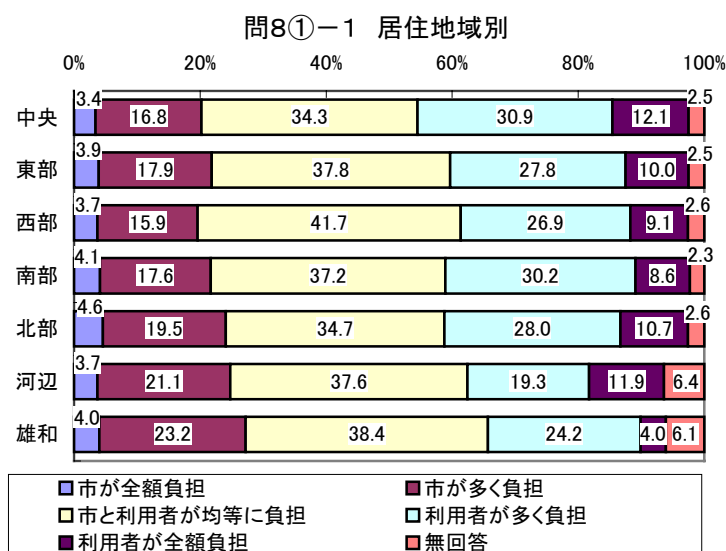
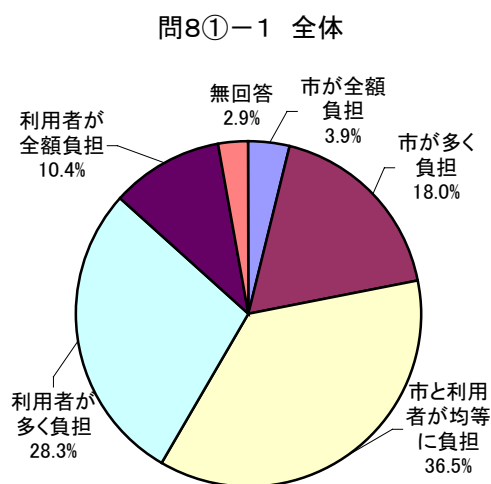
- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、温泉などの保養施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P193 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が 3.9%、「市が多く負担」が 18.0%、「市と利用者が均等に負担」が 36.5%、「利用者が多く負担」が 28.3%、「利用者が全額負担」が 10.4%である。

年代別集計では、「10代」から「50代」までは、年代が上がるにつれて「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が少なくなる傾向にある。

居住地域別集計では、顕著な差はない。



### 問8①－2（キャンプ場）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（キャンプ場）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

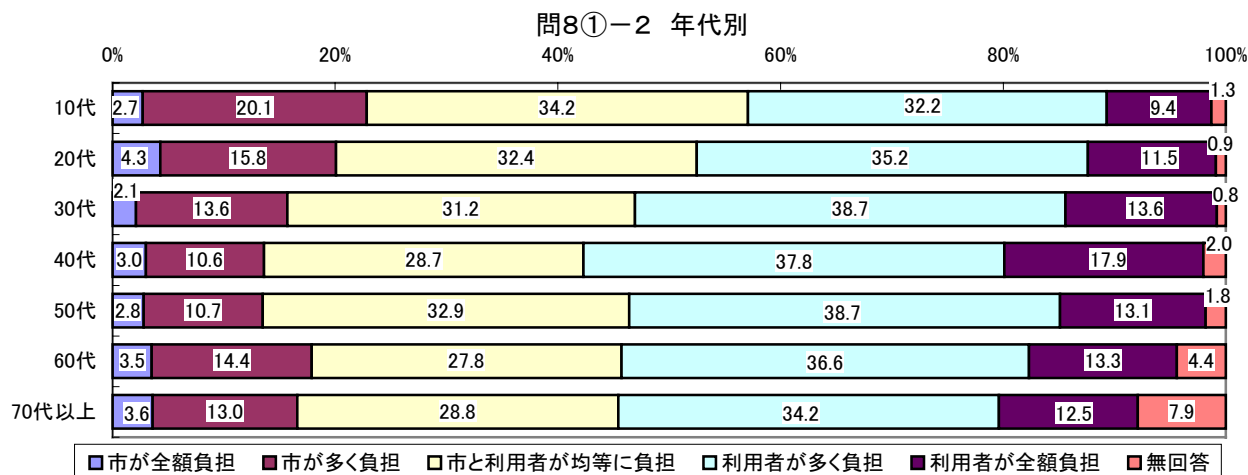
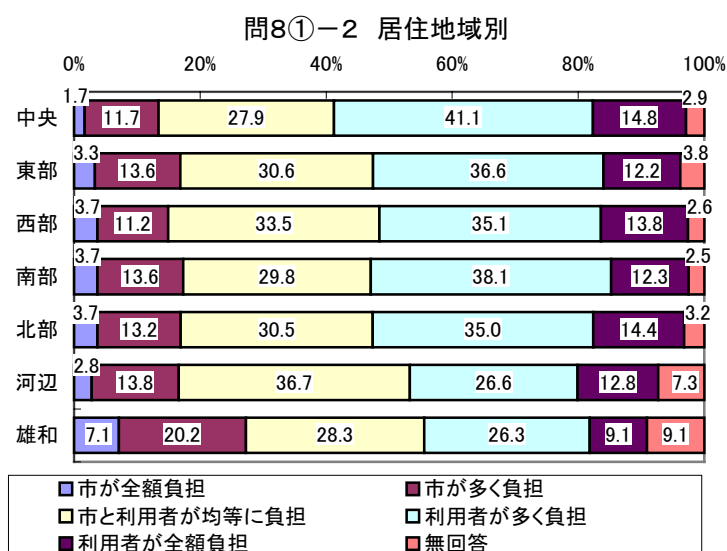
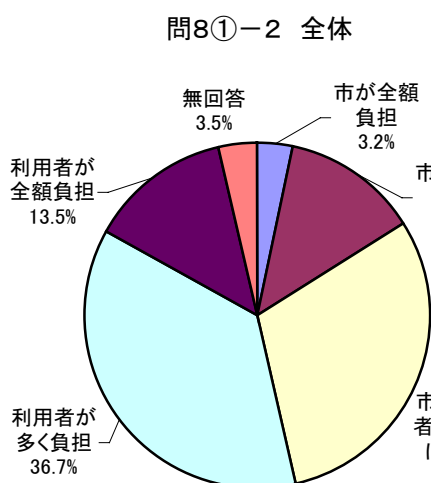
- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、キャンプ場の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P193 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が 3.2%、「市が多く負担」が 13.0%、「市と利用者が均等に負担」が 30.1%、「利用者が多く負担」が 36.7%、「利用者が全額負担」が 13.5%である。

年代別集計では、「10 代」から「50 代」までは、年代が上がるにつれて「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が少なくなる傾向にある。

居住地域別集計では、「市が全額負担」と「市が多く負担」の回答の合計が「雄和」で多くなっている。



### 問8①－3（体育館）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（体育館）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

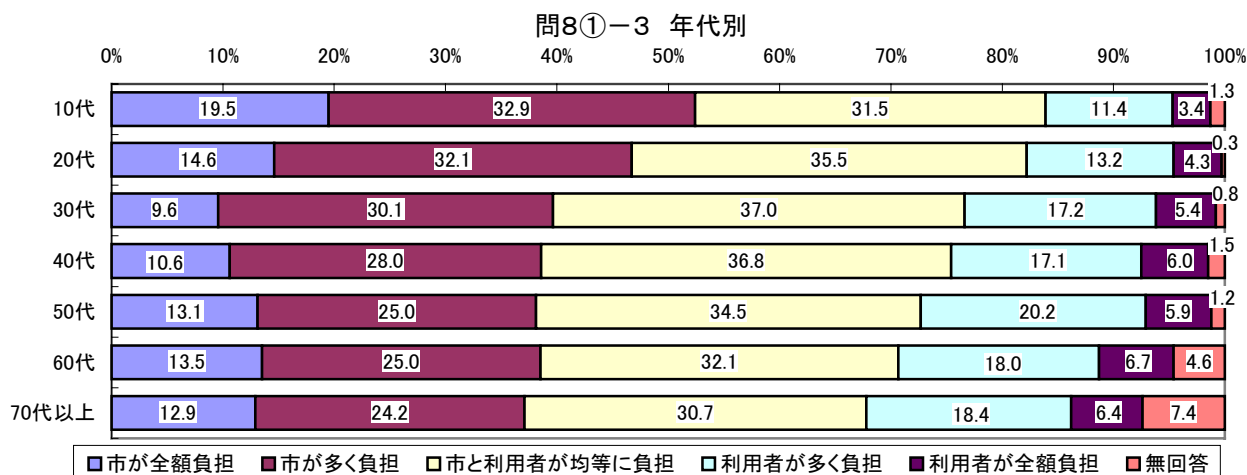
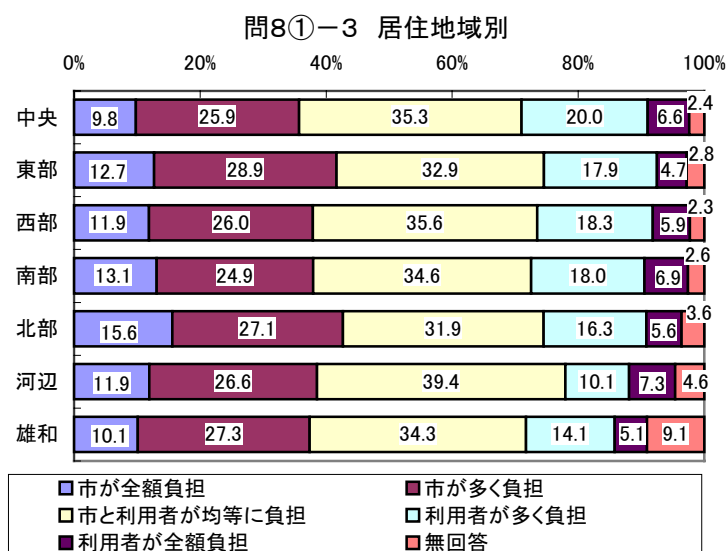
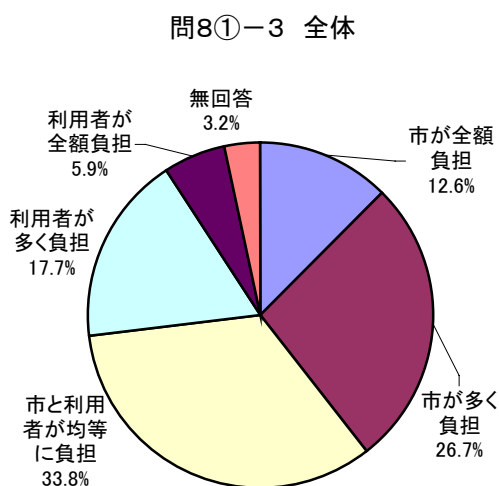
- 1 市が全額負担                      2 市が多く負担                      3 市と利用者が均等に負担
- 4 利用者が多く負担              5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、体育館の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P194 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が12.6%、「市が多く負担」が26.7%、「市と利用者が均等に負担」が33.8%、「利用者が多く負担」が17.7%、「利用者が全額負担」が5.9%である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「10代」「20代」で他の年代に比較して多くなっている。

居住地域別集計では、「利用者が全額負担」と「利用者が多く負担」の回答の合計が「河辺」で少なくなっている。



### 問8①-4（グラウンド）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（グラウンド）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

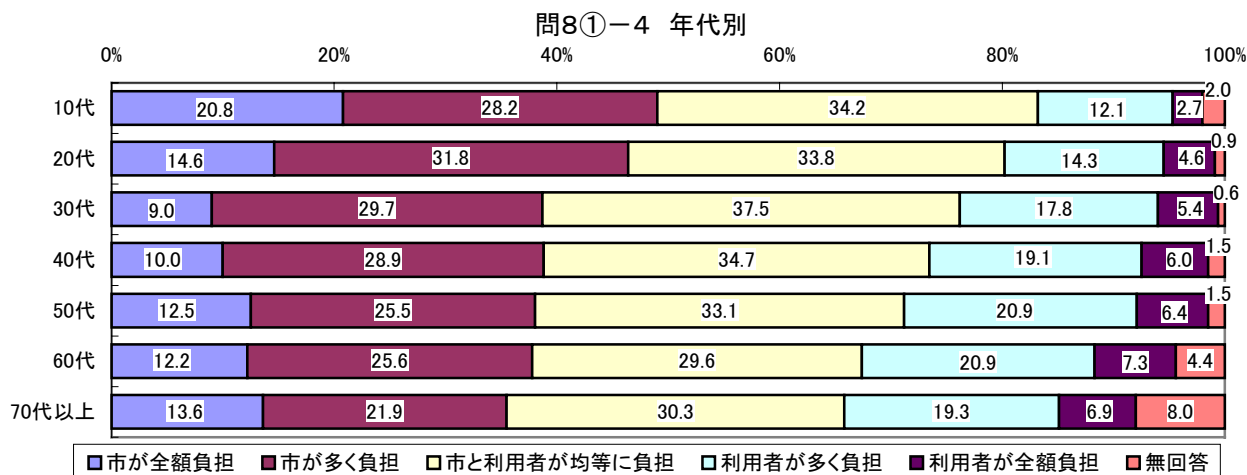
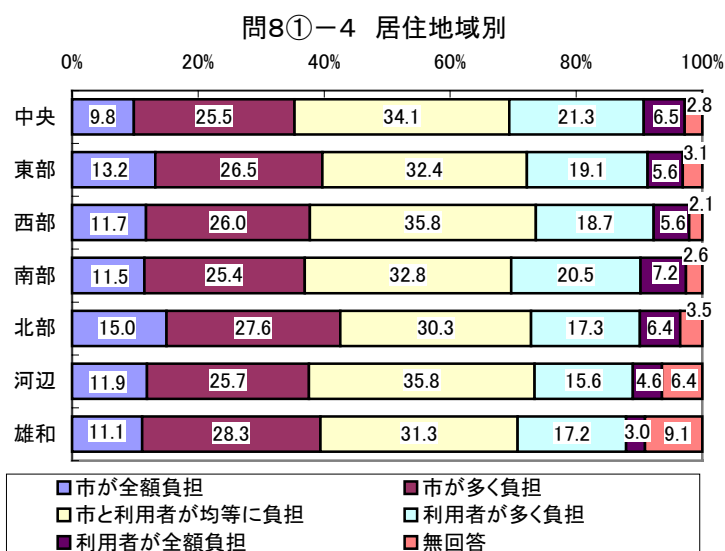
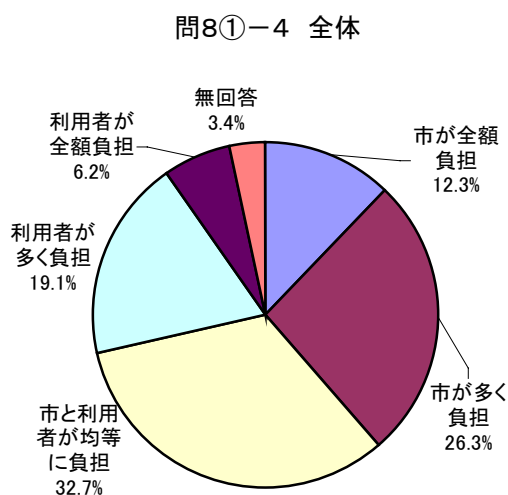
- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、グラウンドの維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P194 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が12.3%、「市が多く負担」が26.3%、「市と利用者が均等に負担」が32.7%、「利用者が多く負担」が19.1%、「利用者が全額負担」が6.2%である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「10代」「20代」が他の年代に比較して多くなっている。

居住地域別集計では、顕著な差はない。



### 問8①ー5（テニスコート）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（テニスコート）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

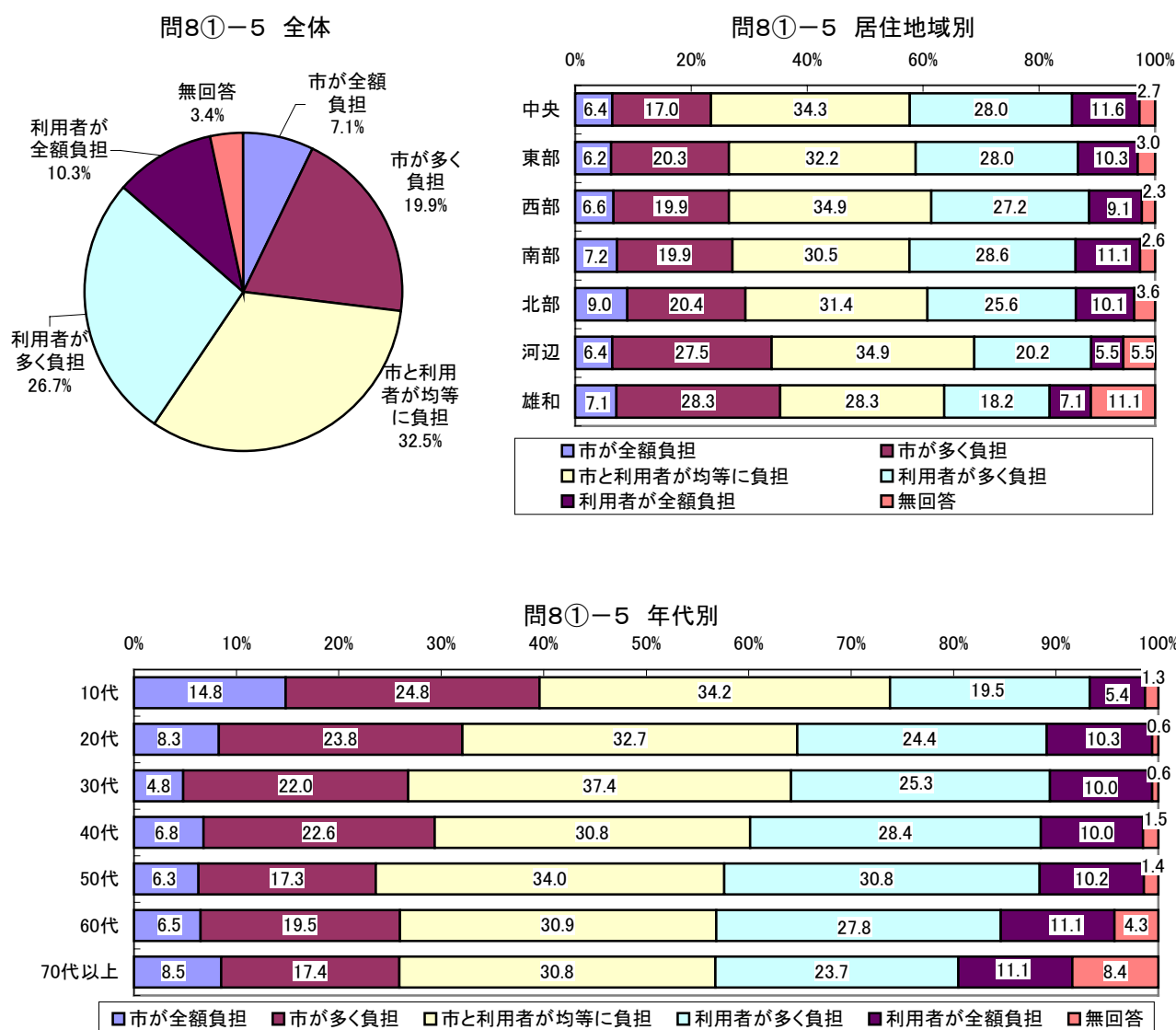
- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、テニスコートの維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P195 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が 7.1%、「市が多く負担」が 19.9%、「市と利用者が均等に負担」が 32.5%、「利用者が多く負担」が 26.7%、「利用者が全額負担」が 10.3%である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「10代」「20代」で他の年代に比較して多くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「河辺」「雄和」で他地域に比較して多くなっている。



### 問8①-6（プール）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（プール）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

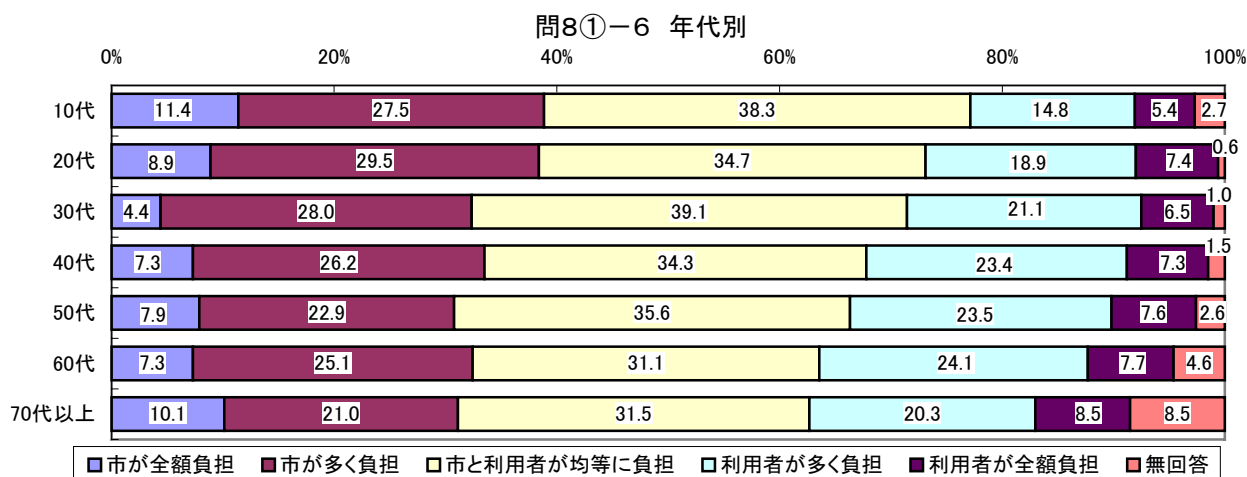
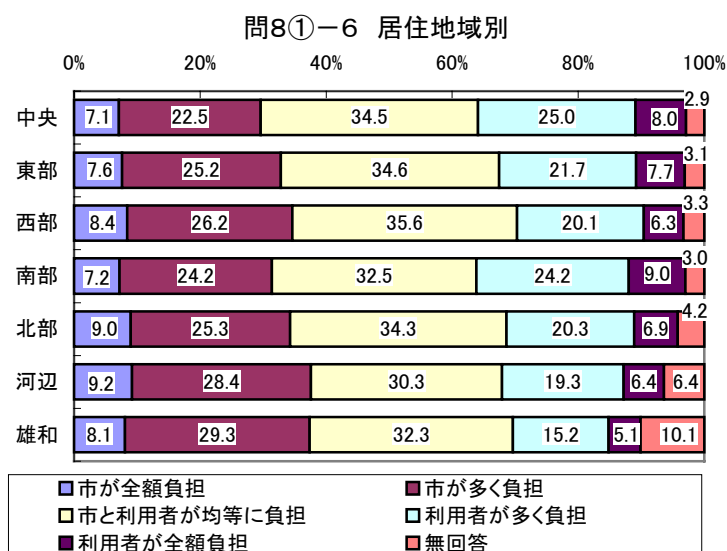
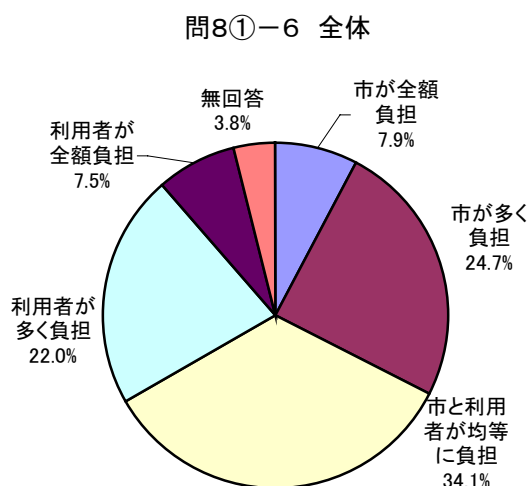
- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、プールの維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P195 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が 7.9%、「市が多く負担」が 24.7%、「市と利用者が均等に負担」が 34.1%、「利用者が多く負担」が 22.0%、「利用者が全額負担」が 7.5%である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「10代」「20代」で他の年代に比較して多くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市と利用者が均等に負担」の合計が「河辺」「雄和」で他地域に比較して多くなっている。



### 問8①-7（会議室や和室などの集会施設）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（会議室や和室などの集会施設）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

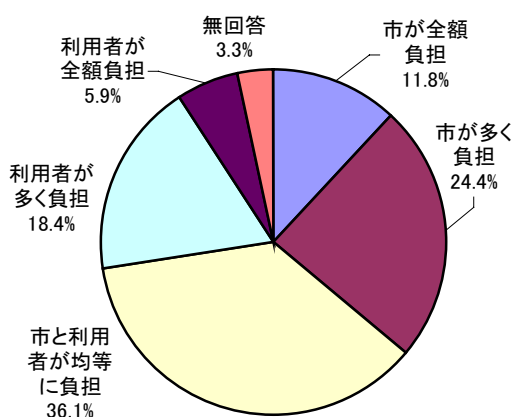
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、会議室や和室などの集会施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P196 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が11.8%、「市が多く負担」が24.4%、「市と利用者が均等に負担」が36.1%、「利用者が多く負担」が18.4%、「利用者が全額負担」が5.9%である。

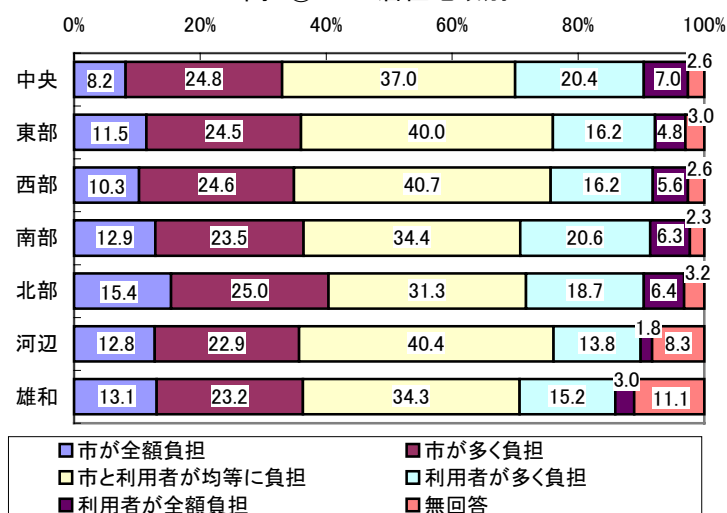
年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「10代」「20代」で他の年代に比較して多くなっている。

居住地域別集計では、顕著な差はない。

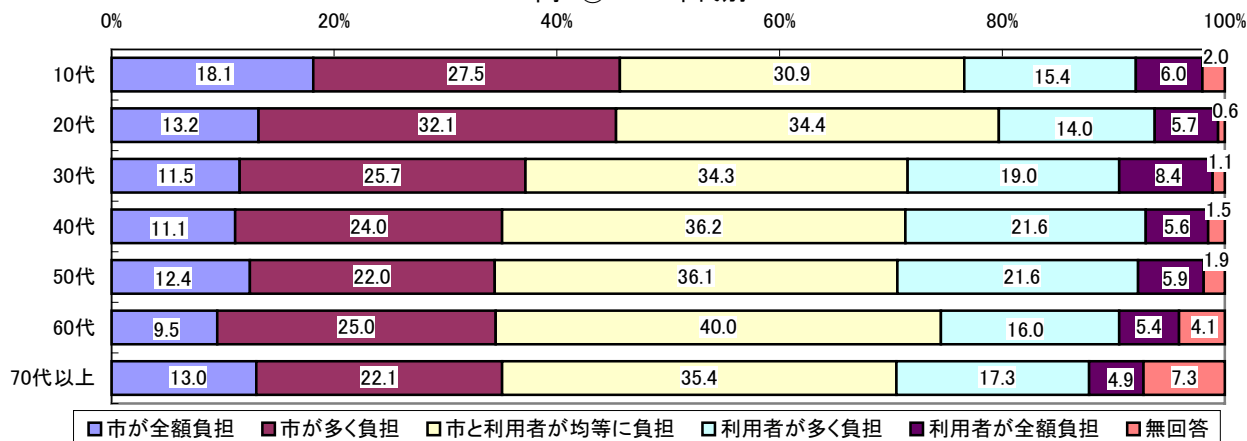
問8①-7 全体



問8①-7 居住地域別



問8①-7 年代別



### 問8①－8（調理室、工作室などの実習・研修施設）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（調理室、工作室などの実習・研修施設）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

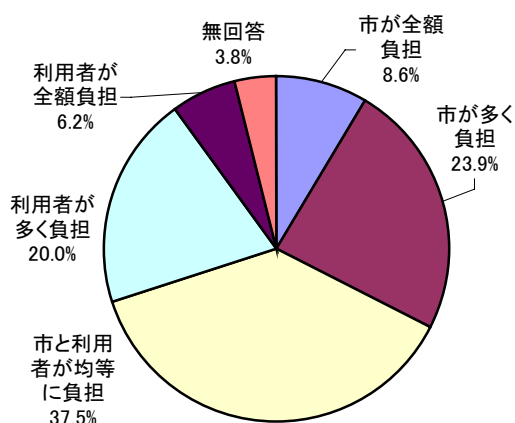
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、調理室、工作室などの実習・研修施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P196 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が 8.6%、「市が多く負担」が 23.9%、「市と利用者が均等に負担」が 37.5%、「利用者が多く負担」が 20.0%、「利用者が全額負担」が 6.2%である。

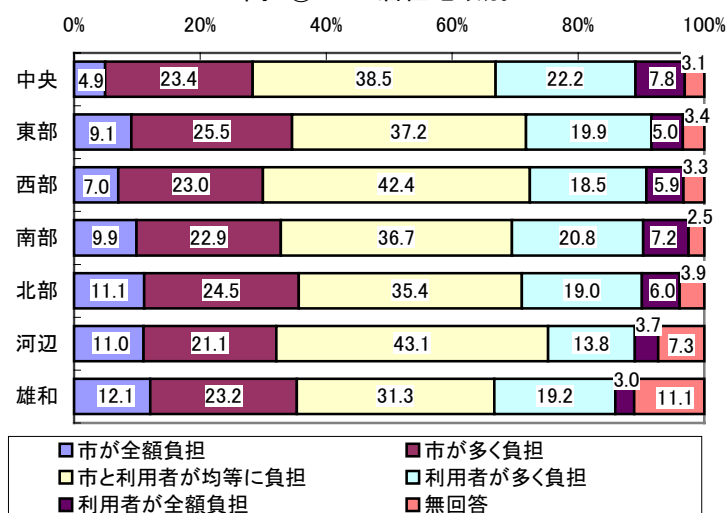
年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「10代」「20代」で他の年代に比較して多くなっている。

居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が「河辺」で少ない。

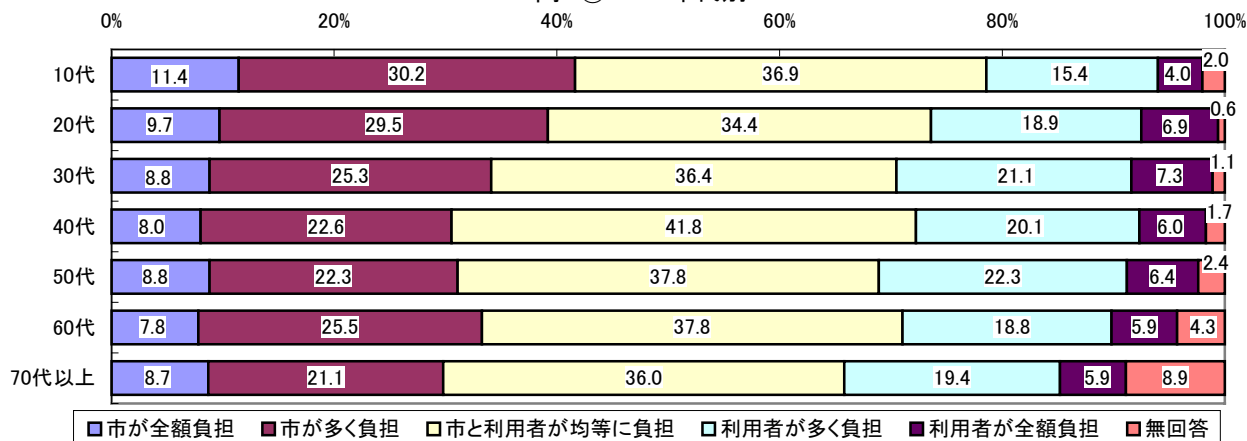
問8①－8 全体



問8①－8 居住地域別



問8①－8 年代別



### 問8①－9（ホールなどのステージ施設）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（ホールなどのステージ施設）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

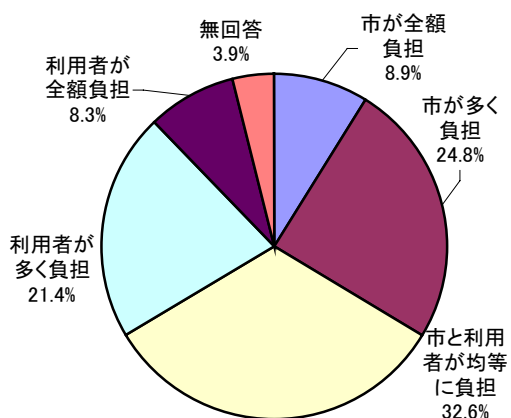
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、ホールなどのステージ施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P197 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が 8.9%、「市が多く負担」が 24.8%、「市と利用者が均等に負担」が 32.6%、「利用者が多く負担」が 21.4%、「利用者が全額負担」が 8.3%である。

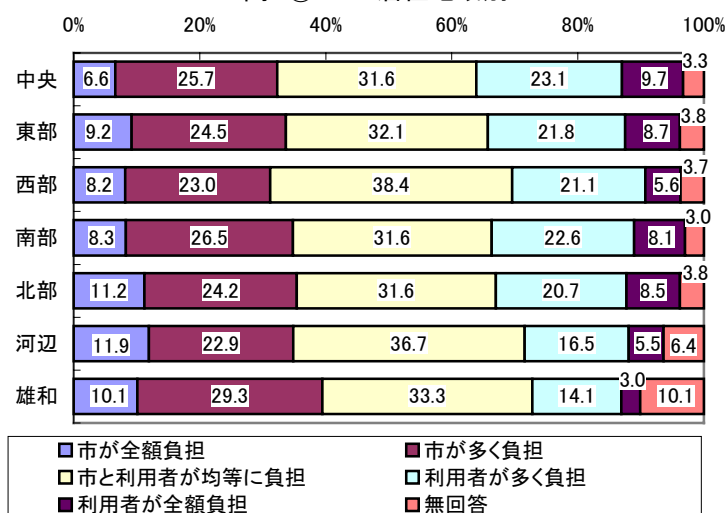
年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「10代」「20代」が他の年代に比較して多く、また、年代が上がるにつれて少なくなっている。

居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が「河辺」「雄和」で少ない。

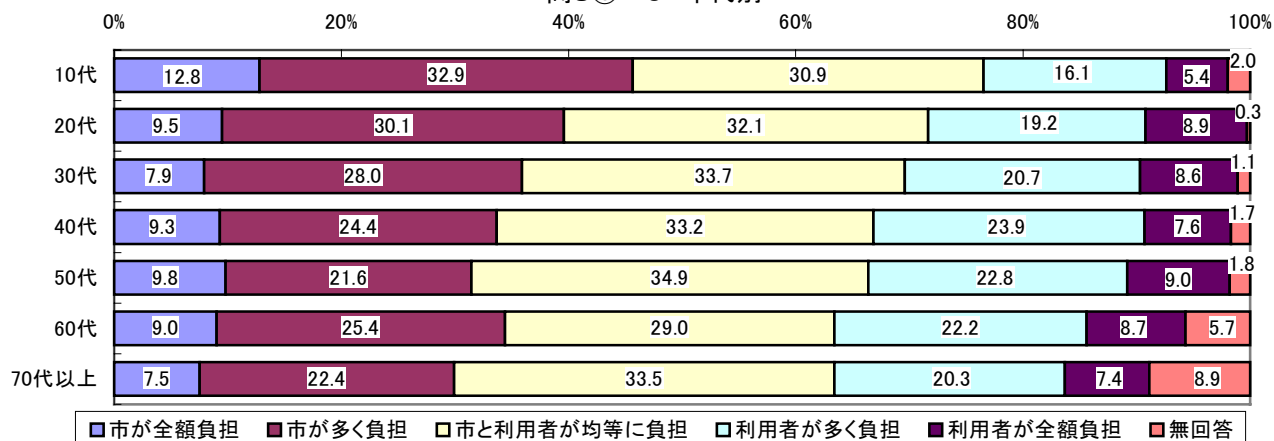
問8①－9 全体



問8①－9 居住地域別



問8①－9 年代別



### 問8①-10（音楽などの練習室）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（音楽などの練習室）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

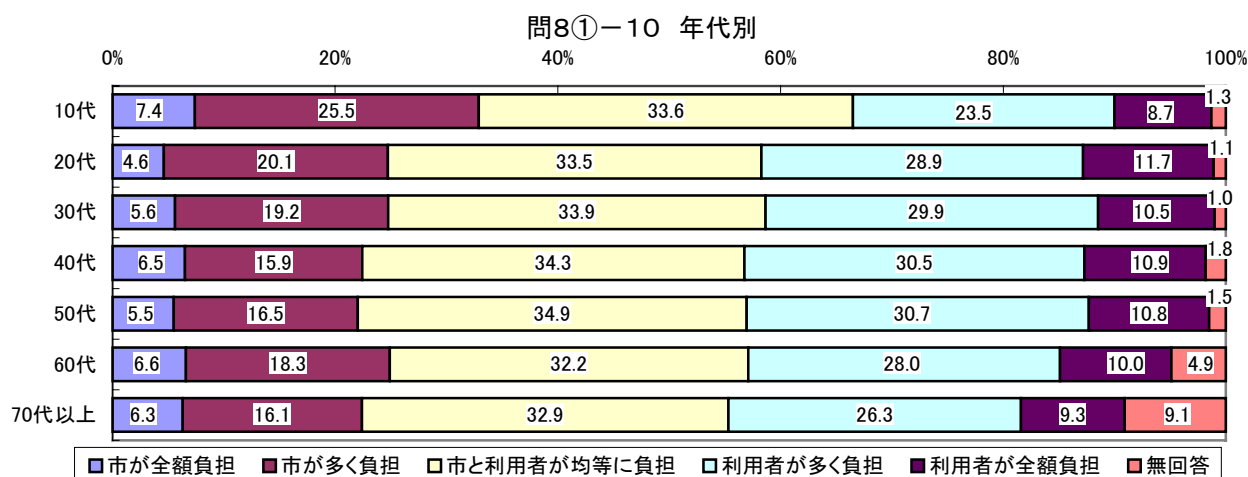
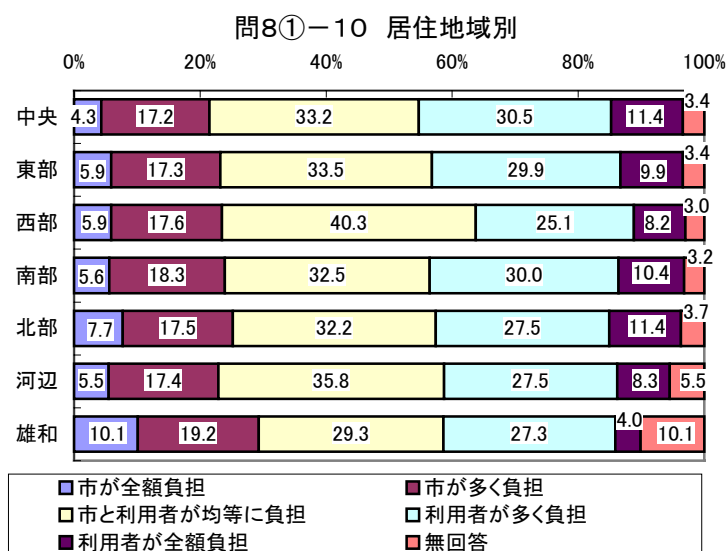
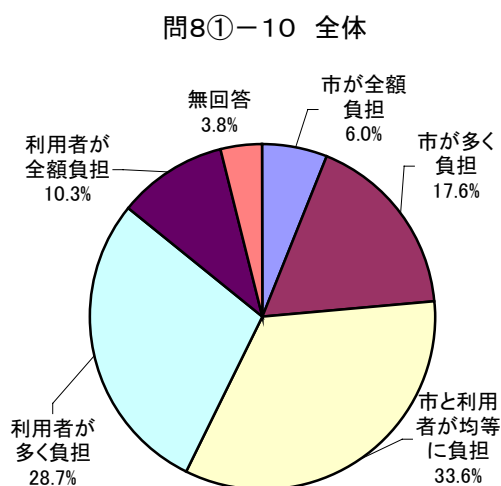
- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、音楽などの練習室の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P197 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が 6.0%、「市が多く負担」が 17.6%、「市と利用者が均等に負担」が 33.6%、「利用者が多く負担」が 28.7%、「利用者が全額負担」が 10.3%である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「10代」で他の年代に比較して多い。

居住地域別集計では、「雄和」で「市が多く負担」が多い。



### 問8①-11（美術館、博物館）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（美術館、博物館）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

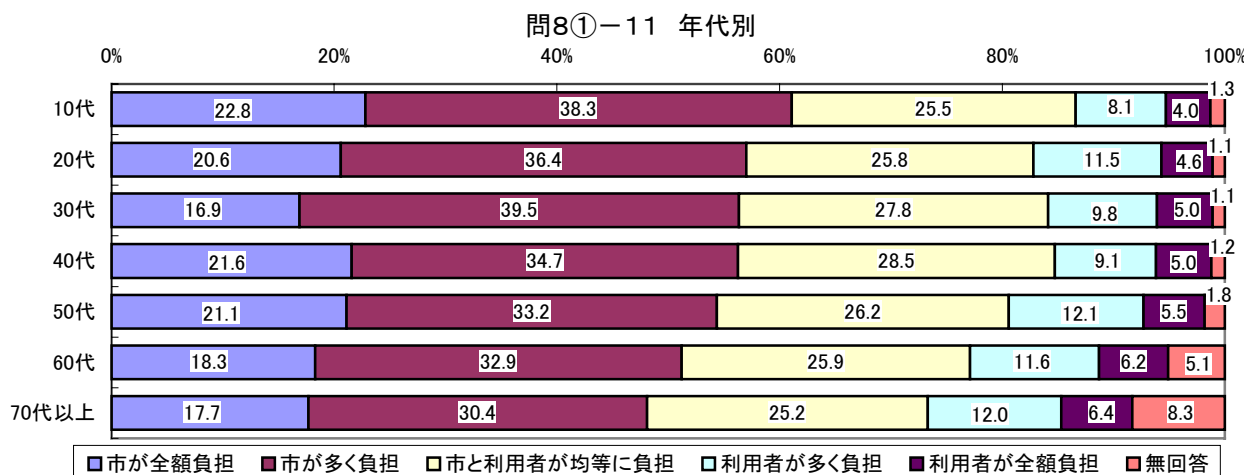
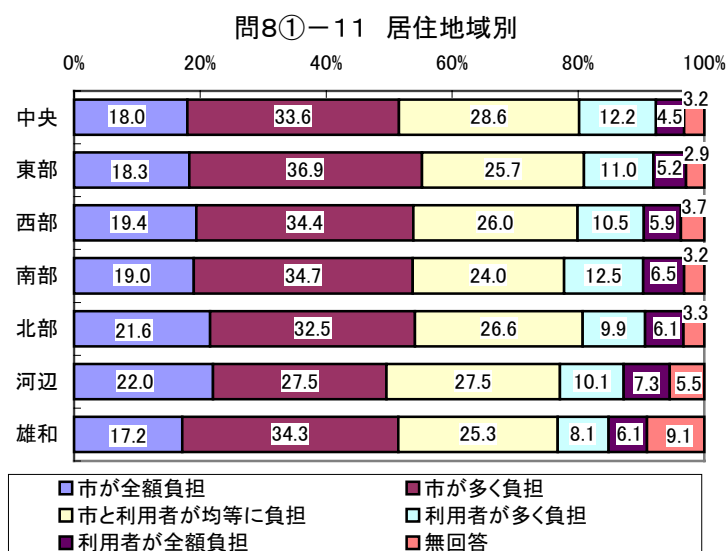
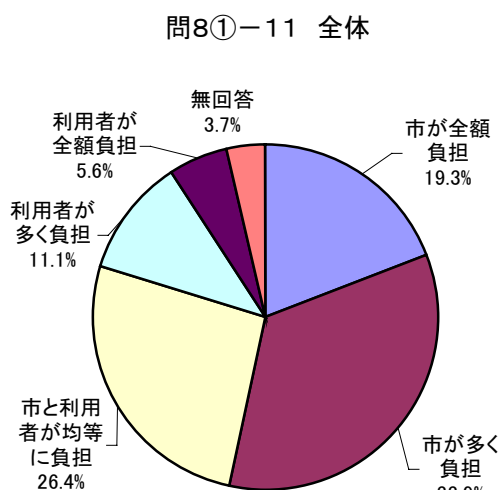
- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、美術館、博物館の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P198 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が19.3%、「市が多く負担」が33.9%、「市と利用者が均等に負担」が26.4%、「利用者が多く負担」が11.1%、「利用者が全額負担」が5.6%である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が年代が上がるにつれて少なくなる傾向がある。

居住地域別集計では、顕著な差はない。



### 問8①-12（動物園）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（動物園）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

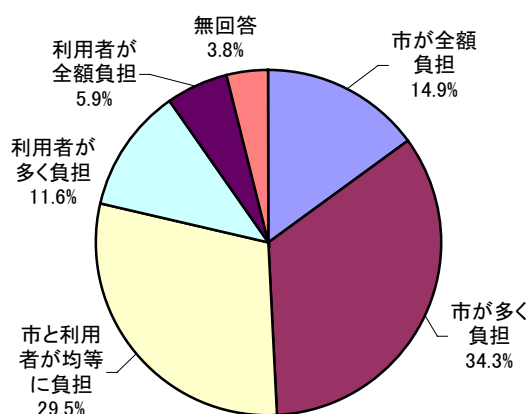
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、動物園の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P198 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が14.9%、「市が多く負担」が34.3%、「市と利用者が均等に負担」が29.5%、「利用者が多く負担」が11.6%、「利用者が全額負担」が5.9%である。

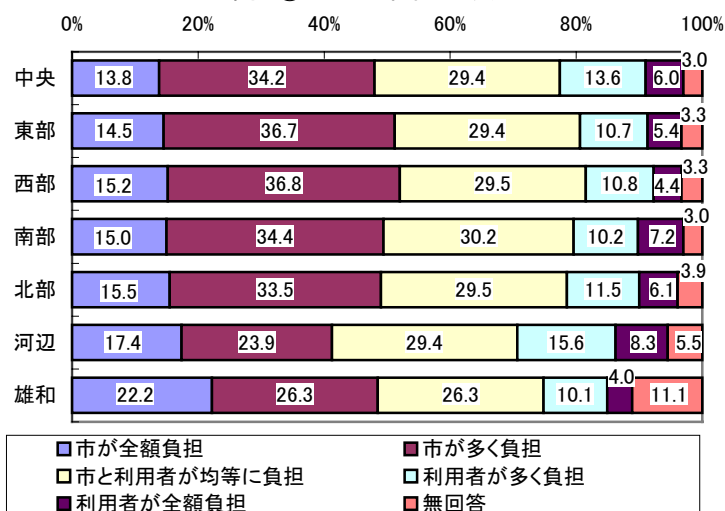
年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「20代」で他の年代に比較して多く、年代が上がるにつれて少なくなる傾向がある。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「河辺」で少なくなっている。

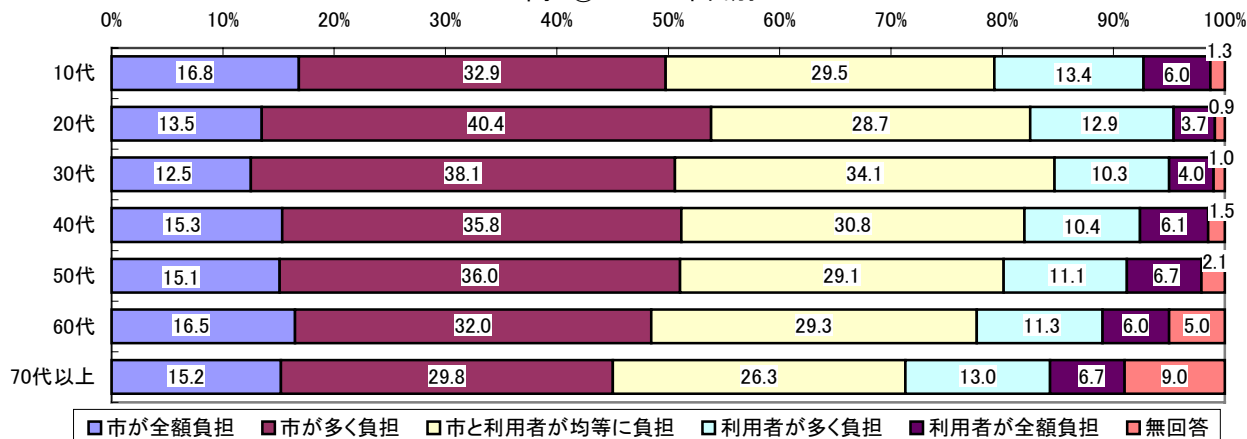
問8①-12 全体



問8①-12 居住地域別



問8①-12 年代別



### 問8①-13（駐車場、駐輪場）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（駐車場、駐輪場）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

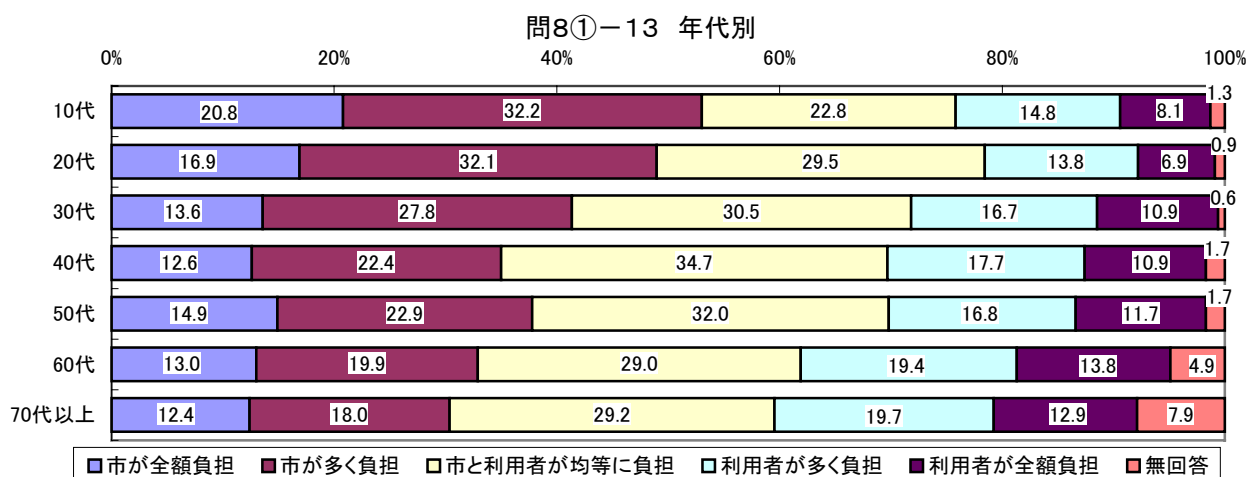
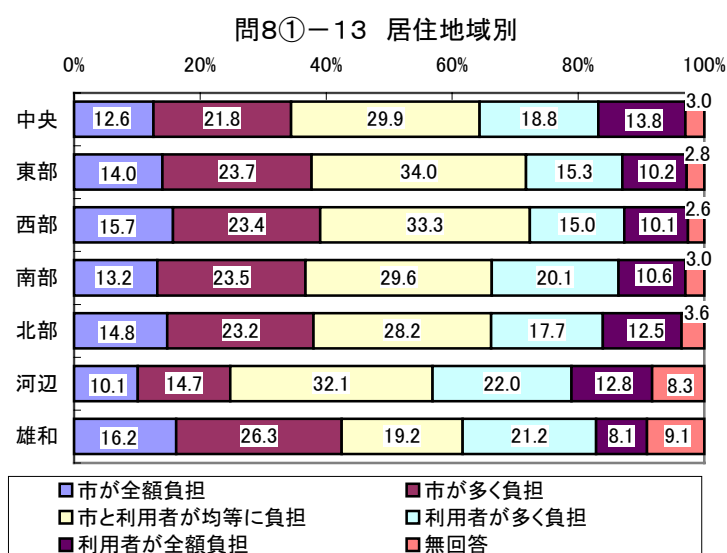
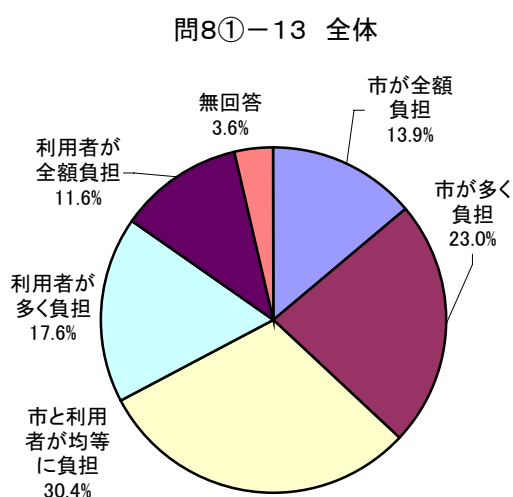
- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、駐車場、駐輪場の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P199 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が13.9%、「市が多く負担」が23.0%、「市と利用者が均等に負担」が30.4%、「利用者が多く負担」が17.6%、「利用者が全額負担」が11.6%である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が年代が上がるにつれて少なくなる傾向がある。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「河辺」で少なくなっている。



### 問8①-14（市民農園）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（市民農園）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

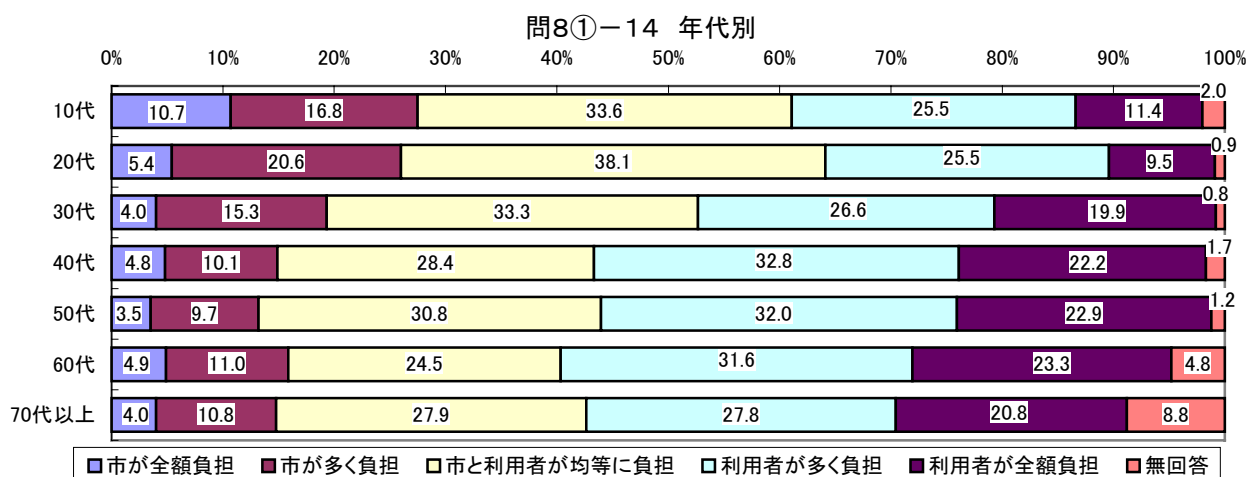
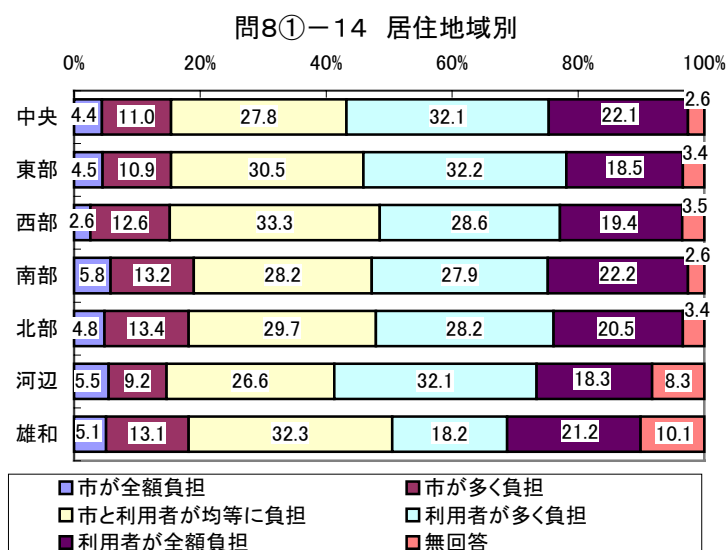
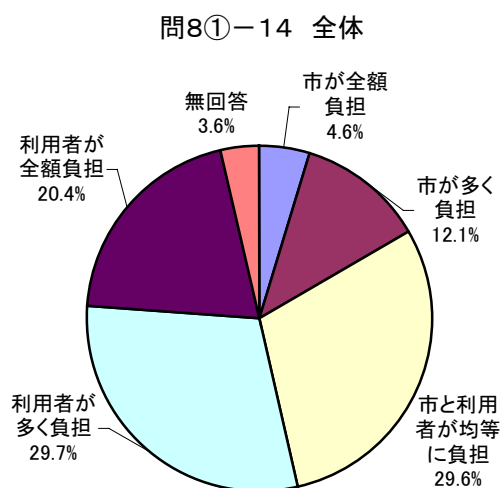
- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、市民農園の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P199 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が 4.6%、「市が多く負担」が 12.1%、「市と利用者が均等に負担」が 29.6%、「利用者が多く負担」が 29.7%、「利用者が全額負担」が 20.4%である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「10代」「20代」で他の年代に比較して多い。

居住地域別集計では、顕著な差はない。



### 問8①-15（斎場）

市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容によって異なるものと思いますが、あなたは次の施設（斎場）の場合、どう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

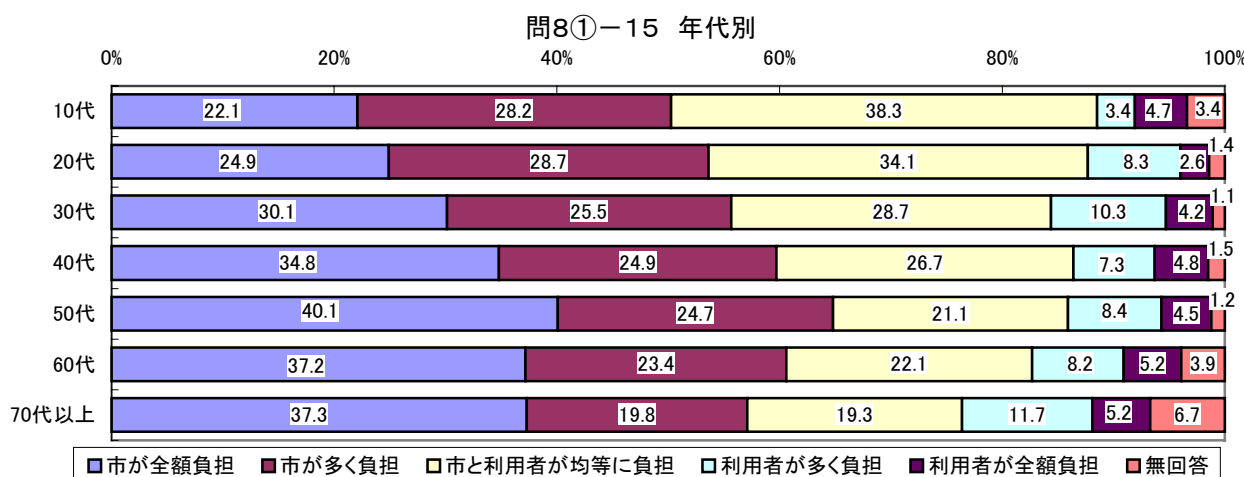
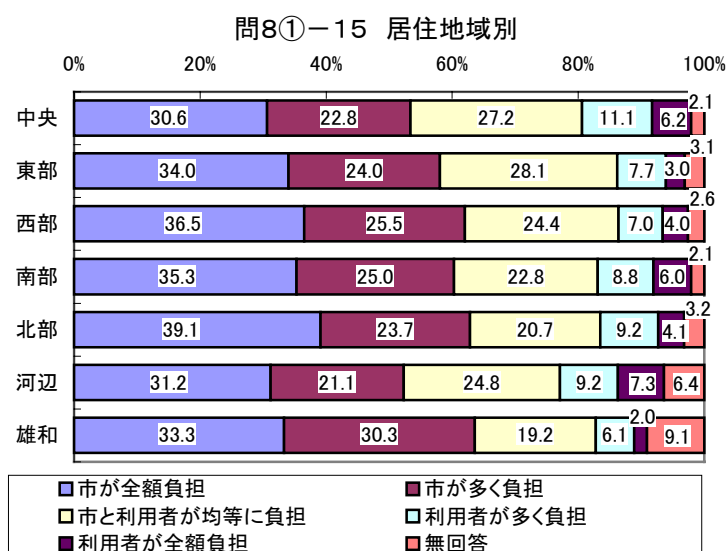
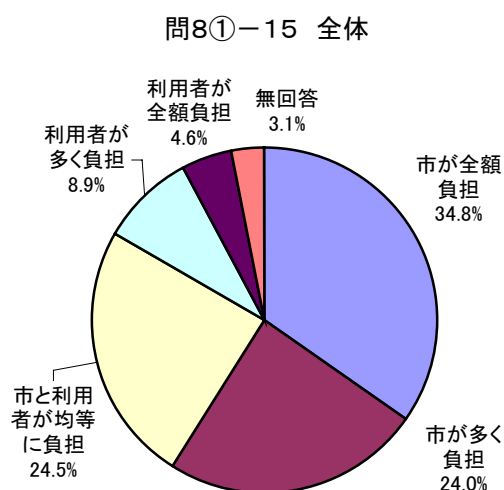
- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、斎場の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P200 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が34.8%、「市が多く負担」が24.0%、「市と利用者が均等に負担」が24.5%、「利用者が多く負担」が8.9%、「利用者が全額負担」が4.6%である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「50代」までは年代が上がるにつれて多くなる傾向がある。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「河辺」で少なくなっている。



問8②（公共施設の利用料について）

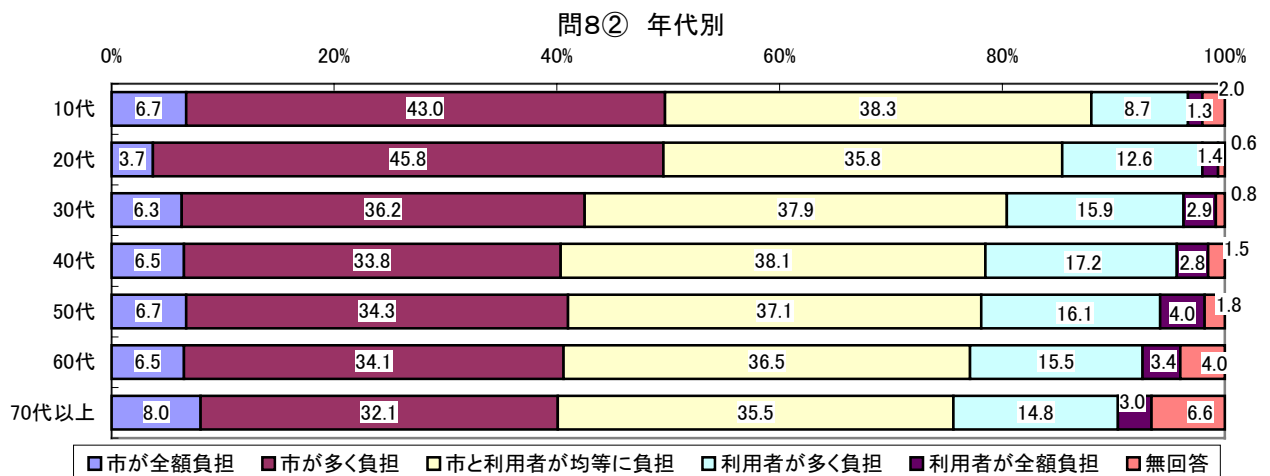
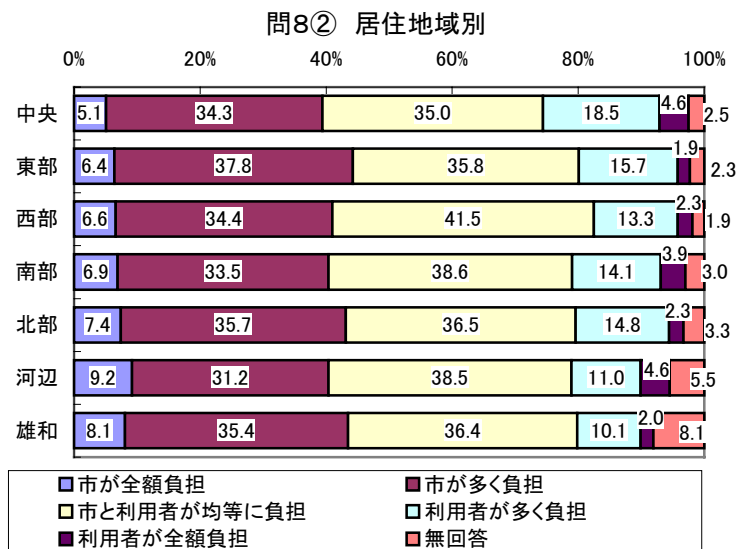
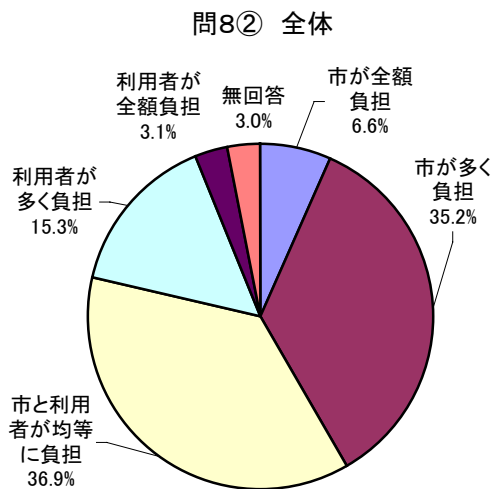
公共施設の利用料の負担のありかたは、基本的にどうあるべきだと思いますか。

- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

この設問では、公共施設の利用料の負担について基本的な考えを聞いている。（集計表 P200 参照）  
 全体集計では、「市が全額負担」が 6.6%、「市が多く負担」が 35.2%、「市と利用者が均等に負担」が 36.9%、「利用者が多く負担」が 15.3%、「利用者が全額負担」が 3.1%である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「10代」「20代」で他の年代に比較して多い。

居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が「中央」で多い。



## 2 行政サービスを維持することが困難な場合でも優先して欲しい施策（問9）

### 問9（行政サービスを維持することが困難な場合でも優先して欲しい施策）

将来、市民ニーズの多様化や少子・高齢社会の進行などにより、現在の行政サービスを維持することが困難になった場合、その状況の中でも秋田市において優先して行う必要があると考える項目はどれですか。5つまで選んで下さい。

- |                              |                   |                    |
|------------------------------|-------------------|--------------------|
| 1 道路交通網の整備                   | 2 バス路線の維持         | 3 冬期の除雪            |
| 4 中心市街地のにぎわい創出               | 5 公営住宅の供給         | 6 上水道、下水道の整備       |
| 7 美しい景観づくり                   | 8 公園整備や緑化の推進      | 9 環境保全対策           |
| 10 ごみ処理やリサイクル対策              | 11 I T 基盤整備       | 12 商工業の振興や地元経済の活性化 |
| 13 雇用対策                      | 14 観光振興           | 15 農林水産業の振興        |
| 16 高齢者福祉                     | 17 障害者福祉          | 18 子育て支援           |
| 19 乳幼児医療・児童福祉                | 20 健康づくり・医療・保健衛生  | 21 防犯・防災対策         |
| 22 消費者問題対策                   | 23 小・中学校の教育環境整備   | 24 大学など高等教育環境の整備   |
| 25 生涯学習環境の整備                 | 26 青少年の健全育成       | 27 スポーツ振興          |
| 28 芸術・文化振興                   | 29 住民自治やコミュニティの振興 |                    |
| 30 N P O ・ ボランティア活動などの市民活動促進 | 31 男女共生の推進        |                    |
| 32 市民への広報、広聴の充実              | 33 その他            |                    |

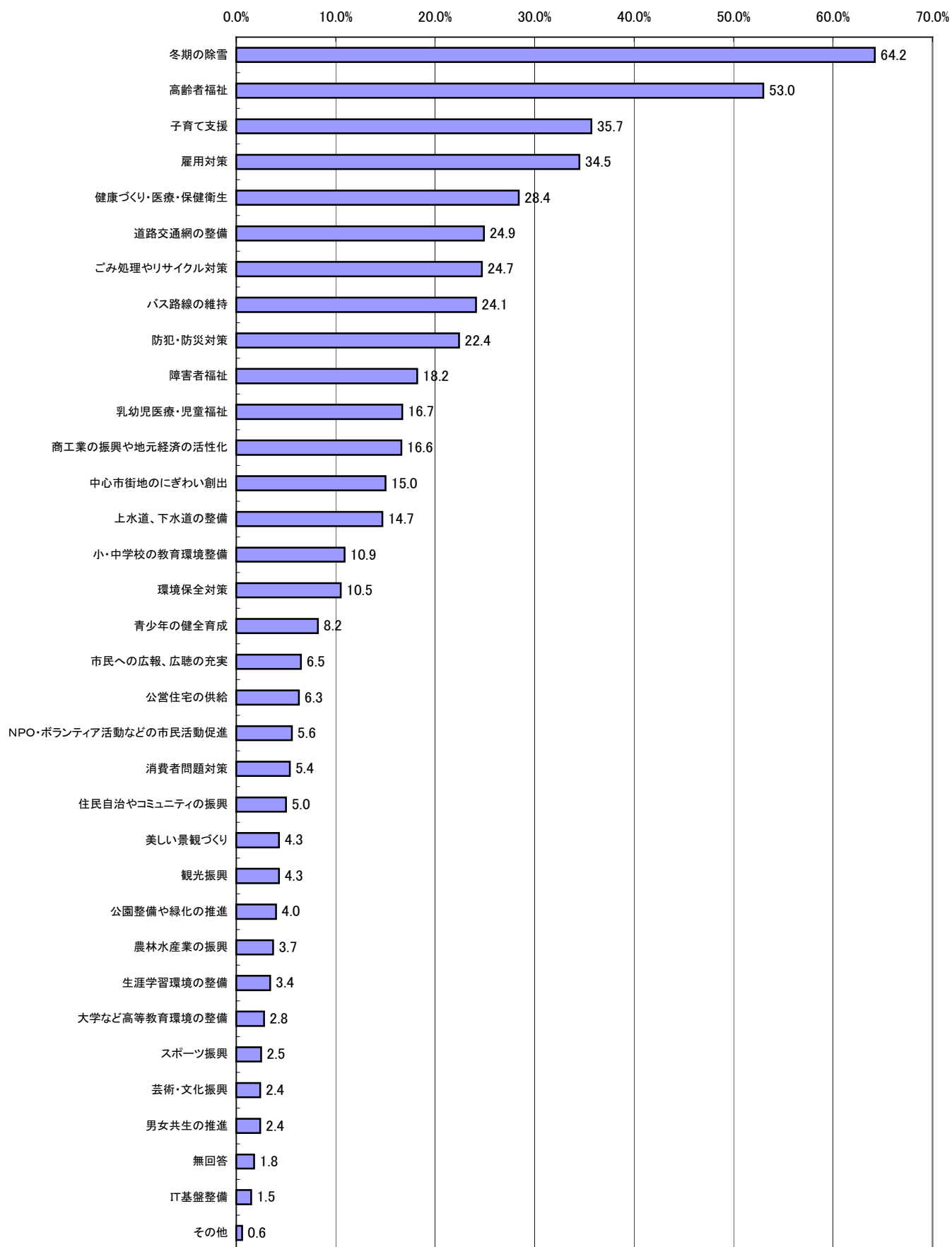
この設問では、将来、現在の行政サービスを維持することが困難になった場合に優先すべき施策を5つ聞いている。（集計表 P201～202 参照）

全体集計では、最も多かったのは「冬期の除雪」64.2%であった。以下、「高齢者福祉」53.0%、「子育て支援」35.7%、「雇用対策」34.5%、「健康づくり・医療・保健衛生」28.4%、「道路交通網の整備」24.9%、「ごみ処理やリサイクル対策」24.7%と続いている。（P125 グラフ参照）

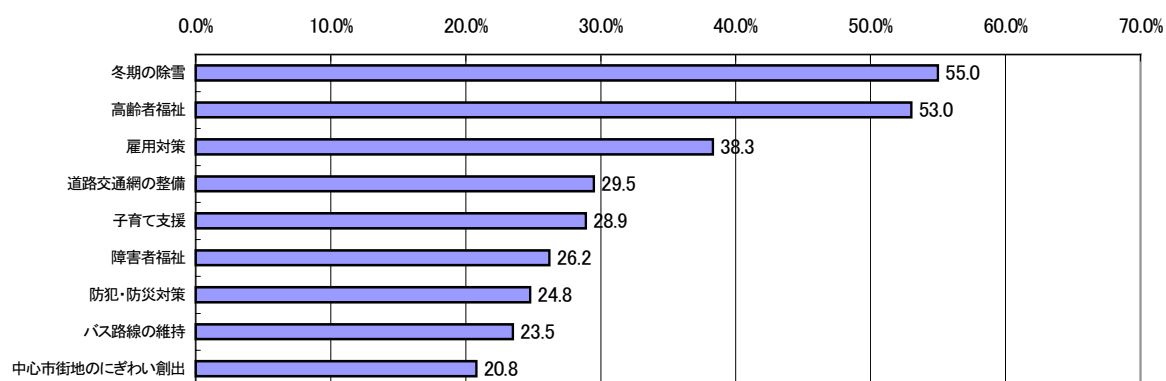
条件を付けず選択した問3と比較すると、問3では選択の多かった「中心市街地のにぎわい創出」「商工業の振興や地元経済の活性化」が減り、「冬期の除雪」「高齢者福祉」「子育て」「健康づくり」「ごみ処理」など、日常生活の基本的な部分を支える項目や、少子化・高齢化に対応する項目の回答が多くなった。

なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P126 からP129 のグラフで示している。（表記の条件として、20%以上の回答があったものを記している）

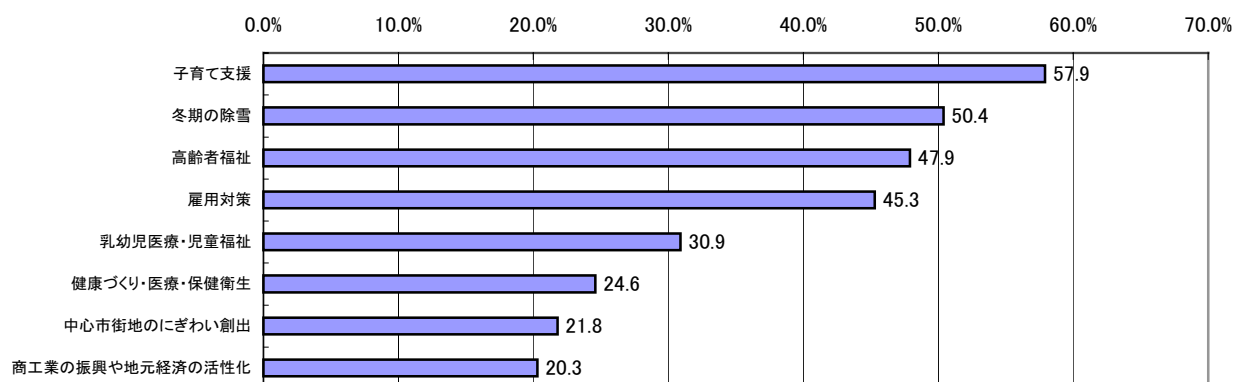
問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策） 全体集計グラフ



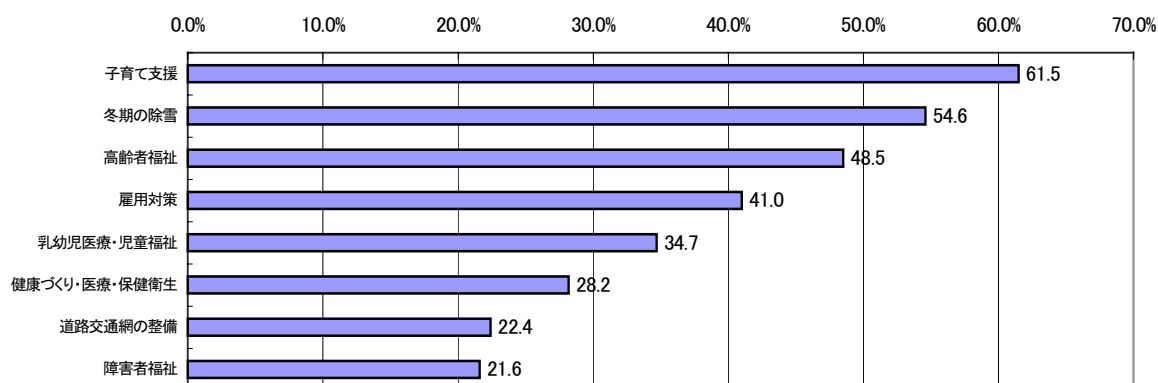
問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策）「10代」



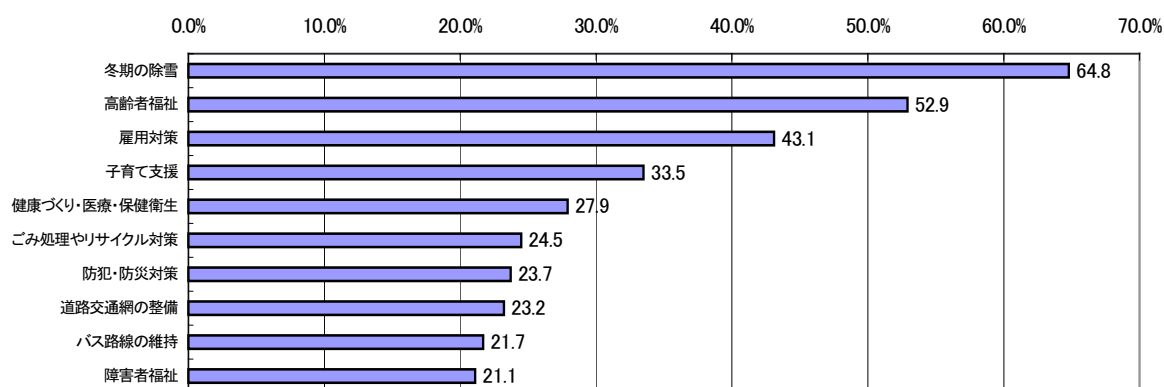
問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策）「20代」



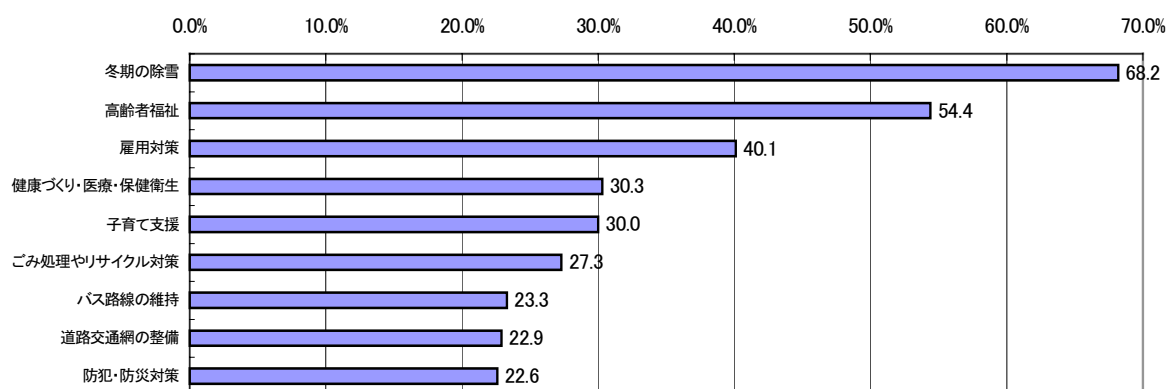
問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策）「30代」



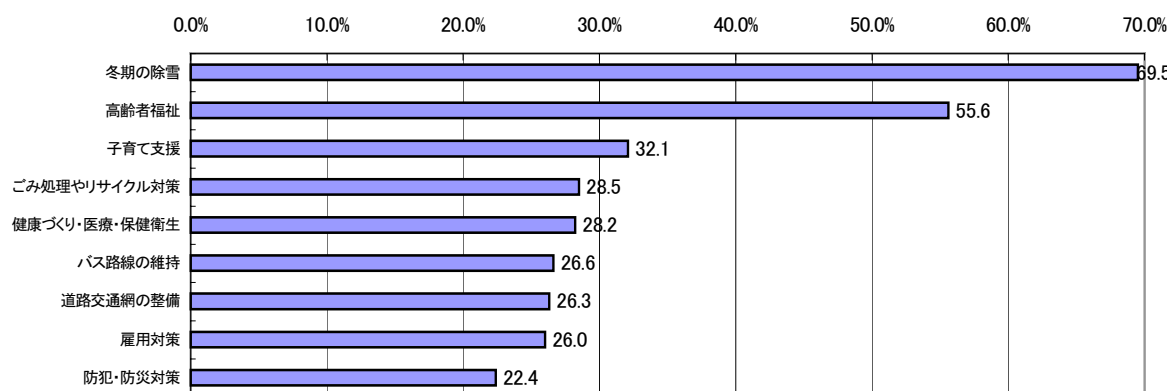
問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策）「40代」



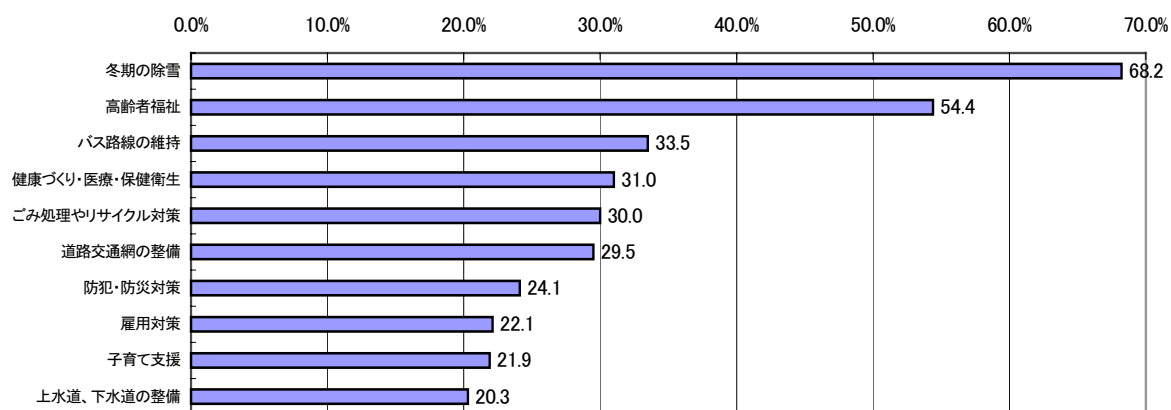
問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策）「50代」



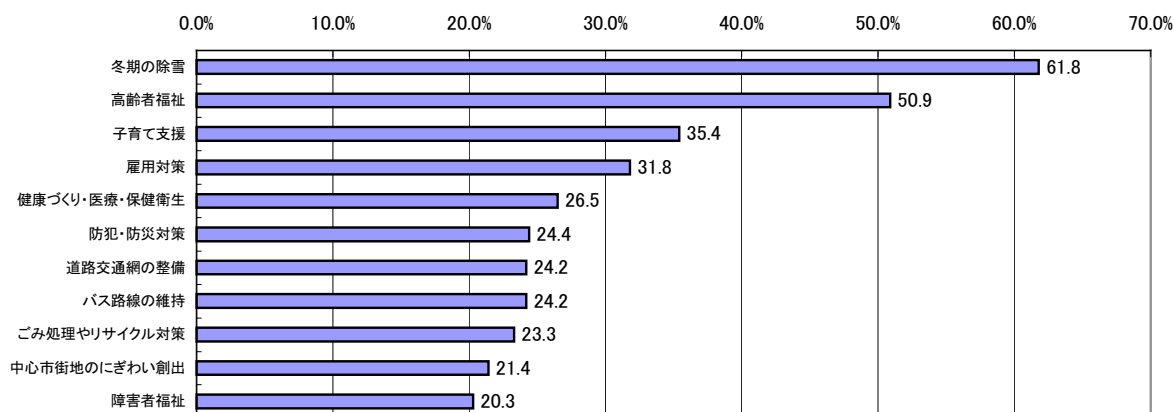
問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策）「60代」



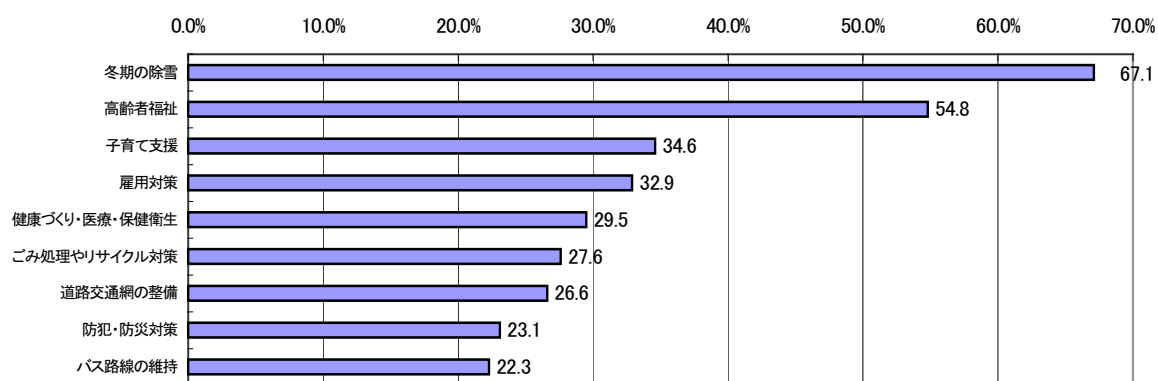
問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策）「70代以上」



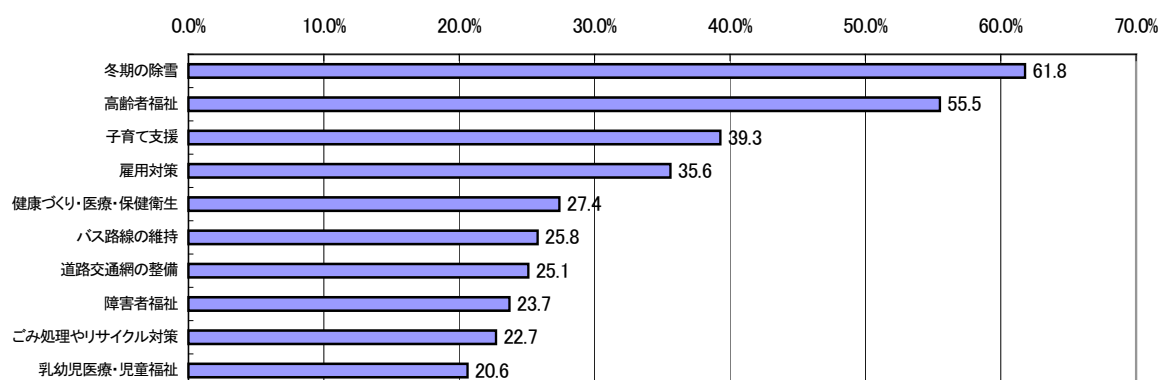
問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策）「中央」



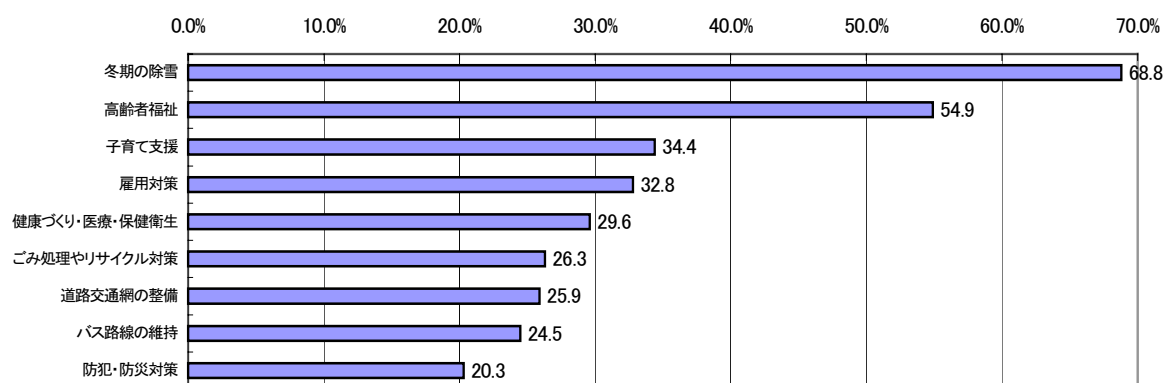
問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策）「東部」



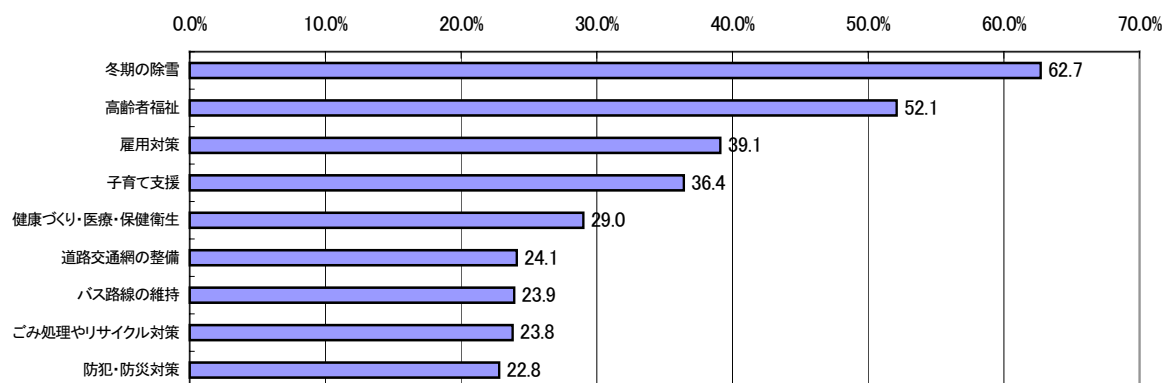
問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策）「西部」



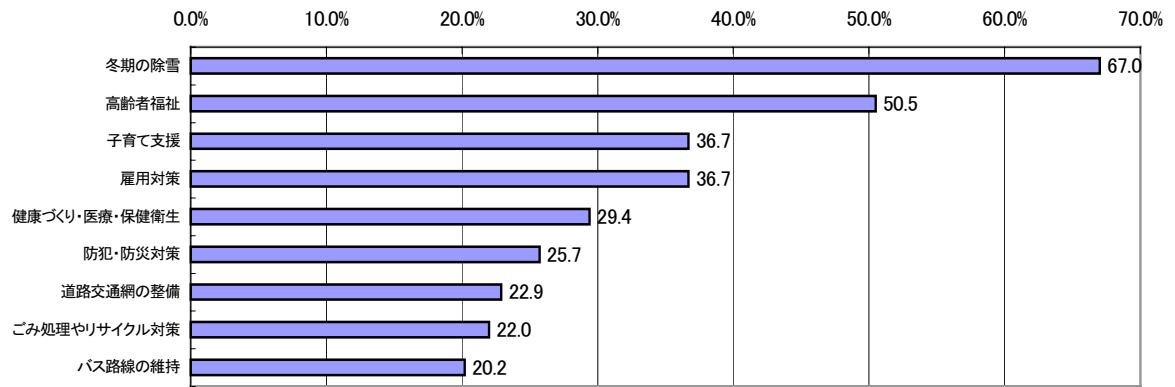
問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策）「南部」



問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策）「北部」



問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策）「河辺」



問9 秋田市の施策について（困難な場合でも優先して欲しい施策）「雄和」

